

平成30年度
「人権・同和問題」に関する市民意識調査
報 告 書

平成31年3月

草 津 市

目 次

第1章 調査の概要	- 1 -
1 調査の目的	- 1 -
2 調査の実施要領	- 1 -
3 調査票の配付・回収の状況	- 1 -
4 集計方法、数値の取り扱いについて	- 2 -
5 調査結果の信頼性	- 2 -
6 回答者の状況	- 3 -
第2章 調査の結果	- 8 -
1 差別についての考え方	- 8 -
2 風習・慣習に対する意識	- 16 -
3 「人権尊重」の意味の認識	- 24 -
4 人権侵害を受けた経験、その時の対応	- 26 -
5 女性の人権、男女共同参画	- 34 -
6 子どもの人権	- 58 -
7 高齢者の人権	- 62 -
8 障害者の人権	- 66 -
9 外国人の人権	- 70 -
10 同和問題	- 74 -
11 人権教育・啓発・情報提供のあり方	- 102 -
12 「登録型本人通知制度」の認知・利用	- 129 -
13 人権問題に対する関心や人権学習の態度	- 135 -
14 人権尊重や人権問題の解決などに対する意見や要望	- 141 -
第3章 分析を終えて	- 144 -
1 調査の特徴	- 144 -
2 回答者の特徴	- 144 -
3 調査結果の特徴	- 144 -
4 まとめ	- 147 -
第4章 使用した調査票	- 149 -

第 1 章 調査の概要

第 1 章 調査の概要

1 調査の目的

本市では、平成 8 年（1996 年）7 月に「草津市人権擁護に関する条例」を制定し、部落差別をはじめとして障害者、女性、在日外国人等に対するあらゆる差別をなくし、明るく住みよいまちづくりをめざして、人権・同和問題に関する教育、啓発活動を実施している。しかし、子どもや女性などへの虐待、インターネットなどへの差別的な書き込み、あるいは戸籍等の不正取得など、さまざまな人権侵害が依然として起こっており、多くの課題がある。

そのため、これまで取り組んできた人権・同和教育の成果と課題を踏まえ、今後の人権教育、啓発活動の基礎資料として活用することを目的として調査を実施する。なお、本調査は、昭和 58 年（1983 年）以降、5 年ごとに実施している。

2 調査の実施要領

- 調査地域 草津市全域
- 調査対象者 平成 31 年 1 月 15 日現在における本市在住の満 20 歳以上の市民
- 調査対象者数 3,000 人
各小学校区の満 20 歳以上の男女別・年齢別の構成比に基づき抽出数を設定
各小学校区の抽出数は、第 1 章の 6 の（5）「回答者の居住地域（小学校区）」を参照
- 標本抽出方法 住民基本台帳より上記条件で無作為抽出
- 調査方法 郵送配付・回収、無記名方式
調査期間中に、はがきによる礼状兼依頼状を 1 回配付
- 調査時期 平成 31 年 2 月 1 日～2 月 21 日

3 調査票の配付・回収の状況

配付件数	不達件数	実配付件数	回収数 (回収率)	有効回答数 (有効回答率)
3,000 件	17 件	2,983 件	1,196 件 (40.1%)	1,193 件 (40.0%)

※「不達件数」は、対象者の転居や宛名不明により配付できなかった調査票の件数。「有効回答数」は「回収数」から白票や回答不備の無効票を除外した件数。「回収率」及び「有効回答率」は、「実配付件数」に対する「回収数」及び「有効回答数」それぞれの比率。

4 集計方法、数値の取り扱いについて

- 集計は、百分率（％）によるものと、質問 1、質問 2、質問 6、質問 19 は平均スコアによる集計も行っている。
- 百分率の集計結果は小数第 2 位を四捨五入し、小数第 1 位までを表記している。
- 平均スコアの集計結果（質問 1、質問 2、質問 6、質問 19）は小数第 3 位を四捨五入し、小数第 2 位までを表記している。
- 単数回答設問の各選択肢の回答比率の合計は、四捨五入の関係で 100.0％にならない場合がある。
- 複数回答設問の各選択肢の回答比率は、当該設問に回答すべき人数を集計母数として求めているため、回答比率の合計が 100.0％を超える場合がある。
- 当該設問の集計母数は、グラフ中に「(N=***)」と表記している。
- 設問選択肢が長い一部の設問については、図表の表記が繁雑になることを避けるため、表記の一部を省略している。
- 過去 3 回（2003 年・2008 年・2013 年）の調査との経年比較が可能な設問については、過去のデータを数表に示し、比較を行っている。

5 調査結果の信頼性

今回の調査は標本調査であるため、調査結果（標本測定値）から母集団における意識・意見を推定することができる。ただ、標本（調査対象）を抽出する上で生じる標本誤差を考慮した上で調査結果を分析し、また母集団における意識・意見を推定する必要がある。

世論調査では、信頼度 95％（同じ調査を標本（調査対象）を変えて実施した場合、100 回中 95 回までは同様の回答結果が得られると考えてもよい）の水準を求めるのが一般的とされている。これに基づき、今回の調査における標本測定値の標本誤差の近似値は、以下の数式で求められる。

$$\varepsilon = \pm 1.96 \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{P(1-P)}{n}}$$

ε : 標本誤差

1.96 : 信頼度 95％の時の信頼係数

N : 母集団数（本調査では 99,429 人）

n : 標本数（有効回答数。本調査では 1,193 人）

P : 標本測定値（0.5＝50％の時に最大となる）

※母集団数 99,429 人は、平成 31 年 1 月 15 日現在の市内在住の満 20 歳以上の男女の人口

上記の数式に必要な数値をあてはめて計算すると、「 ε （標本誤差）＝2.8」（小数第 2 位四捨五入）という数値が得られる。このことから、今回と同じ調査を同じ母集団の中から調査対象を変えて 100 回行った場合、95 回までは今回の調査で得られた結果の「±2.8％」の範囲内の結果が得られると考えることができる（5 回は異なる結果が得られることを許容する）。

6 回答者の状況

(1) 回答者の性別

図表 回答者の性別

		男性	女性	回答した くない	無回答	合計
全体		483	657	25	28	1,193
		40.5%	55.1%	2.1%	2.3%	100.0%
地域	志津小学校区	33	46	1	0	80
		41.3%	57.5%	1.3%	0.0%	100.0%
	志津南小学校区	18	29	0	1	48
		37.5%	60.4%	0.0%	2.1%	100.0%
	草津小学校区	38	53	2	2	95
		40.0%	55.8%	2.1%	2.1%	100.0%
	草津第二小学校区	37	52	1	1	91
		40.7%	57.1%	1.1%	1.1%	100.0%
	洪川小学校区	39	44	2	0	85
		45.9%	51.8%	2.4%	0.0%	100.0%
	矢倉小学校区	29	50	2	1	82
		35.4%	61.0%	2.4%	1.2%	100.0%
	老上小学校区	30	37	3	2	72
		41.7%	51.4%	4.2%	2.8%	100.0%
	老上西小学校区	25	26	0	0	51
		49.0%	51.0%	0.0%	0.0%	100.0%
	玉川小学校区	34	46	0	2	82
		41.5%	56.1%	0.0%	2.4%	100.0%
	南笠東小学校区	25	33	1	1	60
		41.7%	55.0%	1.7%	1.7%	100.0%
	山田小学校区	26	40	1	0	67
		38.8%	59.7%	1.5%	0.0%	100.0%
	笠縫小学校区	40	55	2	4	101
		39.6%	54.5%	2.0%	4.0%	100.0%
	笠縫東小学校区	28	45	1	1	75
		37.3%	60.0%	1.3%	1.3%	100.0%
	常盤小学校区	22	27	0	2	51
		43.1%	52.9%	0.0%	3.9%	100.0%
	無回答・ 小学校区不明	59	74	9	11	153
		38.6%	48.4%	5.9%	7.2%	100.0%

回答者の性別は、「女性」が55.1%、「男性」が40.5%で、「女性」が「男性」に比べて14.6ポイント多い。地域別にみると、志津南小学校区、矢倉小学校区、笠縫東小学校区では「女性」が6割以上を占めている。

(2) 回答者の年齢

図表 回答者の年齢

		20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	無回答	合計
全体		95	162	237	210	241	214	34	1,193
		8.0%	13.6%	19.9%	17.6%	20.2%	17.9%	2.8%	100.0%
地域	志津小学校区	10	11	20	14	12	13	0	80
		12.5%	13.8%	25.0%	17.5%	15.0%	16.3%	0.0%	100.0%
	志津南小学校区	1	10	10	3	16	7	1	48
		2.1%	20.8%	20.8%	6.3%	33.3%	14.6%	2.1%	100.0%
	草津小学校区	7	15	20	16	20	14	3	95
		7.4%	15.8%	21.1%	16.8%	21.1%	14.7%	3.2%	100.0%
	草津第二小学校区	5	9	21	27	14	13	2	91
		5.5%	9.9%	23.1%	29.7%	15.4%	14.3%	2.2%	100.0%
	渋川小学校区	8	14	18	19	12	14	0	85
		9.4%	16.5%	21.2%	22.4%	14.1%	16.5%	0.0%	100.0%
	矢倉小学校区	4	13	18	8	19	18	2	82
		4.9%	15.9%	22.0%	9.8%	23.2%	22.0%	2.4%	100.0%
	老上小学校区	2	13	12	11	14	18	2	72
		2.8%	18.1%	16.7%	15.3%	19.4%	25.0%	2.8%	100.0%
	老上西小学校区	2	10	12	4	10	13	0	51
		3.9%	19.6%	23.5%	7.8%	19.6%	25.5%	0.0%	100.0%
	玉川小学校区	8	10	19	21	11	11	2	82
		9.8%	12.2%	23.2%	25.6%	13.4%	13.4%	2.4%	100.0%
	南笠東小学校区	12	4	10	10	13	10	1	60
		20.0%	6.7%	16.7%	16.7%	21.7%	16.7%	1.7%	100.0%
	山田小学校区	6	8	10	12	19	12	0	67
		9.0%	11.9%	14.9%	17.9%	28.4%	17.9%	0.0%	100.0%
	笠縫小学校区	9	14	18	15	21	19	5	101
		8.9%	13.9%	17.8%	14.9%	20.8%	18.8%	5.0%	100.0%
	笠縫東小学校区	2	7	13	11	22	19	1	75
		2.7%	9.3%	17.3%	14.7%	29.3%	25.3%	1.3%	100.0%
	常盤小学校区	4	4	7	9	14	12	1	51
		7.8%	7.8%	13.7%	17.6%	27.5%	23.5%	2.0%	100.0%
	無回答・小学校区不明	15	20	29	30	24	21	14	153
		9.8%	13.1%	19.0%	19.6%	15.7%	13.7%	9.2%	100.0%

回答者の年齢は、「60歳代」が20.2%で最も多く、以下、「40歳代」が19.9%、「70歳以上」が17.9%、「50歳代」が17.6%、「30歳代」が13.6%、「20歳代」が8.0%となっている。

地域別にみると、志津小学校区、渋川小学校区、南笠東小学校区では「20歳代」と「30歳代」の合計が4分の1以上を占め、若年層の回答者が比較的多い。一方、笠縫東小学校区と常盤小学校区では「60歳代」と「70歳以上」の合計が半数以上を占め、高齢層の回答者が特に多い。

(3) 回答者の市内居住年数

図表 回答者の市内居住年数

		2年未満	2年以上 5年未満	5年以上 10年未満	10年以上 20年未満	20年以上	無回答	合計
全体		56 4.7%	85 7.1%	101 8.5%	197 16.5%	659 55.2%	95 8.0%	1,193 100.0%
地域	志津小学校区	2 2.5%	6 7.5%	8 10.0%	15 18.8%	49 61.3%	0 0.0%	80 100.0%
	志津南小学校区	3 6.3%	2 4.2%	8 16.7%	9 18.8%	26 54.2%	0 0.0%	48 100.0%
	草津小学校区	3 3.2%	6 6.3%	8 8.4%	13 13.7%	64 67.4%	1 1.1%	95 100.0%
	草津第二小学校区	1 1.1%	7 7.7%	11 12.1%	29 31.9%	43 47.3%	0 0.0%	91 100.0%
	渋川小学校区	11 12.9%	17 20.0%	8 9.4%	14 16.5%	34 40.0%	1 1.2%	85 100.0%
	矢倉小学校区	3 3.7%	6 7.3%	6 7.3%	16 19.5%	51 62.2%	0 0.0%	82 100.0%
	老上小学校区	5 6.9%	4 5.6%	14 19.4%	14 19.4%	35 48.6%	0 0.0%	72 100.0%
	老上西小学校区	2 3.9%	0 0.0%	8 15.7%	11 21.6%	30 58.8%	0 0.0%	51 100.0%
	玉川小学校区	7 8.5%	8 9.8%	9 11.0%	18 22.0%	38 46.3%	2 2.4%	82 100.0%
	南笠東小学校区	5 8.3%	4 6.7%	1 1.7%	9 15.0%	41 68.3%	0 0.0%	60 100.0%
	山田小学校区	1 1.5%	1 1.5%	2 3.0%	4 6.0%	59 88.1%	0 0.0%	67 100.0%
	笠縫小学校区	2 2.0%	4 4.0%	9 8.9%	11 10.9%	75 74.3%	0 0.0%	101 100.0%
	笠縫東小学校区	2 2.7%	5 6.7%	1 1.3%	12 16.0%	55 73.3%	0 0.0%	75 100.0%
	常盤小学校区	0 0.0%	2 3.9%	2 3.9%	7 13.7%	40 78.4%	0 0.0%	51 100.0%
	無回答・ 小学校区不明	9 5.9%	13 8.5%	6 3.9%	15 9.8%	19 12.4%	91 59.5%	153 100.0%

回答者の市内居住年数は、「20年以上」が55.2%で最も多く、以下、「10年以上20年未満」が16.5%、「5年以上10年未満」が8.5%、「2年以上5年未満」が7.1%、「2年未満」が4.7%となっている。

地域別にみると、渋川小学校区では5年未満が3割以上を占め、居住年数が比較的短い人が多い。一方、山田小学校区、笠縫小学校区、笠縫東小学校区、常盤小学校区では「20年以上」が7割以上を占め、居住年数が長い人が多い。

(4) 回答者の職業

図表 回答者の職業

		自営業主	家族従事者	民間企業・団体 (従業員20人未満)勤務	民間企業・団体 (従業員20人以上)勤務	公務員、 教員、団体職員	学生	家事専業	無職	その他	無回答	合計
全体		38 3.2%	15 1.3%	83 7.0%	385 32.3%	75 6.3%	27 2.3%	184 15.4%	232 19.4%	46 3.9%	108 9.1%	1,193 100.0%
地域	志津小学校区	2 2.5%	1 1.3%	8 10.0%	28 35.0%	6 7.5%	7 8.8%	11 13.8%	10 12.5%	6 7.5%	1 1.3%	80 100.0%
	志津南小学校区	1 2.1%	0 0.0%	5 10.4%	13 27.1%	4 8.3%	0 0.0%	13 27.1%	10 20.8%	2 4.2%	0 0.0%	48 100.0%
	草津小学校区	5 5.3%	2 2.1%	9 9.5%	31 32.6%	4 4.2%	2 2.1%	19 20.0%	18 18.9%	4 4.2%	1 1.1%	95 100.0%
	草津第二小学校区	4 4.4%	0 0.0%	5 5.5%	38 41.8%	6 6.6%	1 1.1%	18 19.8%	14 15.4%	2 2.2%	3 3.3%	91 100.0%
	渋川小学校区	4 4.7%	0 0.0%	7 8.2%	39 45.9%	7 8.2%	1 1.2%	14 16.5%	10 11.8%	3 3.5%	0 0.0%	85 100.0%
	矢倉小学校区	1 1.2%	0 0.0%	2 2.4%	21 25.6%	10 12.2%	0 0.0%	14 17.1%	30 36.6%	2 2.4%	2 2.4%	82 100.0%
	老上小学校区	2 2.8%	4 5.6%	4 5.6%	22 30.6%	2 2.8%	0 0.0%	16 22.2%	19 26.4%	3 4.2%	0 0.0%	72 100.0%
	老上西小学校区	4 7.8%	0 0.0%	4 7.8%	20 39.2%	1 2.0%	0 0.0%	7 13.7%	13 25.5%	1 2.0%	1 2.0%	51 100.0%
	玉川小学校区	3 3.7%	1 1.2%	2 2.4%	36 43.9%	6 7.3%	1 1.2%	13 15.9%	15 18.3%	5 6.1%	0 0.0%	82 100.0%
	南笠東小学校区	1 1.7%	1 1.7%	7 11.7%	19 31.7%	5 8.3%	6 10.0%	6 10.0%	12 20.0%	3 5.0%	0 0.0%	60 100.0%
	山田小学校区	3 4.5%	2 3.0%	5 7.5%	20 29.9%	3 4.5%	2 3.0%	13 19.4%	14 20.9%	4 6.0%	1 1.5%	67 100.0%
	笠縫小学校区	2 2.0%	1 1.0%	8 7.9%	32 31.7%	10 9.9%	3 3.0%	15 14.9%	27 26.7%	3 3.0%	0 0.0%	101 100.0%
	笠縫東小学校区	3 4.0%	1 1.3%	6 8.0%	23 30.7%	5 6.7%	1 1.3%	13 17.3%	19 25.3%	3 4.0%	1 1.3%	75 100.0%
	常盤小学校区	2 3.9%	1 2.0%	5 9.8%	15 29.4%	3 5.9%	2 3.9%	6 11.8%	13 25.5%	3 5.9%	1 2.0%	51 100.0%
	無回答・ 小学校区不明	1 0.7%	1 0.7%	6 3.9%	28 18.3%	3 2.0%	1 0.7%	6 3.9%	8 5.2%	2 1.3%	97 63.4%	153 100.0%

回答者の職業は、「民間企業・団体（従業員20人以上）勤務」が32.3%で最も多く、以下、「無職」が19.4%、「家事専業」が15.4%、「民間企業・団体（従業員20人未満）勤務」が7.0%、「公務員、教員、団体職員」が6.3%などとなっている。

地域別にみると、全体の回答傾向と大差はみられないが、「民間企業・団体（従業員20人以上）勤務」は、草津第二小学校区、渋川小学校区、玉川小学校区では4割以上とやや多い。また、「無職」は、矢倉小学校区では3分の1以上を占め、他の地域に比べて多い。同様に、「家事専業」は、志津南小学校区、老上小学校区、草津小学校区では20%台とやや多い。

(5) 回答者の居住地域（小学校区）

図表 居住地域（小学校区）ごとの調査票配付数及び有効回答数

	配布数		有効回答数	
	件数	構成比	件数	構成比
志津小学校区	289	9.6%	80	6.7%
志津南小学校区	132	4.4%	48	4.0%
草津小学校区	250	8.3%	95	8.0%
草津第二小学校区	260	8.7%	91	7.6%
渋川小学校区	220	7.3%	85	7.1%
矢倉小学校区	222	7.4%	82	6.9%
老上小学校区	211	7.0%	72	6.0%
老上西小学校区	182	6.1%	51	4.3%
玉川小学校区	278	9.3%	82	6.9%
南笠東小学校区	189	6.3%	60	5.0%
山田小学校区	178	5.9%	67	5.6%
笠縫小学校区	242	8.1%	101	8.5%
笠縫東小学校区	236	7.9%	75	6.3%
常盤小学校区	111	3.7%	51	4.3%
無回答・小学校区不明			153	12.8%
合計	3,000	100.0%	1,193	100.0%

回答者の居住地域（小学校区）は、「無回答・小学校区不明」（12.8%）を除き、「笠縫小学校区」が8.5%で最も多く、以下、「草津小学校区」が8.0%、「草津第二小学校区」が7.6%、「渋川小学校区」が7.1%、「矢倉小学校区」と「玉川小学校区」がともに6.9%などとなっている。

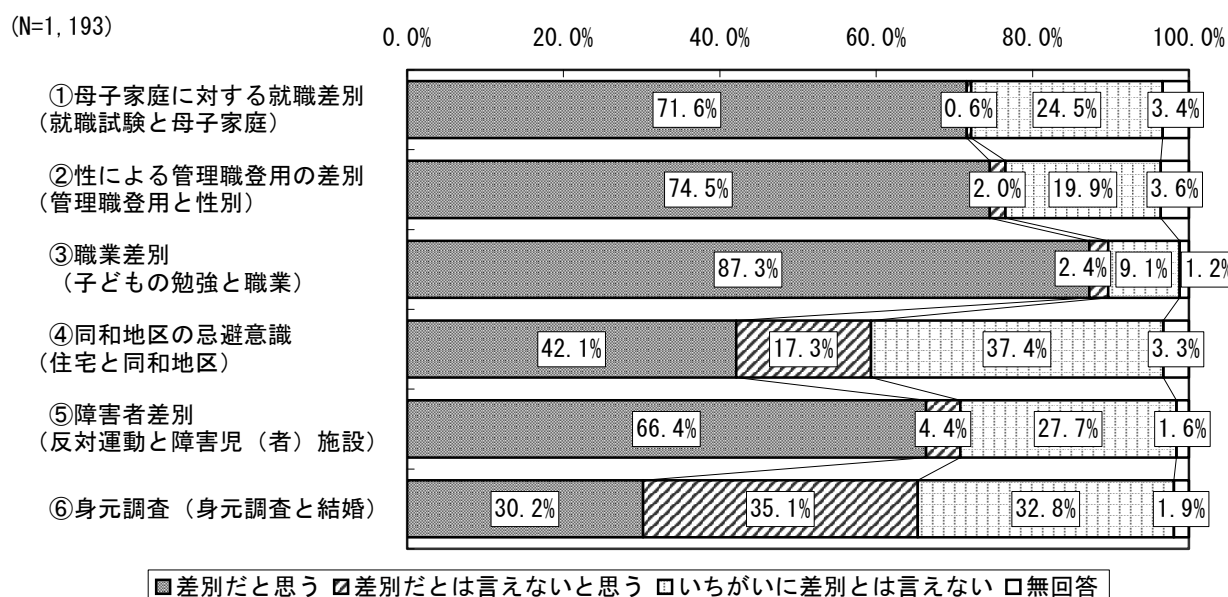
第2章 調査の結果

第2章 調査の結果

1 差別についての考え方

質問1. 日本国憲法の第14条には、「すべての国民は、法の下に平等であつて、人種、信条、性別、社会的身分又は門地により、政治的、経済的又は社会的関係において差別されない」と規定されています。しかし、「差別」とはどういうことか、いろいろと考え方の違いがあるようです。そこで、次の①から⑥のそれぞれについて、お考えに最も近いものを1つだけ選び、○をつけてください。

図表 差別についての考え方



差別についての考え方をたずねたところ、「差別だと思う」が最も多いのは「③職業差別 (子どもの勉強と職業)」(87.3%)で、以下、「②性による管理職登用の差別 (管理職登用と性別)」(74.5%)、「①母子家庭に対する就職差別 (就職試験と母子家庭)」(71.6%)、「⑤障害者差別 (反対運動と障害児 (者) 施設)」(66.4%) などとなっている。一方、「差別だとは言えないと思う」が最も多いのは「⑥身元調査 (身元調査と結婚)」(35.1%)で、次いで「④同和地区の忌避意識 (住宅と同和地区)」(17.3%) となっている。

「いちがいに差別とは言えない」が最も多いのは「④同和地区の忌避意識 (住宅と同和地区)」(37.4%)で、以下、「⑥身元調査 (身元調査と結婚)」(32.8%)、「⑤障害者差別 (反対運動と障害児 (者) 施設)」(27.7%) などとなっている。

なお、差別に対する意識の度合いをより明確にするため、「差別だと思う」に3点、「いちがいに差別とは言えない」に2点、「差別だとは言えないと思う」に1点と配点し、「無回答」を除いた回答者を集計母数として平均スコアを算出した。

- ① Aさん（男性）とBさん（男性）が、ある会社の入社試験を受けました。100点満点で、Aさんは80点を取り、Bさんは75点でした。ところが、Aさんは父親がなく、Bさんは両親が健在なことがわかりました。そこで、会社は、両親が健在であるBさんを採用しました。このことについて、あなたはどのように思いますか。

図表 差別についての考え方「母子家庭に対する就職差別（就職試験と母子家庭）」

		差別だと思う	差別だとは言えないと思う	いちがいに差別とは言えない	無回答	合計	平均
全体		854	7	292	40	1,193	2.73
		71.6%	0.6%	24.5%	3.4%	100.0%	
地域	志津小学校区	54	1	20	5	80	2.71
		67.5%	1.3%	25.0%	6.3%	100.0%	
	志津南小学校区	33	0	14	1	48	2.70
		68.8%	0.0%	29.2%	2.1%	100.0%	
	草津小学校区	74	0	17	4	95	2.81
		77.9%	0.0%	17.9%	4.2%	100.0%	
	草津第二小学校区	61	0	29	1	91	2.68
		67.0%	0.0%	31.9%	1.1%	100.0%	
	渋川小学校区	60	0	22	3	85	2.73
		70.6%	0.0%	25.9%	3.5%	100.0%	
	矢倉小学校区	65	0	15	2	82	2.81
		79.3%	0.0%	18.3%	2.4%	100.0%	
	老上小学校区	49	0	20	3	72	2.71
		68.1%	0.0%	27.8%	4.2%	100.0%	
	老上西小学校区	33	2	15	1	51	2.62
		64.7%	3.9%	29.4%	2.0%	100.0%	
	玉川小学校区	58	1	18	5	82	2.74
		70.7%	1.2%	22.0%	6.1%	100.0%	
	南笠東小学校区	51	0	9	0	60	2.85
		85.0%	0.0%	15.0%	0.0%	100.0%	
	山田小学校区	43	0	19	5	67	2.69
		64.2%	0.0%	28.4%	7.5%	100.0%	
	笠縫小学校区	76	1	21	3	101	2.77
		75.2%	1.0%	20.8%	3.0%	100.0%	
	笠縫東小学校区	54	0	21	0	75	2.72
		72.0%	0.0%	28.0%	0.0%	100.0%	
	常盤小学校区	35	2	12	2	51	2.67
		68.6%	3.9%	23.5%	3.9%	100.0%	
	無回答・小学校区不明	108	0	40	5	153	2.73
		70.6%	0.0%	26.1%	3.3%	100.0%	
2013年調査		887	22	419	41	1,369	2.65
		64.8%	1.6%	30.6%	3.0%	100.0%	
2008年調査		71	1	20	1	93	2.73
		76.3%	1.1%	21.5%	1.1%	100.0%	
2003年調査		821	21	339	39	1,220	2.68
		67.3%	1.7%	27.8%	3.2%	100.0%	

「差別だと思う」が71.6%、「差別だとは言えないと思う」が0.6%、「いちがいに差別とは言えない」が24.5%となっており、平均スコアは2.73点となっている。過去3回の調査と比較すると、前回低下してしていた平均スコアは再び上昇に転じており、2008年度と並んで「差別だと思う」意識が最も強くなっている。

地域別にみると、平均スコアは、草津小学校区、矢倉小学校区、南笠東小学校区では2.80点以上で他の地域に比べてやや高く、「差別だと思う」意識が強い傾向がみられる。

性別にみると、平均スコアは、女性が2.77点、男性が2.69点となっており、「差別だと思う」意識は女性が強い傾向がみられる。また、「差別だと思う」は、女性（75.0%）が男性（68.1%）に比べて6.9ポイント多い。

年齢別にみると、平均スコアは20歳代が2.79点で最も高く、次いで40歳代が2.77点、50歳代、60歳代が2.73点となっている。いずれの年代も2.7点台となっており「差別だと思う」意識が比較的強い傾向がみられる。

- ② ある会社で、管理職職員の選考をして任用することになりました。Cさん（男性）とDさん（女性）が最終選考対象に残っています。Dさんは経験年数、勤務成績、知識、管理能力などの点ではむしろCさんに優っていると思われます。しかし、会社では男性であるCさんを管理職に登用しました。このことについて、あなたはどのように思いますか。

図表 差別についての考え方「性による管理職登用の差別（管理職登用と性別）」

		差別だと思う	差別だとは言えないと思う	いちがいに差別とは言えない	無回答	合計	平均
全体		889	24	237	43	1,193	2.75
		74.5%	2.0%	19.9%	3.6%	100.0%	
地域	志津小学校区	60	1	15	4	80	2.78
		75.0%	1.3%	18.8%	5.0%	100.0%	
	志津南小学校区	44	0	3	1	48	2.94
		91.7%	0.0%	6.3%	2.1%	100.0%	
	草津小学校区	70	2	19	4	95	2.75
		73.7%	2.1%	20.0%	4.2%	100.0%	
	草津第二小学校区	70	1	19	1	91	2.77
		76.9%	1.1%	20.9%	1.1%	100.0%	
	渋川小学校区	67	1	13	4	85	2.81
		78.8%	1.2%	15.3%	4.7%	100.0%	
	矢倉小学校区	65	3	11	3	82	2.78
		79.3%	3.7%	13.4%	3.7%	100.0%	
	老上小学校区	51	1	17	3	72	2.72
		70.8%	1.4%	23.6%	4.2%	100.0%	
	老上西小学校区	35	4	10	2	51	2.63
		68.6%	7.8%	19.6%	3.9%	100.0%	
	玉川小学校区	54	1	22	5	82	2.69
		65.9%	1.2%	26.8%	6.1%	100.0%	
	南笠東小学校区	50	0	10	0	60	2.83
		83.3%	0.0%	16.7%	0.0%	100.0%	
	山田小学校区	44	2	15	6	67	2.69
		65.7%	3.0%	22.4%	9.0%	100.0%	
	笠縫小学校区	83	3	12	3	101	2.82
		82.2%	3.0%	11.9%	3.0%	100.0%	
	笠縫東小学校区	56	3	16	0	75	2.71
		74.7%	4.0%	21.3%	0.0%	100.0%	
	常盤小学校区	34	2	13	2	51	2.65
		66.7%	3.9%	25.5%	3.9%	100.0%	
	無回答・小学校区不明	106	0	42	5	153	2.72
		69.3%	0.0%	27.5%	3.3%	100.0%	
2013年調査		942	22	366	39	1,369	2.69
		68.8%	1.6%	26.7%	2.8%	100.0%	
2008年調査		739	29	243	29	1,040	2.70
		71.1%	2.8%	23.4%	2.8%	100.0%	
2003年調査		837	46	306	31	1,220	2.67
		68.6%	3.8%	25.1%	2.5%	100.0%	

「差別だと思う」が74.5%、「差別だとは言えないと思う」が2.0%、「いちがいに差別とは言えない」が19.9%となっており、平均スコアは2.75点となっている。過去3回の調査と比較すると、平均スコアはおおむね上昇傾向となっている。

地域別にみると、平均スコアは志津南小学校区、渋川小学校区、南笠東小学校区、笠縫小学校区では2.80点以上で他の地域に比べてやや高く、「差別だと思う」意識が強い傾向がみられる。

性別にみると、平均スコアは男性が2.76点、女性が2.74点となっており、「差別だと思う」意識の男女差は小さい。

年齢別にみると、平均スコアは40歳代が2.81点で最も高く、次いで、50歳代が2.78点、30歳代が2.77点となっている。一方、70歳以上が2.67点で最も低く、次いで、20歳代が2.75点となっており、顕著ではないが、「差別だと思う」意識は20歳代から40歳代にかけて強くなり、40歳代をピークに弱くなる傾向がみられる。

- ③ 子どもが勉強しないので、親が叱っていました。そのとき、急に雨が降り出し、道路の工事をしていた人が向かいの家の軒下に雨やどりに行きました。それを見て、親は子どもに、「しっかり勉強しないと、あの人たちのような仕事をするようになるよ」と言いました。このことについて、あなたはどのように思いますか。

図表 差別についての考え方「職業差別（子どもの勉強と職業）」

		差別だと思う	差別だとは言えないと思う	いちがいに差別とは言えない	無回答	合計	平均
全体		1,041	29	109	14	1,193	2.86
		87.3%	2.4%	9.1%	1.2%	100.0%	
地域	志津小学校区	77	0	2	1	80	2.97
		96.3%	0.0%	2.5%	1.3%	100.0%	
	志津南小学校区	43	1	4	0	48	2.88
		89.6%	2.1%	8.3%	0.0%	100.0%	
	草津小学校区	83	2	9	1	95	2.86
		87.4%	2.1%	9.5%	1.1%	100.0%	
	草津第二小学校区	82	2	6	1	91	2.89
		90.1%	2.2%	6.6%	1.1%	100.0%	
	渋川小学校区	71	1	10	3	85	2.85
		83.5%	1.2%	11.8%	3.5%	100.0%	
	矢倉小学校区	71	4	6	1	82	2.83
		86.6%	4.9%	7.3%	1.2%	100.0%	
	老上小学校区	61	2	9	0	72	2.82
		84.7%	2.8%	12.5%	0.0%	100.0%	
	老上西小学校区	42	2	5	2	51	2.82
		82.4%	3.9%	9.8%	3.9%	100.0%	
	玉川小学校区	76	1	4	1	82	2.93
		92.7%	1.2%	4.9%	1.2%	100.0%	
	南笠東小学校区	50	2	7	1	60	2.81
		83.3%	3.3%	11.7%	1.7%	100.0%	
	山田小学校区	60	1	6	0	67	2.88
		89.6%	1.5%	9.0%	0.0%	100.0%	
	笠縫小学校区	88	1	12	0	101	2.86
		87.1%	1.0%	11.9%	0.0%	100.0%	
	笠縫東小学校区	68	3	3	1	75	2.88
		90.7%	4.0%	4.0%	1.3%	100.0%	
	常盤小学校区	46	0	5	0	51	2.90
		90.2%	0.0%	9.8%	0.0%	100.0%	
	無回答・小学校区不明	123	7	21	2	153	2.77
		80.4%	4.6%	13.7%	1.3%	100.0%	
2013年調査		1,152	58	132	27	1,369	2.82
		84.1%	4.2%	9.6%	2.0%	100.0%	
2008年調査		885	43	85	27	1,040	2.83
		85.1%	4.1%	8.2%	2.6%	100.0%	
2003年調査		1,042	62	85	31	1,220	2.82
		85.4%	5.1%	7.0%	2.5%	100.0%	

「差別だと思う」が87.3%、「差別だとは言えないと思う」が2.4%、「いちがいに差別とは言えない」が9.1%となっており、平均スコアは2.86点となっている。過去3回の調査と比較すると、平均スコアはほぼ横ばいだった過去3回よりやや上昇している。

地域別にみると、平均スコアは志津小学校区が2.97点で最も高く、小学校区不明を除くいずれの地域も2.80点以上の高い平均スコアを示しており、全体として「差別だと思う」意識が強い傾向がみられる。

性別にみると、平均スコアは女性が2.89点、男性が2.82点となっており、「差別だと思う」意識が女性が高い傾向がみられる。また、「差別だと思う」は、女性（89.8%）が男性（84.5%）に比べて5.3ポイント多い。

年齢別にみると、平均スコアは50歳代が2.92点で最も高く、いずれの年代も2.80点以上となっており、全体として「差別だと思う」意識が強い傾向がみられる。

- ④ Eさんは、ある町で条件にあった家を見つけたので買おうとしました。ところが、その新しい家は同和地区にあることがわかりました。そこで、子どものいるEさんは、その家を買うことを見合わせました。このことについて、あなたはどのように思いますか。

図表 差別についての考え方「同和地区の忌避意識（住宅と同和地区）」

		差別だと思う	差別だとは言えないと思う	いちがいに差別とは言えない	無回答	合計	平均	
全体		502 42.1%	206 17.3%	446 37.4%	39 3.3%	1,193 100.0%	2.26	
地域	志津小学校区	36 45.0%	10 12.5%	31 38.8%	3 3.8%	80 100.0%	2.34	
	志津南小学校区	19 39.6%	9 18.8%	18 37.5%	2 4.2%	48 100.0%	2.22	
	草津小学校区	42 44.2%	17 17.9%	32 33.7%	4 4.2%	95 100.0%	2.27	
	草津第二小学校区	40 44.0%	16 17.6%	33 36.3%	2 2.2%	91 100.0%	2.27	
	渋川小学校区	40 47.1%	16 18.8%	26 30.6%	3 3.5%	85 100.0%	2.29	
	矢倉小学校区	29 35.4%	21 25.6%	27 32.9%	5 6.1%	82 100.0%	2.10	
	老上小学校区	27 37.5%	19 26.4%	26 36.1%	0 0.0%	72 100.0%	2.11	
	老上西小学校区	22 43.1%	12 23.5%	15 29.4%	2 3.9%	51 100.0%	2.20	
	玉川小学校区	27 32.9%	12 14.6%	39 47.6%	4 4.9%	82 100.0%	2.19	
	南笠東小学校区	24 40.0%	12 20.0%	23 38.3%	1 1.7%	60 100.0%	2.20	
	山田小学校区	36 53.7%	7 10.4%	23 34.3%	1 1.5%	67 100.0%	2.44	
	笠縫小学校区	44 43.6%	14 13.9%	41 40.6%	2 2.0%	101 100.0%	2.30	
	笠縫東小学校区	37 49.3%	12 16.0%	24 32.0%	2 2.7%	75 100.0%	2.34	
	常盤小学校区	29 56.9%	6 11.8%	14 27.5%	2 3.9%	51 100.0%	2.47	
	無回答・小学校区不明	50 32.7%	23 15.0%	74 48.4%	6 3.9%	153 100.0%	2.18	
	2013年調査		505 36.9%	228 16.7%	592 43.2%	44 3.2%	1,369 100.0%	2.21
	2008年調査		534 51.3%	119 11.4%	324 31.2%	63 6.1%	1,040 100.0%	2.42
	2003年調査		612 50.2%	178 14.6%	379 31.1%	51 4.2%	1,220 100.0%	2.34

「差別だと思う」が42.1%、「差別だとは言えないと思う」が17.3%、「いちがいに差別とは言えない」が37.4%となっており、平均スコアは2.26点となっている。過去3回の調査と比較すると、平均スコアは前回に次いで低く、「差別だとは言えないと思う」に近い意識となっている。

地域別にみると、平均スコアは常盤小学校区が2.47点で最も高く、次いで、山田小学校区が2.44点と続いている。一方、矢倉小学校区が2.10点で最も低く、「差別だとは言えないと思う」意識に最も近い。

性別にみると、平均スコアは男性が2.28点、女性が2.25点となっており、「差別だと思う」意識の男女差は小さい。「差別だと思う」は男性（45.5%）が女性（40.0%）に比べて5.5ポイント多い。

年齢別にみると、平均スコアは50歳代が2.35点で最も高く、70歳以上が2.31点、60歳代が2.30点となっており、50歳代以上では「差別だと思う」意識が強い傾向がみられる。

- ⑤ ある市で障害児（者）の施設が、住宅街に建設されることになりましたが、地元の住民がその施設の建設に反対しました。このことについて、あなたはどのように思いますか。

図表 差別についての考え方「障害者差別（反対運動と障害児（者）施設）」

		差別だと思う	差別だとは言えないと思う	いちがいに差別とは言えない	無回答	合計	平均
全体		792	52	330	19	1,193	2.63
		66.4%	4.4%	27.7%	1.6%	100.0%	
地域	志津小学校区	53	3	22	2	80	2.64
		66.3%	3.8%	27.5%	2.5%	100.0%	
	志津南小学校区	35	0	13	0	48	2.73
		72.9%	0.0%	27.1%	0.0%	100.0%	
	草津小学校区	57	7	29	2	95	2.54
		60.0%	7.4%	30.5%	2.1%	100.0%	
	草津第二小学校区	65	4	22	0	91	2.67
		71.4%	4.4%	24.2%	0.0%	100.0%	
	渋川小学校区	60	2	20	3	85	2.71
		70.6%	2.4%	23.5%	3.5%	100.0%	
	矢倉小学校区	59	1	20	2	82	2.73
		72.0%	1.2%	24.4%	2.4%	100.0%	
	老上小学校区	48	3	21	0	72	2.63
		66.7%	4.2%	29.2%	0.0%	100.0%	
	老上西小学校区	29	5	15	2	51	2.49
		56.9%	9.8%	29.4%	3.9%	100.0%	
	玉川小学校区	58	5	18	1	82	2.65
		70.7%	6.1%	22.0%	1.2%	100.0%	
	南笠東小学校区	45	2	13	0	60	2.72
		75.0%	3.3%	21.7%	0.0%	100.0%	
	山田小学校区	41	3	22	1	67	2.58
		61.2%	4.5%	32.8%	1.5%	100.0%	
	笠縫小学校区	69	6	26	0	101	2.62
		68.3%	5.9%	25.7%	0.0%	100.0%	
	笠縫東小学校区	54	2	18	1	75	2.70
		72.0%	2.7%	24.0%	1.3%	100.0%	
	常盤小学校区	37	1	13	0	51	2.71
		72.5%	2.0%	25.5%	0.0%	100.0%	
	無回答・小学校区不明	82	8	58	5	153	2.50
		53.6%	5.2%	37.9%	3.3%	100.0%	
2013年調査		952	59	318	40	1,369	2.67
		69.5%	4.3%	23.2%	2.9%	100.0%	
2008年調査		763	27	205	45	1,040	2.74
		73.4%	2.6%	19.7%	4.3%	100.0%	
2003年調査		925	33	215	47	1,220	2.68
		75.8%	2.7%	17.6%	3.9%	100.0%	

「差別だと思う」が66.4%、「差別だとは言えないと思う」が4.4%、「いちがいに差別とは言えない」が27.7%となっており、平均スコアは2.63点となっている。過去3回の調査と比較すると、平均スコアは前回に比べて0.04ポイント低下して過去4回の調査で最低の数値となっており、横ばいなし低下の傾向がみられる。

地域別にみると、平均スコアは志津南小学校区と矢倉小学校区が2.73点で最も高く、以下、渋川小学校区、南笠東小学校区、笠縫東小学校区、常盤小学校区が2.7点台で続いており、これらの地域では「差別だと思う」意識が比較的強い傾向がみられる。

性別にみると、平均スコアは女性が2.65点、男性が2.59点となっており、「差別だと思う」意識は女性が強い傾向がみられる。また、「差別だと思う」は、女性（68.0%）が男性（64.0%）に比べて4.0ポイント多い。

年齢別にみると、平均スコアは70歳以上が2.68点で最も高く、次いで50歳代と60歳代が2.64点、20歳代が2.60点となっている。また、いずれの年代でも2.58点～2.68点で、大差はない。

- ⑥ Fさんが好きになり、結婚したいと思う人を家族に紹介したところ、「よさそうな人じゃないか」と親は言い、その後交際を続けていました。数カ月たって、親が「結婚すれば、あとあと親せきづきあいもしていかなければならないから、相手の身元もよく調べておかなければ」と言いました。このことについて、あなたはどのように思いますか。

図表 差別についての考え方「身元調査（身元調査と結婚）」

		差別だと思 う	差別だとは思 言えないと思 う	いちがいに 差別とは言 えない	無回答	合計	平均
全体		360 30.2%	419 35.1%	391 32.8%	23 1.9%	1,193 100.0%	1.95
地域	志津小学校区	24 30.0%	24 30.0%	29 36.3%	3 3.8%	80 100.0%	2.00
	志津南小学校区	11 22.9%	26 54.2%	10 20.8%	1 2.1%	48 100.0%	1.68
	草津小学校区	29 30.5%	31 32.6%	32 33.7%	3 3.2%	95 100.0%	1.98
	草津第二小学校区	20 22.0%	44 48.4%	27 29.7%	0 0.0%	91 100.0%	1.74
	渋川小学校区	25 29.4%	32 37.6%	25 29.4%	3 3.5%	85 100.0%	1.91
	矢倉小学校区	29 35.4%	30 36.6%	22 26.8%	1 1.2%	82 100.0%	1.99
	老上小学校区	14 19.4%	38 52.8%	19 26.4%	1 1.4%	72 100.0%	1.66
	老上西小学校区	17 33.3%	15 29.4%	18 35.3%	1 2.0%	51 100.0%	2.04
	玉川小学校区	27 32.9%	29 35.4%	24 29.3%	2 2.4%	82 100.0%	1.98
	南笠東小学校区	19 31.7%	20 33.3%	20 33.3%	1 1.7%	60 100.0%	1.98
	山田小学校区	27 40.3%	18 26.9%	21 31.3%	1 1.5%	67 100.0%	2.14
	笠縫小学校区	32 31.7%	39 38.6%	29 28.7%	1 1.0%	101 100.0%	1.93
	笠縫東小学校区	22 29.3%	21 28.0%	31 41.3%	1 1.3%	75 100.0%	2.01
	常盤小学校区	24 47.1%	6 11.8%	20 39.2%	1 2.0%	51 100.0%	2.36
	無回答・ 小学校区不明	40 26.1%	46 30.1%	64 41.8%	3 2.0%	153 100.0%	1.96
2013年調査		459 33.5%	458 33.5%	412 30.1%	40 2.9%	1,369 100.0%	2.00
2008年調査		430 41.3%	306 29.4%	252 24.2%	52 5.0%	1,040 100.0%	2.13
2003年調査		409 33.5%	454 37.2%	323 26.5%	34 2.8%	1,220 100.0%	1.96

「差別だとは言えないと思う」が35.1%で「差別だと思う」（30.2%）を上回り、「いちがいに差別とは言えない」が32.8%となっており、平均スコアは1.95点となっている。過去3回の調査と比較すると、平均スコアは前回に比べて0.05ポイント低下し、「差別だとは言えないと思う」という意識になっている。

地域別にみると、平均スコアは志津小学校区、老上西小学校区、山田小学校区、笠縫東小学校区、常盤小学校区が2.00点以上であるのを除き、いずれの地域も2.00点未満で「差別だとは言えないと思う」意識が強い傾向がみられる。

性別にみると、「差別だと思う」は、男性（31.9%）が女性（29.2%）に比べて2.7ポイント多い。

年齢別にみると、平均スコアは40歳代が2.03点で最も高く、次いで70歳以上が2.00点となっている。一方、他の年代は2.00点未満となっており、「差別だとは言えないと思う」意識が強い傾向がみられる。

【差別についての態度スコア】

図表 差別についての態度スコア

		18～17点	16～14点	13～11点	10～8点	7～6点	合計	平均
全体		339	585	247	21	1	1,193	15.10
		28.4%	49.0%	20.7%	1.8%	0.1%	100.0%	
地域	志津小学校区	26	37	17	0	0	80	15.31
		32.5%	46.3%	21.3%	0.0%	0.0%	100.0%	
	志津南小学校区	9	30	9	0	0	48	15.10
		18.8%	62.5%	18.8%	0.0%	0.0%	100.0%	
	草津小学校区	27	45	22	1	0	95	15.12
		28.4%	47.4%	23.2%	1.1%	0.0%	100.0%	
	草津第二小学校区	19	52	19	1	0	91	14.98
		20.9%	57.1%	20.9%	1.1%	0.0%	100.0%	
	渋川小学校区	28	37	19	1	0	85	15.19
		32.9%	43.5%	22.4%	1.2%	0.0%	100.0%	
	矢倉小学校区	23	40	18	1	0	82	15.16
		28.0%	48.8%	22.0%	1.2%	0.0%	100.0%	
	老上小学校区	14	37	17	4	0	72	14.60
		19.4%	51.4%	23.6%	5.6%	0.0%	100.0%	
	老上西小学校区	18	17	11	5	0	51	14.71
		35.3%	33.3%	21.6%	9.8%	0.0%	100.0%	
	玉川小学校区	23	40	18	1	0	82	15.06
		28.0%	48.8%	22.0%	1.2%	0.0%	100.0%	
	南笠東小学校区	19	31	10	0	0	60	15.38
		31.7%	51.7%	16.7%	0.0%	0.0%	100.0%	
	山田小学校区	20	35	10	1	1	67	15.28
		29.9%	52.2%	14.9%	1.5%	1.5%	100.0%	
	笠縫小学校区	34	46	19	2	0	101	15.25
		33.7%	45.5%	18.8%	2.0%	0.0%	100.0%	
	笠縫東小学校区	29	33	11	2	0	75	15.33
		38.7%	44.0%	14.7%	2.7%	0.0%	100.0%	
	常盤小学校区	18	25	8	0	0	51	15.69
		35.3%	49.0%	15.7%	0.0%	0.0%	100.0%	
	無回答・ 小学校区不明	32	80	39	2	0	153	14.78
		20.9%	52.3%	25.5%	1.3%	0.0%	100.0%	
2013年調査		397	617	297	55	3	1,369	14.96
		29.0%	45.1%	21.7%	4.0%	0.2%	100.0%	
2008年調査		381	456	185	18	0	1,040	15.42
		36.6%	43.8%	17.8%	1.7%	0.0%	100.0%	
2003年調査		379	580	213	44	4	1,220	15.16
		31.1%	47.5%	17.5%	3.6%	30.0%	100.0%	

①～⑥の差別に対する態度の全体的な傾向を把握するため、①～⑥項目の各選択肢に付与した配点（3～1点）の合計を算出した（ただし、「無回答」には2点を付与した）。このスコアは、最高18点から最低6点までの間のいずれかとなり、スコアが高いほど「差別だと思う」態度である度合いが強いことを示し、スコアが低いほど「差別だとは言えないと思う」態度である度合いが強いことを示すため、「差別についての態度スコア」と規定する。

結果をみると、全体では、「16～14点」が49.0%で最も多く、次いで「18～17点」が28.4%と続いており、これらで77.4%を占めている。態度スコアの平均は15.10点で、大半の人が項目全体について差別だと思っている傾向にあることがわかる。過去3回の調査と比較すると、態度スコアの平均は大きく低下した前回から0.14ポイント上昇して15点台に回復したが、それでも過去4回の調査では2番目に低いスコアとなっている。

地域別にみると、態度スコアの平均は常盤小学校区が15.69点で最も高く、逆に、老上小学校区が14.60点で最も低い。

性別にみると、態度スコアの平均は、女性（15.16点）が男性（15.05点）に比べてやや高い。

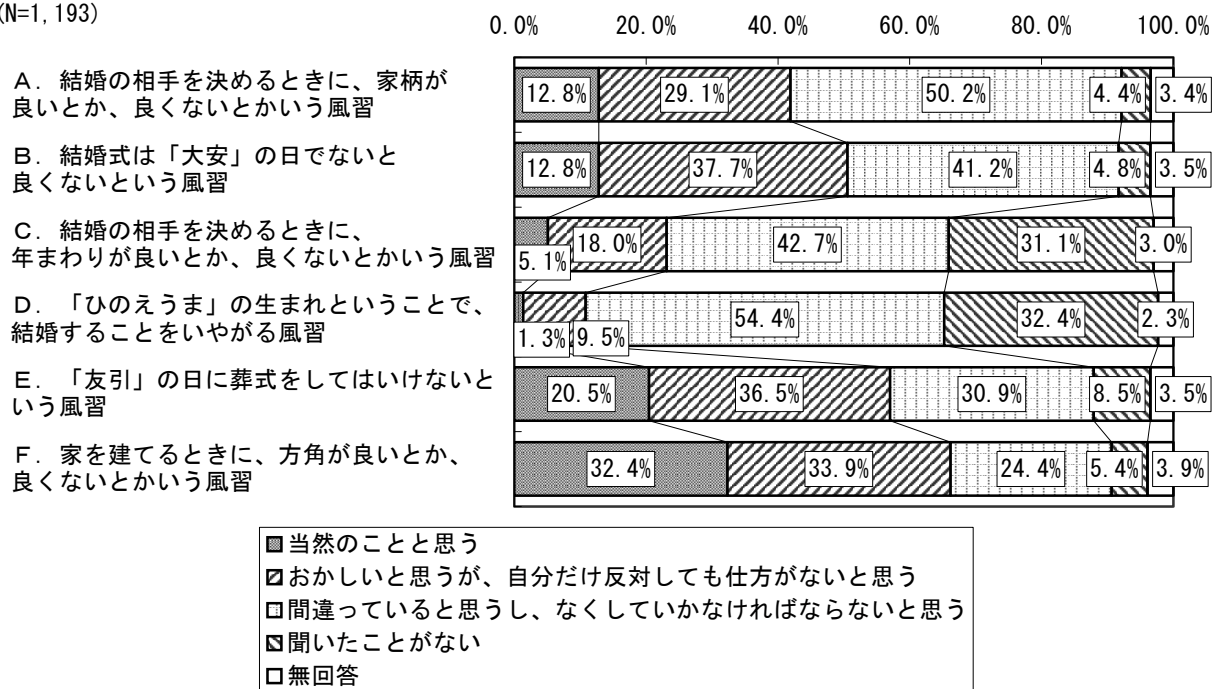
年齢別にみると、態度スコアの平均は、40歳代以上では15点台であるのに対し、20歳代から30歳代では14点台とやや低い。

2 風習・慣習に対する意識

質問2. 日本には、次のAからFのようなさまざまな風習があります。AからFそれぞれについて、お考えに最も近いものを1つだけ選び、○をつけてください。

図表 風習・慣習に対する意識

(N=1,193)



風習・慣習に対する意識をたずねたところ、「当然のことと思う」は「F. 家を建てるときに、方角が良いとか、良くないとかいう風習」(32.4%)が最も多く、以下、「E. 『友引』の日に葬式をしてはいけないという風習」(20.5%)、「A. 結婚の相手を決めるときに、家柄が良いとか、良くないとかいう風習」「B. 結婚式は『大安』の日でないと良くないという風習」(ともに12.8%)などとなっている。

「おかしいと思うが、自分だけ反対しても仕方がないと思う」は「B. 結婚式は『大安』の日でないと良くないという風習」(37.7%)が最も多く、以下、「E. 『友引』の日に葬式をしてはいけないという風習」(36.5%)、「F. 家を建てるときに、方角が良いとか、良くないとかいう風習」(33.9%)などとなっている。

「間違っていると思うし、なくしていかなければならないと思う」は「D. 『ひのえうま』の生まれということで、結婚することをいやがる風習」(54.4%)が最も多く、以下、「A. 結婚の相手を決めるときに、家柄が良いとか、良くないとかいう風習」(50.2%)、「C. 結婚の相手を決めるときに、年まわりが良いとか、良くないとかいう風習」(42.7%)などとなっている。

なお、風習・慣習に対する意識の度合いをより明確にするため、「当然のことと思う(いつも気にしている)」に1点、「おかしいと思うが、自分だけ反対しても仕方がないと思う」に2点、「間違っていると思うし、なくしていかなければならないと思う」に3点と配点し、「無回答」を除いた回答者を集計母数として平均スコアを算出した。

A. 結婚の相手を決めるときに、家柄が良いとか、良くないとかいう風習

図表 風習・慣習に対する意識「結婚の相手を決めるときに、家柄が良いとか、良くないとかいう風習」

		当然のこと と思う	おかしいと 思うが、自 分だけ反対 しても仕方 がないと思 う	間違ってい ると思う し、なくし ていかねば ならないと 思う	聞いたこと がない	無回答	合計	平均
全体		153 12.8%	347 29.1%	599 50.2%	53 4.4%	41 3.4%	1,193 100.0%	2.41
地域	志津小学校区	8 10.0%	25 31.3%	43 53.8%	4 5.0%	0 0.0%	80 100.0%	2.46
	志津南小学校区	8 16.7%	14 29.2%	22 45.8%	3 6.3%	1 2.1%	48 100.0%	2.32
	草津小学校区	13 13.7%	22 23.2%	49 51.6%	6 6.3%	5 5.3%	95 100.0%	2.43
	草津第二小学校区	13 14.3%	32 35.2%	41 45.1%	3 3.3%	2 2.2%	91 100.0%	2.33
	渋川小学校区	8 9.4%	22 25.9%	47 55.3%	1 1.2%	7 8.2%	85 100.0%	2.51
	矢倉小学校区	8 9.8%	22 26.8%	47 57.3%	2 2.4%	3 3.7%	82 100.0%	2.51
	老上小学校区	13 18.1%	26 36.1%	26 36.1%	6 8.3%	1 1.4%	72 100.0%	2.20
	老上西小学校区	7 13.7%	12 23.5%	26 51.0%	3 5.9%	3 5.9%	51 100.0%	2.42
	玉川小学校区	9 11.0%	25 30.5%	42 51.2%	3 3.7%	3 3.7%	82 100.0%	2.43
	南笠東小学校区	7 11.7%	17 28.3%	35 58.3%	1 1.7%	0 0.0%	60 100.0%	2.47
	山田小学校区	9 13.4%	22 32.8%	31 46.3%	4 6.0%	1 1.5%	67 100.0%	2.35
	笠縫小学校区	19 18.8%	22 21.8%	55 54.5%	2 2.0%	3 3.0%	101 100.0%	2.38
	笠縫東小学校区	8 10.7%	18 24.0%	44 58.7%	2 2.7%	3 4.0%	75 100.0%	2.51
	常盤小学校区	3 5.9%	14 27.5%	29 56.9%	4 7.8%	1 2.0%	51 100.0%	2.57
	無回答・ 小学校区不明	20 13.1%	54 35.3%	62 40.5%	9 5.9%	8 5.2%	153 100.0%	2.31
2013年調査		104 7.6%	368 26.9%	783 57.2%	44 3.2%	70 5.1%	1,369 100.0%	2.54
2008年調査		86 8.3%	229 22.0%	616 59.2%	33 3.2%	76 7.3%	1,040 100.0%	2.57
2003年調査		99 8.1%	316 25.9%	730 59.8%	---	75 6.1%	1,220 100.0%	2.55

「間違っていると思うし、なくしていかなければならないと思う」が50.2%で最も多く、以下、「おかしいと思うが、自分だけ反対しても仕方がないと思う」が29.1%、「当然のことと思う」が12.8%、「聞いたことがない」が4.4%となっており、平均スコアは2.41点となっている。過去3回の調査と比較すると、平均スコアは今回が最も低く、「間違っていると思うし、なくしていかなければならないと思う」意識が最も弱い。

地域別にみると、平均スコアは常盤小学校区が2.57点で最も高く、渋川小学校区、矢倉小学校区、笠縫東小学校区も2.5点台と高くなっており、これらの地域では「間違っていると思うし、なくしていかなければならないと思う」意識が比較的強い傾向がみられる。

性別にみると、平均スコアは男性が2.38点、女性が2.43点で、「間違っていると思うし、なくしていかなければならないと思う」意識は、女性が男性に比べてわずかに強い。

年齢別にみると、平均スコアは70歳以上が2.58点で最も高く、次いで60歳代が2.54点、20歳代が2.41点となっており、20歳代を除くと、年代が上がるほど「間違っていると思うし、なくしていかなければならないと思う」意識が強い傾向がみられる。

B. 結婚式は「大安」の日でないと良くないという風習

図表 風習・慣習に対する意識「結婚式は『大安』の日でないと良くないという風習」

		当然のこと と思う	おかしいと 思うが、自 分だけ反対 しても仕方 がないと思 う	間違ってい ると思う し、なくし ていかねば ならないと 思う	聞いたこと がない	無回答	合計	平均
全体		153 12.8%	450 37.7%	491 41.2%	57 4.8%	42 3.5%	1,193 100.0%	2.31
地域	志津小学校区	7 8.8%	36 45.0%	31 38.8%	4 5.0%	2 2.5%	80 100.0%	2.32
	志津南小学校区	6 12.5%	21 43.8%	19 39.6%	1 2.1%	1 2.1%	48 100.0%	2.28
	草津小学校区	13 13.7%	33 34.7%	42 44.2%	5 5.3%	2 2.1%	95 100.0%	2.33
	草津第二小学校区	14 15.4%	37 40.7%	35 38.5%	2 2.2%	3 3.3%	91 100.0%	2.24
	渋川小学校区	6 7.1%	30 35.3%	40 47.1%	3 3.5%	6 7.1%	85 100.0%	2.45
	矢倉小学校区	8 9.8%	32 39.0%	34 41.5%	6 7.3%	2 2.4%	82 100.0%	2.35
	老上小学校区	11 15.3%	29 40.3%	28 38.9%	3 4.2%	1 1.4%	72 100.0%	2.25
	老上西小学校区	5 9.8%	23 45.1%	20 39.2%	1 2.0%	2 3.9%	51 100.0%	2.31
	玉川小学校区	14 17.1%	30 36.6%	30 36.6%	4 4.9%	4 4.9%	82 100.0%	2.22
	南笠東小学校区	8 13.3%	20 33.3%	27 45.0%	2 3.3%	3 5.0%	60 100.0%	2.35
	山田小学校区	6 9.0%	22 32.8%	32 47.8%	6 9.0%	1 1.5%	67 100.0%	2.43
	笠縫小学校区	16 15.8%	32 31.7%	47 46.5%	4 4.0%	2 2.0%	101 100.0%	2.33
	笠縫東小学校区	11 14.7%	19 25.3%	37 49.3%	5 6.7%	3 4.0%	75 100.0%	2.39
	常盤小学校区	6 11.8%	17 33.3%	24 47.1%	2 3.9%	2 3.9%	51 100.0%	2.38
	無回答・ 小学校区不明	22 14.4%	69 45.1%	45 29.4%	9 5.9%	8 5.2%	153 100.0%	2.17
2013年調査		200 14.6%	534 39.0%	518 37.8%	36 2.6%	81 5.9%	1,369 100.0%	2.25
2008年調査		148 14.2%	363 34.9%	430 41.3%	26 2.5%	73 7.0%	1,040 100.0%	2.30
2003年調査		157 12.9%	472 38.7%	514 42.1%	---	77 6.3%	1,220 100.0%	2.31

「間違っていると思うし、なくしていかねばならないと思う」が41.2%で最も多く、以下、「おかしいと思うが、自分だけ反対しても仕方がないと思う」が37.7%、「当然のことと思う」が12.8%、「聞いたことがない」が4.8%となっており、平均スコアは2.31点となっている。過去3回の調査と比較すると、平均スコアは前回より0.06ポイント上昇し、過去4回の調査では2003年と並んで「間違っていると思うし、なくしていかねばならないと思う」意識が強くなっている。

地域別にみると、平均スコアは渋川小学校区が2.45点で最も高く、次いで山田小学校区が2.43点と2.4点台となっており、これらの地域では「間違っていると思うし、なくしていかねばならないと思う」意識が比較的高い傾向がみられる。

性別にみると、平均スコアは男性が2.27点、女性が2.34点で、いずれも「おかしいと思うが、自分だけ反対しても仕方がないと思う」意識に近い。

年齢別にみると、平均スコアは60歳代が2.45点で最も高く、次いで70歳以上が2.39点、50歳代が2.36点となっている。また、50歳代以上では、いずれの年代も2.30点以上となっており、「間違っていると思うし、なくしていかねばならないと思う」意識が強い傾向がみられる。

C. 結婚の相手を決めるときに、年まわりが良いとか、良くないとかいう風習

図表 風習・慣習に対する意識「結婚の相手を決めるときに、年まわりが良いとか、良くないとかいう風習」

		当然のこと と思う	おかしいと 思うが、自 分だけ反対 しても仕方 がないと思 う	間違ってい ると思う し、なくし ていかねば ならないと 思う	聞いたこと がない	無回答	合計	平均
全体		61 5.1%	215 18.0%	510 42.7%	371 31.1%	36 3.0%	1,193 100.0%	2.57
地域	志津小学校区	3 3.8%	15 18.8%	34 42.5%	26 32.5%	2 2.5%	80 100.0%	2.60
	志津南小学校区	2 4.2%	15 31.3%	15 31.3%	15 31.3%	1 2.1%	48 100.0%	2.41
	草津小学校区	8 8.4%	15 15.8%	36 37.9%	34 35.8%	2 2.1%	95 100.0%	2.47
	草津第二小学校区	7 7.7%	17 18.7%	35 38.5%	31 34.1%	1 1.1%	91 100.0%	2.47
	渋川小学校区	1 1.2%	14 16.5%	41 48.2%	25 29.4%	4 4.7%	85 100.0%	2.71
	矢倉小学校区	5 6.1%	10 12.2%	42 51.2%	22 26.8%	3 3.7%	82 100.0%	2.65
	老上小学校区	4 5.6%	12 16.7%	25 34.7%	30 41.7%	1 1.4%	72 100.0%	2.51
	老上西小学校区	2 3.9%	9 17.6%	24 47.1%	15 29.4%	1 2.0%	51 100.0%	2.63
	玉川小学校区	3 3.7%	13 15.9%	39 47.6%	22 26.8%	5 6.1%	82 100.0%	2.65
	南笠東小学校区	3 5.0%	9 15.0%	26 43.3%	21 35.0%	1 1.7%	60 100.0%	2.61
	山田小学校区	0 0.0%	13 19.4%	31 46.3%	20 29.9%	3 4.5%	67 100.0%	2.70
	笠縫小学校区	5 5.0%	18 17.8%	47 46.5%	29 28.7%	2 2.0%	101 100.0%	2.60
	笠縫東小学校区	5 6.7%	4 5.3%	43 57.3%	21 28.0%	2 2.7%	75 100.0%	2.73
	常盤小学校区	2 3.9%	14 27.5%	21 41.2%	12 23.5%	2 3.9%	51 100.0%	2.51
	無回答・ 小学校区不明	11 7.2%	37 24.2%	51 33.3%	48 31.4%	6 3.9%	153 100.0%	2.40
2013年調査		53 3.9%	241 17.6%	636 46.5%	374 27.3%	65 4.7%	1,369 100.0%	2.63
2008年調査		64 6.2%	164 15.8%	533 51.3%	204 19.6%	75 7.2%	1,040 100.0%	2.62
2003年調査		87 7.1%	283 23.2%	761 62.4%	---	89 7.3%	1,220 100.0%	2.60

「間違っていると思うし、なくしていかねばならないと思う」が42.7%で最も多く、以下、「聞いたことがない」が31.1%、「おかしいと思うが、自分だけ反対しても仕方がないと思う」が18.0%、「当然のことと思う」が5.1%となっており、平均スコアは2.57点となっている。過去3回の調査と比較すると、平均スコアは毎回上昇してきていたが今回は前回より0.06ポイント低下し、「間違っていると思うし、なくしていかねばならないと思う」意識が弱まっている。

地域別にみると、平均スコアは笠縫東小学校区が2.73点で最も高く、渋川小学校区、山田小学校区も2.7点台と高くなっており、これらの地域では「間違っていると思うし、なくしていかねばならないと思う」意識が比較的強い傾向がみられる。

性別にみると、平均スコアは男性が2.54点、女性が2.61点で、「間違っていると思うし、なくしていかねばならないと思う」意識は、女性が男性に比べてわずかに強い。

年齢別にみると、平均スコアは60歳代が2.68点で最も高くなっており、次いで50歳代と70歳以上が2.59点となっており、50歳代以上では「間違っていると思うし、なくしていかねばならないと思う」意識が比較的強い傾向がみられる。

D. 「ひのえうま」の生まれということで、結婚することをいやがる風習

図表 風習・慣習に対する意識「『ひのえうま』の生まれということで、結婚することをいやがる風習」

		当然のこと と思う	おかしいと 思うが、自 分だけ反対 しても仕方 がないと思 う	間違ってい ると思う し、なくし ていかねば ならないと 思う	聞いたこと がない	無回答	合計	平均
全体		16 1.3%	113 9.5%	649 54.4%	387 32.4%	28 2.3%	1,193 100.0%	2.81
地域	志津小学校区	1 1.3%	9 11.3%	36 45.0%	33 41.3%	1 1.3%	80 100.0%	2.76
	志津南小学校区	1 2.1%	8 16.7%	17 35.4%	21 43.8%	1 2.1%	48 100.0%	2.62
	草津小学校区	1 1.1%	11 11.6%	55 57.9%	27 28.4%	1 1.1%	95 100.0%	2.81
	草津第二小学校区	2 2.2%	11 12.1%	55 60.4%	22 24.2%	1 1.1%	91 100.0%	2.78
	渋川小学校区	0 0.0%	4 4.7%	54 63.5%	22 25.9%	5 5.9%	85 100.0%	2.93
	矢倉小学校区	1 1.2%	7 8.5%	52 63.4%	20 24.4%	2 2.4%	82 100.0%	2.85
	老上小学校区	2 2.8%	6 8.3%	36 50.0%	27 37.5%	1 1.4%	72 100.0%	2.77
	老上西小学校区	1 2.0%	3 5.9%	29 56.9%	17 33.3%	1 2.0%	51 100.0%	2.85
	玉川小学校区	1 1.2%	6 7.3%	45 54.9%	27 32.9%	3 3.7%	82 100.0%	2.85
	南笠東小学校区	1 1.7%	5 8.3%	34 56.7%	19 31.7%	1 1.7%	60 100.0%	2.83
	山田小学校区	0 0.0%	4 6.0%	39 58.2%	22 32.8%	2 3.0%	67 100.0%	2.91
	笠縫小学校区	0 0.0%	6 5.9%	61 60.4%	33 32.7%	1 1.0%	101 100.0%	2.91
	笠縫東小学校区	2 2.7%	4 5.3%	41 54.7%	27 36.0%	1 1.3%	75 100.0%	2.83
	常盤小学校区	0 0.0%	4 7.8%	29 56.9%	16 31.4%	2 3.9%	51 100.0%	2.88
	無回答・ 小学校区不明	3 2.0%	25 16.3%	66 43.1%	54 35.3%	5 3.3%	153 100.0%	2.67
2013年調査		17 1.2%	159 11.6%	728 53.2%	424 31.0%	41 3.0%	1,369 100.0%	2.79
2008年調査		20 1.9%	95 9.1%	650 62.5%	221 21.3%	54 5.2%	1,040 100.0%	2.82
2003年調査		19 1.6%	197 16.1%	919 75.3%	---	85 7.0%	1,220 100.0%	2.79

「間違っていると思うし、なくしていかなければならないと思う」が54.4%で最も多く、以下、「聞いたことがない」が32.4%、「おかしいと思うが、自分だけ反対しても仕方がないと思う」が9.5%、「当然のことと思う」が1.3%となっており、平均スコアは2.81点となっている。過去3回の調査と比較すると、今回は前回と比べて0.02ポイント上昇しており、「間違っていると思うし、なくしていかなければならないと思う」意識はほぼ2.80点前後で一定している。

地域別にみると、平均スコアは渋川小学校区、山田小学校区、笠縫小学校区では2.9点台で「間違っていると思うし、なくしていかなければならないと思う」意識が強い傾向がみられる。

性別にみると、平均スコアは男性が2.79点、女性が2.84点で、「間違っていると思うし、なくしていかなければならないと思う」意識は、女性が男性に比べてわずかに高い。

年齢別にみると、平均スコアは60歳代が2.89点で最も高くなっている。また、30歳代、50歳代、60歳代では2.8点台となっており、「間違っていると思うし、なくしていかなければならないと思う」意識が強い傾向がみられる。

Ｅ．「友引」の日に葬式をしてはいけないという風習

図表 風習・慣習に対する意識「『友引』の日に葬式をしてはいけないという風習」

		当然のこと と思う	おかしいと 思うが、自 分だけ反対 しても仕方 がないと思 う	間違ってい ると思う し、なくし ていかねば ならないと 思う	聞いたこと がない	無回答	合計	平均
全体		244 20.5%	436 36.5%	369 30.9%	102 8.5%	42 3.5%	1,193 100.0%	2.12
地域	志津小学校区	17 21.3%	25 31.3%	24 30.0%	10 12.5%	4 5.0%	80 100.0%	2.11
	志津南小学校区	11 22.9%	18 37.5%	15 31.3%	3 6.3%	1 2.1%	48 100.0%	2.09
	草津小学校区	22 23.2%	34 35.8%	26 27.4%	10 10.5%	3 3.2%	95 100.0%	2.05
	草津第二小学校区	20 22.0%	40 44.0%	24 26.4%	5 5.5%	2 2.2%	91 100.0%	2.05
	渋川小学校区	14 16.5%	27 31.8%	36 42.4%	5 5.9%	3 3.5%	85 100.0%	2.29
	矢倉小学校区	11 13.4%	29 35.4%	30 36.6%	10 12.2%	2 2.4%	82 100.0%	2.27
	老上小学校区	12 16.7%	28 38.9%	21 29.2%	9 12.5%	2 2.8%	72 100.0%	2.15
	老上西小学校区	12 23.5%	18 35.3%	15 29.4%	4 7.8%	2 3.9%	51 100.0%	2.07
	玉川小学校区	26 31.7%	28 34.1%	17 20.7%	7 8.5%	4 4.9%	82 100.0%	1.87
	南笠東小学校区	16 26.7%	23 38.3%	14 23.3%	4 6.7%	3 5.0%	60 100.0%	1.96
	山田小学校区	11 16.4%	26 38.8%	22 32.8%	5 7.5%	3 4.5%	67 100.0%	2.19
	笠縫小学校区	14 13.9%	40 39.6%	37 36.6%	9 8.9%	1 1.0%	101 100.0%	2.25
	笠縫東小学校区	14 18.7%	27 36.0%	25 33.3%	6 8.0%	3 4.0%	75 100.0%	2.17
	常盤小学校区	10 19.6%	17 33.3%	21 41.2%	1 2.0%	2 3.9%	51 100.0%	2.23
	無回答・ 小学校区不明	34 22.2%	56 36.6%	42 27.5%	14 9.2%	7 4.6%	153 100.0%	2.06
2013年調査		333 24.3%	544 39.7%	345 25.2%	99 7.2%	48 3.5%	1,369 100.0%	2.01
2008年調査		247 23.8%	375 36.1%	285 27.4%	65 6.3%	68 6.5%	1,040 100.0%	2.04
2003年調査		315 25.8%	496 40.7%	335 27.5%	---	74 6.1%	1,220 100.0%	2.02

「おかしいと思うが、自分だけ反対しても仕方がないと思う」が36.5%で最も多く、以下、「間違っていると思うし、なくしていかねばならないと思う」が30.9%、「当然のことと思う」が20.5%、「聞いたことがない」が8.5%となっており、平均スコアは2.12点となっている。過去3回の調査と比較すると、平均スコアは今回が最も高く、「間違っていると思うし、なくしていかねばならないと思う」意識が最も強い。

地域別にみると、平均スコアは、渋川小学校区が2.29点で最も高く、次いで、矢倉小学校区が2.27点となっている。玉川小学校区、南笠東小学校区は2.00点未満で、「おかしいと思うが、自分だけ反対しても仕方がないと思う」意識が強い傾向がみられる。

性別にみると、平均スコアは男性が2.21点、女性が2.06点で、ともに「おかしいと思うが、自分だけ反対しても仕方がないと思う」意識にあるが、男性は「間違っていると思うし、なくしていかねばならないと思う」により近い意識にある。

年齢別にみると、平均スコア60歳代が2.28点で最も高く、次いで70歳以上が2.20点となっており、60歳代以上では「間違っていると思うし、なくしていかねばならないと思う」意識が比較的強い傾向がみられる。

F. 家を建てるときに、方角が良いとか、良くないとかいう風習

図表 風習・慣習に対する意識「家を建てるときに、方角が良いとか、良くないとかいう風習」

		当然のこと と思う	おかしいと 思うが、自 分だけ反対 しても仕方 がないと思 う	間違ってい ると思う し、なくし ていかねば ならないと 思う	聞いたこと がない	無回答	合計	平均
全体		386 32.4%	404 33.9%	291 24.4%	65 5.4%	47 3.9%	1,193 100.0%	1.91
地域	志津小学校区	30 37.5%	22 27.5%	21 26.3%	6 7.5%	1 1.3%	80 100.0%	1.88
	志津南小学校区	20 41.7%	14 29.2%	10 20.8%	2 4.2%	2 4.2%	48 100.0%	1.77
	草津小学校区	36 37.9%	25 26.3%	23 24.2%	5 5.3%	6 6.3%	95 100.0%	1.85
	草津第二小学校区	25 27.5%	38 41.8%	19 20.9%	7 7.7%	2 2.2%	91 100.0%	1.93
	渋川小学校区	18 21.2%	35 41.2%	23 27.1%	5 5.9%	4 4.7%	85 100.0%	2.07
	矢倉小学校区	22 26.8%	26 31.7%	27 32.9%	4 4.9%	3 3.7%	82 100.0%	2.07
	老上小学校区	20 27.8%	27 37.5%	18 25.0%	4 5.6%	3 4.2%	72 100.0%	1.97
	老上西小学校区	18 35.3%	18 35.3%	10 19.6%	3 5.9%	2 3.9%	51 100.0%	1.83
	玉川小学校区	35 42.7%	28 34.1%	14 17.1%	2 2.4%	3 3.7%	82 100.0%	1.73
	南笠東小学校区	17 28.3%	19 31.7%	15 25.0%	5 8.3%	4 6.7%	60 100.0%	1.96
	山田小学校区	20 29.9%	24 35.8%	16 23.9%	4 6.0%	3 4.5%	67 100.0%	1.93
	笠縫小学校区	37 36.6%	34 33.7%	23 22.8%	5 5.0%	2 2.0%	101 100.0%	1.85
	笠縫東小学校区	18 24.0%	22 29.3%	28 37.3%	3 4.0%	4 5.3%	75 100.0%	2.15
	常盤小学校区	17 33.3%	17 33.3%	12 23.5%	3 5.9%	2 3.9%	51 100.0%	1.89
	無回答・ 小学校区不明	53 34.6%	55 35.9%	32 20.9%	7 4.6%	6 3.9%	153 100.0%	1.85
2013年調査		490 35.8%	427 31.2%	324 23.7%	55 4.0%	73 5.3%	1,369 100.0%	1.87
2008年調査		378 36.3%	266 25.6%	279 26.8%	44 4.2%	73 7.0%	1,040 100.0%	1.89
2003年調査		439 36.0%	379 31.1%	315 25.8%	---	87 7.1%	1,220 100.0%	1.89

「おかしいと思うが、自分だけ反対しても仕方がないと思う」が33.9%で最も多く、以下、「当然のことと思う」が32.4%、「間違っていると思うし、なくしていかねばならないと思う」が24.4%、「聞いたことがない」が5.4%となっており、平均スコアは1.91点となっている。過去3回の調査と比較すると、平均スコアは今回が最も高く、「当然のことと思う」意識が多少弱まっている。

地域別にみると、平均スコアは笠縫東小学校区が2.15点で最も高く、次いで、渋川小学校区、矢倉小学校区が2.00点以上となっているが、他の地域では平均スコアが2.00点未満で、「おかしいと思うが、自分だけ反対しても仕方がないと思う」意識がより強い傾向がみられる。

性別にみると、平均スコアは男性が2.00点、女性が1.84点で、「当然のことと思う」意識は、女性が男性に比べて強い。

年齢別にみると、平均スコア60歳代が2.10点で最も高く、次いで、70歳以上が1.99点となっている。60歳代を除いたいずれの年代も2.00点未満となっており、「おかしいと思うが、自分だけ反対しても仕方がないと思う」意識が強い傾向がみられる。

【風習・慣習についての態度スコア】

図表 風習・慣習についての態度スコア

		18～17点	16～14点	13～11点	10～8点	7～6点	合計	平均（点）
全体		213	381	428	159	12	1,193	13.59
		17.9%	31.9%	35.9%	13.3%	1.0%	100.0%	
地域	志津小学校区	17	22	31	9	1	80	13.54
		21.3%	27.5%	38.8%	11.3%	1.3%	100.0%	
	志津南小学校区	7	10	25	4	2	48	13.04
		14.6%	20.8%	52.1%	8.3%	4.2%	100.0%	
	草津小学校区	21	26	29	19	0	95	13.45
		22.1%	27.4%	30.5%	20.0%	0.0%	100.0%	
	草津第二小学校区	14	29	34	13	1	91	13.41
		15.4%	31.9%	37.4%	14.3%	1.1%	100.0%	
	渋川小学校区	19	34	24	8	0	85	14.28
		22.4%	40.0%	28.2%	9.4%	0.0%	100.0%	
	矢倉小学校区	17	31	26	8	0	82	14.16
		20.7%	37.8%	31.7%	9.8%	0.0%	100.0%	
	老上小学校区	10	21	29	11	1	72	13.28
		13.9%	29.2%	40.3%	15.3%	1.4%	100.0%	
	老上西小学校区	6	23	16	5	1	51	13.55
		11.8%	45.1%	31.4%	9.8%	2.0%	100.0%	
	玉川小学校区	10	25	35	11	1	82	13.21
		12.2%	30.5%	42.7%	13.4%	1.2%	100.0%	
	南笠東小学校区	12	18	22	7	1	60	13.65
		20.0%	30.0%	36.7%	11.7%	1.7%	100.0%	
	山田小学校区	12	22	28	5	0	67	13.87
		17.9%	32.8%	41.8%	7.5%	0.0%	100.0%	
	笠縫小学校区	18	39	29	14	1	101	13.77
		17.8%	38.6%	28.7%	13.9%	1.0%	100.0%	
	笠縫東小学校区	18	29	16	10	2	75	14.13
		24.0%	38.7%	21.3%	13.3%	2.7%	100.0%	
	常盤小学校区	9	19	15	8	0	51	13.92
		17.6%	37.3%	29.4%	15.7%	0.0%	100.0%	
	無回答・ 小学校区不明	23	33	69	27	1	153	13.01
		15.0%	21.6%	45.1%	17.6%	0.7%	100.0%	
2013年調査		233	427	550	145	14	1,369	13.56
		17.0%	31.2%	40.2%	10.6%	1.0%	100.0%	
2008年調査		218	334	351	124	13	1,040	13.78
		21.0%	32.1%	33.8%	11.9%	1.3%	100.0%	
2003年調査		258	441	392	110	19	1,220	14.01
		21.1%	36.1%	32.1%	9.0%	1.6%	100.0%	

A～Fの風習・慣習に対する態度の全体的な傾向を把握するため、A～F 6項目の各選択肢に付与した配点（3～1点）の合計を算出した（ただし、「聞いたことがない」と「無回答」には2点を付与した）。このスコアは、最高18点から最低6点までの間のいずれかとなり、スコアが高いほど風習・慣習を否定的にとらえる傾向が強いことを示し、スコアが低いほど風習・慣習を肯定的にとらえる傾向が強いことを示すため、「風習・慣習についての態度スコア」と規定する。

結果をみると、全体では、「13～11点」が35.9%で最も多く、次いで「16～14点」が31.9%と続いており、これらで67.8%を占めている。態度スコアの平均は13.59点で、項目全体については、なくしていかなければならないが、自分だけ反対しても仕方がないという意識にあると言える。過去3回の調査と比較すると、態度スコアの平均は毎回低下していたが、今回は若干なくしていかなければならないと思う意識の上昇がうかがえる。

地域別にみると、態度スコアの平均は渋川小学校区、矢倉小学校区、笠縫東小学校区では14点台と高いが、他の地域では13点台となっている。

性別にみると、態度スコアの平均は、男性（13.67点）が女性（13.55点）に比べて高い。

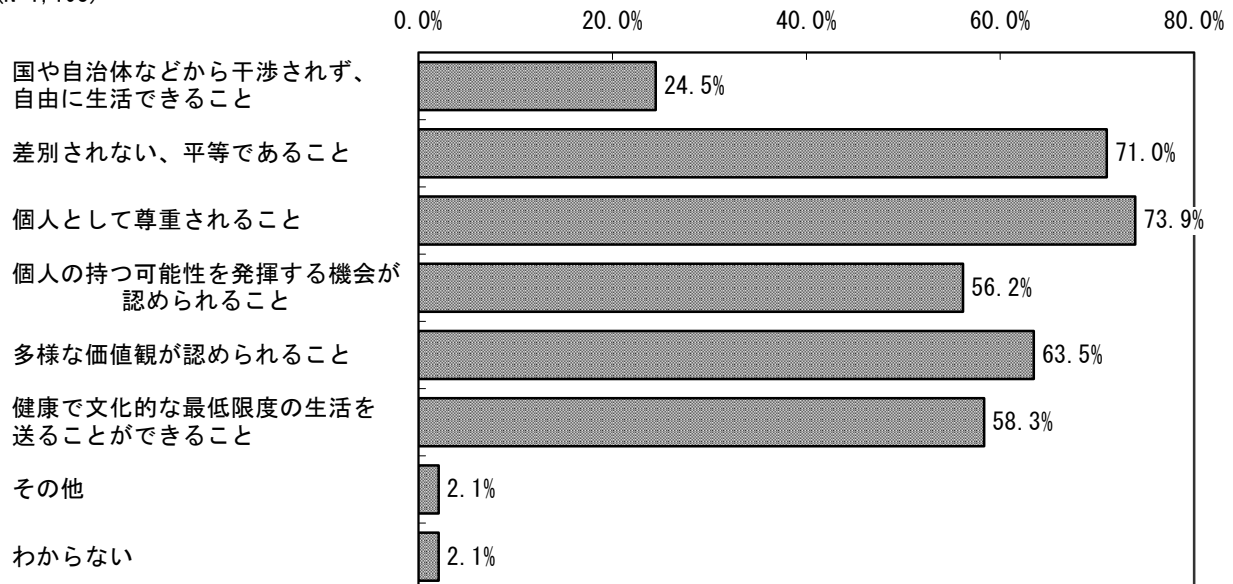
年齢別にみると、態度スコアの平均は60歳以上では14点台と高いが、50歳代では13点台、20歳代～40歳代では12点台となっている。年代が上がるほど、なくしていかなければならないという意識が強いことがうかがえる。

3 「人権尊重」の意味の認識

質問3. あなたは、「人権が尊重される」ということはどのようなことだと思いますか。あてはまるものをすべて選び、○をつけてください。

図表 「人権が尊重される」ということの意味の認識（複数回答）

(N=1,193)



「人権が尊重される」ということの意味の認識をたずねたところ、「個人として尊重されること」が73.9%で最も多く、以下、「差別されない、平等であること」が71.0%、「多様な価値観が認められること」が63.5%、「健康で文化的な最低限度の生活を送ることができること」が58.3%、「個人の持つ可能性を発揮する機会が認められること」が56.2%などとなっている。

図表 「人権が尊重される」ということの意味の認識（複数回答）

		国や自治体などから干渉されず、自由に生活できること	差別されない、平等であること	個人として尊重されること	個人の持つ可能性を発揮する機会が認められること	多様な価値観が認められること	健康で文化的な最低限度の生活を送ることができること	その他	わからない	集計母数
全体		292	847	882	670	757	696	25	25	1,193
		24.5%	71.0%	73.9%	56.2%	63.5%	58.3%	2.1%	2.1%	100.0%
地域	志津小学校区	18	59	65	45	54	47	4	0	80
		22.5%	73.8%	81.3%	56.3%	67.5%	58.8%	5.0%	0.0%	100.0%
	志津南小学校区	5	31	36	26	30	24	0	1	48
		10.4%	64.6%	75.0%	54.2%	62.5%	50.0%	0.0%	2.1%	100.0%
	草津小学校区	30	67	75	56	67	46	0	3	95
		31.6%	70.5%	78.9%	58.9%	70.5%	48.4%	0.0%	3.2%	100.0%
	草津第二小学校区	20	63	73	50	65	54	2	1	91
		22.0%	69.2%	80.2%	54.9%	71.4%	59.3%	2.2%	1.1%	100.0%
	渋川小学校区	19	65	66	54	58	52	3	1	85
		22.4%	76.5%	77.6%	63.5%	68.2%	61.2%	3.5%	1.2%	100.0%
	矢倉小学校区	19	63	58	43	44	50	1	2	82
		23.2%	76.8%	70.7%	52.4%	53.7%	61.0%	1.2%	2.4%	100.0%
	老上小学校区	17	55	48	40	46	38	1	3	72
		23.6%	76.4%	66.7%	55.6%	63.9%	52.8%	1.4%	4.2%	100.0%
	老上西小学校区	13	34	33	27	38	30	0	1	51
		25.5%	66.7%	64.7%	52.9%	74.5%	58.8%	0.0%	2.0%	100.0%
	玉川小学校区	20	62	58	47	55	55	1	1	82
		24.4%	75.6%	70.7%	57.3%	67.1%	67.1%	1.2%	1.2%	100.0%
	南笠東小学校区	15	41	44	34	36	34	0	1	60
		25.0%	68.3%	73.3%	56.7%	60.0%	56.7%	0.0%	1.7%	100.0%
	山田小学校区	16	47	47	40	36	34	3	0	67
		23.9%	70.1%	70.1%	59.7%	53.7%	50.7%	4.5%	0.0%	100.0%
	笠縫小学校区	21	70	66	61	63	57	2	1	101
		20.8%	69.3%	65.3%	60.4%	62.4%	56.4%	2.0%	1.0%	100.0%
	笠縫東小学校区	23	57	62	44	49	49	4	1	75
		30.7%	76.0%	82.7%	58.7%	65.3%	65.3%	5.3%	1.3%	100.0%
常盤小学校区	11	37	39	23	22	33	0	2	51	
	21.6%	72.5%	76.5%	45.1%	43.1%	64.7%	0.0%	3.9%	100.0%	
無回答・小学校区不明	45	96	112	80	94	93	4	7	153	
	29.4%	62.7%	73.2%	52.3%	61.4%	60.8%	2.6%	4.6%	100.0%	

地域別にみると、老上西小学校区では「多様な価値観が認められること」、矢倉小学校区、老上小学校区、玉川小学校区、山田小学校区、笠縫小学校区では「差別されない、平等であること」、それ以外の地域では「個人として尊重されること」がそれぞれ最も多くなっている（山田小学校区は後者2つが同率）。

性別にみると、男女ともに「個人として尊重されること」が最多で、女性（75.8%）が男性（72.7%）に比べて3.1ポイント多い。また、「差別されない、平等であること」は、女性（72.6%）が男性（69.6%）に比べて3.0ポイント多く、「健康で文化的な最低限度の生活を送ることができること」は、女性（60.6%）が男性（54.5%）に比べて6.1ポイント多い。一方、「国や自治体などから干渉されず、自由に生活できること」は、男性（28.8%）が女性（20.4%）に比べて8.4ポイント多い。

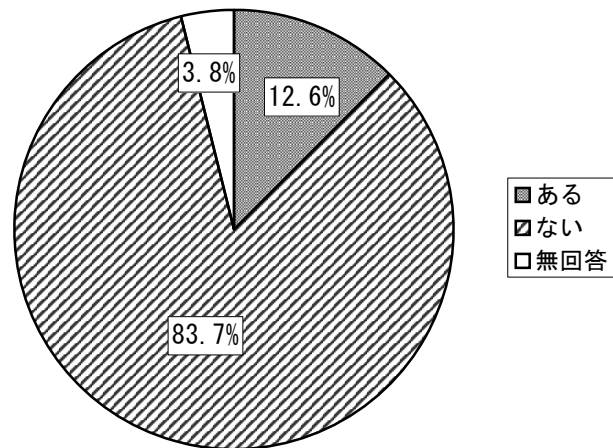
年齢別にみると、20歳代では「多様な価値観が認められること」、30歳代から50歳代では「個人として尊重されること」、60歳以上では「差別されない、平等であること」がそれぞれ最も多い。また、「健康で文化的な最低限度の生活を送ることができること」は50歳代以上に比較的多く、「多様な価値観が認められること」は年代が下がるほど多い傾向がみられる。

4 人権侵害を受けた経験、その時の対応

質問4. この5年以内に、あなたご自身が人権侵害を受けたことがありますか。あてはまるもの
どちらかを選び、○をつけてください。

図表 5年以内に自身が人権侵害を受けた経験の有無

(N=1,193)



5年以内に自身が人権侵害を受けた経験の有無をたずねたところ、「ない」が83.7%、「ある」が12.6%となっている。

図表 5年以内に自身が人権侵害を受けた経験の有無

		ある	ない	無回答	合計
全体		150 12.6%	998 83.7%	45 3.8%	1,193 100.0%
地域	志津小学校区	12 15.0%	66 82.5%	2 2.5%	80 100.0%
	志津南小学校区	3 6.3%	44 91.7%	1 2.1%	48 100.0%
	草津小学校区	12 12.6%	81 85.3%	2 2.1%	95 100.0%
	草津第二小学校区	8 8.8%	81 89.0%	2 2.2%	91 100.0%
	渋川小学校区	8 9.4%	76 89.4%	1 1.2%	85 100.0%
	矢倉小学校区	16 19.5%	64 78.0%	2 2.4%	82 100.0%
	老上小学校区	8 11.1%	60 83.3%	4 5.6%	72 100.0%
	老上西小学校区	5 9.8%	43 84.3%	3 5.9%	51 100.0%
	玉川小学校区	10 12.2%	70 85.4%	2 2.4%	82 100.0%
	南笠東小学校区	10 16.7%	49 81.7%	1 1.7%	60 100.0%
	山田小学校区	9 13.4%	52 77.6%	6 9.0%	67 100.0%
	笠縫小学校区	8 7.9%	90 89.1%	3 3.0%	101 100.0%
	笠縫東小学校区	14 18.7%	59 78.7%	2 2.7%	75 100.0%
	常盤小学校区	2 3.9%	47 92.2%	2 3.9%	51 100.0%
	無回答・ 小学校区不明	25 16.3%	116 75.8%	12 7.8%	153 100.0%

地域別にみると、人権侵害を受けた経験が「ある」人が最も多いのは矢倉小学校区の19.5%で、次いで笠縫東小学校区（18.7%）、南笠東小学校区（16.7%）などで、他の地域に比べて人権侵害を受けた人が多い。

性別にみると、人権侵害を受けた経験が「ある」人は、女性（15.4%）が男性（8.9%）に比べて6.5ポイント多い。

年齢別にみると、人権侵害を受けた経験が「ある」人は20歳代（16.8%）が最も多く、次いで50歳代（14.8%）となっている。また、60歳代以下の各世代では、「ある」人が1割以上を占めている。

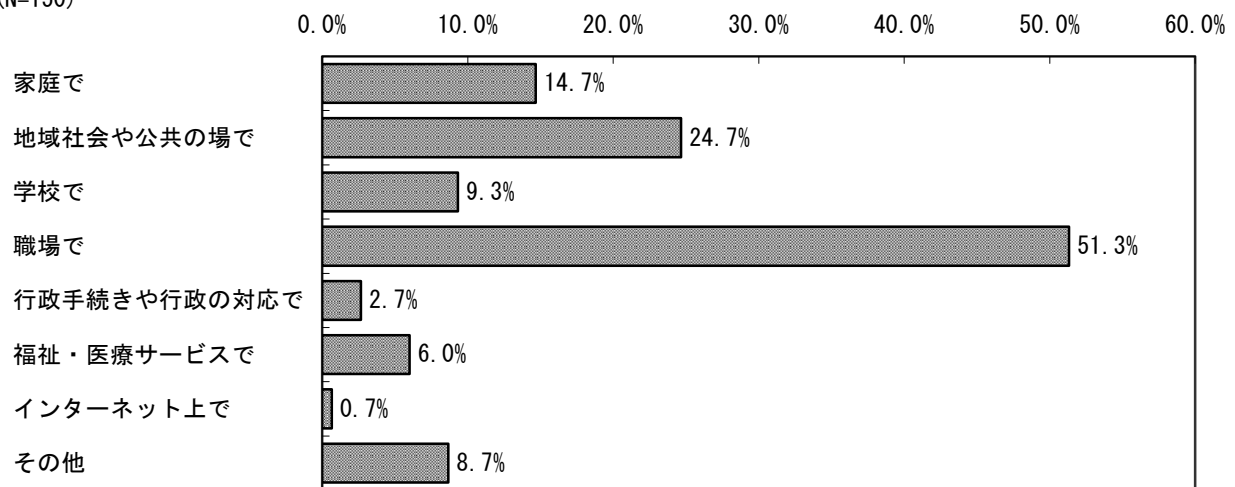
居住年数別にみると、顕著な傾向ではないが、人権侵害を受けた経験が「ある」人は居住年数が短い人に多くみられ、5年未満では15%以上となっている。

職業別にみると、人権侵害を受けた経験が「ある」人は、職業「その他」を除いて、「家族従事者」が33.3%で最も多く、以下、「学生」（14.8%）、「公務員、教員、団体職員」（14.7%）、「民間企業・団体（従業員20人以上）勤務」（13.8%）などとなっている。

質問４－１．質問４で、選択肢「１」にお答えの方にお聞きします。あなたが受けた人権侵害はどのような場面ですか。あてはまるものをすべて選び、○をつけてください。

図表 人権侵害を受けた場面（複数回答）

(N=150)



５年以内に自身が人権侵害を受けた経験がある人に対して、人権侵害を受けた場面をたずねたところ、「職場で」が51.3%で最も多く、以下、「地域社会や公共の場で」が24.7%、「家庭で」が14.7%、「学校で」が9.3%、「福祉・医療サービスで」が6.0%などとなっている。

図表 人権侵害を受けた場面（複数回答）

		家庭で	地域社会 や公共の 場で	学校で	職場で	行政手続 きや行政 の対応で	福祉・医 療サービ スで	インター ネット上 で	その他	集計母数
全体		22 14.7%	37 24.7%	14 9.3%	77 51.3%	4 2.7%	9 6.0%	1 0.7%	13 8.7%	150 100.0%
地域	志津小学校区	3 25.0%	1 8.3%	0 0.0%	8 66.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 8.3%	12 100.0%
	志津南小学校区	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 100.0%
	草津小学校区	5 41.7%	2 16.7%	1 8.3%	5 41.7%	0 0.0%	1 8.3%	0 0.0%	1 8.3%	12 100.0%
	草津第二小学校区	1 12.5%	3 37.5%	0 0.0%	2 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 12.5%	0 0.0%	8 100.0%
	渋川小学校区	0 0.0%	1 12.5%	0 0.0%	5 62.5%	2 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	8 100.0%
	矢倉小学校区	4 25.0%	2 12.5%	2 12.5%	10 62.5%	1 6.3%	1 6.3%	0 0.0%	1 6.3%	16 100.0%
	老上小学校区	0 0.0%	1 12.5%	1 12.5%	3 37.5%	0 0.0%	1 12.5%	0 0.0%	2 25.0%	8 100.0%
	老上西小学校区	1 20.0%	3 60.0%	1 20.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	5 100.0%
	玉川小学校区	0 0.0%	3 30.0%	0 0.0%	6 60.0%	0 0.0%	1 10.0%	0 0.0%	1 10.0%	10 100.0%
	南笠東小学校区	0 0.0%	1 10.0%	2 20.0%	5 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 20.0%	10 100.0%
	山田小学校区	2 22.2%	2 22.2%	2 22.2%	5 55.6%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	9 100.0%
	笠縫小学校区	1 12.5%	3 37.5%	1 12.5%	6 75.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	8 100.0%
	笠縫東小学校区	0 0.0%	5 35.7%	2 14.3%	8 57.1%	0 0.0%	1 7.1%	0 0.0%	3 21.4%	14 100.0%
	常盤小学校区	0 0.0%	1 50.0%	1 50.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 100.0%
	無回答・ 小学校区不明	4 16.0%	9 36.0%	1 4.0%	12 48.0%	1 4.0%	4 16.0%	0 0.0%	2 8.0%	25 100.0%

地域別にみると、各地域の集計母数が少ないため、一概に比較はできないが、多くの地域で「職場で」が特に多くあげられている。

性別にみると、男女ともに「職場で」が最多で、男性（53.5%）が女性（49.5%）に比べて4.0ポイント多い。一方、「地域社会や公共の場で」は、女性（26.7%）が男性（18.6%）に比べて8.1ポイント多い。また、男性は「学校で」、女性は「家庭で」も多くなっている。

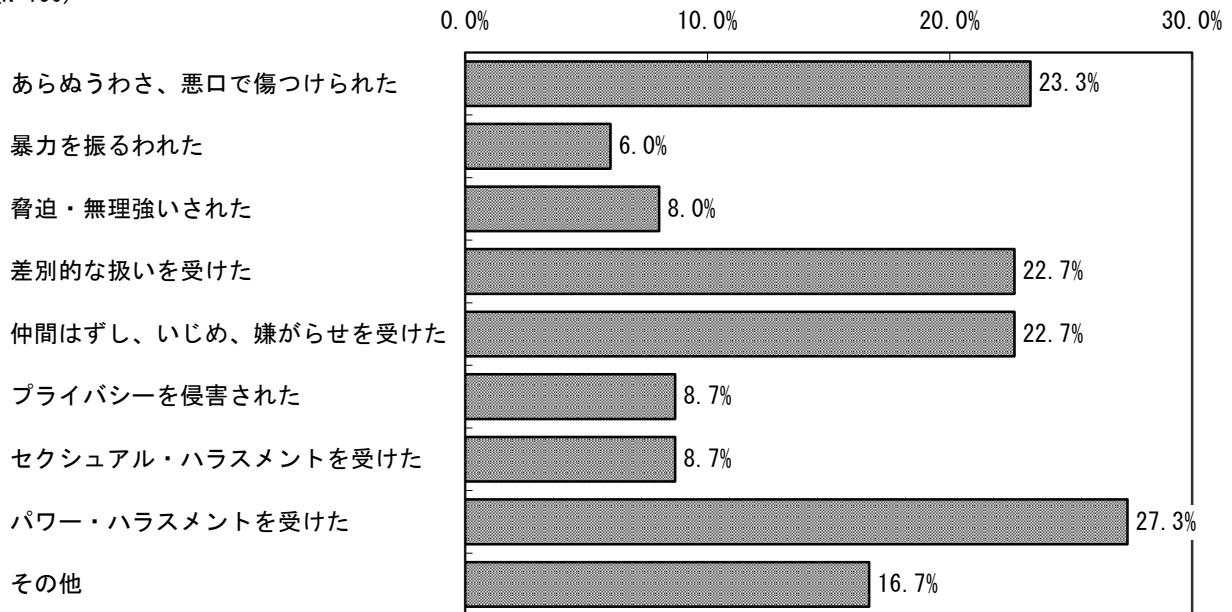
年齢別にみると、各年代の集計母数が少ないため、一概に比較はできないが、20歳代では「学校で」、30歳代から60歳代では「職場で」、70歳以上では「地域社会や公共の場で」が特に多い。また、「職場で」は、30歳代と40歳代がそれぞれ6割以上を占めている。

職業別にみると、民間企業・団体勤務および公務員、教員、団体職員では「職場で」が最も多くなっており、特に公務員では90.9%と非常に多い。「家事専業」と「無職」では「地域社会や公共の場で」が最も多い。

質問４－２．質問４で、選択肢「１」にお答えの方にお聞きします。あなたが受けた人権侵害はどのような内容のものです。あてはまるものをすべて選び、○をつけてください。

図表 受けた人権侵害の内容（複数回答）

(N=150)



5年以内に自身が人権侵害を受けた経験がある人に対して、受けた人権侵害の内容をたずねたところ、「パワー・ハラスメントを受けた」が27.3%で最も多く、以下、「あらぬうわさ、悪口で傷つけられた」(23.3%)、「差別的な扱いを受けた」「仲間はずし、いじめ、嫌がらせを受けた」(ともに22.7%)、「プライバシーを侵害された」「セクシュアル・ハラスメントを受けた」(ともに8.7%)などとなっている。

図表 受けた人権侵害の内容（複数回答）

		あらぬうわ さ、悪口で 傷つけら れた	暴力を振 るわれた	脅迫・無理 強いされ た	差別的な 扱いを受 けた	仲間はず し、いじ め、嫌が らせを受 けた	プライバ シーを侵 害された	セクシュ アル・ハラ スメントを受 けた	パワー・ハ ラスメント を受けた	その他	集計母数
全体		35 23.3%	9 6.0%	12 8.0%	34 22.7%	34 22.7%	13 8.7%	13 8.7%	41 27.3%	25 16.7%	150 100.0%
地域	志津小学校区	1 8.3%	1 8.3%	0 0.0%	3 25.0%	2 16.7%	0 0.0%	0 0.0%	5 41.7%	1 8.3%	12 100.0%
	志津南小学校区	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 66.7%	0 0.0%	3 100.0%
	草津小学校区	2 16.7%	1 8.3%	2 16.7%	3 25.0%	3 25.0%	2 16.7%	2 16.7%	3 25.0%	3 25.0%	12 100.0%
	草津第二小学校区	1 12.5%	1 12.5%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 25.0%	0 0.0%	1 12.5%	0 0.0%	8 100.0%
	洪川小学校区	1 12.5%	0 0.0%	1 12.5%	2 25.0%	2 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 50.0%	1 12.5%	8 100.0%
	矢倉小学校区	4 25.0%	2 12.5%	0 0.0%	3 18.8%	5 31.3%	1 6.3%	1 6.3%	5 31.3%	4 25.0%	16 100.0%
	老上小学校区	1 12.5%	0 0.0%	1 12.5%	0 0.0%	1 12.5%	0 0.0%	0 0.0%	2 25.0%	1 12.5%	8 100.0%
	老上西小学校区	2 40.0%	0 0.0%	1 20.0%	1 20.0%	2 40.0%	1 20.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 40.0%	5 100.0%
	玉川小学校区	1 10.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 20.0%	1 10.0%	0 0.0%	2 20.0%	3 30.0%	3 30.0%	10 100.0%
	南笠東小学校区	2 20.0%	1 10.0%	2 20.0%	3 30.0%	2 20.0%	0 0.0%	2 20.0%	4 40.0%	2 20.0%	10 100.0%
	山田小学校区	7 77.8%	0 0.0%	1 11.1%	3 33.3%	4 44.4%	0 0.0%	1 11.1%	3 33.3%	0 0.0%	9 100.0%
	笠縫小学校区	3 37.5%	0 0.0%	1 12.5%	1 12.5%	2 25.0%	1 12.5%	1 12.5%	3 37.5%	0 0.0%	8 100.0%
	笠縫東小学校区	6 42.9%	2 14.3%	2 14.3%	4 28.6%	3 21.4%	1 7.1%	0 0.0%	1 7.1%	2 14.3%	14 100.0%
	常盤小学校区	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 100.0%
	無回答・ 小学校区不明	3 12.0%	1 4.0%	1 4.0%	9 36.0%	5 20.0%	5 20.0%	4 16.0%	5 20.0%	6 24.0%	25 100.0%

地域別にみると、各地域の集計母数が少ないため一概に比較はできないが、「パワー・ハラスメントを受けた」や「あらぬうわさ、悪口で傷つけられた」は各地域で比較的多くあげられている。

性別にみると、男性は「差別的な扱いを受けた」が27.9%で最も多く、女性は「パワー・ハラスメントを受けた」が26.7%で最も多い。また、「差別的な扱いを受けた」は男性（27.9%）が女性（19.8%）に比べて8.1ポイント多い。「あらぬうわさ、悪口で傷つけられた」、「仲間はずし、いじめ、嫌がらせを受けた」は男女ともに多く、どちらも男性が女性に比べて多くなっているが、男女差は比較的少ない項目である。一方、回答者は比較的少ないが、「脅迫・無理強いされた」は男性が、「セクシュアル・ハラスメントを受けた」は女性が多い項目である。

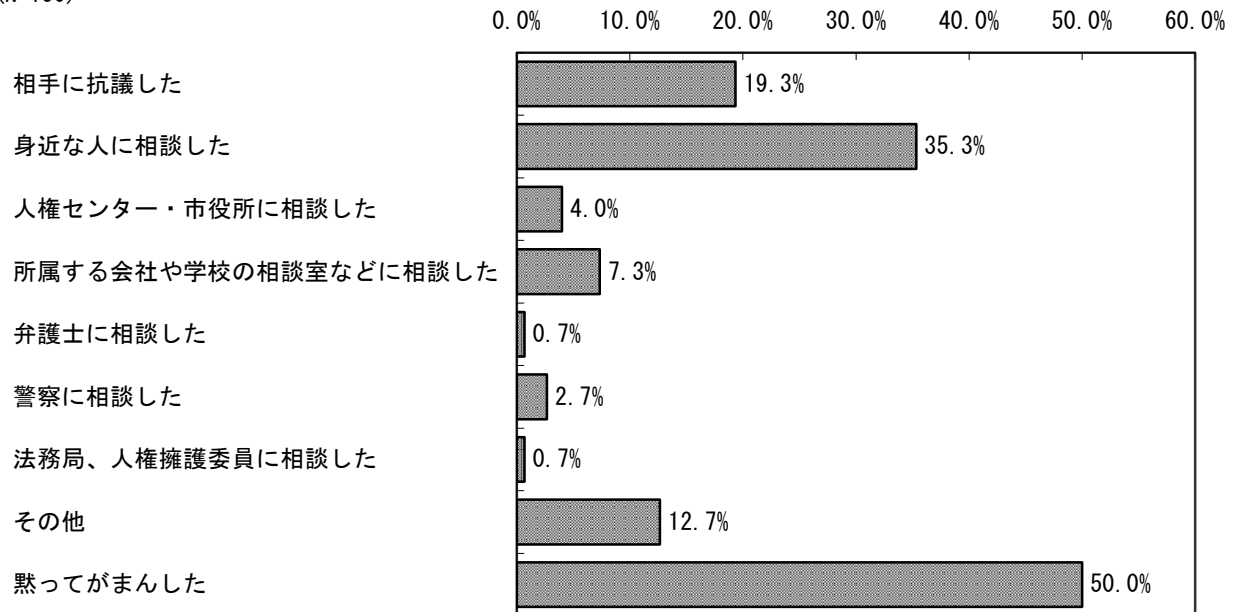
年齢別にみると、各年代の集計母数が少ないため、一概に比較はできないが、20歳代と70歳以上では「あらぬうわさ、悪口で傷つけられた」、30歳代、50歳代、60歳代では「パワー・ハラスメントを受けた」（60歳代では「差別的な扱いを受けた」も同率で最多）、40歳代では「仲間はずし、いじめ、嫌がらせを受けた」がそれぞれ最も多い。「パワー・ハラスメントを受けた」は30歳代から50歳代で3割を超え、他の年代よりも多く、「あらぬうわさ、悪口で傷つけられた」は、20歳代では62.5%と他の年代に比べて特に多い。

職業別にみると、人権侵害を受けた経験が「ある」人が最も多い「民間企業・団体（従業員20人以上）勤務」では、「パワー・ハラスメントを受けた」が39.6%で最も多く、次いで「あらぬうわさ、悪口で傷つけられた」（24.5%）となっている。

質問４－３．質問４で、選択肢「１」にお答えの方にお聞きします。あなたは、人権侵害を受けたときにどのような対応をとりましたか。あてはまるものをすべて選び、○をつけてください。

図表 人権侵害を受けたときにとった対応（複数回答）

(N=150)



５年以内に自身が人権侵害を受けた経験がある人に対して、人権侵害を受けたときにとった対応をたずねたところ、「黙ってがまんした」が50.0%で最も多く、以下、「身近な人に相談した」が35.3%、「相手に抗議した」が19.3%などとなっている。

図表 人権侵害を受けたときにとった対応（複数回答）

	相手に抗議した	身近な人に相談した	人権センター・市役所に相談した	所属する会社や学校の相談室などに相談した	弁護士に相談した	警察に相談した	法務局、人権擁護委員に相談した	その他	黙ってがまんした	集計母数
全体	29 19.3%	53 35.3%	6 4.0%	11 7.3%	1 0.7%	4 2.7%	1 0.7%	19 12.7%	75 50.0%	150 100.0%
地域	志津小学校区	3 25.0%	2 16.7%	0 0.0%	2 16.7%	0 0.0%	0 0.0%	3 25.0%	4 33.3%	12 100.0%
	志津南小学校区	0 0.0%	1 33.3%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 66.7%	3 100.0%
	草津小学校区	1 8.3%	5 41.7%	2 16.7%	0 0.0%	1 8.3%	1 8.3%	2 16.7%	5 41.7%	12 100.0%
	草津第二小学校区	2 25.0%	4 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	8 100.0%
	渋川小学校区	1 12.5%	3 37.5%	1 12.5%	1 12.5%	0 0.0%	0 0.0%	1 12.5%	2 25.0%	8 100.0%
	矢倉小学校区	5 31.3%	9 56.3%	0 0.0%	1 6.3%	0 0.0%	1 6.3%	0 0.0%	6 37.5%	16 100.0%
	老上小学校区	2 25.0%	3 37.5%	1 12.5%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 37.5%	4 50.0%	8 100.0%
	老上西小学校区	2 40.0%	1 20.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 20.0%	4 80.0%	5 100.0%
	玉川小学校区	1 10.0%	4 40.0%	0 0.0%	1 10.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 10.0%	6 60.0%	10 100.0%
	南笠東小学校区	2 20.0%	3 30.0%	0 0.0%	2 20.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 20.0%	7 70.0%	10 100.0%
	山田小学校区	0 0.0%	5 55.6%	0 0.0%	1 11.1%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	7 77.8%	9 100.0%
	笠縫小学校区	2 25.0%	3 37.5%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 37.5%	6 75.0%	8 100.0%
	笠縫東小学校区	1 7.1%	4 28.6%	0 0.0%	1 7.1%	0 0.0%	1 7.1%	2 14.3%	4 28.6%	14 100.0%
	常盤小学校区	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%	2 100.0%
	無回答・小学校区不明	7 28.0%	5 20.0%	1 4.0%	1 4.0%	0 0.0%	1 4.0%	1 4.0%	17 68.0%	25 100.0%

地域別にみると、各地域の集計母数が少ないため、一概に比較はできないが、「黙ってがまんした」は玉川小学校区、南笠東小学校区などで5割を超えている。

性別にみると、男女ともに「黙ってがまんした」が最多で、女性（51.5%）が男性（44.2%）に比べて7.3ポイント多い。次いで、男女ともに「身近な人に相談した」となっており、女性（39.6%）が男性（27.9%）に比べて11.7ポイント多い。一方、「相手に抗議した」は、男女差が小さく、男性が18.6%、女性が20.8%となっている。

年齢別にみると、各年代の集計母数が少ないため、一概に比較はできないが、いずれの年代でも「黙ってがまんした」（60歳代では「身近な人に相談した」も同率で最多）が最も多く。また、「黙ってがまんした」は50歳代以下の各世代では半数以上を占め、20歳代（68.8%）が最も多い。

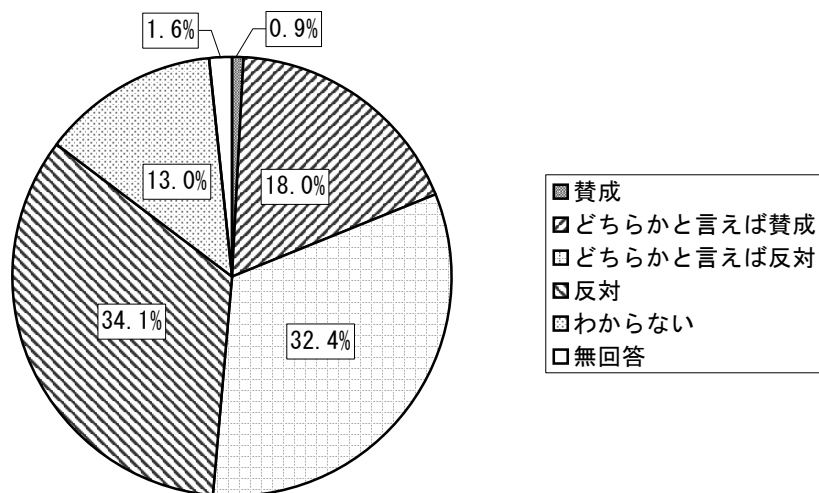
職業別にみると、「民間企業・団体（従業員20人未満）勤務」と「公務員、教員、団体職員」では「身近な人に相談した」が最も多く、「民間企業・団体（従業員20人以上）勤務」、「家事専業」、「無職」では、「黙ってがまんした」が最も多い。

5 女性の人権、男女共同参画

質問5. 「男は仕事、女は家庭」という考えがありますが、あなたはどのように思いますか。お考えに最も近いものを1つだけ選び、○をつけてください。

図表 「男は仕事、女は家庭」という考えに対する意識

(N=1,193)



「男は仕事、女は家庭」という考えに対する意識をたずねたところ、「反対」が34.1%で最も多く、次いで「どちらかと言えば反対」が32.4%となっており、これらを合わせた「反対の立場」の人は66.5%となっている。一方、「賛成」と「どちらかと言えば賛成」を合わせた「賛成の立場」の人は18.9%となっている。

図表 「男は仕事、女は家庭」という考えに対する意識

		賛成	どちらか と言えば 賛成	どちらか と言えば 反対	反対	わからない	無回答	合計
全体		11 0.9%	215 18.0%	386 32.4%	407 34.1%	155 13.0%	19 1.6%	1,193 100.0%
地域	志津小学校区	0 0.0%	10 12.5%	29 36.3%	28 35.0%	12 15.0%	1 1.3%	80 100.0%
	志津南小学校区	0 0.0%	9 18.8%	19 39.6%	13 27.1%	7 14.6%	0 0.0%	48 100.0%
	草津小学校区	0 0.0%	13 13.7%	30 31.6%	40 42.1%	12 12.6%	0 0.0%	95 100.0%
	草津第二小学校区	1 1.1%	20 22.0%	28 30.8%	32 35.2%	10 11.0%	0 0.0%	91 100.0%
	渋川小学校区	0 0.0%	17 20.0%	25 29.4%	30 35.3%	11 12.9%	2 2.4%	85 100.0%
	矢倉小学校区	1 1.2%	8 9.8%	24 29.3%	31 37.8%	15 18.3%	3 3.7%	82 100.0%
	老上小学校区	3 4.2%	14 19.4%	20 27.8%	24 33.3%	10 13.9%	1 1.4%	72 100.0%
	老上西小学校区	1 2.0%	14 27.5%	15 29.4%	14 27.5%	5 9.8%	2 3.9%	51 100.0%
	玉川小学校区	2 2.4%	15 18.3%	24 29.3%	26 31.7%	13 15.9%	2 2.4%	82 100.0%
	南笠東小学校区	0 0.0%	12 20.0%	19 31.7%	24 40.0%	5 8.3%	0 0.0%	60 100.0%
	山田小学校区	1 1.5%	14 20.9%	24 35.8%	19 28.4%	8 11.9%	1 1.5%	67 100.0%
	笠縫小学校区	1 1.0%	15 14.9%	41 40.6%	30 29.7%	11 10.9%	3 3.0%	101 100.0%
	笠縫東小学校区	0 0.0%	12 16.0%	28 37.3%	28 37.3%	6 8.0%	1 1.3%	75 100.0%
	常盤小学校区	0 0.0%	12 23.5%	19 37.3%	15 29.4%	5 9.8%	0 0.0%	51 100.0%
	無回答・ 小学校区不明	1 0.7%	30 19.6%	41 26.8%	53 34.6%	25 16.3%	3 2.0%	153 100.0%

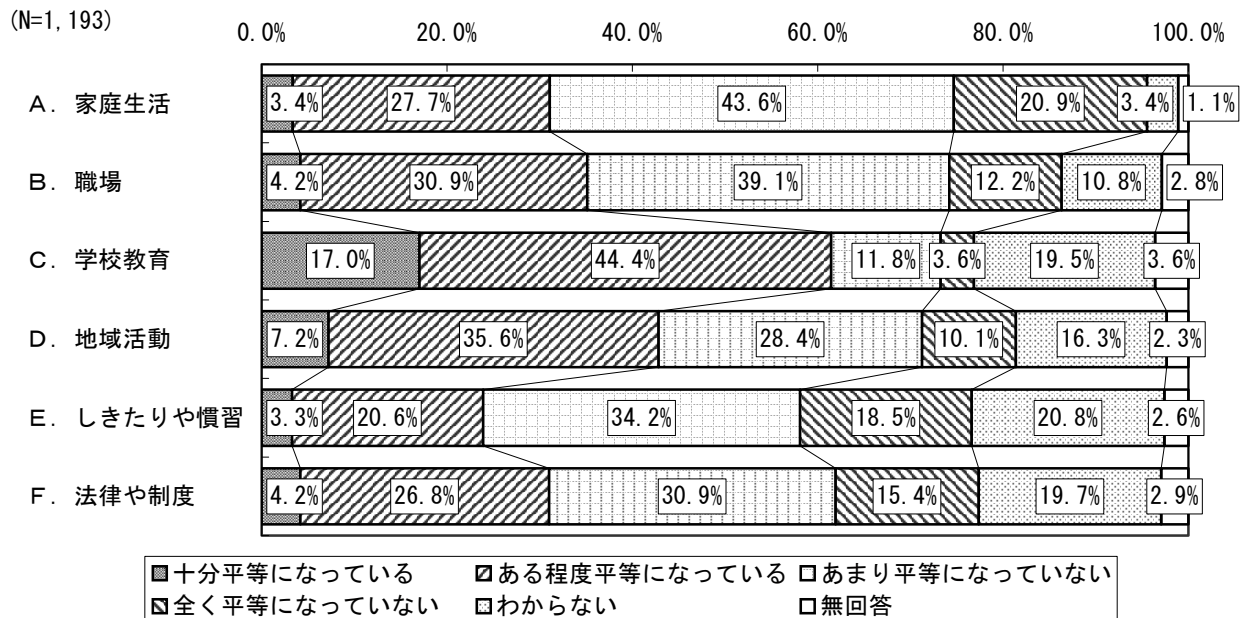
地域別にみると、いずれの地域でも「反対の立場」の人が半数以上を占めており、「賛成の立場」の人に比べて多い。「反対の立場」の人は笠縫東小学校区が74.6%で最も多く、このほか、志津小学校区、草津小学校区、南笠東小学校区、笠縫小学校区も7割以上を占めており、他の地域に比べて多い。一方、「賛成の立場」が最も多いのは老上西小学校区の29.5%となっている。

性別にみると、男女ともに「反対の立場」の人が半数以上を占めているが、「賛成の立場」の人は、男性（22.9%）が女性（16.6%）に比べて6.3ポイント多く、「反対の立場」の人は、女性（69.4%）が男性（63.4%）に比べて6.0ポイント多い。

年齢別にみると、いずれの年代でも「反対の立場」の人が半数以上を占めているが、70歳以上（58.9%）は他の年代に比べて少なく、「賛成の立場」の人（26.6%）が他の年代に比べて多い。

質問6. 次のAからFにあげる分野において、あなたは、男女の立場がどの程度平等になっていると思いますか。AからFそれぞれについて、あてはまるものを1つだけ選び、○をつけてください。

図表 男女平等に対する評価



男女平等に対する評価をたずねたところ、「十分平等になっている」は「C. 学校教育」(17.0%)が最も多く、以下、「D. 地域活動」(7.2%)となっており、これと「ある程度平等になっている」を合わせた「平等になっている」と思っている人は「C. 学校教育」が61.4%、「D. 地域活動」が42.8%、「B. 職場」が35.1%、「F. 法律や制度」が31.0%などとなっている。

一方、「全く平等になっていない」は「A. 家庭生活」(20.9%)が最も多く、以下、「E. しきたりや慣習」(18.5%)「F. 法律や制度」(15.4%)、などとなっており、これと「あまり平等になっていない」を合わせた「平等になっていない」と思っている人は「A. 家庭生活」が64.5%、「E. しきたりや慣習」が52.7%、「B. 職場」が51.3%などとなっている。

「C. 学校教育」と「D. 地域活動」は、「平等になっている」と思っている人が「平等になっていない」と思っている人に比べて多いが、他の項目は「平等になっていない」と思っている人が「平等になっている」と思っている人に比べて多い。

なお、男女平等に対する意識の度合いをより明確にするため、「十分に平等になっている」に4点、「ある程度平等になっている」に3点、「あまり平等になっていない」に2点、「全く平等になっていない」に1点と配点し、「わからない」と「無回答」を除いた回答者を集計母数として平均スコアを算出した。平等になっている・なっていないの評価の中間は2.50としている。

A. 家庭生活

図表 男女平等に対する評価「家庭生活」

		十分平等に なっている	ある程度平 等になって いる	あまり平等 になってい ない	全く平等に なっていない	わからない	無回答	合計	平均
全体		40 3.4%	331 27.7%	520 43.6%	249 20.9%	40 3.4%	13 1.1%	1,193 100.0%	2.14
地域	志津小学校区	3 3.8%	13 16.3%	41 51.3%	20 25.0%	1 1.3%	2 2.5%	80 100.0%	1.99
	志津南小学校区	3 6.3%	16 33.3%	18 37.5%	11 22.9%	0 0.0%	0 0.0%	48 100.0%	2.23
	草津小学校区	6 6.3%	24 25.3%	43 45.3%	18 18.9%	4 4.2%	0 0.0%	95 100.0%	2.20
	草津第二小学校区	3 3.3%	23 25.3%	46 50.5%	15 16.5%	4 4.4%	0 0.0%	91 100.0%	2.16
	渋川小学校区	1 1.2%	22 25.9%	44 51.8%	16 18.8%	2 2.4%	0 0.0%	85 100.0%	2.10
	矢倉小学校区	2 2.4%	27 32.9%	28 34.1%	23 28.0%	2 2.4%	0 0.0%	82 100.0%	2.10
	老上小学校区	1 1.4%	19 26.4%	29 40.3%	20 27.8%	3 4.2%	0 0.0%	72 100.0%	2.01
	老上西小学校区	2 3.9%	17 33.3%	14 27.5%	13 25.5%	3 5.9%	2 3.9%	51 100.0%	2.17
	玉川小学校区	3 3.7%	21 25.6%	32 39.0%	24 29.3%	1 1.2%	1 1.2%	82 100.0%	2.04
	南笠東小学校区	0 0.0%	22 36.7%	24 40.0%	11 18.3%	3 5.0%	0 0.0%	60 100.0%	2.19
	山田小学校区	4 6.0%	13 19.4%	37 55.2%	10 14.9%	2 3.0%	1 1.5%	67 100.0%	2.17
	笠縫小学校区	2 2.0%	32 31.7%	46 45.5%	16 15.8%	3 3.0%	2 2.0%	101 100.0%	2.21
	笠縫東小学校区	2 2.7%	22 29.3%	27 36.0%	20 26.7%	2 2.7%	2 2.7%	75 100.0%	2.08
	常盤小学校区	2 3.9%	19 37.3%	20 39.2%	6 11.8%	3 5.9%	1 2.0%	51 100.0%	2.36
	無回答・ 小学校区不明	6 3.9%	41 26.8%	71 46.4%	26 17.0%	7 4.6%	2 1.3%	153 100.0%	2.19

「平等になっていない」と思っている人が64.5%、「平等になっている」と思っている人が31.1%で、平均スコアは2.14点となっており、あまり「平等になっていない」という評価である。

地域別にみると、いずれの地域でも「平等になっていない」が半数以上を占め、「平等になっている」と思っている人に比べて多い。平均スコアは常盤小学校区が2.36点で最も高く、志津小学校区が1.99点で最も低い。

性別にみると、男女ともに「平等になっていない」と思っている人が「平等になっている」と思っている人に比べて多く、半数以上を占めている。また、「平等になっていない」と思っている人は、女性（70.0%）が男性（56.8%）に比べて13.2ポイント多い。平均スコアは、女性が2.01点、男性が2.33点で、「平等になっていない」という意識は女性がより強い。

年齢別にみると、「平等になっていない」と思っている人は60歳代以下では半数以上を占めており、平均スコアは30歳代（1.97点）が最も低い。一方、70歳以上は「平等になっていない」と思っている人が45.8%、「平等になっている」と思っている人が45.4%と、ほぼ同率で回答を二分しており、平均スコアが2.46点と最も高い。

「男は仕事、女は家庭」という考えに対する意識別にみると、この意見に賛成する度合いが強いほど平均スコアが高い傾向にあり、「男は仕事、女は家庭」という考え方に賛成する度合いが強い人ほど「平等になっている」と思う傾向がより強い。

B. 職場

図表 男女平等に対する評価「職場」

		十分平等に なっている	ある程度平 等になって いる	あまり平等 になってい ない	全く平等に なっていない	わからない	無回答	合計	平均
全体		50	369	466	145	129	34	1,193	2.31
		4.2%	30.9%	39.1%	12.2%	10.8%	2.8%	100.0%	
地域	志津小学校区	2	24	30	11	10	3	80	2.25
		2.5%	30.0%	37.5%	13.8%	12.5%	3.8%	100.0%	
	志津南小学校区	3	16	23	2	4	0	48	2.45
		6.3%	33.3%	47.9%	4.2%	8.3%	0.0%	100.0%	
	草津小学校区	3	29	37	12	13	1	95	2.28
		3.2%	30.5%	38.9%	12.6%	13.7%	1.1%	100.0%	
	草津第二小学校区	2	24	45	9	10	1	91	2.24
		2.2%	26.4%	49.5%	9.9%	11.0%	1.1%	100.0%	
	渋川小学校区	3	34	30	13	4	1	85	2.34
		3.5%	40.0%	35.3%	15.3%	4.7%	1.2%	100.0%	
	矢倉小学校区	4	25	33	11	8	1	82	2.30
		4.9%	30.5%	40.2%	13.4%	9.8%	1.2%	100.0%	
	老上小学校区	3	17	30	9	12	1	72	2.24
		4.2%	23.6%	41.7%	12.5%	16.7%	1.4%	100.0%	
	老上西小学校区	4	13	22	5	3	4	51	2.36
		7.8%	25.5%	43.1%	9.8%	5.9%	7.8%	100.0%	
	玉川小学校区	4	27	29	10	9	3	82	2.36
		4.9%	32.9%	35.4%	12.2%	11.0%	3.7%	100.0%	
	南笠東小学校区	2	18	24	7	8	1	60	2.29
		3.3%	30.0%	40.0%	11.7%	13.3%	1.7%	100.0%	
	山田小学校区	3	18	30	6	8	2	67	2.32
		4.5%	26.9%	44.8%	9.0%	11.9%	3.0%	100.0%	
	笠縫小学校区	4	33	34	15	11	4	101	2.30
		4.0%	32.7%	33.7%	14.9%	10.9%	4.0%	100.0%	
	笠縫東小学校区	2	22	31	7	9	4	75	2.31
		2.7%	29.3%	41.3%	9.3%	12.0%	5.3%	100.0%	
	常盤小学校区	2	15	21	5	4	4	51	2.33
		3.9%	29.4%	41.2%	9.8%	7.8%	7.8%	100.0%	
	無回答・ 小学校区不明	9	54	47	23	16	4	153	2.37
		5.9%	35.3%	30.7%	15.0%	10.5%	2.6%	100.0%	

「平等になっていない」と思っている人が51.3%、「平等になっている」と思っている人が35.1%で、平均スコアは2.31点となっており、あまり「平等になっていない」という評価である。

地域別にみると、玉川小学校区と笠縫小学校区以外は「平等になっていない」が半数以上を占め、いずれの地域でも「平等になっている」と思っている人に比べて多い。平均スコアは志津南小学校区が2.45点で最も高く、草津第二小学校区と老上小学校区がともに2.24点で最も低い。

性別にみると、男女ともに「平等になっていない」と思っている人が「平等になっている」と思っている人に比べて多く、女性は半数以上を占めている。また、「平等になっていない」と思っている人は、女性（54.6%）が男性（46.6%）に比べて8.0ポイント多い。平均スコアは、女性が2.21点、男性が2.44点で、「平等になっていない」という意識は女性がより強い。

年齢別にみると、いずれの年代も「平等になっていない」と思っている人が「平等になっている」と思っている人に比べて多く、30歳代～60歳代では半数以上を占めており、平均スコアは60歳代（2.25点）が最も低い。また、70歳以上では「平等になっていない」と思っている人は40.1%と最も少なく、平均スコアは2.42点と最も高い。

「男は仕事、女は家庭」という考えに対する意識別にみると、この意見に賛成する度合いが強いほど平均スコアが高い傾向にあり、賛成の人では3.17点と3点を超えている。

C. 学校教育

図表 男女平等に対する評価「学校教育」

		十分平等に なっている	ある程度平 等になって いる	あまり平等 になってい ない	全く平等に なっていな い	わからない	無回答	合計	平均
全体		203 17.0%	530 44.4%	141 11.8%	43 3.6%	233 19.5%	43 3.6%	1,193 100.0%	2.97
地域	志津小学校区	11 13.8%	39 48.8%	10 12.5%	6 7.5%	11 13.8%	3 3.8%	80 100.0%	2.83
	志津南小学校区	12 25.0%	24 50.0%	1 2.1%	1 2.1%	10 20.8%	0 0.0%	48 100.0%	3.24
	草津小学校区	14 14.7%	33 34.7%	16 16.8%	5 5.3%	26 27.4%	1 1.1%	95 100.0%	2.82
	草津第二小学校区	14 15.4%	42 46.2%	17 18.7%	1 1.1%	16 17.6%	1 1.1%	91 100.0%	2.93
	渋川小学校区	13 15.3%	49 57.6%	8 9.4%	0 0.0%	14 16.5%	1 1.2%	85 100.0%	3.07
	矢倉小学校区	14 17.1%	33 40.2%	10 12.2%	5 6.1%	15 18.3%	5 6.1%	82 100.0%	2.90
	老上小学校区	16 22.2%	25 34.7%	9 12.5%	3 4.2%	15 20.8%	4 5.6%	72 100.0%	3.02
	老上西小学校区	9 17.6%	23 45.1%	6 11.8%	0 0.0%	9 17.6%	4 7.8%	51 100.0%	3.08
	玉川小学校区	17 20.7%	35 42.7%	9 11.0%	2 2.4%	16 19.5%	3 3.7%	82 100.0%	3.06
	南笠東小学校区	13 21.7%	25 41.7%	10 16.7%	0 0.0%	11 18.3%	1 1.7%	60 100.0%	3.06
	山田小学校区	8 11.9%	36 53.7%	5 7.5%	3 4.5%	14 20.9%	1 1.5%	67 100.0%	2.94
	笠縫小学校区	15 14.9%	47 46.5%	13 12.9%	3 3.0%	20 19.8%	3 3.0%	101 100.0%	2.95
	笠縫東小学校区	11 14.7%	33 44.0%	8 10.7%	0 0.0%	17 22.7%	6 8.0%	75 100.0%	3.06
	常盤小学校区	7 13.7%	21 41.2%	4 7.8%	3 5.9%	11 21.6%	5 9.8%	51 100.0%	2.91
	無回答・ 小学校区不明	29 19.0%	65 42.5%	15 9.8%	11 7.2%	28 18.3%	5 3.3%	153 100.0%	2.93

「平等になっている」と思っている人が61.4%、「平等になっていない」と思っている人が15.4%で、平均スコアは2.97点となっており、ある程度「平等になっている」という評価である。

地域別にみると、いずれの地域でも「平等になっている」と思っている人が「平等になっていない」と思っている人に比べて多くなっている。平均スコアは志津南小学校区が3.24点で最も高く、草津小学校区が2.82点で最も低い。

性別にみると、男女ともに「平等になっている」と思っている人が「平等になっていない」と思っている人に比べて多く、男性（68.8%）が女性（56.5%）に比べて12.3ポイント多い。一方、「平等になっていない」と思っている人は、女性が16.2%、男性が14.3%であり、男女差は小さい。平均スコアは、女性が2.91点、男性が3.07点で、「平等になっている」という意識は女性がやや弱い。

年齢別にみると、いずれの年代も「平等になっている」と思っている人が「平等になっていない」と思っている人に比べて多く、60歳代以下では半数以上を占めており、平均スコアは60歳代（2.80点）が最も低い。また、20歳代では「十分平等になっている」も27.4%と多く、平均スコアは3.15点と最も高い。

「男は仕事、女は家庭」という考えに対する意識別にみると、「賛成」と思っている人の平均スコアが最も高くなっているが、「どちらかと言えば賛成」・「どちらかと言えば反対」・「反対」では平均スコアの差はほぼなく、「男は仕事、女は家庭」という考え方に賛成する度合いによる顕著な意識の差がみられない。

D. 地域活動

図表 男女平等に対する評価「地域活動」

		十分平等に なっている	ある程度平 等になって いる	あまり平等 になってい ない	全く平等に なっていな い	わからない	無回答	合計	平均
全体		86 7.2%	425 35.6%	339 28.4%	121 10.1%	194 16.3%	28 2.3%	1,193 100.0%	2.49
地域	志津小学校区	5 6.3%	25 31.3%	25 31.3%	10 12.5%	12 15.0%	3 3.8%	80 100.0%	2.38
	志津南小学校区	4 8.3%	31 64.6%	7 14.6%	4 8.3%	2 4.2%	0 0.0%	48 100.0%	2.76
	草津小学校区	8 8.4%	34 35.8%	24 25.3%	10 10.5%	18 18.9%	1 1.1%	95 100.0%	2.53
	草津第二小学校区	6 6.6%	32 35.2%	30 33.0%	8 8.8%	14 15.4%	1 1.1%	91 100.0%	2.47
	渋川小学校区	6 7.1%	38 44.7%	22 25.9%	5 5.9%	12 14.1%	2 2.4%	85 100.0%	2.63
	矢倉小学校区	8 9.8%	25 30.5%	24 29.3%	10 12.2%	13 15.9%	2 2.4%	82 100.0%	2.46
	老上小学校区	4 5.6%	22 30.6%	19 26.4%	10 13.9%	15 20.8%	2 2.8%	72 100.0%	2.36
	老上西小学校区	5 9.8%	16 31.4%	15 29.4%	6 11.8%	7 13.7%	2 3.9%	51 100.0%	2.48
	玉川小学校区	7 8.5%	23 28.0%	23 28.0%	6 7.3%	20 24.4%	3 3.7%	82 100.0%	2.53
	南笠東小学校区	5 8.3%	24 40.0%	16 26.7%	3 5.0%	10 16.7%	2 3.3%	60 100.0%	2.65
	山田小学校区	2 3.0%	25 37.3%	22 32.8%	10 14.9%	8 11.9%	0 0.0%	67 100.0%	2.32
	笠縫小学校区	5 5.0%	39 38.6%	34 33.7%	6 5.9%	15 14.9%	2 2.0%	101 100.0%	2.51
	笠縫東小学校区	5 6.7%	29 38.7%	23 30.7%	7 9.3%	9 12.0%	2 2.7%	75 100.0%	2.50
	常盤小学校区	3 5.9%	16 31.4%	15 29.4%	7 13.7%	9 17.6%	1 2.0%	51 100.0%	2.37
	無回答・ 小学校区不明	13 8.5%	46 30.1%	40 26.1%	19 12.4%	30 19.6%	5 3.3%	153 100.0%	2.45

「平等になっている」と思っている人が42.8%、「平等になっていない」と思っている人が38.5%で、平均スコアは2.49点となっており、わずかに「平等になっていない」という評価である。

地域別にみると、志津南小学校区では「平等になっている」が7割以上と、他の地域に比べて非常に多くなっており、平均スコアも2.76点で最も高い。一方、平均スコアが最も低いのは山田小学校区の2.32点となっている。

性別にみると、男性は「平等になっている」と思っている人が多く、女性は「平等になっていない」と思っている人が多い。また、「平等になっている」と思っている人は、男性（49.9%）が女性（37.9%）に比べて12.0ポイント多く、「平等になっていない」と思っている人は女性（41.6%）が男性（34.9%）に比べて6.7ポイント多い。平均スコアは、女性が2.43点、男性が2.58点で、「平等になっている」という意識は女性がやや弱い。

年齢別にみると、「平等になっている」と思っている人は年代が上がるにつれて多くなっており、60歳代と70歳以上で半数以上を占めており、平均スコアは70歳以上が2.77点と最も高い。一方、50歳代以下では「平等になっていない」と思っている人が「平等になっている」と思っている人に比べて多い。また、20歳代は「わからない」が35.8%と多い。

「男は仕事、女は家庭」という考えに対する意識別にみると、この意見に賛成する度合いが強いほど平均スコアが高い傾向にあり、「男は仕事、女は家庭」という考え方に賛成する度合いが強い人ほど「平等になっている」と思う傾向がより強い。

E. しきたりや慣習

図表 男女平等に対する評価「しきたりや慣習」

		十分平等に なっている	ある程度平 等になって いる	あまり平等 になってい ない	全く平等に なっていない	わからない	無回答	合計	平均
全体		39 3.3%	246 20.6%	408 34.2%	221 18.5%	248 20.8%	31 2.6%	1,193 100.0%	2.11
地域	志津小学校区	4 5.0%	11 13.8%	29 36.3%	13 16.3%	20 25.0%	3 3.8%	80 100.0%	2.11
	志津南小学校区	2 4.2%	21 43.8%	12 25.0%	6 12.5%	7 14.6%	0 0.0%	48 100.0%	2.46
	草津小学校区	4 4.2%	19 20.0%	33 34.7%	18 18.9%	20 21.1%	1 1.1%	95 100.0%	2.12
	草津第二小学校区	4 4.4%	17 18.7%	34 37.4%	14 15.4%	20 22.0%	2 2.2%	91 100.0%	2.16
	渋川小学校区	2 2.4%	19 22.4%	32 37.6%	18 21.2%	13 15.3%	1 1.2%	85 100.0%	2.07
	矢倉小学校区	3 3.7%	17 20.7%	22 26.8%	19 23.2%	18 22.0%	3 3.7%	82 100.0%	2.07
	老上小学校区	0 0.0%	13 18.1%	17 23.6%	18 25.0%	23 31.9%	1 1.4%	72 100.0%	1.90
	老上西小学校区	3 5.9%	9 17.6%	21 41.2%	6 11.8%	9 17.6%	3 5.9%	51 100.0%	2.23
	玉川小学校区	2 2.4%	13 15.9%	29 35.4%	12 14.6%	23 28.0%	3 3.7%	82 100.0%	2.09
	南笠東小学校区	2 3.3%	16 26.7%	26 43.3%	8 13.3%	6 10.0%	2 3.3%	60 100.0%	2.23
	山田小学校区	2 3.0%	11 16.4%	22 32.8%	16 23.9%	15 22.4%	1 1.5%	67 100.0%	1.98
	笠縫小学校区	4 4.0%	25 24.8%	33 32.7%	18 17.8%	18 17.8%	3 3.0%	101 100.0%	2.19
	笠縫東小学校区	1 1.3%	13 17.3%	31 41.3%	15 20.0%	13 17.3%	2 2.7%	75 100.0%	2.00
	常盤小学校区	1 2.0%	9 17.6%	21 41.2%	7 13.7%	11 21.6%	2 3.9%	51 100.0%	2.11
	無回答・ 小学校区不明	5 3.3%	33 21.6%	46 30.1%	33 21.6%	32 20.9%	4 2.6%	153 100.0%	2.09

「平等になっていない」と思っている人が52.7%、「平等になっている」と思っている人が23.9%で、平均スコアは2.11点となっており、あまり「平等になっていない」という評価である。

地域別にみると、志津南小学校区を除いて「平等になっていない」と思っている人が「平等になっている」と思っている人に比べて多く、特に、笠縫東小学校区では「平等になっていない」と思っている人が6割以上を占めている。平均スコアは志津南小学校区が2.46点で最も高く、老上小学校区が1.90点で最も低い。

性別にみると、男女ともに「平等になっていない」と思っている人が「平等になっている」と思っている人に比べて多い。また、「平等になっていない」と思っている人は、男性が53.0%、女性が52.9%であり、男女差は小さい。しかし、女性は「わからない」と回答した人が23.9%と多く、「平等になっている」と思っている人は、女性（20.3%）が男性（28.9%）に比べて8.6ポイント少なくなっている。平均スコアは、女性が2.04点、男性が2.20点で、「平等になっていない」という意識は女性がより強い。

年齢別にみると、いずれの年代も「平等になっていない」と思っている人が「平等になっている」と思っている人に比べて多く、60歳代以下では半数以上を占めている。70歳以上では「平等になっていない」と思っている人が41.6%と最も少なく、「平等になっている」と思っている人が30.4%と多い。一方、30歳代は「平等になっている」と思っている人が16.1%と最も少なく、平均スコアも1.94点と最も低いが、「わからない」も29.0%と最も多い。

「男は仕事、女は家庭」という考えに対する意識別にみると、この意見に賛成する度合いが強いほど平均スコアが高い傾向にあるが、明確に「賛成」と思っている人以外は「平等になっていない」と評価している。

F. 法律や制度

図表 男女平等に対する評価「法律や制度」

		十分平等に なっている	ある程度平 等になって いる	あまり平等 になってい ない	全く平等に なっていな い	わからない	無回答	合計	平均
全体		50 4.2%	320 26.8%	369 30.9%	184 15.4%	235 19.7%	35 2.9%	1,193 100.0%	2.26
地域	志津小学校区	3 3.8%	19 23.8%	20 25.0%	11 13.8%	24 30.0%	3 3.8%	80 100.0%	2.26
	志津南小学校区	3 6.3%	17 35.4%	15 31.3%	5 10.4%	8 16.7%	0 0.0%	48 100.0%	2.45
	草津小学校区	6 6.3%	20 21.1%	33 34.7%	18 18.9%	17 17.9%	1 1.1%	95 100.0%	2.18
	草津第二小学校区	4 4.4%	29 31.9%	29 31.9%	10 11.0%	17 18.7%	2 2.2%	91 100.0%	2.38
	渋川小学校区	2 2.4%	31 36.5%	27 31.8%	15 17.6%	10 11.8%	0 0.0%	85 100.0%	2.27
	矢倉小学校区	2 2.4%	18 22.0%	24 29.3%	18 22.0%	17 20.7%	3 3.7%	82 100.0%	2.06
	老上小学校区	1 1.4%	16 22.2%	22 30.6%	14 19.4%	17 23.6%	2 2.8%	72 100.0%	2.08
	老上西小学校区	3 5.9%	9 17.6%	25 49.0%	1 2.0%	9 17.6%	4 7.8%	51 100.0%	2.37
	玉川小学校区	4 4.9%	25 30.5%	21 25.6%	14 17.1%	14 17.1%	4 4.9%	82 100.0%	2.30
	南笠東小学校区	6 10.0%	19 31.7%	19 31.7%	5 8.3%	10 16.7%	1 1.7%	60 100.0%	2.53
	山田小学校区	1 1.5%	17 25.4%	25 37.3%	6 9.0%	16 23.9%	2 3.0%	67 100.0%	2.27
	笠縫小学校区	4 4.0%	29 28.7%	32 31.7%	13 12.9%	20 19.8%	3 3.0%	101 100.0%	2.31
	笠縫東小学校区	0 0.0%	21 28.0%	26 34.7%	12 16.0%	13 17.3%	3 4.0%	75 100.0%	2.15
	常盤小学校区	2 3.9%	12 23.5%	13 25.5%	10 19.6%	11 21.6%	3 5.9%	51 100.0%	2.16
	無回答・ 小学校区不明	9 5.9%	38 24.8%	38 24.8%	32 20.9%	32 20.9%	4 2.6%	153 100.0%	2.21

「平等になっていない」と思っている人が46.3%、「平等になっている」と思っている人が31.0%で、平均スコアは2.26点となっており、あまり「平等になっていない」という評価である。

地域別にみると、志津南小学校と南笠東小学校区を除いて「平等になっていない」と思っている人が「平等になっている」と思っている人に比べて多い。平均スコアは南笠東小学校区が2.53点で最も高く、矢倉小学校区が2.06点で最も低い。

性別にみると、男性は「平等になっている」と思っている人と「平等になっていない」と思っている人が、どちらも41.2%となっている。一方、女性は「平等になっていない」と思っている人が50.0%となっている。また、「平等になっている」と思っている人は、女性（24.2%）が男性に比べて17.0ポイント少ない。平均スコアは、女性が2.12点、男性が2.43点で、「平等になっていない」という意識は女性がより強い。

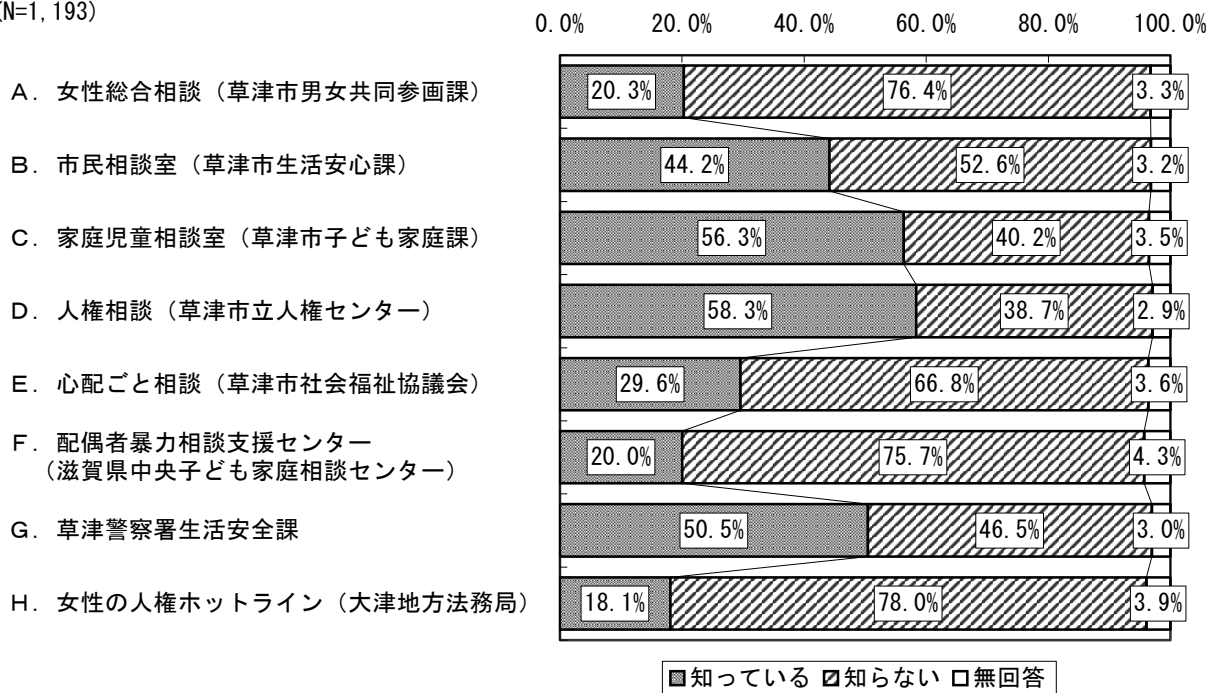
年齢別にみると、60歳代以下では「平等になっていない」と思っている人が「平等になっている」と思っている人に比べて多く、30歳代が55.5%であり、半数以上を占めている。また、30歳代は「平等になっている」と思っている人が19.8%と最も少なく、平均スコアも2.06点と最も低い。一方、70歳以上は「平等になっている」と思っている人が「平等になっていない」と思っている人に比べて多く、平均スコアは2.48点と最も高い。

「男は仕事、女は家庭」という考えに対する意識別にみると、この意見に賛成する度合いが強いほど平均スコアが高い傾向にあるが、明確に「賛成」と思っている人以外は「平等になっていない」と評価している。

質問7. あなたは、女性の人権に関する次のAからHの相談窓口を知っていますか。AからHそれぞれについて、あてはまるものを1つだけ選び、○をつけてください。

図表 女性の人権に関する相談窓口の認知状況

(N=1,193)



女性の人権に関する相談窓口の認知状況をたずねたところ、「知っている」は「D. 人権相談（草津市立人権センター）」（58.3%）が最も多く、以下、「C. 家庭児童相談室（草津市子ども家庭課）」（56.3%）、「G. 草津警察署生活安全課」（50.5%）、「B. 市民相談室（草津市生活安心課）」（44.2%）などとなっている。

一方、「知らない」は「H. 女性の人権ホットライン（大津地方法務局）」（78.0%）が最も多く、以下、「A. 女性総合相談（草津市男女共同参画課）」（76.4%）「F. 配偶者暴力相談支援センター（滋賀県中央子ども家庭相談センター）」（75.7%）などとなっている。

A. 女性総合相談（草津市男女共同参画課）

図表 女性の人権に関する相談窓口の認知状況「女性総合相談（草津市男女共同参画課）」

		知っている	知らない	無回答	合計
全体		242	912	39	1,193
		20.3%	76.4%	3.3%	100.0%
地域	志津小学校区	16	62	2	80
		20.0%	77.5%	2.5%	100.0%
	志津南小学校区	16	32	0	48
		33.3%	66.7%	0.0%	100.0%
	草津小学校区	22	72	1	95
		23.2%	75.8%	1.1%	100.0%
	草津第二小学校区	15	75	1	91
		16.5%	82.4%	1.1%	100.0%
	渋川小学校区	16	66	3	85
		18.8%	77.6%	3.5%	100.0%
	矢倉小学校区	16	62	4	82
		19.5%	75.6%	4.9%	100.0%
	老上小学校区	18	48	6	72
		25.0%	66.7%	8.3%	100.0%
	老上西小学校区	5	44	2	51
		9.8%	86.3%	3.9%	100.0%
	玉川小学校区	14	68	0	82
		17.1%	82.9%	0.0%	100.0%
	南笠東小学校区	12	48	0	60
		20.0%	80.0%	0.0%	100.0%
	山田小学校区	13	50	4	67
		19.4%	74.6%	6.0%	100.0%
	笠縫小学校区	19	77	5	101
		18.8%	76.2%	5.0%	100.0%
	笠縫東小学校区	16	56	3	75
		21.3%	74.7%	4.0%	100.0%
	常盤小学校区	13	34	4	51
		25.5%	66.7%	7.8%	100.0%
	無回答・小学校区不明	31	118	4	153
		20.3%	77.1%	2.6%	100.0%

地域別にみると、いずれの地域でも「知らない」が6割以上を占めている。

性別にみると、男女ともに「知らない」が7割以上を占めており、男性（80.1％）が女性（74.0％）に比べて6.1ポイント多い。

年齢別にみると、いずれの年代でも「知らない」が6割以上を占めているが、年代が上がるほど認知が増え、「知っている」は70歳以上の29.9％が最も多い。

居住年数別にみると、居住年数が短いほど「知らない」が多い傾向があり、10年未満では「知らない」が8割を超えている。

B. 市民相談室（草津市生活安心課）

図表 女性の人権に関する相談窓口の認知状況「市民相談室（草津市生活安心課）」

		知っている	知らない	無回答	合計
全体		527	628	38	1,193
		44.2%	52.6%	3.2%	100.0%
地域	志津小学校区	43	35	2	80
		53.8%	43.8%	2.5%	100.0%
	志津南小学校区	34	14	0	48
		70.8%	29.2%	0.0%	100.0%
	草津小学校区	51	43	1	95
		53.7%	45.3%	1.1%	100.0%
	草津第二小学校区	33	57	1	91
		36.3%	62.6%	1.1%	100.0%
	渋川小学校区	30	53	2	85
		35.3%	62.4%	2.4%	100.0%
	矢倉小学校区	34	45	3	82
		41.5%	54.9%	3.7%	100.0%
	老上小学校区	28	40	4	72
		38.9%	55.6%	5.6%	100.0%
	老上西小学校区	17	32	2	51
		33.3%	62.7%	3.9%	100.0%
	玉川小学校区	33	49	0	82
		40.2%	59.8%	0.0%	100.0%
	南笠東小学校区	22	38	0	60
		36.7%	63.3%	0.0%	100.0%
	山田小学校区	36	27	4	67
		53.7%	40.3%	6.0%	100.0%
	笠縫小学校区	44	52	5	101
		43.6%	51.5%	5.0%	100.0%
	笠縫東小学校区	39	34	2	75
		52.0%	45.3%	2.7%	100.0%
	常盤小学校区	23	23	5	51
		45.1%	45.1%	9.8%	100.0%
	無回答・小学校区不明	60	86	7	153
		39.2%	56.2%	4.6%	100.0%

地域別にみると、草津第二小学校区、渋川小学校区、老上西小学校区、南笠東小学校区では「知らない」が6割以上を占めている。

性別にみると、男女ともに「知らない」が半数以上を占めており、男性が53.2%、女性が51.3%となっており、男女差は小さい。

年齢別にみると、50歳代以下では「知らない」が半数以上を占めており、20歳代（72.6%）が最も多い。一方、60歳代と70歳以上では「知っている」が6割以上となっている。

居住年数別にみると、居住年数が長いほど「知っている」が多くなっており、20年以上では「知っている」が5割を超えている。

C. 家庭児童相談室（草津市子ども家庭課）

図表 女性の人権に関する相談窓口の認知状況「家庭児童相談室（草津市子ども家庭課）」

		知っている	知らない	無回答	合計
全体		672	479	42	1,193
		56.3%	40.2%	3.5%	100.0%
地域	志津小学校区	49	28	3	80
		61.3%	35.0%	3.8%	100.0%
	志津南小学校区	30	18	0	48
		62.5%	37.5%	0.0%	100.0%
	草津小学校区	61	34	0	95
		64.2%	35.8%	0.0%	100.0%
	草津第二小学校区	46	44	1	91
		50.5%	48.4%	1.1%	100.0%
	渋川小学校区	47	35	3	85
		55.3%	41.2%	3.5%	100.0%
	矢倉小学校区	42	37	3	82
		51.2%	45.1%	3.7%	100.0%
	老上小学校区	30	36	6	72
		41.7%	50.0%	8.3%	100.0%
	老上西小学校区	26	23	2	51
		51.0%	45.1%	3.9%	100.0%
	玉川小学校区	52	29	1	82
		63.4%	35.4%	1.2%	100.0%
	南笠東小学校区	37	23	0	60
		61.7%	38.3%	0.0%	100.0%
	山田小学校区	43	21	3	67
		64.2%	31.3%	4.5%	100.0%
	笠縫小学校区	61	35	5	101
		60.4%	34.7%	5.0%	100.0%
	笠縫東小学校区	42	30	3	75
		56.0%	40.0%	4.0%	100.0%
	常盤小学校区	27	19	5	51
		52.9%	37.3%	9.8%	100.0%
	無回答・小学校区不明	79	67	7	153
		51.6%	43.8%	4.6%	100.0%

地域別にみると、老上小学校区を除いて「知っている」が半数以上を占めている。

性別にみると、男女ともに「知っている」が半数以上を占めており、女性（60.3%）が男性（52.0%）に比べて8.3ポイント多い。

年齢別にみると、いずれの年齢も「知っている」が半数以上を占めており、50歳代（60.0%）が最も多い。

居住年数別にみると、顕著な傾向ではないが、居住年数が短いほど「知らない」が多い傾向がみられ、2年未満では「知らない」（51.8%）が「知っている」（44.6%）を上回っている。

D. 人権相談（草津市立人権センター）

図表 女性の人権に関する相談窓口の認知状況「人権相談（草津市立人権センター）」

		知っている	知らない	無回答	合計
全体		696 58.3%	462 38.7%	35 2.9%	1,193 100.0%
地域	志津小学校区	48 60.0%	30 37.5%	2 2.5%	80 100.0%
	志津南小学校区	28 58.3%	20 41.7%	0 0.0%	48 100.0%
	草津小学校区	65 68.4%	29 30.5%	1 1.1%	95 100.0%
	草津第二小学校区	48 52.7%	42 46.2%	1 1.1%	91 100.0%
	渋川小学校区	49 57.6%	35 41.2%	1 1.2%	85 100.0%
	矢倉小学校区	43 52.4%	36 43.9%	3 3.7%	82 100.0%
	老上小学校区	37 51.4%	29 40.3%	6 8.3%	72 100.0%
	老上西小学校区	30 58.8%	19 37.3%	2 3.9%	51 100.0%
	玉川小学校区	49 59.8%	33 40.2%	0 0.0%	82 100.0%
	南笠東小学校区	35 58.3%	25 41.7%	0 0.0%	60 100.0%
	山田小学校区	42 62.7%	21 31.3%	4 6.0%	67 100.0%
	笠縫小学校区	61 60.4%	35 34.7%	5 5.0%	101 100.0%
	笠縫東小学校区	53 70.7%	21 28.0%	1 1.3%	75 100.0%
	常盤小学校区	26 51.0%	21 41.2%	4 7.8%	51 100.0%
	無回答・ 小学校区不明	82 53.6%	66 43.1%	5 3.3%	153 100.0%

地域別にみると、いずれの地域においても「知っている」が半数以上を占めているが、笠縫東小学校区では70.7%と特に多い。

性別にみると、男女ともに「知っている」が半数以上を占めており、女性（61.0%）が男性（55.7%）に比べて5.3ポイント多い。

年齢別にみると、30歳代以下では「知らない」が半数以上を占めている。一方、「知っている」は年代が上がるほど増加し、40歳代以上では半数以上となり、70歳以上（67.8%）最も多い。

居住年数別にみると、居住年数が短いほど「知らない」が多い傾向がみられ、5年未満では「知らない」が5割を超えており、「知っている」を上回っている。

Ｅ．心配ごと相談（草津市社会福祉協議会）

図表 女性の人権に関する相談窓口の認知状況「心配ごと相談（草津市社会福祉協議会）」

		知っている	知らない	無回答	合計
全体		353 29.6%	797 66.8%	43 3.6%	1,193 100.0%
地域	志津小学校区	24 30.0%	54 67.5%	2 2.5%	80 100.0%
	志津南小学校区	17 35.4%	30 62.5%	1 2.1%	48 100.0%
	草津小学校区	33 34.7%	61 64.2%	1 1.1%	95 100.0%
	草津第二小学校区	22 24.2%	67 73.6%	2 2.2%	91 100.0%
	渋川小学校区	22 25.9%	60 70.6%	3 3.5%	85 100.0%
	矢倉小学校区	21 25.6%	57 69.5%	4 4.9%	82 100.0%
	老上小学校区	15 20.8%	51 70.8%	6 8.3%	72 100.0%
	老上西小学校区	10 19.6%	39 76.5%	2 3.9%	51 100.0%
	玉川小学校区	22 26.8%	59 72.0%	1 1.2%	82 100.0%
	南笠東小学校区	19 31.7%	41 68.3%	0 0.0%	60 100.0%
	山田小学校区	28 41.8%	37 55.2%	2 3.0%	67 100.0%
	笠縫小学校区	30 29.7%	66 65.3%	5 5.0%	101 100.0%
	笠縫東小学校区	27 36.0%	45 60.0%	3 4.0%	75 100.0%
	常盤小学校区	16 31.4%	31 60.8%	4 7.8%	51 100.0%
	無回答・ 小学校区不明	47 30.7%	99 64.7%	7 4.6%	153 100.0%

地域別にみると、いずれの地域においても「知らない」が６割以上を占めている。特に草津第二小学校区、渋川小学校区、老上小学校区、老上西小学校区、玉川小学校区では７割以上と多い。

性別にみると、男女ともに「知らない」が６割以上を占めており、男性（71.8％）が女性（63.0％）に比べて8.8ポイント多い。

年齢別にみると、60歳代以下では「知らない」が半数以上を占めており、20歳代と30歳代では8割以上となっている。一方、「知っている」は年代が上がるほど増加し、70歳以上（50.0％）が最も多い。

居住年数別にみると、居住年数が短いほど「知らない」が多い傾向にあり、10年未満では「知らない」が8割以上を占めている。

F. 配偶者暴力相談支援センター（滋賀県中央子ども家庭相談センター）

図表 女性の人権に関する相談窓口の認知状況「配偶者暴力相談支援センター（滋賀県中央子ども家庭相談センター）」

		知っている	知らない	無回答	合計
全体		239 20.0%	903 75.7%	51 4.3%	1,193 100.0%
地域	志津小学校区	17 21.3%	58 72.5%	5 6.3%	80 100.0%
	志津南小学校区	10 20.8%	38 79.2%	0 0.0%	48 100.0%
	草津小学校区	21 22.1%	72 75.8%	2 2.1%	95 100.0%
	草津第二小学校区	12 13.2%	78 85.7%	1 1.1%	91 100.0%
	渋川小学校区	20 23.5%	63 74.1%	2 2.4%	85 100.0%
	矢倉小学校区	16 19.5%	62 75.6%	4 4.9%	82 100.0%
	老上小学校区	15 20.8%	51 70.8%	6 8.3%	72 100.0%
	老上西小学校区	7 13.7%	42 82.4%	2 3.9%	51 100.0%
	玉川小学校区	18 22.0%	63 76.8%	1 1.2%	82 100.0%
	南笠東小学校区	14 23.3%	44 73.3%	2 3.3%	60 100.0%
	山田小学校区	10 14.9%	53 79.1%	4 6.0%	67 100.0%
	笠縫小学校区	18 17.8%	77 76.2%	6 5.9%	101 100.0%
	笠縫東小学校区	18 24.0%	54 72.0%	3 4.0%	75 100.0%
	常盤小学校区	9 17.6%	37 72.5%	5 9.8%	51 100.0%
	無回答・小学校区不明	34 22.2%	111 72.5%	8 5.2%	153 100.0%

地域別にみると、いずれの地域においても「知らない」が7割以上を占めている。特に草津第二小学校区と老上西小学校区では「知らない」が8割を超えている。

性別にみると、男女ともに「知らない」が7割以上を占めており、男性（82.4%）が女性（71.5%）に比べて10.9ポイント多くなっている。

年齢別にみると、いずれの年代でも「知らない」が6割以上を占めており、40歳代以下では8割以上となっている。一方、「知っている」は50歳代、60歳代、70歳代上で24%台となっており、ほぼ同率である。

居住年数別にみると、「知っている」は5年以上では20%を超えているが、5年未満では10%未満となっており、居住年数5年の周辺で傾向が変わっている。

G. 草津警察署生活安全課

図表 女性の人権に関する相談窓口の認知状況「草津警察署生活安全課」

		知っている	知らない	無回答	合計
全体		602	555	36	1,193
		50.5%	46.5%	3.0%	100.0%
地域	志津小学校区	44	34	2	80
		55.0%	42.5%	2.5%	100.0%
	志津南小学校区	28	20	0	48
		58.3%	41.7%	0.0%	100.0%
	草津小学校区	55	39	1	95
		57.9%	41.1%	1.1%	100.0%
	草津第二小学校区	37	53	1	91
		40.7%	58.2%	1.1%	100.0%
	渋川小学校区	45	38	2	85
		52.9%	44.7%	2.4%	100.0%
	矢倉小学校区	36	43	3	82
		43.9%	52.4%	3.7%	100.0%
	老上小学校区	31	36	5	72
		43.1%	50.0%	6.9%	100.0%
	老上西小学校区	22	27	2	51
		43.1%	52.9%	3.9%	100.0%
	玉川小学校区	40	41	1	82
		48.8%	50.0%	1.2%	100.0%
	南笠東小学校区	34	26	0	60
		56.7%	43.3%	0.0%	100.0%
	山田小学校区	32	32	3	67
		47.8%	47.8%	4.5%	100.0%
	笠縫小学校区	56	39	6	101
		55.4%	38.6%	5.9%	100.0%
	笠縫東小学校区	43	30	2	75
		57.3%	40.0%	2.7%	100.0%
	常盤小学校区	25	23	3	51
		49.0%	45.1%	5.9%	100.0%
	無回答・小学校区不明	74	74	5	153
		48.4%	48.4%	3.3%	100.0%

地域別にみると、「知らない」が「知っている」を上回っているのは5地域で、最も差が大きいのは草津第二小学校区（17.5ポイント差）となっている。その他の地域では「知っている」が「知らない」を上回っている。

性別にみると、男性は「知っている」が54.9%となっており、「知らない」を上回っている。一方、女性は「知らない」が49.6%、「知っている」が47.0%となっており、わずかに「知らない」のほうが多い。また、「知っている」は、女性が男性に比べて7.9ポイント少ない。

年齢別にみると、「知っている」は30歳代、60歳代、70歳以上では半数以上を占めており、70歳以上（61.2%）が最も多い。一方、「知らない」は20歳代、40歳代、50歳代が半数以上を占めている。

居住年数別にみると、20年以上を除いて「知らない」が「知っている」を上回っており、居住年数が短いほど「知らない」が多い傾向がみられる。

H. 女性の人権ホットライン（大津地方法務局）

図表 女性の人権に関する相談窓口の認知状況「女性の人権ホットライン（大津地方法務局）」

		知っている	知らない	無回答	合計
全体		216 18.1%	930 78.0%	47 3.9%	1,193 100.0%
地域	志津小学校区	9 11.3%	67 83.8%	4 5.0%	80 100.0%
	志津南小学校区	12 25.0%	36 75.0%	0 0.0%	48 100.0%
	草津小学校区	21 22.1%	72 75.8%	2 2.1%	95 100.0%
	草津第二小学校区	14 15.4%	76 83.5%	1 1.1%	91 100.0%
	渋川小学校区	20 23.5%	62 72.9%	3 3.5%	85 100.0%
	矢倉小学校区	16 19.5%	63 76.8%	3 3.7%	82 100.0%
	老上小学校区	13 18.1%	53 73.6%	6 8.3%	72 100.0%
	老上西小学校区	7 13.7%	42 82.4%	2 3.9%	51 100.0%
	玉川小学校区	15 18.3%	66 80.5%	1 1.2%	82 100.0%
	南笠東小学校区	10 16.7%	49 81.7%	1 1.7%	60 100.0%
	山田小学校区	8 11.9%	55 82.1%	4 6.0%	67 100.0%
	笠縫小学校区	25 24.8%	70 69.3%	6 5.9%	101 100.0%
	笠縫東小学校区	12 16.0%	60 80.0%	3 4.0%	75 100.0%
	常盤小学校区	7 13.7%	39 76.5%	5 9.8%	51 100.0%
	無回答・ 小学校区不明	27 17.6%	120 78.4%	6 3.9%	153 100.0%

地域別にみると、いずれの地域でも「知らない」が6割以上を占めている。「知っている」が最も多いのは志津南小学校区の25.0%で、次いで笠縫小学校区（24.8%）となっている。

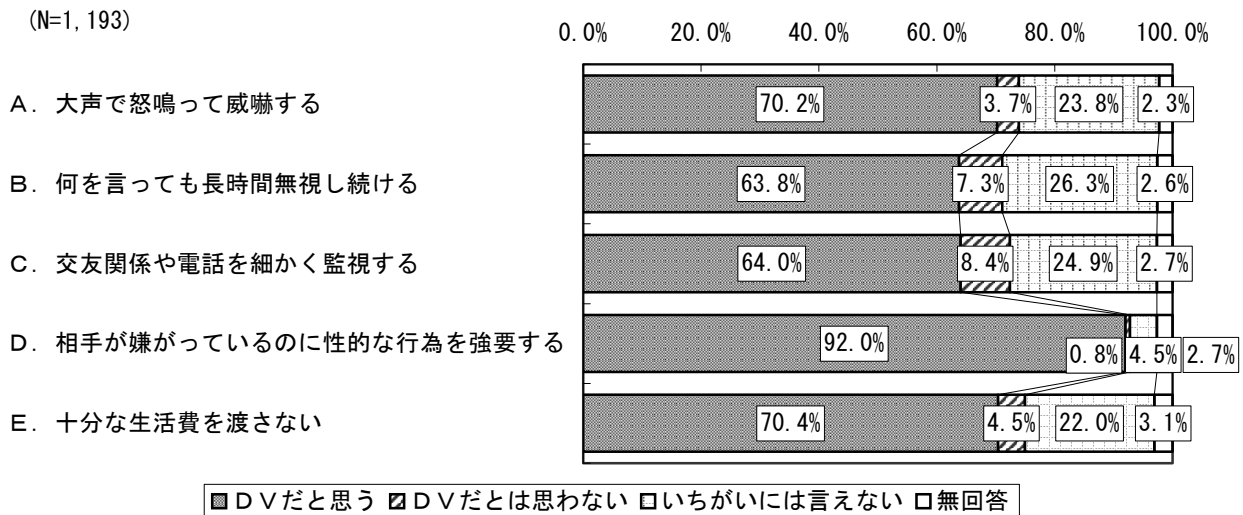
性別にみると、男女ともに「知らない」が7割以上を占めており、男性（83.9%）が女性（74.6%）に比べて9.3ポイント多くなっている。

年齢別にみると、いずれの年代でも「知らない」が7割以上を占めている。一方、「知っている」は30歳代と50歳代では約2割となっている。

居住年数別にみると、居住年数に関係なく「知らない」が7割以上を占めているが、2年未満が80.4%で最も多い。

質問 8. あなたは、次の A から E の事柄が DV（ドメスティックバイオレンス）に当たるといいますか、思いませんか。A から E それぞれについて、あてはまるものを 1 つだけ選び、○をつけてください。

図表 DV（ドメスティックバイオレンス）に該当すると思う事項



DV（ドメスティックバイオレンス）に該当すると思う事項をたずねたところ、「DVだと思ふ」は「D. 相手が嫌がっているのに性的な行為を強要する」（92.0%）が最も多く、以下、「E. 十分な生活費を渡さない」（70.4%）、「A. 大声で怒鳴って威嚇する」（70.2%）、「C. 交友関係や電話を細かく監視する」（64.0%）、「B. 何を言っても長時間無視し続ける」（63.8%）となっている。

いずれの項目でも「DVだと思ふ」が半数以上を占めているが、「D. 相手が嫌がっているのに性的な行為を強要する」以外は「いちがいには言えない」が2割以上おり、DVかどうか判断がつかかねている人も多い。

A. 大声で怒鳴って威嚇する

図表 DV（ドメスティックバイオレンス）に該当すると思う事項「大声で怒鳴って威嚇する」

		DVだと思 う	DVだとは思 わない	いちがいに は言えない	無回答	合計
全体		838 70.2%	44 3.7%	284 23.8%	27 2.3%	1,193 100.0%
地 域	志津小学校区	65 81.3%	1 1.3%	12 15.0%	2 2.5%	80 100.0%
	志津南小学校区	34 70.8%	2 4.2%	12 25.0%	0 0.0%	48 100.0%
	草津小学校区	69 72.6%	5 5.3%	21 22.1%	0 0.0%	95 100.0%
	草津第二小学校区	72 79.1%	3 3.3%	15 16.5%	1 1.1%	91 100.0%
	渋川小学校区	65 76.5%	2 2.4%	18 21.2%	0 0.0%	85 100.0%
	矢倉小学校区	62 75.6%	2 2.4%	18 22.0%	0 0.0%	82 100.0%
	老上小学校区	50 69.4%	2 2.8%	18 25.0%	2 2.8%	72 100.0%
	老上西小学校区	37 72.5%	2 3.9%	10 19.6%	2 3.9%	51 100.0%
	玉川小学校区	62 75.6%	2 2.4%	17 20.7%	1 1.2%	82 100.0%
	南笠東小学校区	39 65.0%	4 6.7%	16 26.7%	1 1.7%	60 100.0%
	山田小学校区	46 68.7%	4 6.0%	14 20.9%	3 4.5%	67 100.0%
	笠縫小学校区	59 58.4%	6 5.9%	32 31.7%	4 4.0%	101 100.0%
	笠縫東小学校区	49 65.3%	4 5.3%	21 28.0%	1 1.3%	75 100.0%
	常盤小学校区	34 66.7%	1 2.0%	14 27.5%	2 3.9%	51 100.0%
	無回答・ 小学校区不明	95 62.1%	4 2.6%	46 30.1%	8 5.2%	153 100.0%

地域別にみると、いずれの地域でも「DVだと思」が半数以上を占めており、「DVだと思」が最も多いのは志津小学校区で、81.3%となっている。

性別にみると、男女ともに「DVだと思」が半数以上を占めている。また、女性が71.5%、男性が69.6%となっており、男女差は小さい。一方、「DVだとは思わない」は、男女ともに1割未満となっている。

年齢別にみると、いずれの年代でも「DVだと思」は6割以上を占めており、50歳代（78.1%）が最も多い。

B. 何を言っても長時間無視し続ける

図表 DV（ドメスティックバイオレンス）に該当すると思う事項「何を言っても長時間無視し続ける」

		DVだと思 う	DVだとは思 わない	いちがいに は言えない	無回答	合計
全体		761 63.8%	87 7.3%	314 26.3%	31 2.6%	1,193 100.0%
地 域	志津小学校区	56 70.0%	3 3.8%	19 23.8%	2 2.5%	80 100.0%
	志津南小学校区	27 56.3%	2 4.2%	19 39.6%	0 0.0%	48 100.0%
	草津小学校区	63 66.3%	9 9.5%	22 23.2%	1 1.1%	95 100.0%
	草津第二小学校区	62 68.1%	7 7.7%	20 22.0%	2 2.2%	91 100.0%
	渋川小学校区	55 64.7%	4 4.7%	25 29.4%	1 1.2%	85 100.0%
	矢倉小学校区	60 73.2%	3 3.7%	19 23.2%	0 0.0%	82 100.0%
	老上小学校区	46 63.9%	6 8.3%	19 26.4%	1 1.4%	72 100.0%
	老上西小学校区	33 64.7%	2 3.9%	15 29.4%	1 2.0%	51 100.0%
	玉川小学校区	54 65.9%	5 6.1%	22 26.8%	1 1.2%	82 100.0%
	南笠東小学校区	37 61.7%	5 8.3%	17 28.3%	1 1.7%	60 100.0%
	山田小学校区	41 61.2%	8 11.9%	15 22.4%	3 4.5%	67 100.0%
	笠縫小学校区	56 55.4%	12 11.9%	29 28.7%	4 4.0%	101 100.0%
	笠縫東小学校区	45 60.0%	5 6.7%	24 32.0%	1 1.3%	75 100.0%
	常盤小学校区	32 62.7%	4 7.8%	11 21.6%	4 7.8%	51 100.0%
	無回答・ 小学校区不明	94 61.4%	12 7.8%	38 24.8%	9 5.9%	153 100.0%

地域別にみると、いずれの地域でも「DVだと思」が半数以上を占めている。一方、山田小学校区と笠縫小学校区では「DVだとは思わない」がそれぞれ約1割となっている。

性別にみると、男女ともに「DVだと思」が半数以上を占めており、女性(65.9%)が男性(61.7%)に比べて4.2ポイント多い。一方、「DVだとは思わない」は、男性が10.4%となっている。

年齢別にみると、いずれの年代でも「DVだと思」が半数以上を占めており、50歳代(71.0%)が最も多い。一方、「DVだとは思わない」は、20歳代が11.6%となっている。

C. 交友関係や電話を細かく監視する

図表 DV（ドメスティックバイオレンス）に該当すると思う事項「交友関係や電話を細かく監視する」

		DVだと思 う	DVだとは思 わない	いちがいに は言えない	無回答	合計
全体		764 64.0%	100 8.4%	297 24.9%	32 2.7%	1,193 100.0%
地域	志津小学校区	58 72.5%	9 11.3%	11 13.8%	2 2.5%	80 100.0%
	志津南小学校区	31 64.6%	6 12.5%	11 22.9%	0 0.0%	48 100.0%
	草津小学校区	67 70.5%	7 7.4%	20 21.1%	1 1.1%	95 100.0%
	草津第二小学校区	59 64.8%	10 11.0%	20 22.0%	2 2.2%	91 100.0%
	渋川小学校区	61 71.8%	6 7.1%	18 21.2%	0 0.0%	85 100.0%
	矢倉小学校区	54 65.9%	4 4.9%	24 29.3%	0 0.0%	82 100.0%
	老上小学校区	41 56.9%	8 11.1%	20 27.8%	3 4.2%	72 100.0%
	老上西小学校区	28 54.9%	4 7.8%	17 33.3%	2 3.9%	51 100.0%
	玉川小学校区	59 72.0%	4 4.9%	18 22.0%	1 1.2%	82 100.0%
	南笠東小学校区	39 65.0%	5 8.3%	15 25.0%	1 1.7%	60 100.0%
	山田小学校区	42 62.7%	4 6.0%	18 26.9%	3 4.5%	67 100.0%
	笠縫小学校区	55 54.5%	11 10.9%	31 30.7%	4 4.0%	101 100.0%
	笠縫東小学校区	46 61.3%	4 5.3%	24 32.0%	1 1.3%	75 100.0%
	常盤小学校区	30 58.8%	6 11.8%	11 21.6%	4 7.8%	51 100.0%
	無回答・ 小学校区不明	94 61.4%	12 7.8%	39 25.5%	8 5.2%	153 100.0%

地域別にみると、いずれの地域でも「DVだと思」が半数以上を占めている。一方、志津小学校区、草津第二小学校区、老上小学校区では「DVだと思わない」がそれぞれ1割以上となっている。

性別にみると、男女ともに「DVだと思」が半数以上を占めており、女性(68.9%)が男性(56.5%)に比べて12.4ポイント多い。一方、「DVだと思わない」は、男性が13.9%となっている。

年齢別にみると、いずれの年代でも「DVだと思」が半数以上を占めており、20歳代(74.7%)が最も多い。一方、「DVだと思わない」は、40歳代と50歳代がそれぞれ約1割となっている。

D. 相手が嫌がっているのに性的な行為を強要する

図表 DV（ドメスティックバイオレンス）に該当すると思う事項「相手が嫌がっているのに性的な行為を強要する」

		DVだと思 う	DVだとは思 わない	いちがいに は言えない	無回答	合計
全体		1,098 92.0%	9 0.8%	54 4.5%	32 2.7%	1,193 100.0%
地域	志津小学校区	72 90.0%	0 0.0%	4 5.0%	4 5.0%	80 100.0%
	志津南小学校区	45 93.8%	1 2.1%	2 4.2%	0 0.0%	48 100.0%
	草津小学校区	94 98.9%	0 0.0%	1 1.1%	0 0.0%	95 100.0%
	草津第二小学校区	86 94.5%	2 2.2%	2 2.2%	1 1.1%	91 100.0%
	渋川小学校区	80 94.1%	1 1.2%	4 4.7%	0 0.0%	85 100.0%
	矢倉小学校区	77 93.9%	2 2.4%	3 3.7%	0 0.0%	82 100.0%
	老上小学校区	65 90.3%	1 1.4%	4 5.6%	2 2.8%	72 100.0%
	老上西小学校区	47 92.2%	0 0.0%	2 3.9%	2 3.9%	51 100.0%
	玉川小学校区	78 95.1%	0 0.0%	3 3.7%	1 1.2%	82 100.0%
	南笠東小学校区	53 88.3%	1 1.7%	5 8.3%	1 1.7%	60 100.0%
	山田小学校区	61 91.0%	0 0.0%	2 3.0%	4 6.0%	67 100.0%
	笠縫小学校区	91 90.1%	0 0.0%	6 5.9%	4 4.0%	101 100.0%
	笠縫東小学校区	68 90.7%	1 1.3%	5 6.7%	1 1.3%	75 100.0%
	常盤小学校区	44 86.3%	0 0.0%	3 5.9%	4 7.8%	51 100.0%
	無回答・ 小学校区不明	137 89.5%	0 0.0%	8 5.2%	8 5.2%	153 100.0%

地域別にみると、いずれの地域でも「DVだと思う」が8割以上を占めている。

性別にみると、男女ともに「DVだと思う」が9割以上を占めており、男性が92.5%、女性が92.4%となっている。

年齢別にみると、いずれの年代でも「DVだと思う」が8割以上を占めており、20歳代（96.8%）が最も多い。

Ｅ．十分な生活費を渡さない

図表 ＤＶ（ドメスティックバイオレンス）に該当すると思う事項「Ｅ．十分な生活費を渡さない」

		ＤＶだと思 う	ＤＶだとは思 わない	いちがいに は言えない	無回答	合計
全体		840 70.4%	54 4.5%	262 22.0%	37 3.1%	1,193 100.0%
地 域	志津小学校区	58 72.5%	2 2.5%	15 18.8%	5 6.3%	80 100.0%
	志津南小学校区	36 75.0%	4 8.3%	8 16.7%	0 0.0%	48 100.0%
	草津小学校区	64 67.4%	4 4.2%	26 27.4%	1 1.1%	95 100.0%
	草津第二小学校区	70 76.9%	3 3.3%	16 17.6%	2 2.2%	91 100.0%
	渋川小学校区	64 75.3%	8 9.4%	13 15.3%	0 0.0%	85 100.0%
	矢倉小学校区	62 75.6%	2 2.4%	18 22.0%	0 0.0%	82 100.0%
	老上小学校区	50 69.4%	4 5.6%	15 20.8%	3 4.2%	72 100.0%
	老上西小学校区	37 72.5%	1 2.0%	11 21.6%	2 3.9%	51 100.0%
	玉川小学校区	59 72.0%	6 7.3%	16 19.5%	1 1.2%	82 100.0%
	南笠東小学校区	46 76.7%	3 5.0%	10 16.7%	1 1.7%	60 100.0%
	山田小学校区	50 74.6%	3 4.5%	11 16.4%	3 4.5%	67 100.0%
	笠縫小学校区	61 60.4%	5 5.0%	30 29.7%	5 5.0%	101 100.0%
	笠縫東小学校区	54 72.0%	1 1.3%	19 25.3%	1 1.3%	75 100.0%
	常盤小学校区	29 56.9%	3 5.9%	16 31.4%	3 5.9%	51 100.0%
	無回答・ 小学校区不明	100 65.4%	5 3.3%	38 24.8%	10 6.5%	153 100.0%

地域別にみると、いずれの地域でも「ＤＶだと思う」が６割以上を占めている。

性別にみると、男女ともに「ＤＶだと思う」が半数以上を占めており、女性（74.1％）が男性（65.4％）に比べて8.7ポイント多い。一方、「ＤＶだと思わない」は、男女ともに１割未満となっている。

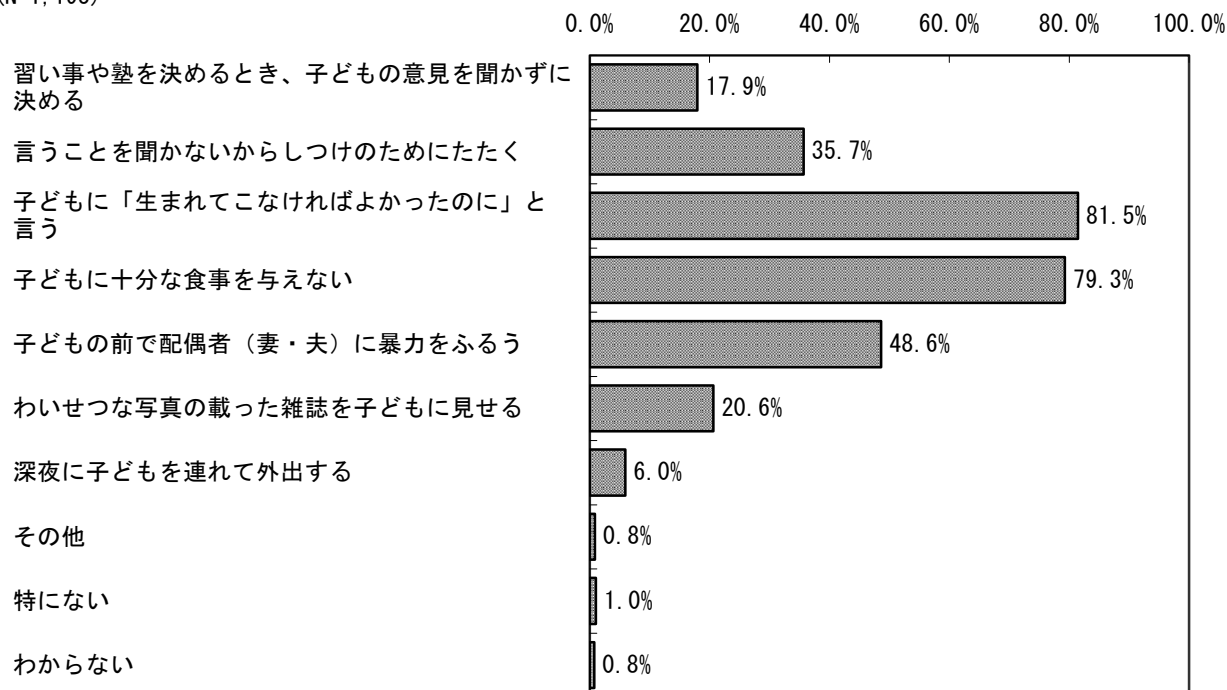
年齢別にみると、いずれの年代でも「ＤＶだと思う」が半数以上を占めており、50歳代（80.0％）が最も多い。

6 子どもの人権

質問9. あなたは、子どもに関する事柄で、人権尊重の観点から見て問題があると思うのはどのようなことですか。特に問題だと思うものを3つまで選び、○をつけてください。

図表 子どもに関して、人権尊重の観点から見て問題があると思うこと（3つまでの複数回答）

(N=1,193)



子どもに関して、人権尊重の観点から見て問題があると思うことをたずねたところ、「子どもに『生まれてこなければよかったのに』と言う」が81.5%で最も多く、以下、「子どもに十分な食事を与えない」が79.3%、「子ども前で配偶者（妻・夫）に暴力をふるう」が48.6%、「言うことを聞かないからしつけのためにたたく」が35.7%などとなっている。

図表 子どもに関して、人権尊重の観点から見て問題があると思うこと（3つまでの複数回答）

	習い事や塾を決めるとき、子どもの意見を聞かずに決める	言うことを聞かないからしつけのためにたたく	子どもに「生まれてこなければよかったのに」と言う	子どもに十分な食事を与えない	子どもの前で配偶者(妻・夫)に暴力をふるう	わいせつな写真の載った雑誌を子どもに見せる	深夜に子どもを連れて外出する	その他	特にな	わからない	集計母数
全体	214 17.9%	426 35.7%	972 81.5%	946 79.3%	580 48.6%	246 20.6%	71 6.0%	10 0.8%	12 1.0%	9 0.8%	1,193 100.0%
地域	志津小学校区	16 20.0%	29 36.3%	71 88.8%	62 77.5%	36 45.0%	9 11.3%	4 5.0%	3 3.8%	0 0.0%	80 100.0%
	志津南小学校区	6 12.5%	15 31.3%	41 85.4%	43 89.6%	24 50.0%	13 27.1%	5 10.4%	0 0.0%	0 0.0%	48 100.0%
	草津小学校区	20 21.1%	34 35.8%	74 77.9%	71 74.7%	56 58.9%	15 15.8%	6 6.3%	0 0.0%	1 1.1%	95 100.0%
	草津第二小学校区	10 11.0%	36 39.6%	77 84.6%	79 86.8%	47 51.6%	20 22.0%	3 3.3%	1 1.1%	0 0.0%	91 100.0%
	渋川小学校区	14 16.5%	32 37.6%	71 83.5%	72 84.7%	45 52.9%	16 18.8%	7 8.2%	2 2.4%	0 0.0%	85 100.0%
	矢倉小学校区	17 20.7%	28 34.1%	67 81.7%	64 78.0%	43 52.4%	22 26.8%	3 3.7%	1 1.2%	2 2.4%	82 100.0%
	老上小学校区	13 18.1%	21 29.2%	58 80.6%	57 79.2%	39 54.2%	15 20.8%	6 8.3%	1 1.4%	2 2.8%	72 100.0%
	老上西小学校区	8 15.7%	19 37.3%	41 80.4%	42 82.4%	29 56.9%	5 9.8%	1 2.0%	0 0.0%	0 0.0%	51 100.0%
	玉川小学校区	13 15.9%	26 31.7%	69 84.1%	69 84.1%	34 41.5%	20 24.4%	5 6.1%	1 1.2%	1 1.2%	82 100.0%
	南笠東小学校区	14 23.3%	30 50.0%	49 81.7%	45 75.0%	28 46.7%	14 23.3%	2 3.3%	0 0.0%	2 3.3%	60 100.0%
	山田小学校区	11 16.4%	24 35.8%	55 82.1%	53 79.1%	33 49.3%	13 19.4%	5 7.5%	0 0.0%	0 0.0%	67 100.0%
	笠縫小学校区	19 18.8%	37 36.6%	77 76.2%	79 78.2%	45 44.6%	27 26.7%	4 4.0%	0 0.0%	0 0.0%	101 100.0%
	笠縫東小学校区	12 16.0%	30 40.0%	62 82.7%	57 76.0%	38 50.7%	16 21.3%	5 6.7%	0 0.0%	0 0.0%	75 100.0%
	常盤小学校区	9 17.6%	17 33.3%	35 68.6%	37 72.5%	23 45.1%	11 21.6%	3 5.9%	0 0.0%	2 3.9%	51 100.0%
	無回答・小学校区不明	32 20.9%	48 31.4%	125 81.7%	116 75.8%	60 39.2%	30 19.6%	12 7.8%	1 0.7%	2 1.3%	153 100.0%

地域別にみると、志津小学校区、草津小学校区、矢倉小学校区、老上小学校区、南笠東小学校区、山田小学校区、笠縫東小学校区では「子どもに『生まれてこなければよかったのに』と言う」、それ以外の地域では「子どもに十分な食事を与えない」がそれぞれ最も多くなっている（玉川小学校区では同率）。

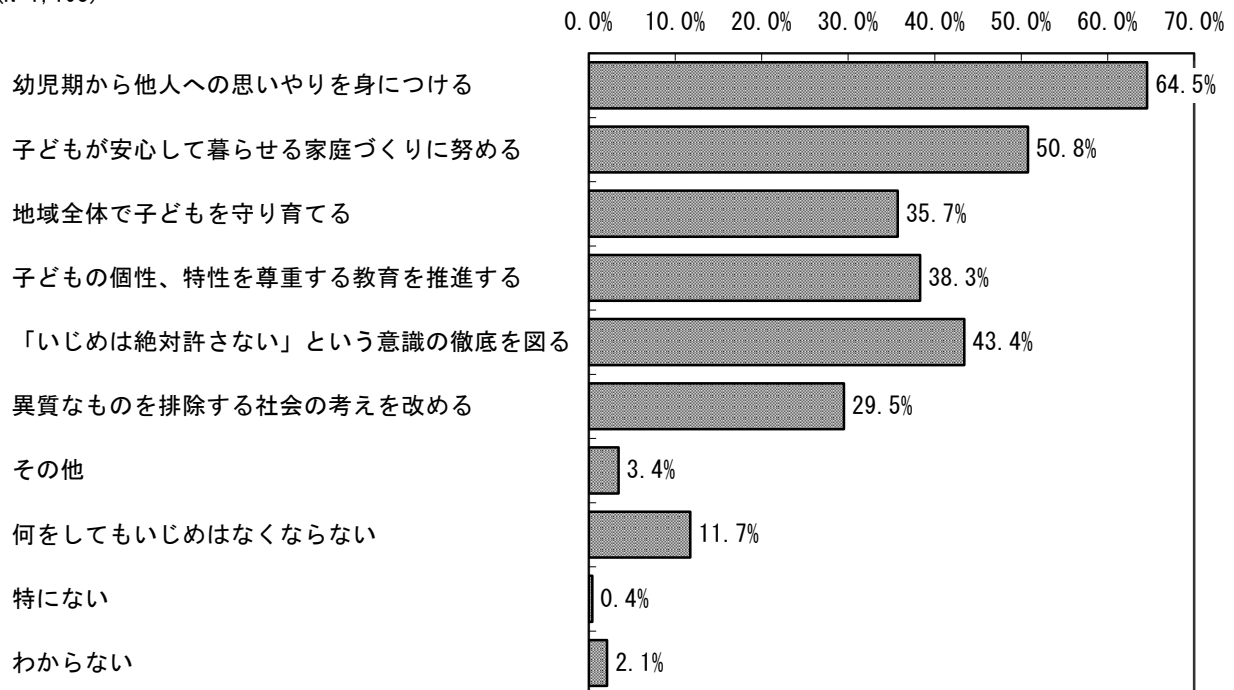
性別にみると、男性は「子どもに十分な食事を与えない」が最も多く、次いで「子どもに『生まれてこなければよかったのに』と言う」となっているが、どちらもほぼ同率であり、約8割を占めている。女性は「子どもに『生まれてこなければよかったのに』と言う」が最も多く、次いで「子どもに十分な食事を与えない」となっており、どちらも約8割を占めている。「子どもに『生まれてこなければよかったのに』と言う」は、女性（83.0%）が男性（79.7%）に比べて3.3ポイント多い。また、「習い事や塾を決めるとき、子どもの意見を聞かずに決める」は、男性（21.5%）が女性（15.5%）に比べて6.0ポイント多く、「わいせつな写真の載った雑誌を子どもに見せる」は、女性（24.2%）が男性（16.6%）に比べて7.6ポイント多い。

年齢別にみると、いずれの年代でも「子どもに『生まれてこなければよかったのに』と言う」、「子どもに十分な食事を与えない」が上位2項目であり、それぞれ6割以上を占めている。

質問10. あなたは、子どもに対するいじめをなくすために、どのようなことが重要だと思いますか。お考えに近いものを3つまで選び、○をつけてください。

図表 子どもに対するいじめをなくすために重要と思う対策（3つまでの複数回答）

(N=1,193)



子どもに対するいじめをなくすために重要と思う対策をたずねたところ、「幼児期から他人への思いやりを身につける」が64.5%で最も多く、以下、「子どもが安心して暮らせる家庭づくりに努める」が50.8%、「『いじめは絶対許さない』という意識の徹底を図る」が43.4%、「子どもの個性、特性を尊重する教育を推進する」が38.3%、「地域全体で子どもを守り育てる」が35.7%などとなっている。

図表 子どもに対するいじめをなくすために重要と思う対策（3つまでの複数回答）

		幼児期から他人への思いやりを身につける	子どもが安心して暮らせる家庭づくりに努める	地域全体で子どもを守り育てる	子どもの個性、特性を尊重する教育を推進する	「いじめは絶対許さない」という意識の徹底を図る	異質なものを排除する社会の考えを改める	その他	何をしてもいじめはなくなる	特にな	わからない	集計母数
全体		770 64.5%	606 50.8%	426 35.7%	457 38.3%	518 43.4%	352 29.5%	41 3.4%	140 11.7%	5 0.4%	25 2.1%	1,193 100.0%
地域	志津小学校区	51 63.8%	41 51.3%	25 31.3%	36 45.0%	38 47.5%	20 25.0%	6 7.5%	8 10.0%	0 0.0%	1 1.3%	80 100.0%
	志津南小学校区	24 50.0%	28 58.3%	18 37.5%	20 41.7%	19 39.6%	18 37.5%	1 2.1%	7 14.6%	1 2.1%	0 0.0%	48 100.0%
	草津小学校区	67 70.5%	54 56.8%	33 34.7%	34 35.8%	39 41.1%	26 27.4%	3 3.2%	11 11.6%	1 1.1%	3 3.2%	95 100.0%
	草津第二小学校区	50 54.9%	45 49.5%	44 48.4%	26 28.6%	52 57.1%	32 35.2%	2 2.2%	8 8.8%	0 0.0%	2 2.2%	91 100.0%
	洪川小学校区	58 68.2%	44 51.8%	29 34.1%	30 35.3%	40 47.1%	32 37.6%	5 5.9%	5 5.9%	0 0.0%	0 0.0%	85 100.0%
	矢倉小学校区	56 68.3%	46 56.1%	32 39.0%	36 43.9%	30 36.6%	23 28.0%	2 2.4%	7 8.5%	0 0.0%	1 1.2%	82 100.0%
	老上小学校区	50 69.4%	31 43.1%	26 36.1%	30 41.7%	32 44.4%	23 31.9%	2 2.8%	7 9.7%	0 0.0%	1 1.4%	72 100.0%
	老上西小学校区	34 66.7%	26 51.0%	17 33.3%	17 33.3%	22 43.1%	10 19.6%	3 5.9%	8 15.7%	0 0.0%	1 2.0%	51 100.0%
	玉川小学校区	53 64.6%	38 46.3%	32 39.0%	35 42.7%	35 42.7%	31 37.8%	1 1.2%	9 11.0%	0 0.0%	1 1.2%	82 100.0%
	南笠東小学校区	32 53.3%	35 58.3%	25 41.7%	24 40.0%	28 46.7%	15 25.0%	0 0.0%	6 10.0%	1 1.7%	0 0.0%	60 100.0%
	山田小学校区	45 67.2%	31 46.3%	22 32.8%	30 44.8%	27 40.3%	18 26.9%	2 3.0%	5 7.5%	0 0.0%	4 6.0%	67 100.0%
	笠縫小学校区	63 62.4%	52 51.5%	28 27.7%	44 43.6%	43 42.6%	29 28.7%	5 5.0%	18 17.8%	0 0.0%	1 1.0%	101 100.0%
	笠縫東小学校区	51 68.0%	34 45.3%	33 44.0%	23 30.7%	40 53.3%	24 32.0%	4 5.3%	7 9.3%	0 0.0%	2 2.7%	75 100.0%
	常盤小学校区	33 64.7%	34 66.7%	20 39.2%	15 29.4%	20 39.2%	11 21.6%	1 2.0%	7 13.7%	1 2.0%	1 2.0%	51 100.0%
	無回答・小学校区不明	103 67.3%	67 43.8%	42 27.5%	57 37.3%	53 34.6%	40 26.1%	4 2.6%	27 17.6%	1 0.7%	7 4.6%	153 100.0%

地域別にみると、志津南小学校区、南笠東小学校区、常盤小学校区では「子どもが安心して暮らせる家庭づくりに努める」、草津第二小学校区では『「いじめは絶対許さない」という意識の徹底を図る」、それ以外では「幼児期から他人への思いやりを身につける」がそれぞれ最も多くなっている。

性別にみると、男女ともに「幼児期から他人への思いやりを身につける」が最多で、男性（68.3%）が女性（61.8%）に比べて6.5ポイント多い。次いで、「子どもが安心して暮らせる家庭づくりに努める」、『「いじめは絶対許さない」という意識の徹底を図る」がそれぞれ4割以上を占めており、前者は女性が男性に比べて多く、後者は男性が女性に比べて多い。また、「異質なものを排除する社会の考えを改める」は女性（32.6%）が男性（26.3%）に比べて6.3ポイント多い。

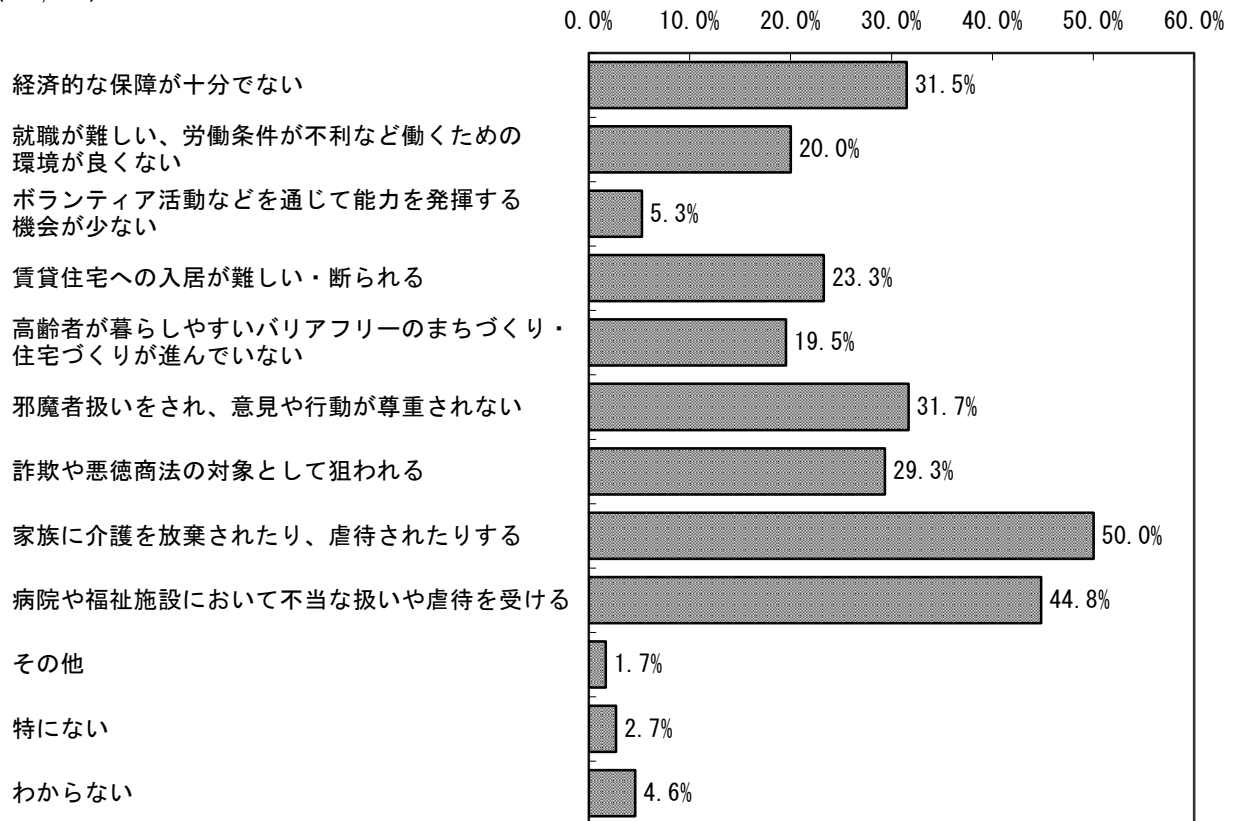
年齢別にみると、いずれの年代でも「幼児期から他人への思いやりを身につける」が最も多く、6割以上を占めている。次いで、20歳代では「子どもの個性、特性を尊重する教育を推進する」、50歳代では『「いじめは絶対許さない」という意識の徹底を図る」、それ以外の年代では「子どもが安心して暮らせる家庭づくりに努める」が多い。一方、30歳代～50歳代では「何をしてもいじめはなくなる」がそれぞれ1割以上となっている。

7 高齢者の人権

質問11. あなたは、高齢者に関する事柄で、人権尊重の観点から見て問題があると思うのはどのようなことですか。特に問題だと思うものを3つまで選び、○をつけてください。

図表 高齢者に関して、人権尊重の観点から見て問題があると思うこと（3つまでの複数回答）

(N=1,193)



高齢者に関して、人権尊重の観点から見て問題があると思うことをたずねたところ、「家族に介護を放棄されたり、虐待されたりする」が50.0%で最も多く、以下、「病院や福祉施設において不当な扱いや虐待を受ける」が44.8%、「邪魔者扱いをされ、意見や行動が尊重されない」が31.7%、「経済的な保障が十分でない」が31.5%などとなっている。

図表 高齢者に関して、人権尊重の観点から見て問題があると思うこと（3つまでの複数回答）

		経済的な保障が十分でない	就職が難しい、労働条件が不利なため、働くための環境が良くない	ボランティア活動などを通じて能力を発揮する機会が少ない	賃貸住宅への入居が難しい・断られる	高齢者が暮らしやすいバリアフリーのまちづくり・住宅づくりが進んでいない	邪魔者扱いをされ、意見や行動が尊重されない	詐欺や悪徳商法の対象として狙われる	家族に介護を放棄されたり、虐待されたりする	病院や福祉施設において不当な扱いや虐待を受ける	その他	特にない	わからない	集計母数
全体		376 31.5%	239 20.0%	63 5.3%	278 23.3%	233 19.5%	378 31.7%	350 29.3%	597 50.0%	535 44.8%	20 1.7%	32 2.7%	55 4.6%	1,193 100.0%
地域	志津小学校区	31 38.8%	18 22.5%	3 3.8%	14 17.5%	20 25.0%	29 36.3%	27 33.8%	38 47.5%	28 35.0%	1 1.3%	1 1.3%	3 3.8%	80 100.0%
	志津南小学校区	8 16.7%	12 25.0%	3 6.3%	11 22.9%	6 12.5%	19 39.6%	9 18.8%	25 52.1%	26 54.2%	0 0.0%	2 4.2%	4 8.3%	48 100.0%
	草津小学校区	32 33.7%	19 20.0%	6 6.3%	17 17.9%	19 20.0%	36 37.9%	26 27.4%	59 62.1%	35 36.8%	1 1.1%	3 3.2%	4 4.2%	95 100.0%
	草津第二小学校区	24 26.4%	14 15.4%	4 4.4%	28 30.8%	13 14.3%	25 27.5%	30 33.0%	53 58.2%	48 52.7%	0 0.0%	2 2.2%	2 2.2%	91 100.0%
	渋川小学校区	21 24.7%	17 20.0%	6 7.1%	21 24.7%	14 16.5%	29 34.1%	23 27.1%	44 51.8%	39 45.9%	2 2.4%	1 1.2%	5 5.9%	85 100.0%
	矢倉小学校区	26 31.7%	16 19.5%	5 6.1%	18 22.0%	18 22.0%	30 36.6%	20 24.4%	40 48.8%	32 39.0%	3 3.7%	2 2.4%	6 7.3%	82 100.0%
	老上小学校区	26 36.1%	17 23.6%	3 4.2%	28 38.9%	21 29.2%	17 23.6%	22 30.6%	31 43.1%	31 43.1%	1 1.4%	0 0.0%	2 2.8%	72 100.0%
	老上西小学校区	15 29.4%	11 21.6%	2 3.9%	8 15.7%	8 15.7%	16 31.4%	18 35.3%	28 54.9%	27 52.9%	0 0.0%	0 0.0%	2 3.9%	51 100.0%
	玉川小学校区	28 34.1%	17 20.7%	6 7.3%	23 28.0%	15 18.3%	26 31.7%	24 29.3%	39 47.6%	40 48.8%	1 1.2%	0 0.0%	4 4.9%	82 100.0%
	南笠東小学校区	19 31.7%	15 25.0%	2 3.3%	16 26.7%	11 18.3%	18 30.0%	15 25.0%	32 53.3%	22 36.7%	0 0.0%	3 5.0%	1 1.7%	60 100.0%
	山田小学校区	20 29.9%	13 19.4%	3 4.5%	12 17.9%	15 22.4%	16 23.9%	21 31.3%	31 46.3%	31 46.3%	1 1.5%	3 4.5%	2 3.0%	67 100.0%
	笠縫小学校区	27 26.7%	16 15.8%	6 5.9%	24 23.8%	22 21.8%	34 33.7%	33 32.7%	52 51.5%	46 45.5%	2 2.0%	4 4.0%	1 1.0%	101 100.0%
	笠縫東小学校区	26 34.7%	14 18.7%	6 8.0%	15 20.0%	13 17.3%	22 29.3%	21 28.0%	37 49.3%	43 57.3%	1 1.3%	2 2.7%	2 2.7%	75 100.0%
	常盤小学校区	22 43.1%	11 21.6%	2 3.9%	6 11.8%	10 19.6%	19 37.3%	14 27.5%	21 41.2%	21 41.2%	3 5.9%	2 3.9%	5 9.8%	51 100.0%
	無回答・小学校区不明	51 33.3%	29 19.0%	6 3.9%	37 24.2%	28 18.3%	42 27.5%	47 30.7%	67 43.8%	66 43.1%	4 2.6%	7 4.6%	12 7.8%	153 100.0%

地域別にみると、志津南小学校区、玉川小学校区、笠縫東小学校区では「病院や福祉施設において不当な扱いや虐待を受ける」、常盤小学校区では「経済的な保障が十分でない」、それ以外では「家族に介護を放棄されたり、虐待されたりする」がそれぞれ最も多くなっている（老上小学校区と山田小学校区は「病院や福祉施設において不当な扱いや虐待を受ける」と「家族に介護を放棄されたり、虐待されたりする」が同率）。

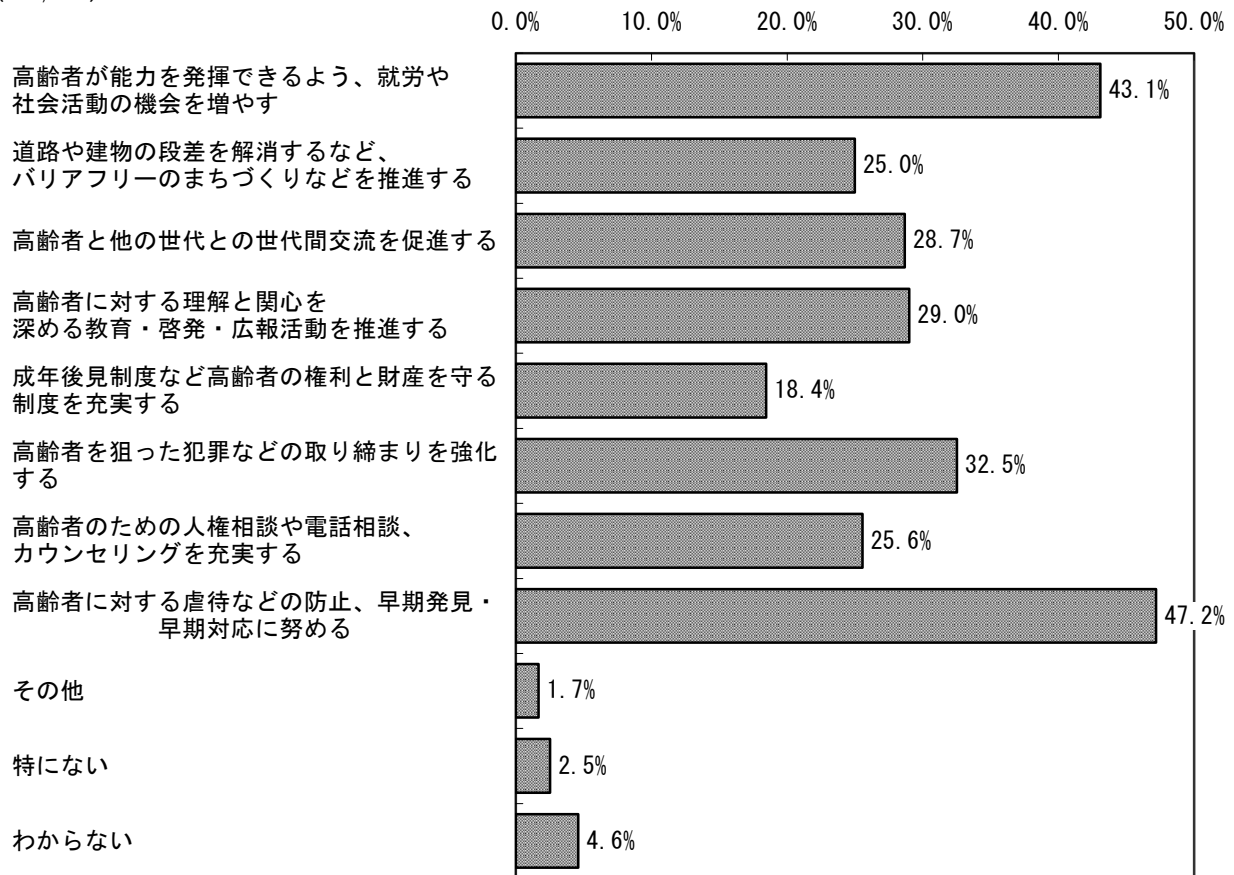
性別にみると、男女ともに「家族に介護を放棄されたり、虐待されたりする」が最多で、女性（54.0%）が男性（46.0%）に比べて8.0ポイント多い。次いで、男女ともに「病院や福祉施設において不当な扱いや虐待を受ける」が多くなっており、女性（49.5%）が男性（40.4%）に比べて9.1ポイント多い。「邪魔者扱いをされ、意見や行動が尊重されない」は、男性（34.4%）が女性（30.4%）に比べて4.0ポイント多く、「詐欺や悪徳商法の対象として狙われる」は、女性（31.2%）が男性（27.7%）に比べて3.5ポイント多い。

年齢別にみると、いずれの年代でも「家族に介護を放棄されたり、虐待されたりする」が最も多く、40歳代以下と60歳代では半数以上を占めている。次いで、60歳代以下では「病院や福祉施設において不当な扱いや虐待を受ける」、70歳以上では「経済的な保障が十分でない」が多い。

質問12. あなたは、高齢者の人権を守るために、どのようなことが必要だと思いますか。特に必要だと思うものを3つまで選び、○をつけてください。

図表 高齢者の人権を守るために必要なこと（3つまでの複数回答）

(N=1,193)



高齢者の人権を守るために必要なことをたずねたところ、「高齢者に対する虐待などの防止、早期発見・早期対応に努める」が47.2%で最も多く、以下、「高齢者が能力を発揮できるよう、就労や社会活動の機会を増やす」が43.1%、「高齢者を狙った犯罪などの取り締まりを強化する」が32.5%、「高齢者に対する理解と関心を深める教育・啓発・広報活動を推進する」が29.0%、「高齢者和其他の世代との世代間交流を促進する」が28.7%などとなっている。

図表 高齢者の人権を守るために必要なこと（3つまでの複数回答）

		高齢者が能力を発揮できるよう、就労や社会活動の機会を増やす	道路や建物の段差を解消するなど、バリアフリーのまちづくりなどを推進する	高齢者和其他の世代との世代間交流を促進する	高齢者に対する理解と関心を深める教育・啓発・広報活動を推進する	成年後見制度など高齢者の権利と財産を守る制度を充実する	高齢者を狙った犯罪などの取り締まりを強化する	高齢者のための人権相談や電話相談、カウンセリングを充実する	高齢者に対する虐待などの防止、早期発見・早期対応に努める	その他	特にない	わからない	集計母数
全体		514 43.1%	298 25.0%	342 28.7%	346 29.0%	220 18.4%	388 32.5%	305 25.6%	563 47.2%	20 1.7%	30 2.5%	55 4.6%	1,193 100.0%
地域	志津小学校区	32 40.0%	30 37.5%	22 27.5%	28 35.0%	15 18.8%	24 30.0%	16 20.0%	33 41.3%	1 1.3%	2 2.5%	2 2.5%	80 100.0%
	志津南小学校区	22 45.8%	12 25.0%	18 37.5%	15 31.3%	4 8.3%	12 25.0%	7 14.6%	22 45.8%	2 4.2%	2 4.2%	3 6.3%	48 100.0%
	草津小学校区	47 49.5%	25 26.3%	20 21.1%	29 30.5%	15 15.8%	30 31.6%	25 26.3%	49 51.6%	2 2.1%	3 3.2%	3 3.2%	95 100.0%
	草津第二小学校区	30 33.0%	22 24.2%	22 24.2%	33 36.3%	17 18.7%	25 27.5%	28 30.8%	53 58.2%	0 0.0%	1 1.1%	2 2.2%	91 100.0%
	洪川小学校区	45 52.9%	13 15.3%	37 43.5%	22 25.9%	16 18.8%	19 22.4%	26 30.6%	39 45.9%	2 2.4%	1 1.2%	3 3.5%	85 100.0%
	矢倉小学校区	33 40.2%	25 30.5%	20 24.4%	25 30.5%	14 17.1%	31 37.8%	15 18.3%	41 50.0%	1 1.2%	3 3.7%	4 4.9%	82 100.0%
	老上小学校区	36 50.0%	21 29.2%	17 23.6%	21 29.2%	19 26.4%	27 37.5%	17 23.6%	35 48.6%	2 2.8%	0 0.0%	4 5.6%	72 100.0%
	老上西小学校区	20 39.2%	12 23.5%	11 21.6%	12 23.5%	12 23.5%	20 39.2%	13 25.5%	30 58.8%	0 0.0%	0 0.0%	3 5.9%	51 100.0%
	玉川小学校区	39 47.6%	21 25.6%	20 24.4%	28 34.1%	19 23.2%	23 28.0%	17 20.7%	41 50.0%	1 1.2%	2 2.4%	4 4.9%	82 100.0%
	南笠東小学校区	19 31.7%	17 28.3%	18 30.0%	11 18.3%	10 16.7%	20 33.3%	18 30.0%	27 45.0%	1 1.7%	1 1.7%	4 6.7%	60 100.0%
	山田小学校区	23 34.3%	16 23.9%	23 34.3%	25 37.3%	12 17.9%	23 34.3%	18 26.9%	29 43.3%	0 0.0%	2 3.0%	4 6.0%	67 100.0%
	笠縫小学校区	36 35.6%	25 24.8%	32 31.7%	25 24.8%	15 14.9%	38 37.6%	25 24.8%	47 46.5%	2 2.0%	4 4.0%	3 3.0%	101 100.0%
	笠縫東小学校区	40 53.3%	18 24.0%	23 30.7%	25 33.3%	16 21.3%	22 29.3%	22 29.3%	31 41.3%	2 2.7%	0 0.0%	4 5.3%	75 100.0%
	常盤小学校区	24 47.1%	9 17.6%	21 41.2%	11 21.6%	4 7.8%	14 27.5%	14 27.5%	23 45.1%	1 2.0%	2 3.9%	4 7.8%	51 100.0%
	無回答・小学校区不明	68 44.4%	32 20.9%	38 24.8%	36 23.5%	32 20.9%	60 39.2%	44 28.8%	63 41.2%	3 2.0%	7 4.6%	8 5.2%	153 100.0%

地域別にみると、洪川小学校区、老上小学校区、笠縫東小学校区、常盤小学校区では「高齢者が能力を発揮できるよう、就労や社会活動の機会を増やす」が最も多く、他の地域では「高齢者に対する虐待などの防止、早期発見・早期対応に努める」が最も多い（志津南小学校区では同率）。

性別にみると、男女ともに「高齢者に対する虐待などの防止、早期発見・早期対応に努める」が最多で、女性が48.1%、男性が47.0%となっている。次いで、男女ともに「高齢者が能力を発揮できるよう、就労や社会活動の機会を増やす」となっており、男性が44.5%、女性が43.2%となっている。上位2項目は男女差が小さく、その他の項目も比較的男女差は小さいが、「高齢者に対する理解と関心を深める教育・啓発・広報活動を推進する」、「高齢者和其他の世代との世代間交流を促進する」、「道路や建物の段差を解消するなど、バリアフリーのまちづくりなどを推進する」では、男女差が5.0ポイント以上となっている。

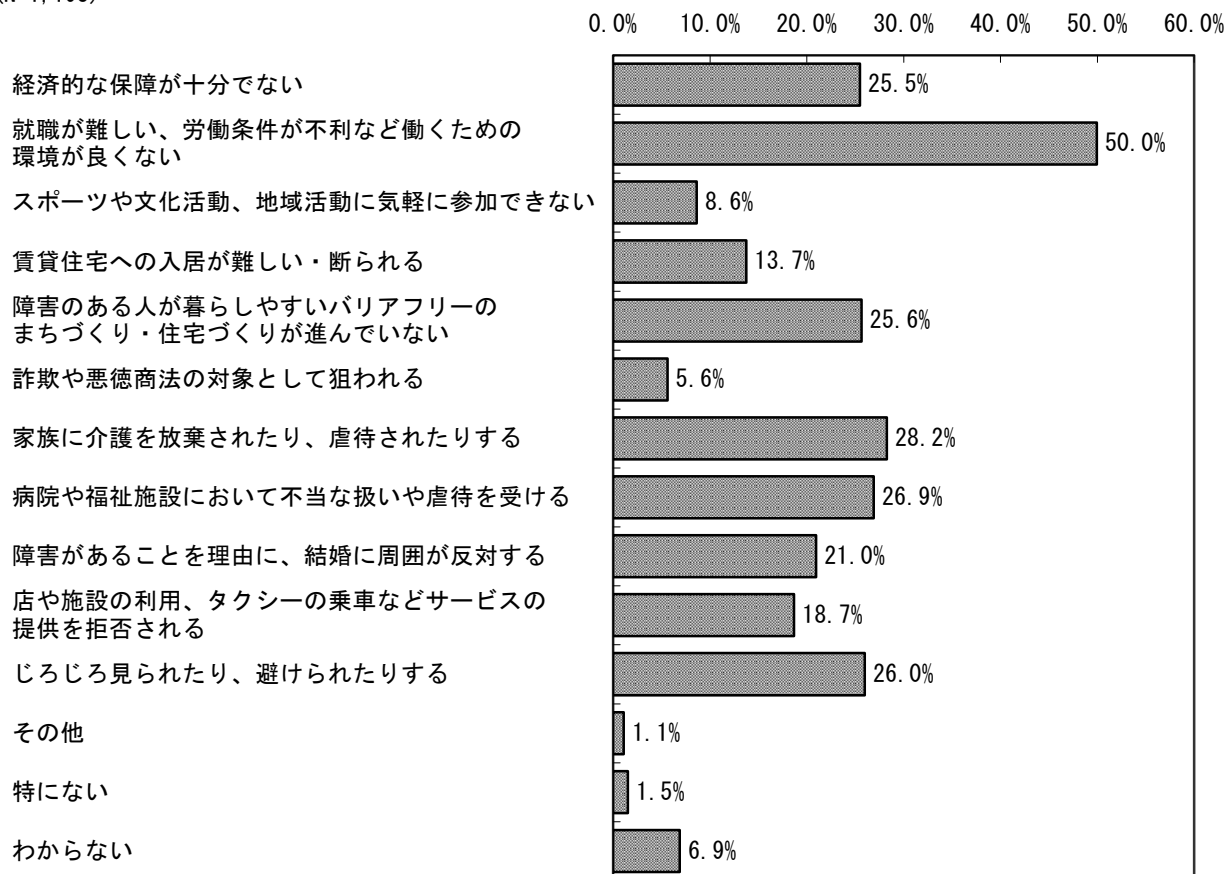
年齢別にみると、20歳代、30歳代、60歳代、70歳以上では「高齢者に対する虐待などの防止、早期発見・早期対応に努める」、40歳代、50歳代では「高齢者が能力を発揮できるよう、就労や社会活動の機会を増やす」が最も多い。

8 障害者の人権

質問13. あなたは、障害のある人に関する事柄で、人権尊重の観点から見て問題があると思うのはどのようなことですか。特に問題だと思うものを3つまで選び、○をつけてください。

図表 障害のある人に関して、人権尊重の観点から見て問題があると思うこと（3つまでの複数回答）

(N=1,193)



障害のある人に関して、人権尊重の観点から見て問題があると思うことをたずねたところ、「就職が難しい、労働条件が不利など働くための環境が良くない」が50.0%で最も多く、以下、「家族に介護を放棄されたり、虐待されたりする」が28.2%、「病院や福祉施設において不当な扱いや虐待を受ける」が26.9%、「じろじろ見られたり、逃げられたりする」が26.0%などとなっている。

図表 障害のある人に関して、人権尊重の観点から見て問題があると思うこと（3つまでの複数回答）

		経済的な保障が十分でない	就職が難しい、労働条件が不利なため働くための環境が良くない	スポーツや文化活動、地域活動に気軽に参加できない	賃貸住宅への入居が難しい、断られる	障害のある人が暮らしやすいバリアフリーのまちづくり・住宅づくりが進んでいない	詐欺や悪徳商法の対象として狙われる	家族に介護を放棄されたり、虐待されたりする	病院や福祉施設において不当な扱いや虐待を受ける	障害があることを理由に、結婚に周囲が反対する	店や施設の利用、タクシーの乗車などサービスの提供を拒否される	じろじろ見られたり、避けられたりする	その他	特にない	わからない	集計母数
全体		304 25.5%	596 50.0%	103 8.6%	164 13.7%	306 25.6%	67 5.6%	337 28.2%	321 26.9%	250 21.0%	223 18.7%	310 26.0%	13 1.1%	18 1.5%	82 6.9%	1,193 100.0%
地域	志津小学校区	23 28.8%	41 51.3%	9 11.3%	11 13.8%	21 26.3%	6 7.5%	14 17.5%	15 18.8%	19 23.8%	15 18.8%	21 26.3%	4 5.0%	1 1.3%	4 5.0%	80 100.0%
	志津南小学校区	6 12.5%	28 58.3%	3 6.3%	4 8.3%	14 29.2%	0 0.0%	14 29.2%	11 22.9%	9 18.8%	14 29.2%	11 22.9%	0 0.0%	2 4.2%	5 10.4%	48 100.0%
	草津小学校区	27 28.4%	55 57.9%	6 6.3%	23 24.2%	23 24.2%	6 6.3%	27 28.4%	28 29.5%	17 17.9%	21 22.1%	17 17.9%	1 1.1%	2 2.1%	3 3.2%	95 100.0%
	草津第二小学校区	19 20.9%	42 46.2%	3 3.3%	10 11.0%	22 24.2%	5 5.5%	33 36.3%	33 36.3%	17 18.7%	23 25.3%	22 24.2%	0 0.0%	1 1.1%	4 4.4%	91 100.0%
	渋川小学校区	23 27.1%	46 54.1%	11 12.9%	11 12.9%	18 21.2%	3 3.5%	23 27.1%	16 18.8%	17 20.0%	17 20.0%	22 25.9%	3 3.5%	0 0.0%	5 5.9%	85 100.0%
	矢倉小学校区	30 36.6%	43 52.4%	8 9.8%	10 12.2%	24 29.3%	5 6.1%	25 30.5%	19 23.2%	12 14.6%	12 14.6%	24 29.3%	1 1.2%	0 0.0%	7 8.5%	82 100.0%
	老上小学校区	19 26.4%	36 50.0%	7 9.7%	9 12.5%	24 33.3%	6 8.3%	17 23.6%	21 29.2%	20 27.8%	12 16.7%	21 29.2%	0 0.0%	1 1.4%	2 2.8%	72 100.0%
	老上西小学校区	11 21.6%	25 49.0%	1 2.0%	9 17.6%	9 17.6%	1 2.0%	17 33.3%	12 23.5%	16 31.4%	5 9.8%	17 33.3%	1 2.0%	1 2.0%	4 7.8%	51 100.0%
	玉川小学校区	18 22.0%	41 50.0%	8 9.8%	9 11.0%	26 31.7%	3 3.7%	23 28.0%	22 26.8%	13 15.9%	22 26.8%	17 20.7%	1 1.2%	2 2.4%	8 9.8%	82 100.0%
	南笠東小学校区	18 30.0%	25 41.7%	3 5.0%	10 16.7%	13 21.7%	2 3.3%	19 31.7%	19 31.7%	13 21.7%	7 11.7%	15 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	5 8.3%	60 100.0%
	山田小学校区	13 19.4%	31 46.3%	6 9.0%	8 11.9%	17 25.4%	5 7.5%	20 29.9%	15 22.4%	13 19.4%	16 23.9%	20 29.9%	0 0.0%	2 3.0%	5 7.5%	67 100.0%
	笠縫小学校区	20 19.8%	50 49.5%	9 8.9%	12 11.9%	27 26.7%	9 8.9%	28 27.7%	24 23.8%	26 25.7%	24 23.8%	32 31.7%	2 2.0%	1 1.0%	7 6.9%	101 100.0%
	笠縫東小学校区	19 25.3%	43 57.3%	10 13.3%	10 13.3%	19 25.3%	3 4.0%	18 24.0%	23 30.7%	20 26.7%	11 14.7%	18 24.0%	0 0.0%	1 1.3%	3 4.0%	75 100.0%
	常盤小学校区	16 31.4%	22 43.1%	9 17.6%	10 19.6%	13 25.5%	0 0.0%	13 25.5%	14 27.5%	9 17.6%	7 13.7%	18 35.3%	0 0.0%	0 0.0%	4 7.8%	51 100.0%
	無回答・小学校区不明	42 27.5%	68 44.4%	10 6.5%	18 11.8%	36 23.5%	13 8.5%	46 30.1%	49 32.0%	29 19.0%	17 11.1%	35 22.9%	0 0.0%	4 2.6%	16 10.5%	153 100.0%

地域別にみると、いずれの地域においても「就職が難しい、労働条件が不利など働くための環境が良くない」が最も多くなっている。

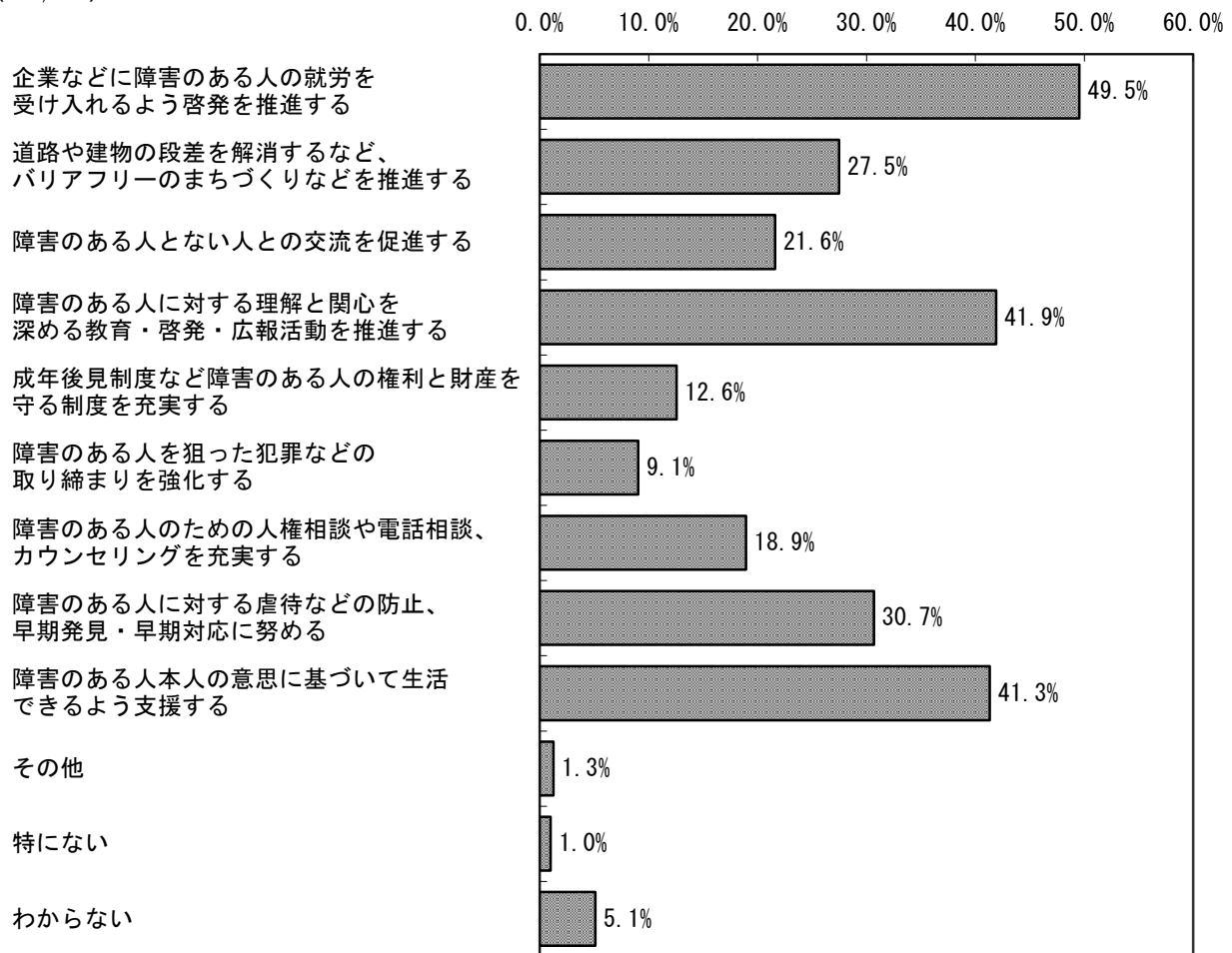
性別にみると、男女ともに「就職が難しい、労働条件が不利など働くための環境が良くない」が最多で、男性が50.7%、女性が50.4%となっている。次いで、男性は「経済的な保障が十分でない」、「じろじろ見られたり、避けられたりする」となっており、女性は「家族に介護を放棄されたり、虐待されたりする」、「病院や福祉施設において不当な扱いや虐待を受ける」となっている。男女差が大きい項目は「病院や福祉施設において不当な扱いや虐待を受ける」と「経済的な保障が十分でない」で、前者は女性（29.2%）が男性（23.6%）に比べて5.6ポイント多く、後者は男性（28.4%）が女性（23.6%）に比べて4.8ポイント多い。

年齢別にみると、いずれの年代でも「就職が難しい、労働条件が不利など働くための環境が良くない」が最も多く、40歳代～60歳代では半数以上を占めている。また、「病院や福祉施設において不当な扱いや虐待を受ける」は40歳代以下が、「障害のある人が暮らしやすいバリアフリーのまちづくり・住宅づくりが進んでいない」は50歳代以上が比較的多い。

質問14. あなたは、障害のある人の人権を守るために、どのようなことが必要だと思いますか。
特に必要だと思うものを3つまで選び、○をつけてください。

図表 障害のある人の人権を守るために必要なこと（3つまでの複数回答）

(N=1,193)



障害のある人の人権を守るために必要なことをたずねたところ、「企業などに障害のある人の就労を受け入れるよう啓発を進める」が49.5%で最も多く、以下、「障害のある人に対する理解と関心を深める教育・啓発・広報活動を推進する」が41.9%、「障害のある人本人の意思に基づいて生活できるよう支援する」が41.3%、「障害のある人に対する虐待などの防止、早期発見・早期対応に努める」が30.7%などとなっている。

図表 障害のある人の人権を守るために必要なこと（3つまでの複数回答）

	企業などに障害のある人の就労を受け入れるよう啓発を推進する	道路や建物の段差を解消するなど、バリアフリーのまちづくりなどを推進する	障害のある人との交流を促進する	障害のある人に対する理解と関心を深める教育・啓発・広報活動を推進する	成年後見制度など障害のある人の権利と財産を守る制度を充実する	障害のある人を狙った犯罪などの取り締まりを強化する	障害のある人へのための人権相談や電話相談、カウンセリングを充実する	障害のある人に対する虐待などの防止、早期発見・早期対応に努める	障害のある人本人の意思に基づいて生活できるよう支援する	その他	特にない	わからない	集計母数
全体	591 49.5%	328 27.5%	258 21.6%	500 41.9%	150 12.6%	108 9.1%	226 18.9%	366 30.7%	493 41.3%	15 1.3%	12 1.0%	61 5.1%	1,193 100.0%
地域	志津小学校区	44 55.0%	24 30.0%	15 18.8%	37 46.3%	8 10.0%	5 6.3%	17 21.3%	20 25.0%	2 2.5%	0 0.0%	5 6.3%	80 100.0%
	志津南小学校区	22 45.8%	13 27.1%	16 33.3%	14 29.2%	7 14.6%	3 6.3%	11 22.9%	11 22.9%	1 2.1%	1 2.1%	2 4.2%	48 100.0%
	草津小学校区	51 53.7%	30 31.6%	17 17.9%	38 40.0%	12 12.6%	9 9.5%	23 24.2%	30 31.6%	2 2.1%	2 2.1%	3 3.2%	95 100.0%
	草津第二小学校区	32 35.2%	26 28.6%	15 16.5%	45 49.5%	10 11.0%	11 12.1%	16 17.6%	38 41.8%	1 1.1%	0 0.0%	5 5.5%	91 100.0%
	洪川小学校区	39 45.9%	19 22.4%	26 30.6%	32 37.6%	12 14.1%	3 3.5%	15 17.6%	25 29.4%	4 4.7%	0 0.0%	6 7.1%	85 100.0%
	矢倉小学校区	46 56.1%	23 28.0%	21 25.6%	37 45.1%	7 8.5%	10 12.2%	16 19.5%	24 29.3%	0 0.0%	0 0.0%	3 3.7%	82 100.0%
	老上小学校区	36 50.0%	25 34.7%	9 12.5%	34 47.2%	6 8.3%	9 12.5%	13 18.1%	21 29.2%	0 0.0%	1 1.4%	4 5.6%	72 100.0%
	老上西小学校区	22 43.1%	8 15.7%	12 23.5%	16 31.4%	10 19.6%	3 5.9%	10 19.6%	22 43.1%	0 0.0%	0 0.0%	2 3.9%	51 100.0%
	玉川小学校区	43 52.4%	27 32.9%	20 24.4%	41 50.0%	10 12.2%	4 4.9%	15 18.3%	16 19.5%	1 1.2%	1 1.2%	5 6.1%	82 100.0%
	南笠東小学校区	32 53.3%	16 26.7%	16 26.7%	20 33.3%	4 6.7%	5 8.3%	11 18.3%	24 40.0%	0 0.0%	1 1.7%	2 3.3%	60 100.0%
	山田小学校区	29 43.3%	22 32.8%	15 22.4%	31 46.3%	12 17.9%	7 10.4%	13 19.4%	19 28.4%	0 0.0%	2 3.0%	2 3.0%	67 100.0%
	笠縫小学校区	49 48.5%	24 23.8%	20 19.8%	43 42.6%	7 6.9%	12 11.9%	17 16.8%	31 30.7%	3 43.6%	0 0.0%	5 5.0%	101 100.0%
	笠縫東小学校区	46 61.3%	19 25.3%	18 24.0%	36 48.0%	10 13.3%	5 6.7%	15 20.0%	18 24.0%	0 0.0%	2 2.7%	1 1.3%	75 100.0%
	常盤小学校区	27 52.9%	11 21.6%	15 29.4%	22 43.1%	5 9.8%	7 13.7%	6 11.8%	12 23.5%	0 0.0%	0 0.0%	3 5.9%	51 100.0%
	無回答・小学校区不明	73 47.7%	41 26.8%	23 15.0%	54 35.3%	30 19.6%	15 9.8%	28 18.3%	55 35.9%	1 0.7%	2 1.3%	13 8.5%	153 100.0%

地域別にみると、志津南小学校区、老上西小学校区では「障害のある人本人の意思に基づいて生活できるよう支援する」、草津第二小学校区、山田小学校区では「障害のある人に対する理解と関心を深める教育・啓発・広報活動を推進する」、それ以外では「企業などに障害のある人の就労を受け入れるよう啓発を推進する」がそれぞれ最も多い。

性別にみると、男女ともに「企業などに障害のある人の就労を受け入れるよう啓発を推進する」が最多で、男性（51.8%）が女性（48.2%）に比べて3.6ポイント多くなっている。次いで、男性は「障害のある人に対する理解と関心を深める教育・啓発・広報活動を推進する」が多く、女性は「障害のある人本人の意思に基づいて生活できるよう支援する」が多くなっており、前者は男性（45.3%）が女性（40.2%）に比べて5.1ポイント多く、後者は女性（44.7%）が男性（36.9%）に比べて7.8ポイント多い。その他の項目は、比較的男女差が小さい。

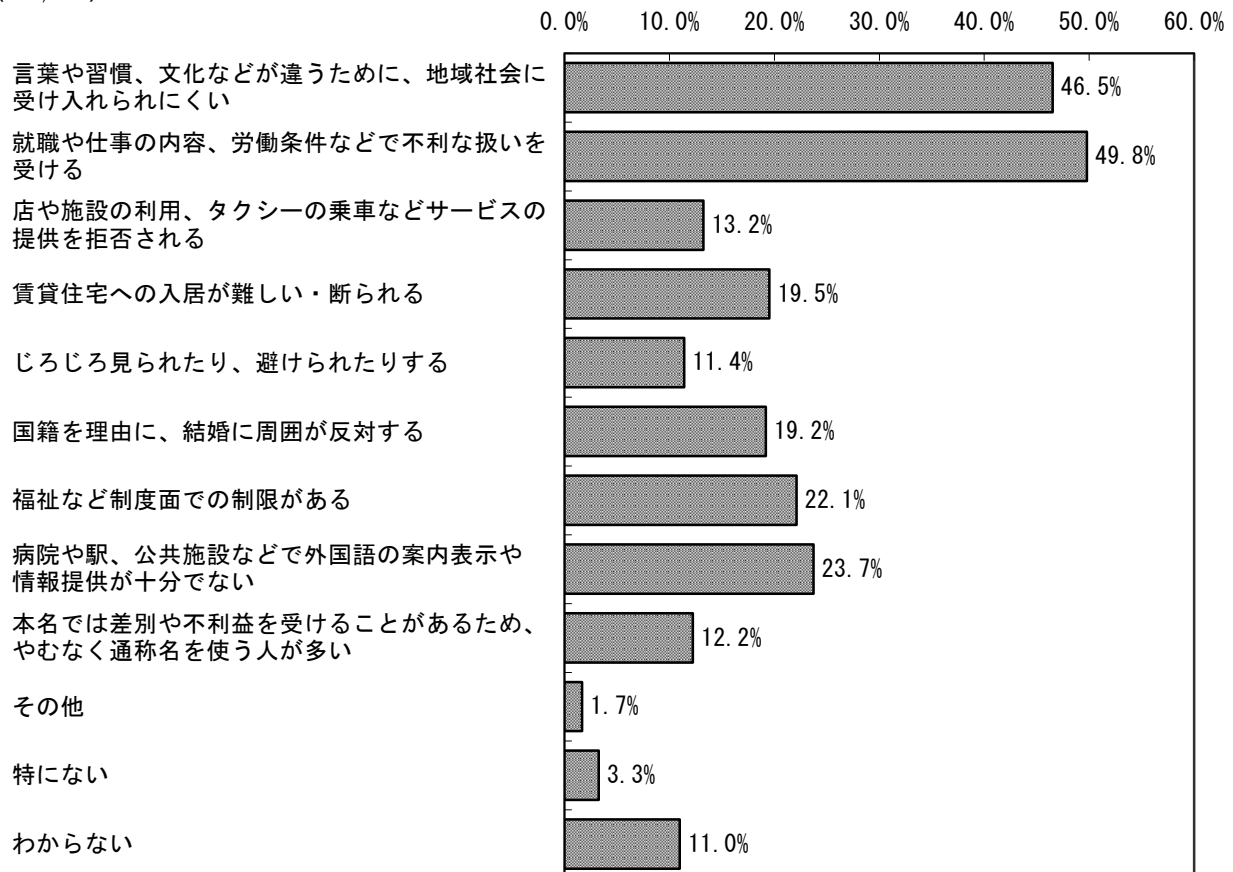
年齢別にみると、20歳代では「障害のある人本人の意思に基づいて生活できるよう支援する」、30歳代～60歳代では「企業などに障害のある人の就労を受け入れるよう啓発を推進する」が最も多くなっている。また、70歳以上では「企業などに障害のある人の就労を受け入れるよう啓発を推進する」と「障害のある人に対する理解と関心を深める教育・啓発・広報活動を推進する」が同率で最も多い。

9 外国人の人権

質問15. あなたは、外国人に関する事柄で、人権尊重の観点から見て問題があると思うのはどのようなことですか。特に問題だと思うものを3つまで選び、○をつけてください。

図表 外国人に関して、人権尊重の観点から見て問題があると思うこと（3つまでの複数回答）

(N=1,193)



外国人に関して、人権尊重の観点から見て問題があると思うことをたずねたところ、「就職や仕事の内容、労働条件などで不利な扱いを受ける」が49.8%で最も多く、以下、「言葉や習慣、文化などが違うために、地域社会に受け入れられにくい」が46.5%、「病院や駅、公共施設などで外国語の案内表示や情報提供が十分でない」が23.7%、「福祉など制度面での制限がある」が22.1%などとなっている。

図表 外国人に関して、人権尊重の観点から見て問題があると思うこと（3つまでの複数回答）

		言葉や習慣、文化などが違うために、地域社会に受け入れにくい	就職や仕事の内容、労働条件などで不利な扱いを受ける	店や施設の利用、タクシーの乗車などサービスの提供を拒否される	賃貸住宅への入居が難しい・断られる	じろじろ見られたり、避けられたりする	国籍を理由に、結婚に周囲が反対する	福祉など制度面で制限がある	病院や駅、公共施設などで外国語の案内表示や情報提供が十分でない	本名では差別や不利益を受けることがあるため、やむなく通称名を使う人が多い	その他	特にない	わからない	集計母数
全体		555 46.5%	594 49.8%	158 13.2%	233 19.5%	136 11.4%	229 19.2%	264 22.1%	283 23.7%	146 12.2%	20 1.7%	39 3.3%	131 11.0%	1,193 100.0%
地域	志津小学校区	44 55.0%	43 53.8%	9 11.3%	18 22.5%	11 13.8%	14 17.5%	16 20.0%	21 26.3%	10 12.5%	4 5.0%	1 1.3%	7 8.8%	80 100.0%
	志津南小学校区	22 45.8%	21 43.8%	6 12.5%	6 12.5%	5 10.4%	8 16.7%	7 14.6%	16 33.3%	4 8.3%	1 2.1%	1 2.1%	9 18.8%	48 100.0%
	草津小学校区	49 51.6%	47 49.5%	11 11.6%	24 25.3%	11 11.6%	18 18.9%	16 16.8%	20 21.1%	4 4.2%	1 1.1%	7 7.4%	8 8.4%	95 100.0%
	草津第二小学校区	39 42.9%	43 47.3%	12 13.2%	18 19.8%	9 9.9%	15 16.5%	21 23.1%	25 27.5%	12 13.2%	0 0.0%	4 4.4%	7 7.7%	91 100.0%
	洪川小学校区	43 50.6%	46 54.1%	10 11.8%	16 18.8%	5 5.9%	13 15.3%	25 29.4%	16 18.8%	11 12.9%	3 3.5%	1 1.2%	9 10.6%	85 100.0%
	矢倉小学校区	38 46.3%	52 63.4%	10 12.2%	13 15.9%	15 18.3%	9 11.0%	26 31.7%	16 19.5%	12 14.6%	0 0.0%	1 1.2%	10 12.2%	82 100.0%
	老上小学校区	33 45.8%	31 43.1%	15 20.8%	11 15.3%	10 13.9%	16 22.2%	20 27.8%	19 26.4%	11 15.3%	3 4.2%	3 4.2%	8 11.1%	72 100.0%
	老上西小学校区	24 47.1%	21 41.2%	8 15.7%	15 29.4%	4 7.8%	10 19.6%	9 17.6%	13 25.5%	8 15.7%	1 2.0%	1 2.0%	6 11.8%	51 100.0%
	玉川小学校区	37 45.1%	39 47.6%	8 9.8%	20 24.4%	13 15.9%	17 20.7%	15 18.3%	17 20.7%	13 15.9%	0 0.0%	3 3.7%	8 9.8%	82 100.0%
	南笠東小学校区	27 45.0%	30 50.0%	9 15.0%	9 15.0%	5 8.3%	16 26.7%	13 21.7%	15 25.0%	8 13.3%	0 0.0%	3 5.0%	5 8.3%	60 100.0%
	山田小学校区	28 41.8%	32 47.8%	7 10.4%	12 17.9%	10 14.9%	14 20.9%	11 16.4%	14 20.9%	6 9.0%	2 3.0%	4 6.0%	13 19.4%	67 100.0%
	笠縫小学校区	49 48.5%	47 46.5%	14 13.9%	23 22.8%	11 10.9%	17 16.8%	28 27.7%	23 22.8%	14 13.9%	4 4.0%	0 0.0%	10 9.9%	101 100.0%
	笠縫東小学校区	38 50.7%	41 54.7%	12 16.0%	16 21.3%	8 10.7%	16 21.3%	15 20.0%	16 21.3%	11 14.7%	1 1.3%	2 2.7%	7 9.3%	75 100.0%
	常盤小学校区	19 37.3%	32 62.7%	9 17.6%	8 15.7%	7 13.7%	13 25.5%	10 19.6%	14 27.5%	2 3.9%	0 0.0%	2 3.9%	3 5.9%	51 100.0%
	無回答・小学校区不明	65 42.5%	69 45.1%	18 11.8%	24 15.7%	12 7.8%	33 21.6%	32 20.9%	38 24.8%	20 13.1%	0 0.0%	6 3.9%	21 13.7%	153 100.0%

地域別にみると、いずれの地域でも「就職や仕事の内容、労働条件などで不利な扱いを受ける」と「言葉や習慣、文化などが違うために、地域社会に受け入れられにくい」が上位2つを占めている。

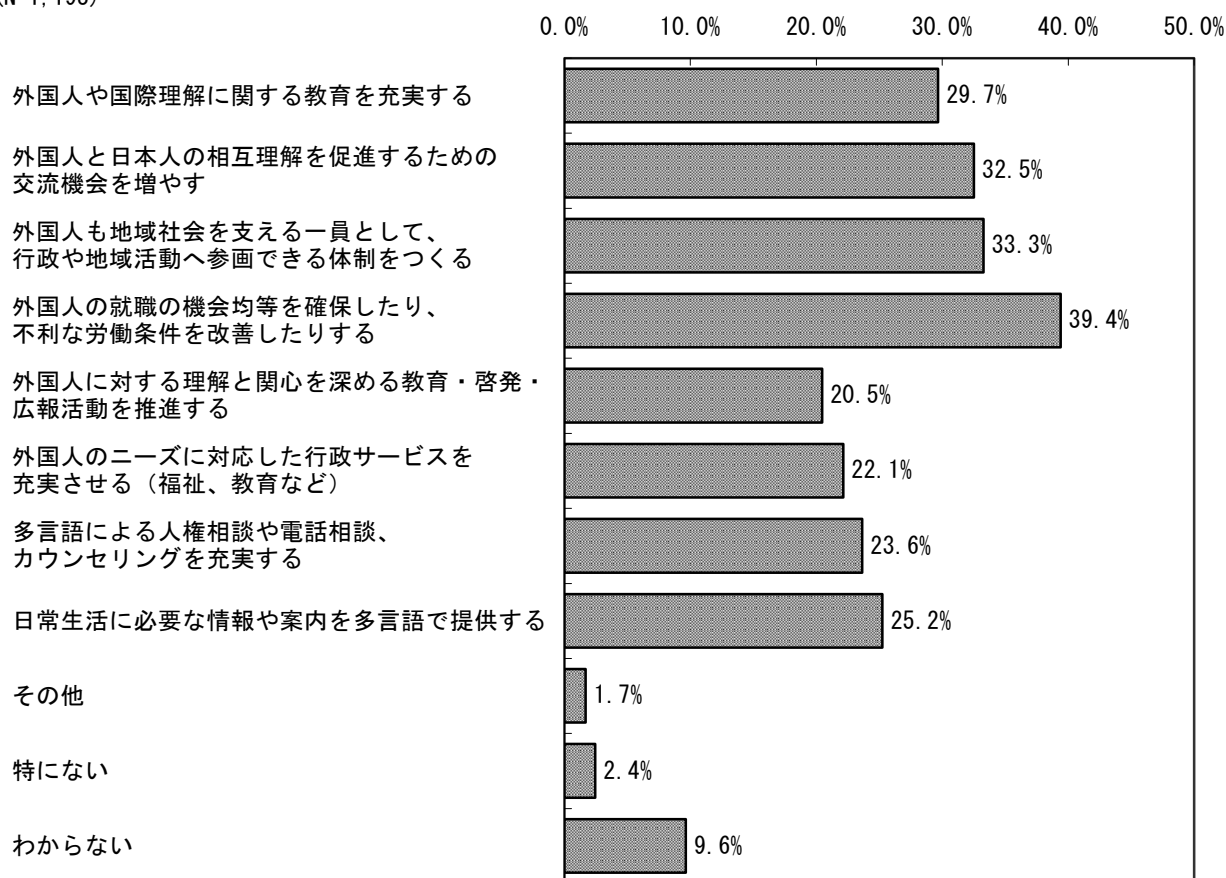
性別にみると、男性は「言葉や習慣、文化などが違うために、地域社会に受け入れられにくい」が最も多く、女性は「就職や仕事の内容、労働条件などで不利な扱いを受ける」が最も多い。次いで、男性は「就職や仕事の内容、労働条件などで不利な扱いを受ける」が多く、女性は「言葉や習慣、文化などが違うために、地域社会に受け入れられにくい」が多い。また、「言葉や習慣、文化などが違うために、地域社会に受け入れられにくい」は、男性（53.8%）が女性（41.6%）に比べて12.2ポイント多い。その他の項目は比較的男女差が小さいが、「国籍を理由に、結婚に周囲が反対する」は男性（22.2%）が女性（17.4%）に比べて4.8ポイント多い。

年齢別にみると、いずれの年代でも「言葉や習慣、文化などが違うために、地域社会に受け入れられにくい」、「就職や仕事の内容、労働条件などで不利な扱いを受ける」が上位2項目を占めている。また、「病院や駅、公共施設などで外国語の案内表示や情報提供が十分でない」、「国籍を理由に、結婚に周囲が反対する」、「店や施設の利用、タクシーの乗車などサービスの提供を拒否される」は、20歳代が比較的多い。

質問16. あなたは、外国人の人権を守るためにどのようなことが必要だと思いますか。特に必要だと思うものを3つまで選び、○をつけてください。

図表 外国人の人権を守るために必要なこと（3つまでの複数回答）

(N=1,193)



外国人の人権を守るために必要なことをたずねたところ、「外国人の就職の機会均等を確保したり、不利な労働条件を改善したりする」が39.4%で最も多く、以下、「外国人も地域社会を支える一員として、行政や地域活動へ参画できる体制をつくる」が33.3%、「外国人と日本人の相互交流を促進するための交流機会を増やす」が32.5%、「外国人や国際理解に関する教育を充実する」が29.7%などとなっている。

図表 外国人の人権を守るために必要なこと（３つまでの複数回答）

		外国人や国際理解に関する教育を充実する	外国人と日本人の相互理解を促進するための交流機会を増やす	外国人も地域社会を支える一員として、行政や地域活動へ参画できる体制をつくる	外国人の就職の機会均等を確保したり、不利な労働条件を改善したりする	外国人に対する理解と関心を深める教育・啓発・広報活動を推進する	外国人のニーズに対応した行政サービスを充実させる（福祉、教育など）	多言語による人権相談や電話相談、カウンセリングを充実する	日常生活に必要な情報や案内を多言語で提供する	その他	特にない	わからない	集計母数
全体		354 29.7%	388 32.5%	397 33.3%	470 39.4%	244 20.5%	264 22.1%	282 23.6%	301 25.2%	20 1.7%	29 2.4%	115 9.6%	1,193 100.0%
地域	志津小学校区	26 32.5%	25 31.3%	23 28.8%	35 43.8%	14 17.5%	17 21.3%	16 20.0%	19 23.8%	4 5.0%	1 1.3%	10 12.5%	80 100.0%
	志津南小学校区	15 31.3%	17 35.4%	17 35.4%	17 35.4%	9 18.8%	6 12.5%	11 22.9%	14 29.2%	0 0.0%	1 2.1%	7 14.6%	48 100.0%
	草津小学校区	37 38.9%	31 32.6%	23 24.2%	36 37.9%	14 14.7%	20 21.1%	29 30.5%	22 23.2%	0 0.0%	5 5.3%	9 9.5%	95 100.0%
	草津第二小学校区	21 23.1%	21 23.1%	27 29.7%	35 38.5%	25 27.5%	20 22.0%	25 27.5%	26 28.6%	2 2.2%	4 4.4%	9 9.9%	91 100.0%
	渋川小学校区	21 24.7%	34 40.0%	31 36.5%	31 36.5%	18 21.2%	18 21.2%	16 18.8%	22 25.9%	1 1.2%	2 2.4%	6 7.1%	85 100.0%
	矢倉小学校区	20 24.4%	27 32.9%	28 34.1%	47 57.3%	16 19.5%	16 19.5%	22 26.8%	22 26.8%	1 1.2%	1 1.2%	7 8.5%	82 100.0%
	老上小学校区	24 33.3%	22 30.6%	31 43.1%	30 41.7%	16 22.2%	18 25.0%	11 15.3%	21 29.2%	3 4.2%	0 0.0%	6 8.3%	72 100.0%
	老上西小学校区	9 17.6%	20 39.2%	17 33.3%	17 33.3%	9 17.6%	14 27.5%	15 29.4%	13 25.5%	1 2.0%	1 2.0%	3 5.9%	51 100.0%
	玉川小学校区	30 36.6%	31 37.8%	24 29.3%	33 40.2%	13 15.9%	21 25.6%	20 24.4%	22 26.8%	0 0.0%	0 0.0%	6 7.3%	82 100.0%
	南笠東小学校区	13 21.7%	25 41.7%	22 36.7%	22 36.7%	10 16.7%	15 25.0%	15 25.0%	19 31.7%	0 0.0%	1 1.7%	3 5.0%	60 100.0%
	山田小学校区	18 26.9%	22 32.8%	28 41.8%	26 38.8%	13 19.4%	7 10.4%	12 17.9%	19 28.4%	1 1.5%	2 3.0%	12 17.9%	67 100.0%
	笠縫小学校区	33 32.7%	27 26.7%	36 35.6%	42 41.6%	15 14.9%	24 23.8%	27 26.7%	26 25.7%	2 2.0%	2 2.0%	8 7.9%	101 100.0%
	笠縫東小学校区	19 25.3%	27 36.0%	30 40.0%	31 41.3%	23 30.7%	19 25.3%	16 21.3%	14 18.7%	1 1.3%	0 0.0%	8 10.7%	75 100.0%
	常盤小学校区	16 31.4%	18 35.3%	14 27.5%	20 39.2%	15 29.4%	16 31.4%	10 19.6%	8 15.7%	0 0.0%	2 3.9%	4 7.8%	51 100.0%
	無回答・小学校区不明	52 34.0%	41 26.8%	46 30.1%	48 31.4%	34 22.2%	33 21.6%	37 24.2%	34 22.2%	4 2.6%	7 4.6%	17 11.1%	153 100.0%

地域別にみると、草津小学校区では「外国人や国際理解に関する教育を充実する」、渋川小学校区、老上西小学校区、南笠東小学校区では「外国人と日本人の相互理解を促進するための交流機会を増やす」、老上小学校区、山田小学校区では「外国人も地域社会を支える一員として、行政や地域活動へ参画できる体制をつくる」、それ以外では「外国人の就職の機会均等を確保したり、不利な労働条件を改善したりする」がそれぞれ最も多い（志津南小学校区では後ろ３項目が同率）。

性別にみると、男女ともに「外国人の就職の機会均等を確保したり、不利な労働条件を改善したりする」が最多で、男性（41.2%）が女性（38.7%）に比べて2.5ポイント多い。次いで男女ともに「外国人も地域社会を支える一員として、行政や地域活動へ参画できる体制をつくる」、「外国人と日本人の相互理解を促進するための交流機会を増やす」が多く、どちらも男性が女性に比べて3ポイント以上多い。また、「外国人に対する理解と関心を深める教育・啓発・広報活動を推進する」は、男性（24.4%）が女性（18.0%）に比べて6.4ポイント多い。

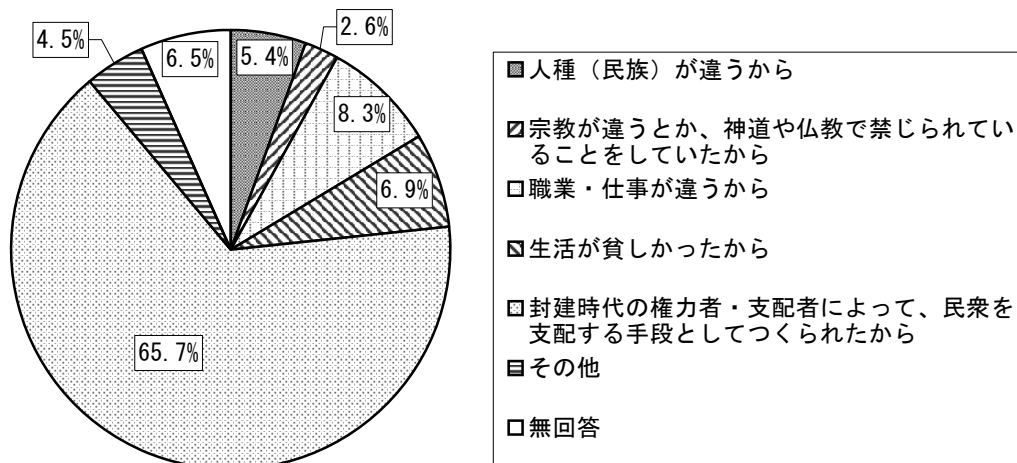
年齢別にみると、60歳代以下は「外国人の就職の機会均等を確保したり、不利な労働条件を改善したりする」、70歳以上は「外国人も地域社会を支える一員として、行政や地域活動へ参画できる体制をつくる」が最も多くなっている。また、「外国人や国際理解に関する教育を充実する」では、50歳代以下が比較的多い。

10 同和問題

質問17. あなたは、同和地区はどういう理由でできたと考えていますか。お考えに最も近いものを1つだけ選び、○をつけてください。

図表 同和地区の起源の認知

(N=1,193)



同和地区の起源の認知をたずねたところ、「封建時代の権力者・支配者によって、民衆を支配する手段としてつくられたから」が65.7%で最も多く、以下、「職業・仕事が違うから」が8.3%、「生活が貧しかったから」が6.9%、「人種（民族）が違うから」が5.4%、「宗教が違うとか、神道や仏教で禁じられていることをしていたから」が2.6%などとなっている。

図表 同和地区の起源の認知

		人種（民族）が違うから	宗教が違ふとか、神道や仏教で禁じられていることをしていたから	職業・仕事が違うから	生活が貧しかったから	封建時代の権力者・支配者によって、民衆を支配する手段としてつくられたから	その他	無回答	合計
全体		65 5.4%	31 2.6%	99 8.3%	82 6.9%	784 65.7%	54 4.5%	78 6.5%	1,193 100.0%
地域	志津小学校区	2 2.5%	1 1.3%	5 6.3%	3 3.8%	58 72.5%	4 5.0%	7 8.8%	80 100.0%
	志津南小学校区	4 8.3%	2 4.2%	1 2.1%	5 10.4%	29 60.4%	5 10.4%	2 4.2%	48 100.0%
	草津小学校区	8 8.4%	1 1.1%	7 7.4%	7 7.4%	62 65.3%	2 2.1%	8 8.4%	95 100.0%
	草津第二小学校区	7 7.7%	1 1.1%	8 8.8%	5 5.5%	64 70.3%	3 3.3%	3 3.3%	91 100.0%
	洪川小学校区	4 4.7%	5 5.9%	6 7.1%	6 7.1%	60 70.6%	2 2.4%	2 2.4%	85 100.0%
	矢倉小学校区	4 4.9%	1 1.2%	9 11.0%	6 7.3%	52 63.4%	6 7.3%	4 4.9%	82 100.0%
	老上小学校区	7 9.7%	1 1.4%	8 11.1%	7 9.7%	43 59.7%	1 1.4%	5 6.9%	72 100.0%
	老上西小学校区	0 0.0%	1 2.0%	6 11.8%	3 5.9%	37 72.5%	3 5.9%	1 2.0%	51 100.0%
	玉川小学校区	5 6.1%	2 2.4%	6 7.3%	6 7.3%	52 63.4%	6 7.3%	5 6.1%	82 100.0%
	南笠東小学校区	2 3.3%	2 3.3%	7 11.7%	3 5.0%	38 63.3%	2 3.3%	6 10.0%	60 100.0%
	山田小学校区	5 7.5%	3 4.5%	6 9.0%	6 9.0%	38 56.7%	3 4.5%	6 9.0%	67 100.0%
	笠縫小学校区	4 4.0%	4 4.0%	8 7.9%	8 7.9%	63 62.4%	5 5.0%	9 8.9%	101 100.0%
	笠縫東小学校区	2 2.7%	0 0.0%	3 4.0%	7 9.3%	55 73.3%	5 6.7%	3 4.0%	75 100.0%
	常盤小学校区	3 5.9%	0 0.0%	6 11.8%	0 0.0%	38 74.5%	0 0.0%	4 7.8%	51 100.0%
	無回答・小学校区不明	8 5.2%	7 4.6%	13 8.5%	10 6.5%	95 62.1%	7 4.6%	13 8.5%	153 100.0%
2013年調査		60 4.4%	29 2.1%	103 7.5%	75 5.5%	949 69.3%	44 3.2%	109 8.0%	1,369 100.0%
2008年調査		54 5.2%	10 1.0%	68 6.5%	69 6.6%	725 69.7%	29 2.8%	85 8.2%	1,040 100.0%
2003年調査		43 3.5%	18 1.5%	51 4.2%	40 3.3%	972 79.7%	5 0.4%	91 7.5%	1,220 100.0%

過去3回の調査と比較すると、今回も含めて「封建時代の権力者・支配者によって、民衆を支配する手段としてつくられたから」が最も多く、その他の項目についても、回により回答率の多少の変動や差はみられるが、回答傾向の大きな変化はみられない。

地域別にみると、いずれの地域でも「封建時代の権力者・支配者によって、民衆を支配する手段としてつくられたから」が最も多いが、老上小学校区、山田小学校区では50%台となっており、他の地域が6割以上であるのに比べてやや少ない。また、矢倉小学校区、老上小学校区、老上西小学校区、南笠東小学校区、常盤小学校区では「職業・仕事が違うから」がそれぞれ1割以上となっている。

性別にみると、男女ともに「封建時代の権力者・支配者によって、民衆を支配する手段としてつくられたから」が最多で、6割以上を占めている。その他の項目はいずれも1割未満であり、男女同様の回答傾向であるが、「人種（民族）が違うから」は男性（8.1%）が女性（3.7%）に比べて4.4ポイント多い。

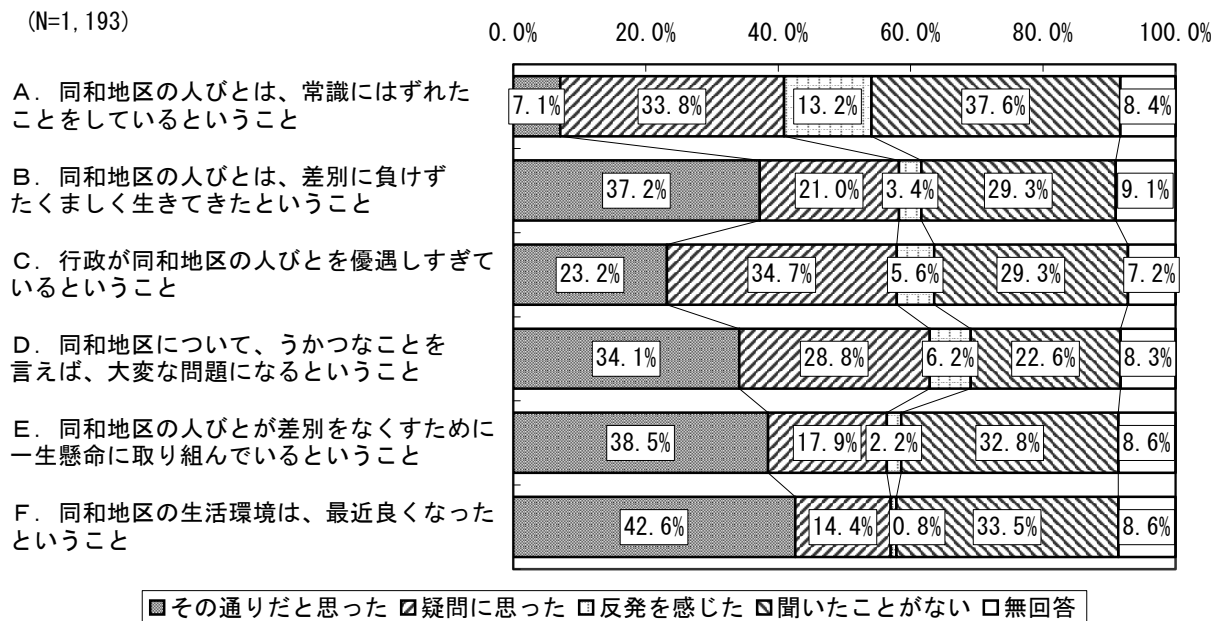
年齢別にみると、いずれの年代でも「封建時代の権力者・支配者によって、民衆を支配する手段

としてつくられたから」が最多で、30歳代以上では半数以上を占めている。一方、「封建時代の権力者・支配者によって、民衆を支配する手段としてつくられたから」は20歳代では35.8%と少なく、「職業・仕事が違うから」や「生活が貧しかったから」もそれぞれ1割以上を占めている。

居住年数別にみると、「封建時代の権力者・支配者によって、民衆を支配する手段としてつくられたから」は「2年未満」が44.6%で最も少なく、10年以上では70%前後と多い。

質問18. あなたは、同和地区に関する次のAからFのようなことを聞いたとき、どのように思いましたか。AからFそれぞれについて、お考えに最も近いものを1つだけ選び、○をつけてください。

図表 同和地区に関する事柄に対する意識



同和地区に関する事柄に対する意識をたずねたところ、「その通りだと思った」は「F. 同和地区の生活環境は、最近良くなったということ」(42.6%)が最も多く、以下、「E. 同和地区の人びとが差別をなくすために一生懸命取り組んでいるということ」(38.5%)、「B. 同和地区の人びとは、差別に負けずたくましく生きてきたということ」(37.2%)、「D. 同和地区について、うかつなことを言えば、大変な問題になるということ」(34.1%)などとなっている。

「疑問に思った」は「C. 行政が同和地区の人びとを優遇しているということ」(34.7%)が最も多く、以下、「A. 同和地区の人びとは、常識にはずれたことをしているということ」(33.8%)、「D. 同和地区について、うかつなことを言えば、大変な問題になるということ」(28.8%)などとなっている。

「反発を感じた」は、「A. 同和地区の人びとは、常識にはずれたことをしているということ」(13.2%)が最も多い。

「聞いたことがない」は、「A. 同和地区の人びとは、常識にはずれたことをしているということ」(37.6%)が最も多く、以下、「F. 同和地区の生活環境は、最近良くなったということ」(33.5%)、「E. 同和地区の人びとが差別をなくすために一生懸命取り組んでいるということ」(32.8%)などとなっている。

A. 同和地区の人びとは、常識にはずれたことをしているということ

図表 同和地区に関する事柄に対する意識「同和地区の人びとは、常識にはずれたことをしているということ」

		その通りだ と思った	疑問に思っ た	反発を感じ た	聞いたこと がない	無回答	合計
全体		85 7.1%	403 33.8%	157 13.2%	448 37.6%	100 8.4%	1,193 100.0%
地域	志津小学校区	8 10.0%	24 30.0%	8 10.0%	32 40.0%	8 10.0%	80 100.0%
	志津南小学校区	2 4.2%	13 27.1%	4 8.3%	26 54.2%	3 6.3%	48 100.0%
	草津小学校区	10 10.5%	35 36.8%	8 8.4%	38 40.0%	4 4.2%	95 100.0%
	草津第二小学校区	12 13.2%	27 29.7%	14 15.4%	34 37.4%	4 4.4%	91 100.0%
	洪川小学校区	3 3.5%	29 34.1%	12 14.1%	37 43.5%	4 4.7%	85 100.0%
	矢倉小学校区	7 8.5%	29 35.4%	10 12.2%	30 36.6%	6 7.3%	82 100.0%
	老上小学校区	4 5.6%	22 30.6%	8 11.1%	33 45.8%	5 6.9%	72 100.0%
	老上西小学校区	3 5.9%	26 51.0%	5 9.8%	13 25.5%	4 7.8%	51 100.0%
	玉川小学校区	2 2.4%	27 32.9%	12 14.6%	33 40.2%	8 9.8%	82 100.0%
	南笠東小学校区	3 5.0%	18 30.0%	11 18.3%	22 36.7%	6 10.0%	60 100.0%
	山田小学校区	4 6.0%	34 50.7%	10 14.9%	10 14.9%	9 13.4%	67 100.0%
	笠縫小学校区	11 10.9%	35 34.7%	17 16.8%	30 29.7%	8 7.9%	101 100.0%
	笠縫東小学校区	2 2.7%	27 36.0%	9 12.0%	33 44.0%	4 5.3%	75 100.0%
	常盤小学校区	3 5.9%	15 29.4%	12 23.5%	12 23.5%	9 17.6%	51 100.0%
	無回答・ 小学校区不明	11 7.2%	42 27.5%	17 11.1%	65 42.5%	18 11.8%	153 100.0%
2013年調査		124 9.1%	500 36.5%	152 11.1%	470 34.3%	123 9.0%	1,369 100.0%
2008年調査		141 13.6%	339 32.6%	93 8.9%	357 34.3%	110 10.6%	1,040 100.0%
2003年調査		161 13.2%	347 28.4%	98 8.0%	472 38.7%	142 11.6%	1,220 100.0%

過去3回の調査と比較すると、「その通りだと思った」は今回が最も少なく、前回に比べて2.0ポイント減少している。一方、「反発を感じた」は毎回増加しており、今回が最も多い。

地域別にみると、老上西小学校区、山田小学校区、笠縫小学校区、常盤小学校区では「疑問に思った」が、それ以外の地域では「聞いたことがない」がそれぞれ最も多い。「その通りだと思った」は、志津小学校区、草津小学校区、草津第二小学校区、笠縫小学校区では10%台となっており、他の地域に比べてやや多い。

性別にみると、男女ともに「聞いたことがない」が最多で、女性が38.7%、男性が36.9%であり、男女差は小さい。一方、「疑問に思った」は男性（36.2%）が女性（32.3%）に比べて3.9ポイント多く、「その通りだと思った」は、男性（8.9%）が女性（5.9%）に比べて3.0ポイント多い。

年齢別にみると、40歳代、60歳代、70歳以上では「疑問に思った」、20歳代、30歳代、50歳代では「聞いたことがない」がそれぞれ最も多い。また、30歳代では「聞いたことがない」が半数以上を占めている。

居住年数別にみると、いずれも顕著な傾向ではないが、「反発を感じた」は居住年数が長いほど多く、「聞いたことがない」は居住年数が短いほど多い傾向がみられる。

B. 同和地区の人びとは、差別に負けずたくましく生きてきたということ

図表 同和地区に関する事柄に対する意識

「同和地区の人びとは、差別に負けずたくましく生きてきたということ」

		その通りだ と思った	疑問に思っ た	反感を感じ た	聞いたこと がない	無回答	合計
全体		444	251	40	350	108	1,193
		37.2%	21.0%	3.4%	29.3%	9.1%	100.0%
地域	志津小学校区	32	10	4	28	6	80
		40.0%	12.5%	5.0%	35.0%	7.5%	100.0%
	志津南小学校区	14	9	4	15	6	48
		29.2%	18.8%	8.3%	31.3%	12.5%	100.0%
	草津小学校区	28	19	7	36	5	95
		29.5%	20.0%	7.4%	37.9%	5.3%	100.0%
	草津第二小学校区	36	21	2	26	6	91
		39.6%	23.1%	2.2%	28.6%	6.6%	100.0%
	渋川小学校区	27	26	2	25	5	85
		31.8%	30.6%	2.4%	29.4%	5.9%	100.0%
	矢倉小学校区	28	17	2	28	7	82
		34.1%	20.7%	2.4%	34.1%	8.5%	100.0%
	老上小学校区	25	17	1	24	5	72
		34.7%	23.6%	1.4%	33.3%	6.9%	100.0%
	老上西小学校区	25	13	0	8	5	51
		49.0%	25.5%	0.0%	15.7%	9.8%	100.0%
	玉川小学校区	31	14	1	28	8	82
		37.8%	17.1%	1.2%	34.1%	9.8%	100.0%
	南笠東小学校区	21	16	1	16	6	60
		35.0%	26.7%	1.7%	26.7%	10.0%	100.0%
	山田小学校区	32	15	2	7	11	67
		47.8%	22.4%	3.0%	10.4%	16.4%	100.0%
	笠縫小学校区	35	18	6	32	10	101
		34.7%	17.8%	5.9%	31.7%	9.9%	100.0%
	笠縫東小学校区	30	19	1	21	4	75
		40.0%	25.3%	1.3%	28.0%	5.3%	100.0%
	常盤小学校区	16	15	2	10	8	51
		31.4%	29.4%	3.9%	19.6%	15.7%	100.0%
	無回答・ 小学校区不明	64	22	5	46	16	153
		41.8%	14.4%	3.3%	30.1%	10.5%	100.0%
2013年調査		556	260	48	369	136	1,369
		40.6%	19.0%	3.5%	27.0%	9.9%	100.0%
2008年調査		470	155	22	260	133	1,040
		45.2%	14.9%	2.1%	25.0%	12.8%	100.0%
2003年調査		507	166	31	335	181	1,220
		41.6%	13.6%	2.5%	27.5%	14.8%	100.0%

過去3回の調査と比較すると、「その通りだと思った」は前回に比べて3.4ポイント減少している。一方、「疑問に思った」や「聞いたことがない」は前回に比べて増加しており、特に「疑問に思った」は一貫して増加傾向にある。

地域別にみると、志津南小学校区、草津小学校区、笠縫小学校区では「聞いたことがない」、それ以外の地域では「その通りだと思った」が最も多い（矢倉小学校区は同率）。渋川小学校区では「疑問に思った」が30.6台となっており、他の地域に比べてやや多い。

性別にみると、男女ともに「その通りだと思った」が最多で、女性が38.7%、男性が37.1%となっている。一方、「聞いたことがない」は男性（30.8%）が女性（27.7%）に比べて3.1ポイント多い。

年齢別にみると、50歳代以上では「その通りだと思った」、40歳代以下では「聞いたことがない」が最も多い。また、「聞いたことがない」は年代が下がるにつれて増加しており、20歳代（48.4%）が最も多い。

居住年数別にみると、いずれも顕著な傾向ではないが、「その通りだと思った」は居住年数が長いほど多く、「聞いたことがない」は居住年数が短いほど多い傾向がみられる。

C. 行政が同和地区の人びとを優遇しすぎているということ

図表 同和地区に関する事柄に対する意識「行政が同和地区の人びとを優遇しすぎているということ」

		その通りだ と思った	疑問に思っ た	反感を感じ た	聞いたこと がない	無回答	合計
全体		277	414	67	349	86	1,193
		23.2%	34.7%	5.6%	29.3%	7.2%	100.0%
地域	志津小学校区	13	31	7	22	7	80
		16.3%	38.8%	8.8%	27.5%	8.8%	100.0%
	志津南小学校区	11	13	2	20	2	48
		22.9%	27.1%	4.2%	41.7%	4.2%	100.0%
	草津小学校区	23	30	5	32	5	95
		24.2%	31.6%	5.3%	33.7%	5.3%	100.0%
	草津第二小学校区	19	43	0	25	4	91
		20.9%	47.3%	0.0%	27.5%	4.4%	100.0%
	洪川小学校区	25	25	5	27	3	85
		29.4%	29.4%	5.9%	31.8%	3.5%	100.0%
	矢倉小学校区	15	32	2	29	4	82
		18.3%	39.0%	2.4%	35.4%	4.9%	100.0%
	老上小学校区	13	30	3	22	4	72
		18.1%	41.7%	4.2%	30.6%	5.6%	100.0%
	老上西小学校区	20	12	1	15	3	51
		39.2%	23.5%	2.0%	29.4%	5.9%	100.0%
	玉川小学校区	13	17	8	38	6	82
		15.9%	20.7%	9.8%	46.3%	7.3%	100.0%
	南笠東小学校区	10	21	4	20	5	60
		16.7%	35.0%	6.7%	33.3%	8.3%	100.0%
	山田小学校区	20	31	1	9	6	67
		29.9%	46.3%	1.5%	13.4%	9.0%	100.0%
	笠縫小学校区	23	40	8	21	9	101
		22.8%	39.6%	7.9%	20.8%	8.9%	100.0%
	笠縫東小学校区	16	27	6	22	4	75
		21.3%	36.0%	8.0%	29.3%	5.3%	100.0%
	常盤小学校区	17	19	3	5	7	51
		33.3%	37.3%	5.9%	9.8%	13.7%	100.0%
	無回答・ 小学校区不明	39	43	12	42	17	153
		25.5%	28.1%	7.8%	27.5%	11.1%	100.0%
2013年調査		372	463	89	331	114	1,369
		27.2%	33.8%	6.5%	24.2%	8.3%	100.0%
2008年調査		369	324	63	190	94	1,040
		35.5%	31.2%	6.1%	18.3%	9.0%	100.0%
2003年調査		377	367	74	268	134	1,220
		30.9%	30.1%	6.1%	22.0%	11.0%	100.0%

過去3回の調査と比較すると、「その通りだと思った」は前回に比べて4.0ポイント減少している。一方、「疑問に思った」は毎回増加しており、今回が最も多い。「反感を感じた」は前回に比べてやや減少し、「聞いたことがない」は前回に比べて5.1ポイント増加している。

地域別にみると、老上西小学校区、常盤小学校区では「その通りだと思った」が3割を超えており、他の地域に比べて多い。

性別にみると、男女ともに「疑問に思った」が最多で、男性（37.7%）が女性（33.5%）に比べて4.2ポイント多い。一方、「その通りだと思った」は、男性が22.2%、女性が23.9%となっており、ほぼ同率である。また、「聞いたことがない」は、男性が30.2%、女性が28.6%であり、男女差は小さい。

年齢別にみると、40歳代以上では「疑問に思った」、30歳代以下では「聞いたことがない」が最も多い。また、「聞いたことがない」は60歳代以下では年代が下がるにつれて増加しており、20歳代（57.9%）が最も多い。一方、「その通りだと思った」は20歳以上の各年齢で2割以上を占めており、60歳代（27.4%）が最も多い。

居住年数別にみると、10年未満では「聞いたことがない」が最も多く、10年以上では「疑問に思った」が最も多い。また、20年以上では「その通りだと思った」が26.6%と他に比べて多い。

D. 同和地区について、うかつなことを言えば、大変な問題になるということ

図表 同和地区に関する事柄に対する意識

「同和地区について、うかつなことを言えば、大変な問題になるということ」

		その通りだ と思った	疑問に思っ た	反発を感じ た	聞いたこと がない	無回答	合計
全体		407	343	74	270	99	1,193
		34.1%	28.8%	6.2%	22.6%	8.3%	100.0%
地域	志津小学校区	29	22	3	19	7	80
		36.3%	27.5%	3.8%	23.8%	8.8%	100.0%
	志津南小学校区	17	12	6	9	4	48
		35.4%	25.0%	12.5%	18.8%	8.3%	100.0%
	草津小学校区	29	25	4	30	7	95
		30.5%	26.3%	4.2%	31.6%	7.4%	100.0%
	草津第二小学校区	42	29	3	14	3	91
		46.2%	31.9%	3.3%	15.4%	3.3%	100.0%
	渋川小学校区	32	27	8	14	4	85
		37.6%	31.8%	9.4%	16.5%	4.7%	100.0%
	矢倉小学校区	29	22	3	22	6	82
		35.4%	26.8%	3.7%	26.8%	7.3%	100.0%
	老上小学校区	27	23	3	14	5	72
		37.5%	31.9%	4.2%	19.4%	6.9%	100.0%
	老上西小学校区	20	13	2	12	4	51
		39.2%	25.5%	3.9%	23.5%	7.8%	100.0%
	玉川小学校区	20	22	7	25	8	82
		24.4%	26.8%	8.5%	30.5%	9.8%	100.0%
	南笠東小学校区	14	19	7	14	6	60
		23.3%	31.7%	11.7%	23.3%	10.0%	100.0%
	山田小学校区	23	22	3	12	7	67
		34.3%	32.8%	4.5%	17.9%	10.4%	100.0%
	笠縫小学校区	36	31	10	17	7	101
		35.6%	30.7%	9.9%	16.8%	6.9%	100.0%
	笠縫東小学校区	15	31	4	20	5	75
		20.0%	41.3%	5.3%	26.7%	6.7%	100.0%
	常盤小学校区	16	15	5	7	8	51
		31.4%	29.4%	9.8%	13.7%	15.7%	100.0%
	無回答・ 小学校区不明	58	30	6	41	18	153
		37.9%	19.6%	3.9%	26.8%	11.8%	100.0%
2013年調査		490	401	107	235	136	1,369
		35.8%	29.3%	7.8%	17.2%	9.9%	100.0%
2008年調査		409	270	90	160	111	1,040
		39.3%	26.0%	8.7%	15.4%	10.7%	100.0%
2003年調査		444	318	89	219	150	1,220
		36.4%	26.1%	7.3%	18.0%	12.3%	100.0%

過去3回の調査と比較すると、「その通りだと思った」「疑問に思った」「反発を感じた」はともに前回より微減で、「聞いたことがない」が前回より5.4ポイント増加している。

地域別にみると、草津第二小学校区では「その通りだと思った」が46.2%と、他の地域に比べて多い。

性別にみると、男女ともに「その通りだと思った」が最多で、男性（36.6%）が女性（33.3%）に比べて3.3ポイント多い。その他の項目はいずれも男女差が小さく、男女ともに「疑問に思った」が約3割、「聞いたことがない」が約2割となっている。

年齢別にみると、30歳代～50歳代と70歳以上では「その通りだと思った」、60歳代では「疑問に思った」、20歳代では「聞いたことがない」が最も多い。また、「聞いたことがない」は60歳代以下では年代が下がるにつれて増加しており、20歳代（46.3%）が最も多い。

居住年数別にみると、「2年以上5年未満」を除いて「その通りだと思った」が最も多い。

E. 同和地区の人びとが差別をなくすために一生懸命に取り組んでいるということ

図表 同和地区に関する事柄に対する意識

「同和地区の人びとが差別をなくすために一生懸命に取り組んでいるということ」

		その通りだ と思った	疑問に思っ た	反発を感じ た	聞いたこと がない	無回答	合計
全体		459 38.5%	214 17.9%	26 2.2%	391 32.8%	103 8.6%	1,193 100.0%
地域	志津小学校区	34 42.5%	12 15.0%	3 3.8%	25 31.3%	6 7.5%	80 100.0%
	志津南小学校区	19 39.6%	7 14.6%	2 4.2%	14 29.2%	6 12.5%	48 100.0%
	草津小学校区	26 27.4%	19 20.0%	2 2.1%	43 45.3%	5 5.3%	95 100.0%
	草津第二小学校区	33 36.3%	27 29.7%	1 1.1%	24 26.4%	6 6.6%	91 100.0%
	洪川小学校区	32 37.6%	19 22.4%	2 2.4%	26 30.6%	6 7.1%	85 100.0%
	矢倉小学校区	34 41.5%	12 14.6%	1 1.2%	30 36.6%	5 6.1%	82 100.0%
	老上小学校区	23 31.9%	14 19.4%	2 2.8%	30 41.7%	3 4.2%	72 100.0%
	老上西小学校区	20 39.2%	11 21.6%	0 0.0%	13 25.5%	7 13.7%	51 100.0%
	玉川小学校区	34 41.5%	6 7.3%	2 2.4%	32 39.0%	8 9.8%	82 100.0%
	南笠東小学校区	27 45.0%	9 15.0%	0 0.0%	19 31.7%	5 8.3%	60 100.0%
	山田小学校区	31 46.3%	14 20.9%	1 1.5%	13 19.4%	8 11.9%	67 100.0%
	笠縫小学校区	38 37.6%	21 20.8%	4 4.0%	29 28.7%	9 8.9%	101 100.0%
	笠縫東小学校区	29 38.7%	14 18.7%	1 1.3%	27 36.0%	4 5.3%	75 100.0%
	常盤小学校区	24 47.1%	9 17.6%	1 2.0%	9 17.6%	8 15.7%	51 100.0%
	無回答・ 小学校区不明	55 35.9%	20 13.1%	4 2.6%	57 37.3%	17 11.1%	153 100.0%
	2013年調査	539 39.4%	266 19.4%	40 2.9%	386 28.2%	138 10.1%	1,369 100.0%
	2008年調査	496 47.7%	145 13.9%	25 2.4%	250 24.0%	124 11.9%	1,040 100.0%
	2003年調査	546 44.8%	188 15.4%	20 1.6%	305 25.0%	161 13.2%	1,220 100.0%

過去3回の調査と比較すると、「その通りだと思った」は前回大きく減少したのに続いて今回も0.9ポイント減少している。一方、「聞いたことがない」は毎回増加しており、今回は32.8%となっている。

地域別にみると、草津小学校区と老上小学校区では「聞いたことがない」が最も多く、他の地域では「その通りだと思った」が最も多い。また、草津第二小学校区では「疑問に思った」が29.7%と、他の地域に比べて多い。

性別にみると、男女ともに「その通りだと思った」が最多で、女性（41.1%）が男性（36.6%）に比べて4.5ポイント多い。一方、男性は「聞いたことがない」が35.8%となっており、「その通りだと思った」とほぼ同率で回答を二分している。また、「聞いたことがない」は男性が女性（30.4%）に比べて5.4ポイント多い。

年齢別にみると、50歳代以上では「その通りだと思った」、40歳代では「聞いたことがない」が最も多い。また、「聞いたことがない」は年代が下がるにつれて増加しており、20歳代（63.2%）が最も多い。

居住年数別にみると、10年未満では「聞いたことがない」が最も多く、居住年数が短いほど多い傾向がみられる。

F. 同和地区の生活環境は、最近良くなったということ

図表 同和地区に関する事柄に対する意識「同和地区の生活環境は、最近良くなったということ」

		その通りだ と思った	疑問に思っ た	反発を感じ た	聞いたこと がない	無回答	合計
全体		508	172	10	400	103	1,193
		42.6%	14.4%	0.8%	33.5%	8.6%	100.0%
地域	志津小学校区	33	12	0	28	7	80
		41.3%	15.0%	0.0%	35.0%	8.8%	100.0%
	志津南小学校区	19	6	1	17	5	48
		39.6%	12.5%	2.1%	35.4%	10.4%	100.0%
	草津小学校区	33	15	1	40	6	95
		34.7%	15.8%	1.1%	42.1%	6.3%	100.0%
	草津第二小学校区	38	16	1	30	6	91
		41.8%	17.6%	1.1%	33.0%	6.6%	100.0%
	洪川小学校区	38	13	1	28	5	85
		44.7%	15.3%	1.2%	32.9%	5.9%	100.0%
	矢倉小学校区	31	13	0	32	6	82
		37.8%	15.9%	0.0%	39.0%	7.3%	100.0%
	老上小学校区	30	11	0	26	5	72
		41.7%	15.3%	0.0%	36.1%	6.9%	100.0%
	老上西小学校区	28	4	0	16	3	51
		54.9%	7.8%	0.0%	31.4%	5.9%	100.0%
	玉川小学校区	30	11	1	31	9	82
		36.6%	13.4%	1.2%	37.8%	11.0%	100.0%
	南笠東小学校区	22	7	0	26	5	60
		36.7%	11.7%	0.0%	43.3%	8.3%	100.0%
	山田小学校区	38	9	2	11	7	67
		56.7%	13.4%	3.0%	16.4%	10.4%	100.0%
	笠縫小学校区	48	15	1	29	8	101
		47.5%	14.9%	1.0%	28.7%	7.9%	100.0%
	笠縫東小学校区	35	10	0	27	3	75
		46.7%	13.3%	0.0%	36.0%	4.0%	100.0%
	常盤小学校区	30	5	1	9	6	51
		58.8%	9.8%	2.0%	17.6%	11.8%	100.0%
	無回答・ 小学校区不明	55	25	1	50	22	153
		35.9%	16.3%	0.7%	32.7%	14.4%	100.0%
2013年調査		640	179	21	408	121	1,369
		46.7%	13.1%	1.5%	29.8%	8.8%	100.0%
2008年調査		589	91	13	234	113	1,040
		56.6%	8.8%	1.3%	22.5%	10.9%	100.0%
2003年調査		665	119	12	287	137	1,220
		54.5%	9.8%	1.0%	23.5%	11.2%	100.0%

過去3回の調査と比較すると、「その通りだと思った」は前回に比べて4.1ポイント減少しており、前回に続いて減少傾向にある。一方、「疑問に思った」は毎回増加しており、今回が最も多い。

地域別にみると、草津小学校区、矢倉小学校区、玉川小学校区、南笠東小学校区では「聞いたことがない」が最も多く、他の地域では「その通りだと思った」が最も多い。また、「その通りだと思った」は、老上西小学校区、山田小学校区、常盤小学校区では半数以上を占め、他の地域に比べて多い。

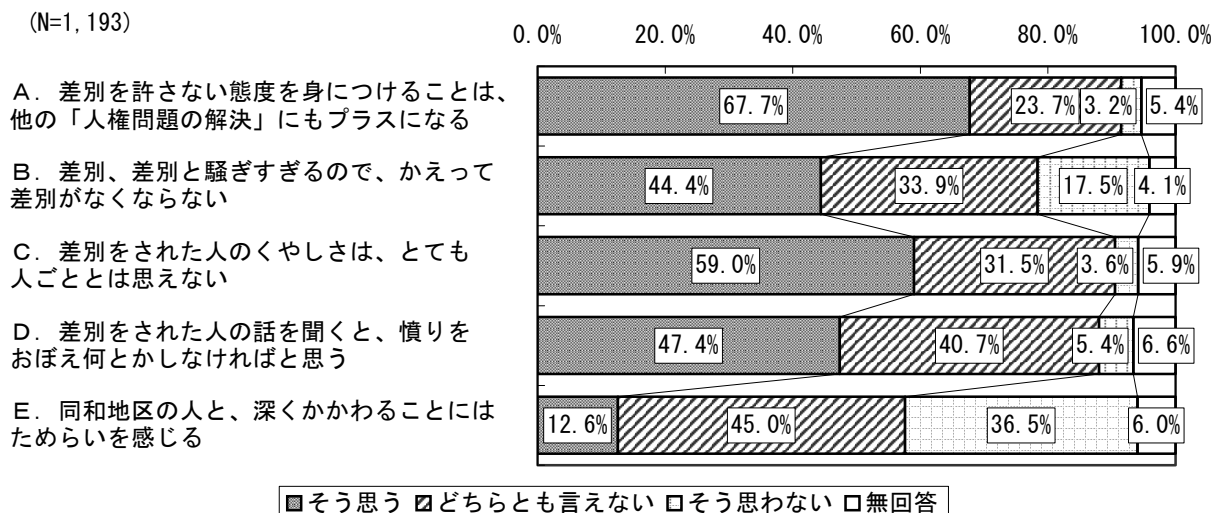
性別にみると、男女ともに「その通りだと思った」が最多で、男性（47.0%）が女性（40.9%）に比べて6.1ポイント多い。その他の項目はいずれも男女差が小さく、男女ともに「聞いたことがない」が約3割となっている。

年齢別にみると、50歳代以上では「その通りだと思った」、40歳代以下では「聞いたことがない」が最も多い。また、「その通りだと思った」は60歳代と70歳以上では半数以上を占めている。「聞いたことがない」は年代が下がるにつれて増加しており、20歳代（66.3%）が最も多い。

居住年数別にみると、20年未満では「聞いたことがない」が最も多く、居住年数が短いほど多い傾向がみられる。20年以上では「その通りだと思った」（51.1%）が最も多い。

質問19. あなたは、同和問題に関する次のAからEのような意見について、どのように思いますか。AからEそれぞれについて、お考えに最も近いものを1つだけ選び、○をつけてください。

図表 同和問題に関する事柄に対する意識



同和問題に関する事柄に対する意識をたずねたところ、「そう思う」は「A. 差別を許さない態度を身につけることは、他の『人権問題の解決』にもプラスになる」(67.7%) が最も多く、以下、「C. 差別をされた人のくやしさは、とても人ごととは思えない」(59.0%)、「D. 差別をされた人の話を聞くと、憤りをおぼえ何とかしなければと思う」(47.4%) などとなっている。

「どちらとも言えない」は「E. 同和地区の人と、深くかかわることにはためらいを感じる」(45.0%) が最も多く、以下、「D. 差別をされた人の話を聞くと、憤りをおぼえ何とかしなければと思う」(40.7%)、「B. 差別、差別と騒ぎすぎるので、かえって差別がなくなる」(33.9%) などとなっている。

「そう思わない」は「E. 同和地区の人と、深くかかわることにはためらいを感じる」(36.5%) が最も多く、次いで「B. 差別、差別と騒ぎすぎるので、かえって差別がなくなる」(17.5%) となっている。

なお、同和問題に関する事柄に対する意識の度合いをより明確にするため、A・C・Dの同和問題の解決にとってプラスになると考えられる意見については、「そう思う」に3点、「どちらとも言えない」に2点、「そう思わない」に1点と配点し、BとEの同和問題の解決にとってマイナスになると考えられる意見については、「そう思わない」に3点、「どちらとも言えない」に2点、「そう思う」に1点を配点し、それぞれ「無回答」を除いた回答者を集計母数として平均スコアを算出した。

A. 差別を許さない態度を身につけることは、他の「人権問題の解決」にもプラスになる

図表 同和問題に関する事柄に対する意識

「差別を許さない態度を身につけることは、他の『人権問題の解決』にもプラスになる」

		そう思う	どちらとも言えない	そう思わない	無回答	合計	平均
全体		808	283	38	64	1,193	2.68
		67.7%	23.7%	3.2%	5.4%	100.0%	
地域	志津小学校区	57	20	0	3	80	2.74
		71.3%	25.0%	0.0%	3.8%	100.0%	
	志津南小学校区	35	9	2	2	48	2.72
		72.9%	18.8%	4.2%	4.2%	100.0%	
	草津小学校区	62	30	1	2	95	2.66
		65.3%	31.6%	1.1%	2.1%	100.0%	
	草津第二小学校区	62	21	3	5	91	2.69
		68.1%	23.1%	3.3%	5.5%	100.0%	
	渋川小学校区	61	19	2	3	85	2.72
		71.8%	22.4%	2.4%	3.5%	100.0%	
	矢倉小学校区	65	12	1	4	82	2.82
		79.3%	14.6%	1.2%	4.9%	100.0%	
	老上小学校区	51	20	0	1	72	2.72
		70.8%	27.8%	0.0%	1.4%	100.0%	
	老上西小学校区	33	9	4	5	51	2.63
		64.7%	17.6%	7.8%	9.8%	100.0%	
	玉川小学校区	60	13	3	6	82	2.75
		73.2%	15.9%	3.7%	7.3%	100.0%	
	南笠東小学校区	41	12	1	6	60	2.74
		68.3%	20.0%	1.7%	10.0%	100.0%	
	山田小学校区	46	15	2	4	67	2.70
		68.7%	22.4%	3.0%	6.0%	100.0%	
	笠縫小学校区	55	36	2	8	101	2.57
		54.5%	35.6%	2.0%	7.9%	100.0%	
	笠縫東小学校区	51	18	5	1	75	2.62
		68.0%	24.0%	6.7%	1.3%	100.0%	
	常盤小学校区	33	14	1	3	51	2.67
		64.7%	27.5%	2.0%	5.9%	100.0%	
	無回答・小学校区不明	96	35	11	11	153	2.60
		62.7%	22.9%	7.2%	7.2%	100.0%	
2013年調査		944	273	58	94	1,369	2.69
		69.0%	19.9%	4.2%	6.9%	100.0%	
2008年調査		657	223	59	101	1,040	2.64
		63.2%	21.4%	5.7%	9.7%	100.0%	
2003年調査		715	267	99	139	1,220	2.57
		58.6%	21.9%	8.1%	11.4%	100.0%	

過去3回の調査と比較すると、「そう思う」は前回より1.3ポイント減少し、「そう思わない」は1.0ポイント減少している。平均スコアは2.68点で横ばいで推移している。

地域別にみると、平均スコアは矢倉小学校区が2.82点で最も高く、最も低い笠縫小学校区が2.57点と、地域に関係なく本意見に賛同する意識が強い。

性別にみると、平均スコアは、女性が2.69点、男性が2.68点となっており、本意見に賛同する意識は男女同程度となっている。また、男女ともに「そう思う」に近い意識となっている。

年齢別にみると、平均スコアはいずれの年代でも2.50点以上となっており、「そう思う」に近い意識となっている。また、60歳代の2.77点が最も高く、30歳代の2.56点が最も低くなっており、本意見に賛同する意識の強さには年齢差がある。

居住年数別にみると、平均スコアは、2年以上5年未満では2.60点以下となっており、他の居住年数に比べてやや低い。

B. 差別、差別と騒ぎすぎるので、かえって差別がなくなる

図表 同和問題に関する事柄に対する意識「差別、差別と騒ぎすぎるので、かえって差別がなくなる」

		そう思う	どちらとも言えない	そう思わない	無回答	合計	平均
全体		530	405	209	49	1,193	1.72
		44.4%	33.9%	17.5%	4.1%	100.0%	
地域	志津小学校区	38	22	17	3	80	1.73
		47.5%	27.5%	21.3%	3.8%	100.0%	
	志津南小学校区	23	16	8	1	48	1.68
		47.9%	33.3%	16.7%	2.1%	100.0%	
	草津小学校区	44	30	20	1	95	1.74
		46.3%	31.6%	21.1%	1.1%	100.0%	
	草津第二小学校区	46	28	15	2	91	1.65
		50.5%	30.8%	16.5%	2.2%	100.0%	
	洪川小学校区	39	36	7	3	85	1.61
		45.9%	42.4%	8.2%	3.5%	100.0%	
	矢倉小学校区	37	25	19	1	82	1.78
		45.1%	30.5%	23.2%	1.2%	100.0%	
	老上小学校区	36	27	6	3	72	1.57
		50.0%	37.5%	8.3%	4.2%	100.0%	
	老上西小学校区	22	19	9	1	51	1.74
		43.1%	37.3%	17.6%	2.0%	100.0%	
	玉川小学校区	36	24	19	3	82	1.78
		43.9%	29.3%	23.2%	3.7%	100.0%	
	南笠東小学校区	21	19	15	5	60	1.89
		35.0%	31.7%	25.0%	8.3%	100.0%	
	山田小学校区	22	22	20	3	67	1.97
		32.8%	32.8%	29.9%	4.5%	100.0%	
	笠縫小学校区	44	36	13	8	101	1.67
		43.6%	35.6%	12.9%	7.9%	100.0%	
	笠縫東小学校区	35	23	14	3	75	1.71
		46.7%	30.7%	18.7%	4.0%	100.0%	
	常盤小学校区	18	25	6	2	51	1.76
		35.3%	49.0%	11.8%	3.9%	100.0%	
	無回答・小学校区不明	69	53	21	10	153	1.66
		45.1%	34.6%	13.7%	6.5%	100.0%	
2013年調査		595	467	231	76	1,369	1.72
		43.5%	34.1%	16.9%	5.6%	100.0%	
2008年調査		534	277	185	44	1,040	1.65
		51.3%	26.6%	17.8%	4.2%	100.0%	
2003年調査		738	248	155	79	1,220	1.49
		60.5%	20.3%	12.7%	6.5%	100.0%	

過去3回の調査と比較すると、「そう思う」は前回より0.9ポイント増加、「そう思わない」は0.6ポイント増加となっており、平均スコアは前回と同じ1.72点となっている。

地域別にみると、平均スコアは南笠東小学校区が1.89点で最も高く、本意見に賛同する意識が最も弱い。一方、老上小学校区は1.57点で最も低く、本意見に賛同する意識が特に強く、草津第二小学校区とともに「そう思う」が5割以上となっている。

性別にみると、平均スコアは、女性が1.74点、男性が1.70点で、本意見に賛同する意識は男女同程度となっている。また、男女ともに「どちらとも言えない」に近い意識となっている。

年齢別にみると、平均スコアは、いずれの年代でも1.60点以上となっており「どちらとも言えない」に近い意識となっている。また、50歳代の1.81点が最も高く、70歳以上の1.62点が最も低くなっており、本意見に賛同する意識の強さには年齢差がある。

居住年数別にみると、平均スコアは、居住年数にかかわらず1.8点未満となっており、本意見に賛同する意識が強い。

C. 差別をされた人のくやしさは、とても人ごととは思えない

図表 同和問題に関する事柄に対する意識「差別をされた人のくやしさは、とても人ごととは思えない」

		そう思う	どちらとも言えない	そう思わない	無回答	合計	平均
全体		704 59.0%	376 31.5%	43 3.6%	70 5.9%	1,193 100.0%	2.59
地域	志津小学校区	50 62.5%	22 27.5%	4 5.0%	4 5.0%	80 100.0%	2.61
	志津南小学校区	23 47.9%	21 43.8%	1 2.1%	3 6.3%	48 100.0%	2.49
	草津小学校区	54 56.8%	35 36.8%	4 4.2%	2 2.1%	95 100.0%	2.54
	草津第二小学校区	54 59.3%	31 34.1%	3 3.3%	3 3.3%	91 100.0%	2.58
	渋川小学校区	63 74.1%	20 23.5%	0 0.0%	2 2.4%	85 100.0%	2.76
	矢倉小学校区	51 62.2%	23 28.0%	4 4.9%	4 4.9%	82 100.0%	2.60
	老上小学校区	40 55.6%	25 34.7%	4 5.6%	3 4.2%	72 100.0%	2.52
	老上西小学校区	31 60.8%	12 23.5%	3 5.9%	5 9.8%	51 100.0%	2.61
	玉川小学校区	43 52.4%	27 32.9%	4 4.9%	8 9.8%	82 100.0%	2.53
	南笠東小学校区	39 65.0%	11 18.3%	3 5.0%	7 11.7%	60 100.0%	2.68
	山田小学校区	38 56.7%	21 31.3%	2 3.0%	6 9.0%	67 100.0%	2.59
	笠縫小学校区	58 57.4%	35 34.7%	2 2.0%	6 5.9%	101 100.0%	2.59
	笠縫東小学校区	47 62.7%	24 32.0%	1 1.3%	3 4.0%	75 100.0%	2.64
	常盤小学校区	29 56.9%	16 31.4%	2 3.9%	4 7.8%	51 100.0%	2.57
	無回答・小学校区不明	84 54.9%	53 34.6%	6 3.9%	10 6.5%	153 100.0%	2.55
2013年調査		802 58.6%	418 30.5%	52 3.8%	97 7.1%	1,369 100.0%	2.59
2008年調査		608 58.5%	281 27.0%	52 5.0%	99 9.5%	1,040 100.0%	2.59
2003年調査		671 55.0%	332 27.2%	65 5.3%	152 12.5%	1,220 100.0%	2.57

過去3回の調査と比較すると、「そう思う」「そう思わない」はともに前回とほぼ同程度で、平均スコアも前回と同じ2.59点となっており、過去3回の調査からほぼ横ばいで推移している。

地域別にみると、平均スコアは渋川小学校区が2.76点で最も高く、本意見に賛同する意識が最も強い。一方、志津南小学校区は2.49点で最も低く、本意見に賛同する意識が最も弱く、「どちらとも言えない」に近い意識にあるとみられる。

性別にみると、平均スコアは、男性が2.61点、女性が2.58点となっており、本意見に賛同する意識は男性がより強い。また、男性は女性に比べて「そう思う」に近い意識となっている。

年齢別にみると、平均スコアは、30歳代と40歳代を除いて2.50点以上となっており、本意見に賛同する意見がより強く、「そう思う」に近い意識となっている。ただし、2.50点以上では70歳以上の2.77点が最も高く、20歳代の2.50点が最も低くなっており、本意見に賛同する意識の強さには年齢差がある。

居住年数別にみると、平均スコアは、5年以上10年未満では2.42点で、本意見に賛同する意識がより弱い。一方、20年以上では2.63点と本意見に賛同する意識がより強い。

D. 差別をされた人の話を聞くと、憤りをおぼえ何とかしなければと思う

図表 同和問題に関する事柄に対する意識「差別をされた人の話を聞くと、憤りをおぼえ何とかしなければと思う」

		そう思う	どちらとも言えない	そう思わない	無回答	合計	平均
全体		565 47.4%	485 40.7%	64 5.4%	79 6.6%	1,193 100.0%	2.45
地域	志津小学校区	39 48.8%	33 41.3%	4 5.0%	4 5.0%	80 100.0%	2.46
	志津南小学校区	19 39.6%	23 47.9%	4 8.3%	2 4.2%	48 100.0%	2.33
	草津小学校区	41 43.2%	45 47.4%	7 7.4%	2 2.1%	95 100.0%	2.37
	草津第二小学校区	49 53.8%	35 38.5%	3 3.3%	4 4.4%	91 100.0%	2.53
	渋川小学校区	42 49.4%	38 44.7%	1 1.2%	4 4.7%	85 100.0%	2.51
	矢倉小学校区	44 53.7%	31 37.8%	2 2.4%	5 6.1%	82 100.0%	2.55
	老上小学校区	32 44.4%	33 45.8%	4 5.6%	3 4.2%	72 100.0%	2.41
	老上西小学校区	29 56.9%	13 25.5%	4 7.8%	5 9.8%	51 100.0%	2.54
	玉川小学校区	39 47.6%	29 35.4%	6 7.3%	8 9.8%	82 100.0%	2.45
	南笠東小学校区	30 50.0%	20 33.3%	4 6.7%	6 10.0%	60 100.0%	2.48
	山田小学校区	29 43.3%	27 40.3%	4 6.0%	7 10.4%	67 100.0%	2.42
	笠縫小学校区	44 43.6%	43 42.6%	6 5.9%	8 7.9%	101 100.0%	2.41
	笠縫東小学校区	36 48.0%	33 44.0%	2 2.7%	4 5.3%	75 100.0%	2.48
	常盤小学校区	22 43.1%	21 41.2%	3 5.9%	5 9.8%	51 100.0%	2.41
	無回答・小学校区不明	70 45.8%	61 39.9%	10 6.5%	12 7.8%	153 100.0%	2.43
	2013年調査	657 48.0%	525 38.3%	73 5.3%	114 8.3%	1,369 100.0%	2.47
	2008年調査	533 51.3%	327 31.4%	48 4.6%	132 12.7%	1,040 100.0%	2.53
	2003年調査	549 45.0%	417 34.2%	81 6.6%	173 14.2%	1,670 100.0%	2.45

過去3回の調査と比較すると、「そう思う」は前回に比べて0.6ポイント減少している。一方、「どちらとも言えない」は今回が最も多い。平均スコアは2.45点で、ここ4回の調査の中では2003年と並んで最低水準となっている。

地域別にみると、平均スコアは矢倉小学校区が2.55点で最も高く、草津第二小学校区、渋川小学校区、老上西小学校区も2.5点台で、本意見に賛同する意識がより強い。一方、志津南小学校区は2.33点で最も低く、本意見に賛同する意識がより弱い。

性別にみると、平均スコアは、男性が2.47点、女性が2.44点で、本意見に賛同する意識は男女同程度となっている。

年齢別にみると、平均スコアは60歳代と70歳上でそれぞれ2.50点と最も高くなっており、本意見に賛同する意見がより強く、「そう思う」に近い意識となっている。また、最も低いスコアは30歳代～50歳代の2.42点であり、本意見に賛同する意識の年齢差は比較的小さい。

居住年数別にみると、平均スコアは、居住年数による大きな違いはみられない。

E. 同和地区の人と、深くかかわることにはためらいを感じる

図表 同和問題に関する事柄に対する意識「同和地区の人と、深くかかわることにはためらいを感じる」

		そう思う	どちらとも言えない	そう思わない	無回答	合計	平均
全体		150	537	435	71	1,193	2.25
		12.6%	45.0%	36.5%	6.0%	100.0%	
地域	志津小学校区	10	38	29	3	80	2.25
		12.5%	47.5%	36.3%	3.8%	100.0%	
	志津南小学校区	6	22	18	2	48	2.26
		12.5%	45.8%	37.5%	4.2%	100.0%	
	草津小学校区	15	39	39	2	95	2.26
		15.8%	41.1%	41.1%	2.1%	100.0%	
	草津第二小学校区	18	42	27	4	91	2.10
		19.8%	46.2%	29.7%	4.4%	100.0%	
	洪川小学校区	10	46	26	3	85	2.20
		11.8%	54.1%	30.6%	3.5%	100.0%	
	矢倉小学校区	10	39	27	6	82	2.22
		12.2%	47.6%	32.9%	7.3%	100.0%	
	老上小学校区	11	36	22	3	72	2.16
		15.3%	50.0%	30.6%	4.2%	100.0%	
	老上西小学校区	6	19	22	4	51	2.34
		11.8%	37.3%	43.1%	7.8%	100.0%	
	玉川小学校区	6	33	36	7	82	2.40
		7.3%	40.2%	43.9%	8.5%	100.0%	
	南笠東小学校区	3	28	24	5	60	2.38
		5.0%	46.7%	40.0%	8.3%	100.0%	
	山田小学校区	4	30	27	6	67	2.38
		6.0%	44.8%	40.3%	9.0%	100.0%	
	笠縫小学校区	15	48	31	7	101	2.17
		14.9%	47.5%	30.7%	6.9%	100.0%	
	笠縫東小学校区	6	38	28	3	75	2.31
		8.0%	50.7%	37.3%	4.0%	100.0%	
	常盤小学校区	5	20	22	4	51	2.36
		9.8%	39.2%	43.1%	7.8%	100.0%	
	無回答・小学校区不明	25	59	57	12	153	2.23
		16.3%	38.6%	37.3%	7.8%	100.0%	
2013年調査		169	602	499	99	1,369	2.26
		12.3%	44.0%	36.4%	7.2%	100.0%	
2008年調査		96	368	474	102	1,040	2.40
		9.2%	35.4%	45.6%	9.8%	100.0%	
2003年調査		109	447	531	133	1,220	2.39
		8.9%	36.6%	43.5%	10.9%	100.0%	

過去3回の調査と比較すると、「そう思う」「そう思わない」とともにほぼ前回と同程度で、平均スコアも2.25点とほぼ同程度になっている。本意見に賛同しない意識がやや弱まり、「どちらとも言えない」に近い意識となってきた。

地域別にみると、平均スコアは玉川小学校区が2.40点で最も高く、本意見に賛同しない意識が最も強い。一方、草津第二小学校区は2.10点で最も低く、本意見に賛同する意識がより強い。

性別にみると、平均スコアは、男性が2.29点、女性が2.24点で、本意見に賛同しない意識は男女同程度に弱く、男女ともに「どちらとも言えない」に近い意識となっている。

年齢別にみると、平均スコアは、いずれの年代でも2.50点以下であり、本意見に賛同しない意識は弱く、「どちらとも言えない」に近い意識となっている。また、20歳代（2.38点）と30歳代（2.30点）では本意見に賛同ない意識が比較的強く、40歳代（2.11点）では本意見に賛同する意識が強い。

居住年数別にみると、平均スコアは、2年未満が2.05点で最も低く、本意見に賛同する意識が最も強い。

【同和問題についての態度スコア】

図表 同和問題についての態度スコア

		15～14点	13～12点	11～9点	8～7点	6～5点	合計	平均（点）
全体		212	410	494	73	4	1,193	11.59
		17.8%	34.4%	41.4%	6.1%	0.3%	100.0%	
地域	志津小学校区	18	22	35	4	1	80	11.70
		22.5%	27.5%	43.8%	5.0%	1.3%	100.0%	
	志津南小学校区	8	15	20	5	0	48	11.40
		16.7%	31.3%	41.7%	10.4%	0.0%	100.0%	
	草津小学校区	15	38	33	8	1	95	11.53
		15.8%	40.0%	34.7%	8.4%	1.1%	100.0%	
	草津第二小学校区	16	28	39	8	0	91	11.47
		17.6%	30.8%	42.9%	8.8%	0.0%	100.0%	
	渋川小学校区	7	42	34	2	0	85	11.73
		8.2%	49.4%	40.0%	2.4%	0.0%	100.0%	
	矢倉小学校区	17	32	30	3	0	82	11.85
		20.7%	39.0%	36.6%	3.7%	0.0%	100.0%	
	老上小学校区	8	23	38	3	0	72	11.33
		11.1%	31.9%	52.8%	4.2%	0.0%	100.0%	
	老上西小学校区	11	18	18	4	0	51	11.67
		21.6%	35.3%	35.3%	7.8%	0.0%	100.0%	
	玉川小学校区	17	31	31	3	0	82	11.73
		20.7%	37.8%	37.8%	3.7%	0.0%	100.0%	
	南笠東小学校区	14	20	24	2	0	60	11.95
		23.3%	33.3%	40.0%	3.3%	0.0%	100.0%	
	山田小学校区	19	17	27	4	0	67	11.88
		28.4%	25.4%	40.3%	6.0%	0.0%	100.0%	
	笠縫小学校区	11	36	48	5	1	101	11.31
		10.9%	35.6%	47.5%	5.0%	1.0%	100.0%	
	笠縫東小学校区	14	26	30	5	0	75	11.69
		18.7%	34.7%	40.0%	6.7%	0.0%	100.0%	
	常盤小学校区	10	18	20	3	0	51	11.63
		19.6%	35.3%	39.2%	5.9%	0.0%	100.0%	
	無回答・小学校区不明	27	44	67	14	1	153	11.35
		17.6%	28.8%	43.8%	9.2%	0.7%	100.0%	
2013年調査		264	448	589	56	12	1,369	11.60
		19.3%	32.7%	43.0%	4.1%	0.9%	100.0%	
2008年調査		219	315	438	60	8	1,040	11.60
		21.1%	30.3%	42.1%	5.8%	0.8%	100.0%	
2003年調査		162	374	592	85	7	1,220	11.25
		13.3%	30.7%	48.5%	7.0%	0.6%	100.0%	

A～Eの同和問題に対する態度の全体的な傾向を把握するため、A～E 5項目の各選択肢に付与した配点（3～1点）の合計を算出した（ただし、「無回答」には2点を付与した）。このスコアは、最高15点から最低5点までの間のいずれかとなり、スコアが高いほど同和問題の解決にとってプラスになると考えられる意見に賛同する度合いと、マイナスになると考えられる意見に賛同しない度合いがそれぞれ強いことを示し、スコアが低いほど、それぞれこの逆の傾向を示すため、「同和問題についての態度スコア」と規定する。

結果をみると、全体では、「11～9点」が41.4%で最も多く、次いで「13～12点」が34.4%と続いており、これらで75.8%を占めている。態度スコアの平均は11.59点で、全体としては、どちらとも言えないという意識に近い傾向がうかがえる。過去3回の調査と比較すると、態度スコアの平均は2008年以降ほぼ同水準で移行している。

地域別にみると、態度スコアの平均は南笠東小学校区が11.95点で最も高く、笠縫小学校区が11.31点と最も低い。

性別にみると、態度スコアの平均は、男性（11.69点）が女性（11.57点）に比べて高い。

年齢別にみると、態度スコアの平均は、60歳代が11.91点で最も高く、20歳代と50歳代以上では11.50点以上と比較的高いのにに対し、30歳代と40歳代では11.38点と特に低い。

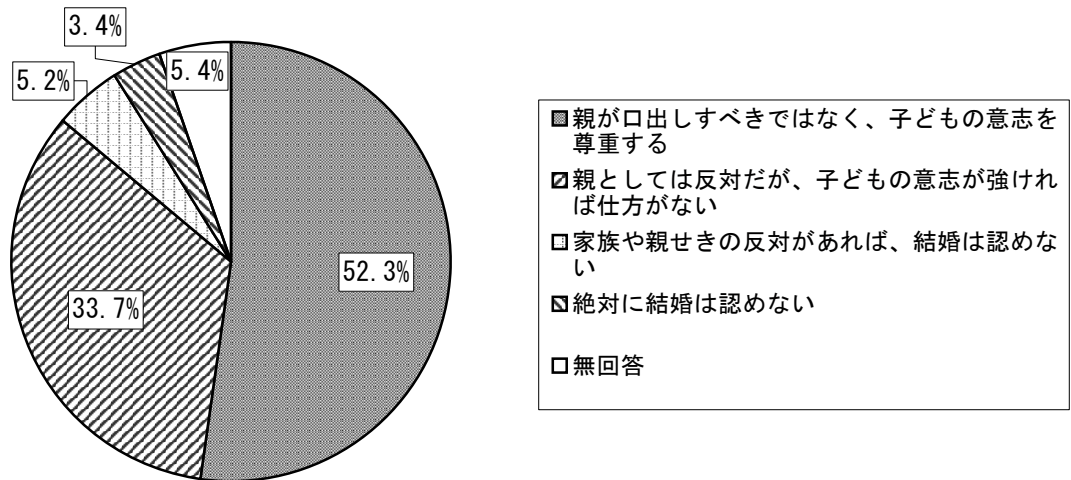
居住年数別にみると、5年以上10年未満が11.28点で最も低く、10年以上では11.60点以上で比較的高い。

質問20. 同和地区の人との結婚についてお聞きします。次のAからBのことについて、お考えに最も近いものを1つだけ選び、○をつけてください。

A. あなたのお子さんの結婚しようとする相手が同和地区の人とわかった場合、あなたはどのような。

図表 自分のお子さんが結婚しようとする相手が同和地区の人とわかった場合にとる態度

(N=1, 193)



自分のお子さんが結婚しようとする相手が同和地区の人とわかった場合にとる態度をたずねたところ、「親が口出しすべきではなく、子どもの意志を尊重する」が52.3%で最も多く、次いで「親としては反対だが、子どもの意志が強ければ仕方がない」が33.7%となっており、これらを合わせた「結婚を認める」は86.0%となっている。一方、「家族や親せきの反対があれば、結婚は認めない」(5.2%)と「絶対に結婚は認めない」(3.4%)を合わせた「結婚を認めない」は8.6%となっている。

図表 自分の子どもが結婚しようとする相手が同和地区の人とわかった場合にとる態度

		親が口出しすべきではなく、子どもの意志を尊重する	親としては反対だが、子どもの意志が強ければ仕方がない	家族や親せきの反対があれば、結婚は認めない	絶対に結婚は認めない	無回答	合計
全体		624 52.3%	402 33.7%	62 5.2%	41 3.4%	64 5.4%	1,193 100.0%
地域	志津小学校区	40 50.0%	27 33.8%	7 8.8%	3 3.8%	3 3.8%	80 100.0%
	志津南小学校区	25 52.1%	19 39.6%	1 2.1%	0 0.0%	3 6.3%	48 100.0%
	草津小学校区	53 55.8%	31 32.6%	4 4.2%	4 4.2%	3 3.2%	95 100.0%
	草津第二小学校区	39 42.9%	40 44.0%	5 5.5%	3 3.3%	4 4.4%	91 100.0%
	渋川小学校区	35 41.2%	39 45.9%	6 7.1%	2 2.4%	3 3.5%	85 100.0%
	矢倉小学校区	40 48.8%	26 31.7%	6 7.3%	5 6.1%	5 6.1%	82 100.0%
	老上小学校区	34 47.2%	28 38.9%	6 8.3%	2 2.8%	2 2.8%	72 100.0%
	老上西小学校区	30 58.8%	15 29.4%	2 3.9%	3 5.9%	1 2.0%	51 100.0%
	玉川小学校区	49 59.8%	24 29.3%	2 2.4%	0 0.0%	7 8.5%	82 100.0%
	南笠東小学校区	30 50.0%	19 31.7%	4 6.7%	1 1.7%	6 10.0%	60 100.0%
	山田小学校区	37 55.2%	22 32.8%	4 6.0%	3 4.5%	1 1.5%	67 100.0%
	笠縫小学校区	48 47.5%	35 34.7%	5 5.0%	7 6.9%	6 5.9%	101 100.0%
	笠縫東小学校区	46 61.3%	20 26.7%	1 1.3%	1 1.3%	7 9.3%	75 100.0%
	常盤小学校区	32 62.7%	15 29.4%	1 2.0%	2 3.9%	1 2.0%	51 100.0%
	無回答・小学校区不明	86 56.2%	42 27.5%	8 5.2%	5 3.3%	12 7.8%	153 100.0%
2013年調査		719 52.5%	426 31.1%	70 5.1%	52 3.8%	102 7.5%	1,369 100.0%
2008年調査		566 54.4%	263 25.3%	45 4.3%	32 3.1%	134 12.9%	1,040 100.0%
2003年調査		515 57.3%	297 33.0%	54 6.0%	33 3.7%	--- ---	899 100.0%

過去3回の調査と比較すると、「親が口出しすべきではなく、子どもの意志を尊重する」は前回とほぼ同程度となっている。「結婚を認める」は、前回（83.6%）に比べて2.4ポイント増加している。

地域別にみると、「結婚を認める」は志津南小学校区、常盤小学校区では9割を超えているなど、いずれの地域でも8割以上を占めている。一方、「結婚を認めない」は志津小学校区、矢倉小学校区、老上小学校区、山田小学校区、笠縫小学校区で1割以上を占め、他の地域に比べてやや多い。

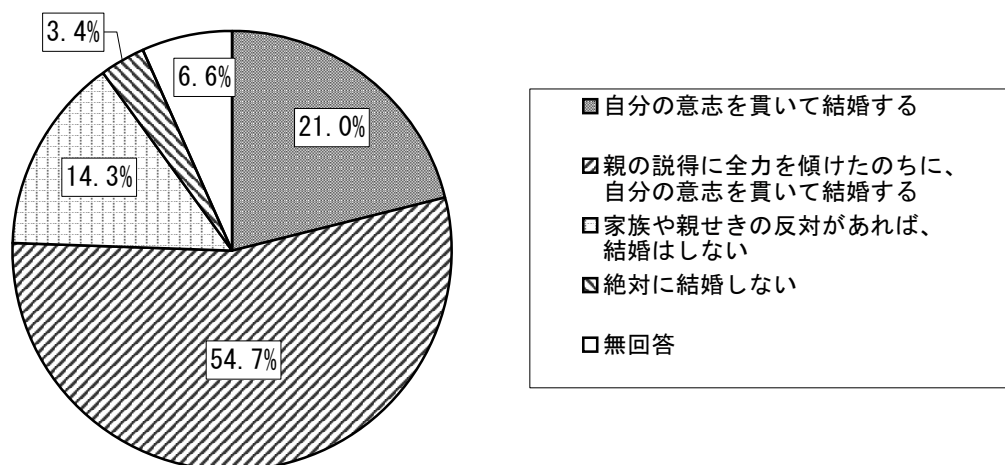
性別にみると、男女ともに「親が口出しすべきではなく、子どもの意志を尊重する」が最多で、男性（55.7%）が女性（50.8%）に比べて4.9ポイント多い。その他の項目は男女同様の回答傾向であり、「親としては反対だが、子どもの意志が強ければ仕方がない」は、男性が34.2%、女性が33.8%となっている。また、「結婚を認める」は、男性（89.9%）が女性（84.6%）に比べて5.3ポイント多い。

年齢別にみると、いずれの年代でも「親が口出しすべきではなく、子どもの意志を尊重する」が最多で、40歳代以下と60歳代では半数以上を占めており、20歳代（66.3%）が最も多い。また、「結婚を認める」は、いずれの年代でも8割以上を占めている。

自身が同和地区の人と結婚しようとしたときに親や親せきから強い反対を受けた場合に自身がとる態度からみると、自分の結婚の意志が強い人ほど子どもの意志を尊重する人も多い傾向にあり、一方、自分の結婚の意志が弱い人ほど子どもの結婚も反対する傾向がみられる。

B. あなたが同和地区の人と結婚しようとしたときに親や親せきから強い反対を受けた場合、あなたはどのようにしますか。

図表 自身が同和地区の人と結婚しようとしたときに親や親せきから強い反対を受けた場合に自身がとる態度
(N=1, 193)



自身が同和地区の人と結婚しようとしたときに親や親せきから強い反対を受けた場合に自身がとる態度をたずねたところ、「親の説得に全力を傾けたのちに、自分の意志を貫いて結婚する」が54.7%で最も多く、次いで「自分の意志を貫いて結婚する」が21.0%となっており、これらを合わせた「結婚する」人は75.7%となっている。一方、「家族や親せきの反対があれば結婚はしない」(14.3%)と「絶対に結婚しない」(3.4%)を合わせた「結婚しない」は17.7%となっている。

図表 自身が同和地区の人と結婚しようとしたときに親や親せきから強い反対を受けた場合に自身がとる態度

		自分の意志を貫いて結婚する	親の説得に全力を傾けたのちに、自分の意志を貫いて結婚する	家族や親せきの反対があれば、結婚はしない	絶対に結婚しない	無回答	合計
全体		251 21.0%	652 54.7%	171 14.3%	40 3.4%	79 6.6%	1,193 100.0%
地域	志津小学校区	16 20.0%	47 58.8%	6 7.5%	5 6.3%	6 7.5%	80 100.0%
	志津南小学校区	5 10.4%	30 62.5%	8 16.7%	2 4.2%	3 6.3%	48 100.0%
	草津小学校区	26 27.4%	48 50.5%	16 16.8%	2 2.1%	3 3.2%	95 100.0%
	草津第二小学校区	19 20.9%	45 49.5%	18 19.8%	4 4.4%	5 5.5%	91 100.0%
	渋川小学校区	18 21.2%	46 54.1%	15 17.6%	2 2.4%	4 4.7%	85 100.0%
	矢倉小学校区	17 20.7%	42 51.2%	16 19.5%	4 4.9%	3 3.7%	82 100.0%
	老上小学校区	16 22.2%	39 54.2%	11 15.3%	2 2.8%	4 5.6%	72 100.0%
	老上西小学校区	11 21.6%	29 56.9%	5 9.8%	2 3.9%	4 7.8%	51 100.0%
	玉川小学校区	15 18.3%	50 61.0%	9 11.0%	1 1.2%	7 8.5%	82 100.0%
	南笠東小学校区	11 18.3%	35 58.3%	5 8.3%	1 1.7%	8 13.3%	60 100.0%
	山田小学校区	15 22.4%	37 55.2%	9 13.4%	3 4.5%	3 4.5%	67 100.0%
	笠縫小学校区	23 22.8%	48 47.5%	19 18.8%	4 4.0%	7 6.9%	101 100.0%
	笠縫東小学校区	9 12.0%	49 65.3%	7 9.3%	2 2.7%	8 10.7%	75 100.0%
	常盤小学校区	13 25.5%	28 54.9%	6 11.8%	1 2.0%	3 5.9%	51 100.0%
	無回答・小学校区不明	37 24.2%	79 51.6%	21 13.7%	5 3.3%	11 7.2%	153 100.0%
2013年調査		288 21.0%	712 52.0%	194 14.2%	46 3.4%	129 9.4%	1,369 100.0%
2008年調査		230 22.1%	463 44.5%	141 13.6%	23 2.2%	183 17.6%	1,040 100.0%
2003年調査		35 24.3%	90 62.5%	15 10.4%	4 2.8%	---	144 100.0%

過去3回の調査と比較すると、「結婚する」は、前回（73.0％）に比べて2.7ポイント増加しており、一貫して増加傾向がみられる。

地域別にみると、「結婚する」は常盤小学校が80.4％で最も多く、いずれの地域でも7割以上を占めている。一方、「結婚しない」が最も多いのは矢倉小学校区（24.4％）となっている。

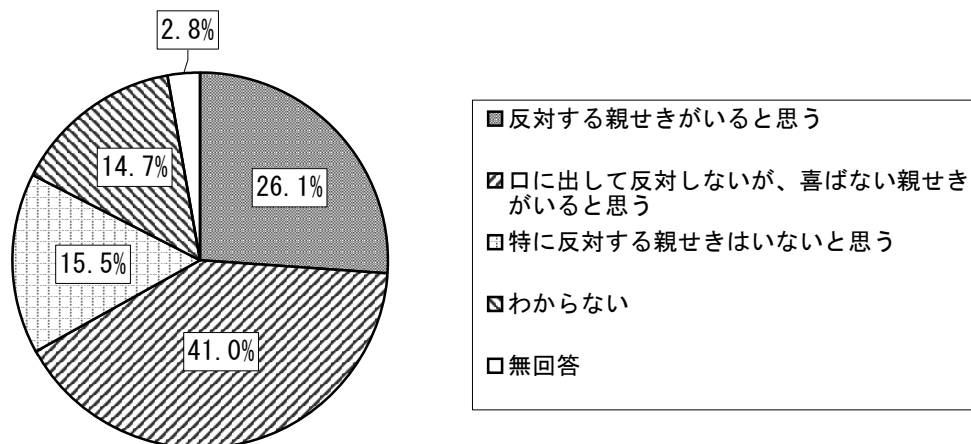
性別にみると、男女ともに「親の説得に全力を傾けたのちに、自分の意志を貫いて結婚する」が最多で、女性が56.2％、男性が54.7％となっており、男女差は小さい。次いで、男女ともに「自分の意思を貫いて結婚する」が多く、男性（26.9％）が女性（16.4％）に比べて10.5ポイント多い。また、「結婚する」は、男性（81.6％）が女性（72.6％）に比べて9.0ポイント多い。

年齢別にみると、いずれの年代でも「親の説得に全力を傾けたのちに、自分の意志を貫いて結婚する」が最多で半数以上を占めており、50歳代の61.0％が最も多い。一方、「家族や親せきの反対があれば結婚はしない」は30歳代以上では1割以上を占めており、40歳代以上では「結婚しない」が約2割に達する。

質問21. あなたやあなたのお子さんが同和地区の人と結婚しようとした場合、あなたの親せきはどうのような態度をとると思いますか。お考えに最も近いものを1つだけ選び、○をつけてください。

図表 自身や自分の子どもが同和地区の人と結婚しようとした場合に親せきがとると思う態度

(N=1,193)



自身や自分の子どもが同和地区の人と結婚しようとした場合に親せきがとると思う態度をたずねたところ、「口には出して反対しないが、喜ばない親せきがいると思う」が41.0%で最も多く、以下、「反対する親せきがいると思う」が26.1%、「特に反対する親せきはいないと思う」が15.5%、「わからない」が14.7%となっている。

図表 自身や自分の子どもが同和地区の人と結婚しようとした場合に親せきがとると思う態度

		反対する親 せきが いる と思う	口に出して 反対しない が、喜ばな い親せきが いると思う	特に反対す る親せきは いないと思 う	わからない	無回答	合計
全体		311 26.1%	489 41.0%	185 15.5%	175 14.7%	33 2.8%	1,193 100.0%
地域	志津小学校区	25 31.3%	30 37.5%	8 10.0%	13 16.3%	4 5.0%	80 100.0%
	志津南小学校区	8 16.7%	16 33.3%	14 29.2%	9 18.8%	1 2.1%	48 100.0%
	草津小学校区	32 33.7%	37 38.9%	14 14.7%	12 12.6%	0 0.0%	95 100.0%
	草津第二小学校区	27 29.7%	35 38.5%	15 16.5%	11 12.1%	3 3.3%	91 100.0%
	渋川小学校区	20 23.5%	43 50.6%	10 11.8%	11 12.9%	1 1.2%	85 100.0%
	矢倉小学校区	22 26.8%	33 40.2%	10 12.2%	16 19.5%	1 1.2%	82 100.0%
	老上小学校区	17 23.6%	33 45.8%	10 13.9%	12 16.7%	0 0.0%	72 100.0%
	老上西小学校区	12 23.5%	24 47.1%	9 17.6%	5 9.8%	1 2.0%	51 100.0%
	玉川小学校区	18 22.0%	34 41.5%	13 15.9%	14 17.1%	3 3.7%	82 100.0%
	南笠東小学校区	13 21.7%	27 45.0%	12 20.0%	4 6.7%	4 6.7%	60 100.0%
	山田小学校区	19 28.4%	29 43.3%	12 17.9%	7 10.4%	0 0.0%	67 100.0%
	笠縫小学校区	30 29.7%	46 45.5%	13 12.9%	8 7.9%	4 4.0%	101 100.0%
	笠縫東小学校区	19 25.3%	27 36.0%	12 16.0%	14 18.7%	3 4.0%	75 100.0%
	常盤小学校区	12 23.5%	20 39.2%	13 25.5%	5 9.8%	1 2.0%	51 100.0%
	無回答・ 小学校区不明	37 24.2%	55 35.9%	20 13.1%	34 22.2%	7 4.6%	153 100.0%
2013年調査		399 29.1%	532 38.9%	171 12.5%	208 15.2%	59 4.3%	1,369 100.0%
2008年調査		316 30.4%	381 36.6%	144 13.8%	137 13.2%	62 6.0%	1,040 100.0%
2003年調査		273 22.4%	553 45.3%	144 11.8%	186 15.2%	64 5.2%	1,220 100.0%

過去3回の調査と比較すると、「反対する親せきがいると思う」と「口に出して反対しないが、喜ばない親せきがいると思う」の合計は60～70%で推移しており、大きな変化はみられない。

地域別にみると、いずれの地域でも「口に出して反対しないが、喜ばない親せきがいると思う」が最も多いが、「特に反対する親せきはいないと思う」は、志津南小学校区では29.2%と他の地域に比べて多い。

性別にみると、男女ともに「口に出して反対しないが、喜ばない親せきがいると思う」が最多で、男性（43.5%）が女性（39.7%）に比べて3.8ポイント多い。次いで、男女ともに「反対する親せきがいると思う」が多く、女性が27.7%、男性が24.8%となっている。「特に反対する親せきはいないと思う」は、男性が16.4%、女性が14.8%であり、男女差は小さい。

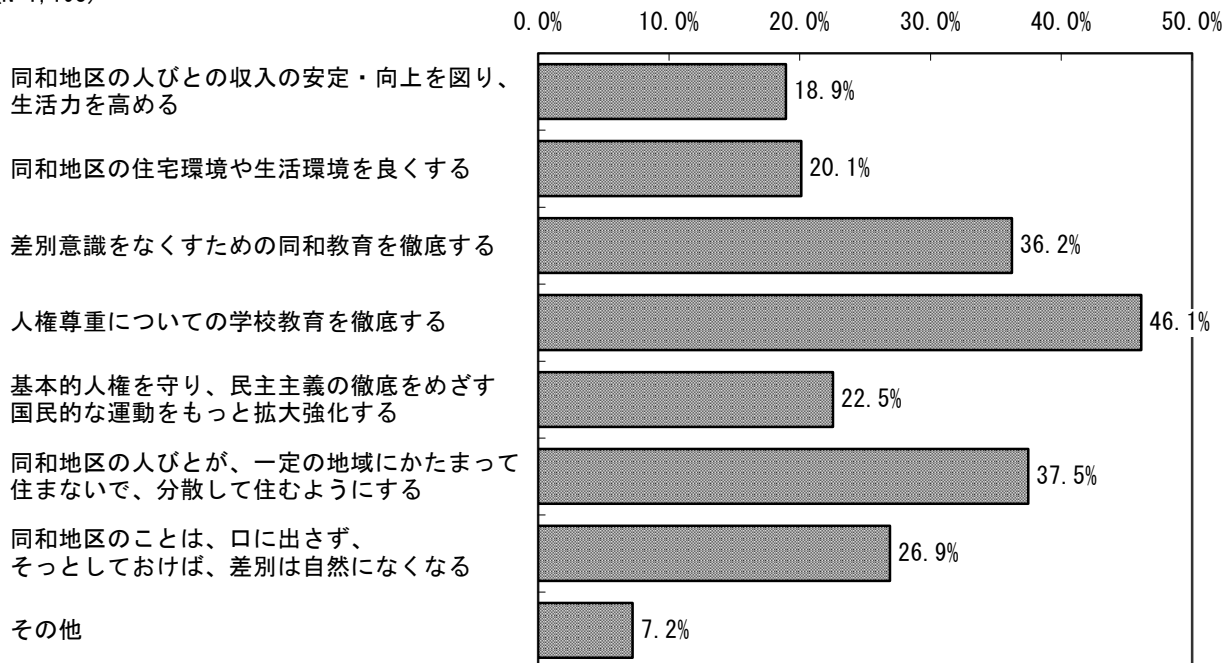
年齢別にみると、いずれの年代でも「口に出して反対しないが、喜ばない親せきがいると思う」が最多で、60歳代（45.6%）が最も多い。一方、「特に反対する親せきはいないと思う」は、いずれの年代も1割以上を占めており、40歳代（18.6%）が最も多い。

自身が同和地区の人と結婚しようとしたときに親や親せきから強い反対を受けた場合に自身がとる態度からみると、自分の結婚の意志が弱い人ほど「反対する親せきがいると思う」が多い傾向がみられる。一方、自分の結婚の意志が強い人ほど「特に反対する親せきはいないと思う」が多い傾向がみられる。

質問22. あなたは、同和問題を解決するためにどのようなことが必要だと思いますか。特に必要だと思うものを3つまで選び、○をつけてください。

図表 同和問題を解決するために必要と思う対策（3つまでの複数回答）

(N=1,193)



同和問題を解決するために必要と思う対策をたずねたところ、「人権尊重についての学校教育を徹底する」が46.1%で最も多く、以下、「同和地区の人びとが、一定の地域にかたまって住まないで、分散して住むようにする」が37.5%、「差別意識をなくすための同和教育を徹底する」が36.2%、「同和地区のことは、口に出さず、そっとしておけば、差別は自然になくなる」が26.9%などとなっている。

図表 同和問題を解決するために必要と思う対策（３つまでの複数回答）

		同和地区の 人びとの収入の安定・ 向上を図り、生活力 を高める	同和地区の 住宅環境や 生活環境を 良くする	差別意識を なくすため の同和教育 を徹底する	人権尊重に ついての学 校教育を徹 底する	基本的人権 を守り、民 主主義の徹 底をめざす 国民的な運 動をもっと 拡大強化す る	同和地区の 人びとが、 一定の地域 にかたまっ て住まない で、分散し て住むよう にする	同和地区の ことは、口 に出さず、そ っとしてお けば、差別は 自然になく なる	その他	集計母数	
全体		226 18.9%	240 20.1%	432 36.2%	550 46.1%	269 22.5%	447 37.5%	321 26.9%	86 7.2%	1,193 100.0%	
地域	志津小学校区	11 13.8%	9 11.3%	35 43.8%	34 42.5%	17 21.3%	32 40.0%	17 21.3%	5 6.3%	80 100.0%	
		志津南小学校区	5 10.4%	12 25.0%	18 37.5%	22 45.8%	9 18.8%	13 27.1%	13 27.1%	3 6.3%	48 100.0%
	草津小学校区		21 22.1%	21 22.1%	35 36.8%	44 46.3%	17 17.9%	40 42.1%	24 25.3%	8 8.4%	95 100.0%
		草津第二小学校区	19 20.9%	18 19.8%	33 36.3%	44 48.4%	19 20.9%	40 44.0%	27 29.7%	4 4.4%	91 100.0%
	洪川小学校区		17 20.0%	20 23.5%	29 34.1%	29 34.1%	14 16.5%	40 47.1%	26 30.6%	4 4.7%	85 100.0%
		矢倉小学校区	12 14.6%	17 20.7%	36 43.9%	46 56.1%	20 24.4%	33 40.2%	17 20.7%	5 6.1%	82 100.0%
	老上小学校区		14 19.4%	11 15.3%	25 34.7%	37 51.4%	23 31.9%	35 48.6%	25 34.7%	8 11.1%	72 100.0%
		老上西小学校区	7 13.7%	9 17.6%	18 35.3%	27 52.9%	12 23.5%	21 41.2%	14 27.5%	1 2.0%	51 100.0%
	玉川小学校区		17 20.7%	17 20.7%	34 41.5%	42 51.2%	18 22.0%	31 37.8%	19 23.2%	7 8.5%	82 100.0%
		南笠東小学校区	10 16.7%	16 26.7%	20 33.3%	30 50.0%	16 26.7%	20 33.3%	16 26.7%	2 3.3%	60 100.0%
	山田小学校区		14 20.9%	11 16.4%	28 41.8%	31 46.3%	18 26.9%	18 26.9%	15 22.4%	9 13.4%	67 100.0%
		笠縫小学校区	24 23.8%	25 24.8%	31 30.7%	42 41.6%	25 24.8%	36 35.6%	26 25.7%	9 8.9%	101 100.0%
	笠縫東小学校区		8 10.7%	15 20.0%	29 38.7%	39 52.0%	17 22.7%	17 22.7%	23 30.7%	6 8.0%	75 100.0%
		常盤小学校区	8 15.7%	13 25.5%	17 33.3%	27 52.9%	13 25.5%	13 25.5%	12 23.5%	2 3.9%	51 100.0%
	無回答・ 小学校区不明		39 25.5%	26 17.0%	44 28.8%	56 36.6%	31 20.3%	58 37.9%	47 30.7%	13 8.5%	153 100.0%
		2013年調査		250 18.3%	289 21.1%	451 32.9%	610 44.6%	337 24.6%	506 37.0%	391 28.6%	66 4.8%
	2008年調査		172 16.5%	166 16.0%	314 30.2%	450 43.3%	193 18.6%	284 27.3%	281 27.0%	44 4.2%	1,040 100.0%
	2003年調査		190 15.6%	224 18.4%	349 28.6%	524 43.0%	264 21.6%	344 28.2%	356 29.2%	59 4.7%	1,220 100.0%

過去３回の調査と比較すると、「人権尊重についての学校教育を徹底する」、「差別意識をなくすための同和教育を徹底する」「同和地区の人びとが、一定の地域にかたまって住まないで、分散して住むようにする」は一貫して増加傾向が見られる。また、「同和地区の人々の収入の安定・向上を図り、生活力を高める」も、回答の割合は毎回最も少ないがわずかながら増加している。

地域別にみると、志津小学校区では「差別意識をなくすための同和教育を徹底する」、渋川小学校区では「同和地区の人びとが、一定の地域にかたまって住まないで、分散して住むようにする」、それ以外の地域では「人権尊重についての学校教育を徹底する」がそれぞれ最も多い。

性別にみると、男女ともに「人権尊重についての学校教育を徹底する」が最多で、男性（48.4%）が女性（45.1%）に比べて3.3ポイント多い。次いで、男女ともに「差別意識をなくすための同和教育を徹底する」、「同和地区の人びとが、一定の地域にかたまって住まないで、分散して住むようにする」が多い。また、「差別意識をなくすための同和教育を徹底する」は男性（39.8%）が女性（34.7%）に比べて5.1ポイント多い。「基本的人権を守り、民主主義の徹底をめざす国民的な運動をもっと拡大強化する」は、男性（27.7%）が女性（19.3%）に比べて8.4ポイント多く、男女差が最も大きい項目である。

年齢別にみると、いずれの年代でも「人権尊重についての学校教育を徹底する」、「差別意識をなくすための同和教育を徹底する」「同和地区の人びとが、一定の地域にかたまって住まないで、分散

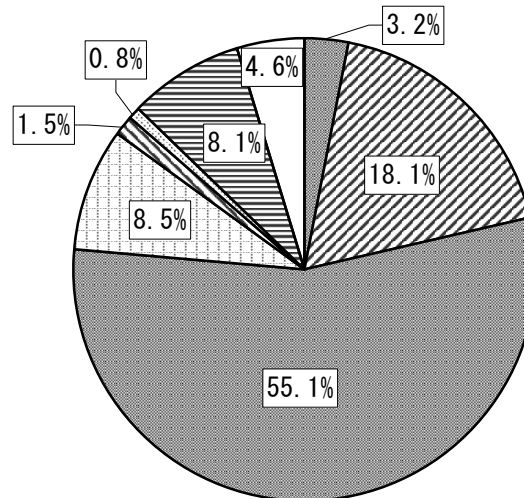
して住むようにする」が上位3項目を占めている。一方、「同和地区のことは、口に出さず、そっとしておけば差別は自然になくなる」は、20歳代（31.6%）と70歳以上（32.2%）で多い。

居住年数別にみると、2年未満では「差別意識をなくすための同和教育を徹底する」が最も多く、2年以上では「人権尊重についての学校教育を徹底する」が最も多い（「2年以上5年未満」では「同和地区の人びとが、一定の地域にかたまって住まないで、分散して住むようにする」も同率）。

質問23. さまざまな人権問題がありますが、とりわけ、今後の同和問題の啓発・教育のあり方について、あなたはどのように考えていますか。お考えに最も近いものを1つだけ選び、○をつけてください。

図表 今後の同和問題の啓発・教育のあり方に対する意識

(N=1,193)



- 他の人権問題よりも、同和問題については特に重点的に啓発・教育を行うべきである
- ▣ 同和問題とともに、他の人権問題についても積極的な啓発・教育を行うべきである
- ▤ 同和問題を人権問題全体の啓発、教育の一環として行うべきである
- 同和問題はむしろ必要でなく、他の人権問題についての啓発・教育の方が重要である
- ▥ 同和問題、他の人権問題のいずれについても、啓発・教育は必要ない
- ▧ その他
- ▨ わからない
- 無回答

※本設問の選択肢は表記が長いため、図表中では表記を簡略にし、それに対応する分析も図表中の表記を用いている。

今後の同和問題の啓発・教育のあり方に対する意識をたずねたところ、「同和問題を人権問題全体の啓発、教育の一環として行うべきである」が55.1%で最も多く、以下、「同和問題とともに、他の人権問題についても積極的な啓発・教育を行うべきである」が18.1%、「同和問題はむしろ必要でなく、他の人権問題についての啓発・教育の方が重要である」が8.5%、「わからない」が8.1%などとなっている。

図表 今後の同和問題の啓発・教育のあり方に対する意識

		他の人権問題よりも、同和問題については特に重点的に啓発・教育を行うべきである	同和問題とともに、他の人権問題についても積極的な啓発・教育を行うべきである	同和問題を人権問題全体の啓発、教育の一環として行うべきである	同和問題はむしろ必要でなく、他の人権問題についての啓発・教育の方が重要である	同和問題、他の人権問題のいずれについても、啓発・教育は必要はない	その他	わからない	無回答	合計
全体		38 3.2%	216 18.1%	657 55.1%	102 8.5%	18 1.5%	10 0.8%	97 8.1%	55 4.6%	1,193 100.0%
地域	志津小学校区	2 2.5%	18 22.5%	46 57.5%	4 5.0%	1 1.3%	0 0.0%	5 6.3%	4 5.0%	80 100.0%
		1 2.1%	6 12.5%	28 58.3%	4 8.3%	1 2.1%	0 0.0%	6 12.5%	2 4.2%	48 100.0%
	志津南小学校区	2 2.1%	19 20.0%	48 50.5%	11 11.6%	2 2.1%	0 0.0%	11 11.6%	2 2.1%	95 100.0%
		0 0.0%	20 22.0%	50 54.9%	11 12.1%	0 0.0%	1 1.1%	7 7.7%	2 2.2%	91 100.0%
	草津小学校区	2 2.4%	13 15.3%	55 64.7%	7 8.2%	1 1.2%	0 0.0%	5 5.9%	2 2.4%	85 100.0%
		5 6.1%	11 13.4%	52 63.4%	2 2.4%	0 0.0%	1 1.2%	6 7.3%	5 6.1%	82 100.0%
	草津第二小学校区	2 2.8%	11 15.3%	39 54.2%	6 8.3%	2 2.8%	0 0.0%	9 12.5%	3 4.2%	72 100.0%
		4 7.8%	7 13.7%	25 49.0%	6 11.8%	2 3.9%	0 0.0%	4 7.8%	3 5.9%	51 100.0%
	洪川小学校区	2 2.4%	20 24.4%	46 56.1%	3 3.7%	0 0.0%	2 2.4%	5 6.1%	4 4.9%	82 100.0%
		0 0.0%	13 21.7%	31 51.7%	7 11.7%	2 3.3%	1 1.7%	2 3.3%	4 6.7%	60 100.0%
	矢倉小学校区	3 4.5%	17 25.4%	33 49.3%	6 9.0%	0 0.0%	1 1.5%	6 9.0%	1 1.5%	67 100.0%
		5 5.0%	16 15.8%	57 56.4%	10 9.9%	2 2.0%	1 1.0%	4 4.0%	6 5.9%	101 100.0%
	老上小学校区	3 4.0%	13 17.3%	47 62.7%	5 6.7%	2 2.7%	0 0.0%	1 1.3%	4 5.3%	75 100.0%
		3 5.9%	8 15.7%	27 52.9%	6 11.8%	0 0.0%	0 0.0%	6 11.8%	1 2.0%	51 100.0%
	老上西小学校区	4 2.6%	24 15.7%	73 47.7%	14 9.2%	3 2.0%	3 2.0%	20 13.1%	12 7.8%	153 100.0%
		2 2.2%	15 15.8%	57 57.7%	5 5.4%	3 2.3%	0 0.6%	9 9.3%	6 6.6%	104 100.0%
	玉川小学校区	25 2.4%	171 16.4%	490 47.1%	59 5.7%	11 1.1%	8 0.8%	110 10.6%	166 16.0%	1,040 100.0%
		30 2.5%	197 16.1%	623 51.1%	83 6.8%	18 1.5%	5 0.4%	92 7.5%	172 14.1%	1,220 100.0%
南笠東小学校区	3 2.5%	8 16.1%	27 51.1%	6 6.8%	0 1.5%	0 0.4%	6 7.5%	1 14.1%	51 100.0%	
	5 5.9%	15 15.7%	52 52.9%	11 11.8%	0 0.0%	0 0.0%	11 11.8%	2 2.0%	82 100.0%	
山田小学校区	4 2.6%	24 15.7%	73 47.7%	14 9.2%	3 2.0%	3 2.0%	20 13.1%	12 7.8%	153 100.0%	
	2 2.2%	15 15.8%	57 57.7%	5 5.4%	3 2.3%	0 0.6%	9 9.3%	6 6.6%	104 100.0%	
笠縫小学校区	25 2.4%	171 16.4%	490 47.1%	59 5.7%	11 1.1%	8 0.8%	110 10.6%	166 16.0%	1,040 100.0%	
	30 2.5%	197 16.1%	623 51.1%	83 6.8%	18 1.5%	5 0.4%	92 7.5%	172 14.1%	1,220 100.0%	
笠縫東小学校区	3 2.5%	8 16.1%	27 51.1%	6 6.8%	0 1.5%	0 0.4%	6 7.5%	1 14.1%	51 100.0%	
	5 5.9%	15 15.7%	52 52.9%	11 11.8%	0 0.0%	0 0.0%	11 11.8%	2 2.0%	82 100.0%	
常盤小学校区	4 2.6%	24 15.7%	73 47.7%	14 9.2%	3 2.0%	3 2.0%	20 13.1%	12 7.8%	153 100.0%	
	2 2.2%	15 15.8%	57 57.7%	5 5.4%	3 2.3%	0 0.6%	9 9.3%	6 6.6%	104 100.0%	
無回答・小学校区不明	25 2.4%	171 16.4%	490 47.1%	59 5.7%	11 1.1%	8 0.8%	110 10.6%	166 16.0%	1,040 100.0%	
	30 2.5%	197 16.1%	623 51.1%	83 6.8%	18 1.5%	5 0.4%	92 7.5%	172 14.1%	1,220 100.0%	
2013年調査		30 2.2%	216 15.8%	790 57.7%	74 5.4%	32 2.3%	8 0.6%	128 9.3%	91 6.6%	1,369 100.0%
2008年調査		25 2.4%	171 16.4%	490 47.1%	59 5.7%	11 1.1%	8 0.8%	110 10.6%	166 16.0%	1,040 100.0%
2003年調査		30 2.5%	197 16.1%	623 51.1%	83 6.8%	18 1.5%	5 0.4%	92 7.5%	172 14.1%	1,220 100.0%

過去3回の調査と比較すると、「他の人権問題よりも、同和問題については特に重点的に啓発・教育を行うべきである」は前回より1.0ポイント増加しているものの、「同和問題はむしろ必要でなく、他の人権問題についての啓発・教育の方が重要である」が3.1ポイント増加、「同和問題とともに、他の人権問題についても積極的な啓発・教育を行うべきである」が2.3ポイント増加とそれ以上に増えており、同和問題以外の人権問題も重要と考える人が多くなっていると考えられる。

地域別にみると、いずれの地域でも「同和問題を人権問題全体の啓発・教育の一環として行うべきである」が最も多い。一方、草津小学校区、草津第二小学校区、老上西小学校区、南笠東小学校区、常盤小学校区では「同和問題はむしろ必要でなく、他の人権問題についての啓発・教育の方が重要である」がそれぞれ1割以上となっている。

性別にみると、男女ともに「同和問題を人権問題全体の啓発・教育の一環として行うべきである」が最多で、男性（58.0%）が女性（54.0%）に比べて4.0ポイント多い。その他の項目は男女同様の回答傾向であり、男女差は小さい。

年齢別にみると、いずれの年代でも「同和問題を人権問題全体の啓発・教育の一環として行うべきである」が最多で、20歳代と40歳代以上では半数以上を占めており、60歳代（61.0%）が最も多い。

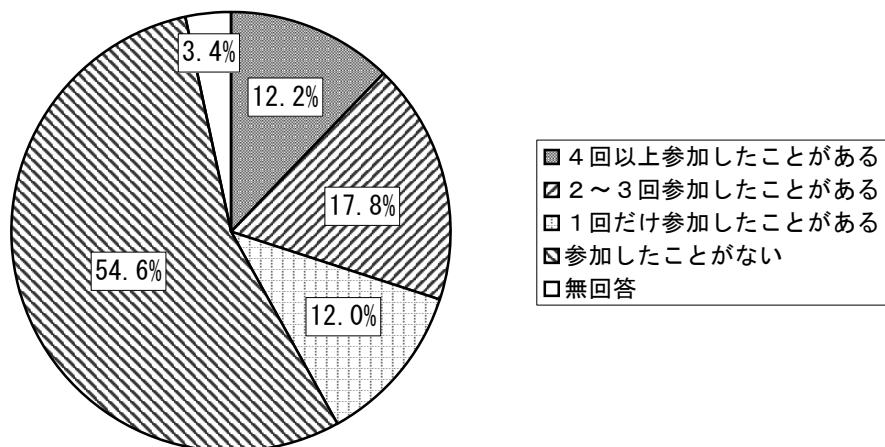
居住年数別にみると、居住年数の長短に関係なく「同和問題を人権問題全体の啓発・教育の一環として行うべきである」が最も多いが、全般的に居住年数の長短による顕著な差はみられない。

11 人権教育・啓発・情報提供のあり方

質問24. 草津市では、市民の皆さんが人権問題についての理解を深められるよう研修会・講演会を開いていますが、あなたは参加したことがありますか。あてはまるものを1つだけ選び、○をつけてください。

図表 草津市が開催する研修会・講演会の参加状況

(N=1,193)



草津市が開催する研修会・講演会の参加状況をたずねたところ、「参加したことがない」が54.6%で最も多く、以下、「2～3回参加したことがある」が17.8%、「4回以上参加したことがある」が12.2%、「1回だけ参加したことがある」が12.0%となっており、1回以上の参加率は42.0%となっている。

図表 草津市が開催する研修会・講演会の参加状況

		4回以上参加したことがある	2～3回参加したことがある	1回だけ参加したことがある	参加したことがない	無回答	合計
全体		146 12.2%	212 17.8%	143 12.0%	651 54.6%	41 3.4%	1,193 100.0%
地域	志津小学校区	5 6.3%	17 21.3%	12 15.0%	43 53.8%	3 3.8%	80 100.0%
	志津南小学校区	6 12.5%	11 22.9%	8 16.7%	22 45.8%	1 2.1%	48 100.0%
	草津小学校区	10 10.5%	21 22.1%	9 9.5%	53 55.8%	2 2.1%	95 100.0%
	草津第二小学校区	8 8.8%	12 13.2%	11 12.1%	56 61.5%	4 4.4%	91 100.0%
	渋川小学校区	9 10.6%	11 12.9%	19 22.4%	44 51.8%	2 2.4%	85 100.0%
	矢倉小学校区	10 12.2%	22 26.8%	13 15.9%	36 43.9%	1 1.2%	82 100.0%
	老上小学校区	6 8.3%	12 16.7%	8 11.1%	44 61.1%	2 2.8%	72 100.0%
	老上西小学校区	9 17.6%	7 13.7%	6 11.8%	28 54.9%	1 2.0%	51 100.0%
	玉川小学校区	5 6.1%	14 17.1%	4 4.9%	57 69.5%	2 2.4%	82 100.0%
	南笠東小学校区	2 3.3%	13 21.7%	6 10.0%	38 63.3%	1 1.7%	60 100.0%
	山田小学校区	14 20.9%	10 14.9%	8 11.9%	30 44.8%	5 7.5%	67 100.0%
	笠縫小学校区	10 9.9%	25 24.8%	11 10.9%	52 51.5%	3 3.0%	101 100.0%
	笠縫東小学校区	20 26.7%	10 13.3%	9 12.0%	33 44.0%	3 4.0%	75 100.0%
	常盤小学校区	15 29.4%	11 21.6%	3 5.9%	19 37.3%	3 5.9%	51 100.0%
	無回答・小学校区不明	17 11.1%	16 10.5%	16 10.5%	96 62.7%	8 5.2%	153 100.0%
2013年調査		194 14.2%	238 17.4%	126 9.2%	753 55.0%	58 4.2%	1,369 100.0%
2008年調査		298 28.7%	220 21.2%	105 10.1%	362 34.8%	55 5.3%	1,040 100.0%
2003年調査		296 24.3%	273 22.4%	113 9.3%	482 39.5%	56 4.6%	1,220 100.0%

過去3回の調査と比較すると、1回以上の参加率は前回（40.8%）大きく減少しており、今回は1.2ポイント増加したが、ここ4回の調査では2番目に低い参加率となっている。

地域別にみると、1回以上の参加率は常盤小学校区が56.9%で最も高く、次いで、矢倉小学校区が54.9%となっている。一方、「参加したことがない」は、草津第二小学校区、老上小学校区、玉川小学校区、南笠東小学校区では6割以上で、不参加率が高い。

性別にみると、1回以上の参加率は、女性（48.7%）が男性（34.6%）に比べて14.1ポイント高い。一方、「参加したことがない」は、男性（63.6%）が女性（47.8%）に比べて15.8ポイント多く、男性の半数以上を占めている。

年齢別にみると、1回以上の参加率は年代が上がるにつれて上昇し、70歳以上（59.0%）が最も高い。一方、「参加したことがない」は、50歳代以下では半数以上を占めており、20歳代（92.6%）の不参加率が最も高い。

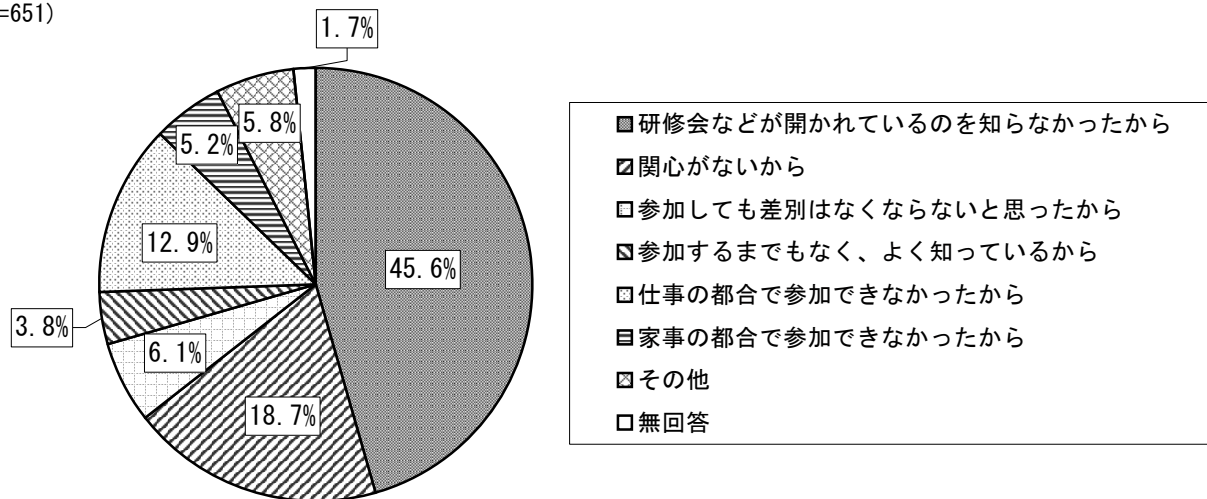
さらに、居住年数別にみると、1回以上の参加率は、居住年数が長いほど高い傾向がみられ、20年以上では50.1%で半数以上を占めている。

人権センターが発行する学習資料等の閲読状況からみると、いずれの学習資料についても、閲読頻度が高い人ほど研修会・講習会への参加率が高い傾向があり、特に「学習資料『めざめ』を「いつも読んでいます」人では1回以上の参加率が81.6%と8割を超えている。

質問24－１．質問24で、選択肢「４」にお答えの方にお聞きします。あなたが研修会・講演会に参加したことがない理由は何ですか。主な理由として最も近いものを１つだけ選び、○をつけてください。

図表 草津市が開催する研修会・講演会に参加したことがない理由

(N=651)



草津市が開催する研修会・講演会に参加したことがない人に対して、その理由をたずねたところ、「研修会などが開かれているのを知らなかったから」が45.6%で最も多く、以下、「関心がないから」が18.7%、「仕事の都合で参加できなかったから」が12.9%、「参加しても差別はなくならないと思ったから」が6.1%、「家事の都合で参加できなかったから」が5.2%「参加するまでもなく、よく知っているから」が3.8%などとなっている。

図表 草津市が開催する研修会・講演会に参加したことがない理由

		研修会などが開かれているの を知らなかったから	関心がないから	参加しても差別はないと 思ったから	参加するまでもなく、よく 知っているから	仕事の都合で参加で きなかったから	家事の都合で参加で きなかったから	その他	無回答	合計	
全体		297 45.6%	122 18.7%	40 6.1%	25 3.8%	84 12.9%	34 5.2%	38 5.8%	11 1.7%	651 100.0%	
地域	志津小学校区	22 51.2%	6 14.0%	1 2.3%	2 4.7%	7 16.3%	2 4.7%	1 2.3%	2 4.7%	43 100.0%	
		12 54.5%	5 22.7%	2 9.1%	2 9.1%	0 0.0%	1 4.5%	0 0.0%	0 0.0%	22 100.0%	
	志津南小学校区	21 39.6%	12 22.6%	3 5.7%	2 3.8%	8 15.1%	4 7.5%	2 3.8%	1 1.9%	53 100.0%	
		27 48.2%	14 25.0%	4 7.1%	2 3.6%	6 10.7%	1 1.8%	2 3.6%	0 0.0%	56 100.0%	
	草津小学校区	21 47.7%	4 9.1%	3 6.8%	4 9.1%	8 18.2%	3 6.8%	1 2.3%	0 0.0%	44 100.0%	
		17 47.2%	9 25.0%	4 11.1%	0 0.0%	4 11.1%	1 2.8%	1 2.8%	0 0.0%	36 100.0%	
	草津第二小学校区	17 38.6%	9 20.5%	3 6.8%	4 9.1%	5 11.4%	3 6.8%	3 6.8%	0 0.0%	44 100.0%	
		12 42.9%	4 14.3%	2 7.1%	2 7.1%	4 14.3%	2 7.1%	0 0.0%	2 7.1%	28 100.0%	
	洪川小学校区	28 49.1%	7 12.3%	5 8.8%	0 0.0%	10 17.5%	2 3.5%	3 5.3%	2 3.5%	57 100.0%	
		20 52.6%	7 18.4%	3 7.9%	0 0.0%	3 7.9%	0 0.0%	4 10.5%	1 2.6%	38 100.0%	
	矢倉小学校区	10 33.3%	3 10.0%	0 0.0%	2 6.7%	5 16.7%	3 10.0%	5 16.7%	2 6.7%	30 100.0%	
		22 42.3%	10 19.2%	5 9.6%	2 3.8%	3 5.8%	5 9.6%	5 9.6%	0 0.0%	52 100.0%	
	老上小学校区	17 51.5%	4 12.1%	1 3.0%	1 3.0%	6 18.2%	2 6.1%	2 6.1%	0 0.0%	33 100.0%	
		12 63.2%	3 15.8%	1 5.3%	0 0.0%	3 15.8%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	19 100.0%	
	老上西小学校区	39 40.6%	25 26.0%	3 3.1%	2 2.1%	12 12.5%	5 5.2%	9 9.4%	1 1.0%	96 100.0%	
		2013年調査	312 41.4%	139 18.5%	66 8.8%	46 6.1%	93 12.4%	46 6.1%	30 4.0%	21 2.8%	753 100.0%
	玉川小学校区	169 46.7%	58 16.0%	31 8.6%	20 5.5%	35 9.7%	10 2.8%	15 4.1%	24 6.6%	362 100.0%	
		174 36.1%	79 16.4%	53 11.0%	31 6.4%	40 8.3%	29 6.0%	30 6.2%	46 9.5%	482 100.0%	
	南笠東小学校区	2013年調査	312 41.4%	139 18.5%	66 8.8%	46 6.1%	93 12.4%	46 6.1%	30 4.0%	21 2.8%	753 100.0%
		2008年調査	169 46.7%	58 16.0%	31 8.6%	20 5.5%	35 9.7%	10 2.8%	15 4.1%	24 6.6%	362 100.0%
	山田小学校区	2013年調査	312 41.4%	139 18.5%	66 8.8%	46 6.1%	93 12.4%	46 6.1%	30 4.0%	21 2.8%	753 100.0%
		2008年調査	169 46.7%	58 16.0%	31 8.6%	20 5.5%	35 9.7%	10 2.8%	15 4.1%	24 6.6%	362 100.0%
	笠縫小学校区	2013年調査	312 41.4%	139 18.5%	66 8.8%	46 6.1%	93 12.4%	46 6.1%	30 4.0%	21 2.8%	753 100.0%
		2008年調査	169 46.7%	58 16.0%	31 8.6%	20 5.5%	35 9.7%	10 2.8%	15 4.1%	24 6.6%	362 100.0%
	笠縫東小学校区	2013年調査	312 41.4%	139 18.5%	66 8.8%	46 6.1%	93 12.4%	46 6.1%	30 4.0%	21 2.8%	753 100.0%
		2008年調査	169 46.7%	58 16.0%	31 8.6%	20 5.5%	35 9.7%	10 2.8%	15 4.1%	24 6.6%	362 100.0%
	常盤小学校区	2013年調査	312 41.4%	139 18.5%	66 8.8%	46 6.1%	93 12.4%	46 6.1%	30 4.0%	21 2.8%	753 100.0%
		2008年調査	169 46.7%	58 16.0%	31 8.6%	20 5.5%	35 9.7%	10 2.8%	15 4.1%	24 6.6%	362 100.0%
無回答・ 小学校区不明	2013年調査	312 41.4%	139 18.5%	66 8.8%	46 6.1%	93 12.4%	46 6.1%	30 4.0%	21 2.8%	753 100.0%	
	2008年調査	169 46.7%	58 16.0%	31 8.6%	20 5.5%	35 9.7%	10 2.8%	15 4.1%	24 6.6%	362 100.0%	

過去3回の調査と比較すると、「研修会などが開かれているのを知らなかったから」は前回に比べて4.2ポイント増加している。

地域別にみると、いずれの地域でも「研修会などが開かれているのを知らなかったから」が多いが、志津南小学校区、草津小学校区、草津第二小学校区、矢倉小学校区、老上小学校区では「関心がない」が2割以上を占め、他の地域に比べて多い。

性別にみると、男女ともに「研修会などが開かれているのを知らなかったから」が最多で、女性が45.9%、男性が45.0%となっており、ほぼ同率である。次いで、男女ともに「関心がないから」が多く、男性（20.5%）が女性（15.9%）に比べて4.6ポイント多い。その他の項目は男女同様の傾向であり、男女差は小さい。

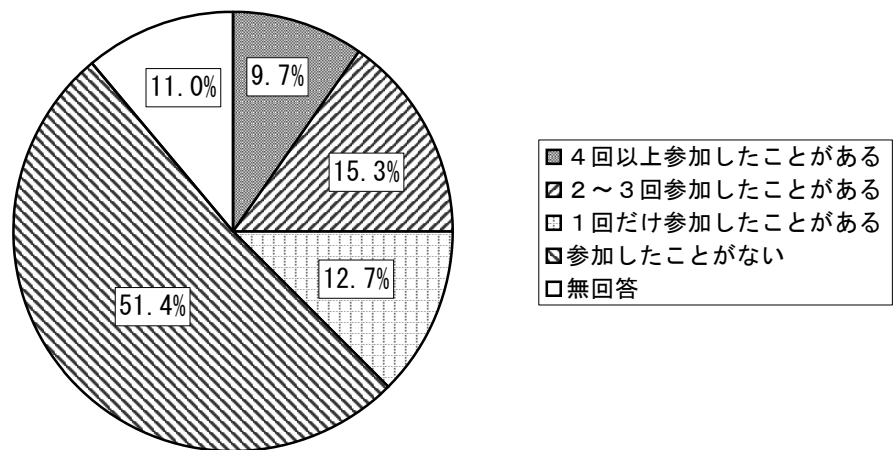
年齢別にみると、いずれの年代でも「研修会などが開かれているのを知らなかったから」が最多で、30歳代以下では半数以上を占めており、20歳代の69.3%が最も多い。また、「関心がないから」は50歳代と60歳代では2割以上、70歳以上で19.7%となっている。

居住年数別にみると、「研修会などが開かれているのを知らなかったから」は居住年数が短いほど多い傾向がみられる。

質問25. 草津市では、市民の皆さんが人権問題について理解を深められるよう「町内学習懇談会」を開いていますが、あなたは参加したことがありますか。あてはまるものを1つだけ選び、○をつけてください。

図表 草津市が開催する「町内学習懇談会」の参加状況

(N=1,193)



草津市が開催する「町内学習懇談会」の参加状況をたずねたところ、「参加したことがない」が51.4%で最も多く、以下、「2～3回参加したことがある」が15.3%、「1回だけ参加したことがある」が12.7%、「4回以上参加したことがある」が9.7%となっており、1回以上の参加率は37.7%となっている。

図表 草津市が開催する「町内学習懇談会」の参加状況

		4回以上参加したことがある	2～3回参加したことがある	1回だけ参加したことがある	参加したことがない	無回答	合計
全体		116 9.7%	182 15.3%	151 12.7%	613 51.4%	131 11.0%	1,193 100.0%
地域	志津小学校区	5 6.3%	15 18.8%	14 17.5%	40 50.0%	6 7.5%	80 100.0%
	志津南小学校区	4 8.3%	13 27.1%	5 10.4%	23 47.9%	3 6.3%	48 100.0%
	草津小学校区	8 8.4%	18 18.9%	8 8.4%	52 54.7%	9 9.5%	95 100.0%
	草津第二小学校区	5 5.5%	8 8.8%	11 12.1%	55 60.4%	12 13.2%	91 100.0%
	渋川小学校区	6 7.1%	10 11.8%	14 16.5%	51 60.0%	4 4.7%	85 100.0%
	矢倉小学校区	10 12.2%	13 15.9%	12 14.6%	37 45.1%	10 12.2%	82 100.0%
	老上小学校区	4 5.6%	9 12.5%	10 13.9%	38 52.8%	11 15.3%	72 100.0%
	老上西小学校区	7 13.7%	4 7.8%	10 19.6%	23 45.1%	7 13.7%	51 100.0%
	玉川小学校区	4 4.9%	9 11.0%	5 6.1%	51 62.2%	13 15.9%	82 100.0%
	南笠東小学校区	2 3.3%	7 11.7%	12 20.0%	33 55.0%	6 10.0%	60 100.0%
	山田小学校区	15 22.4%	9 13.4%	12 17.9%	27 40.3%	4 6.0%	67 100.0%
	笠縫小学校区	4 4.0%	24 23.8%	14 13.9%	51 50.5%	8 7.9%	101 100.0%
	笠縫東小学校区	14 18.7%	12 16.0%	7 9.3%	32 42.7%	10 13.3%	75 100.0%
	常盤小学校区	13 25.5%	14 27.5%	3 5.9%	14 27.5%	7 13.7%	51 100.0%
	無回答・小学校区不明	15 9.8%	17 11.1%	14 9.2%	86 56.2%	21 13.7%	153 100.0%
2013年調査		135 9.9%	219 16.0%	143 10.4%	706 51.6%	166 12.1%	1,369 100.0%
2008年調査		182 17.5%	212 20.4%	140 13.5%	426 41.0%	80 7.7%	1,040 100.0%
2003年調査		174 14.3%	235 19.3%	132 10.8%	572 46.9%	107 8.8%	1,220 100.0%

過去3回の調査と比較すると、1回以上の参加率は前回（36.3%）大きく減少しており、今回は1.4ポイント増加したが、ここ4回の調査では2番めに低い参加率となっている。

地域別にみると、1回以上の参加率は常盤小学校区が58.9%で最も高く、次いで、山田小学校区が53.7%となっている。一方、「参加したことがない」は、草津第二小学校区、渋川小学校区、玉川小学校区では6割以上で、不参加率が高い。

性別にみると、1回以上の参加率は、女性（41.8%）が男性（33.7%）に比べて8.1ポイント高い。「参加したことがない」は、男性（58.6%）が女性（46.1%）に比べて12.5ポイント多く、男性の半数以上を占めている。

年齢別にみると、1回以上の参加率は年代が上がるにつれて上昇し、70歳以上（59.8%）が最も高い。一方、「参加したことがない」は50歳代以下では半数以上を占めており、20歳代（89.5%）の不参加率が最も高い。

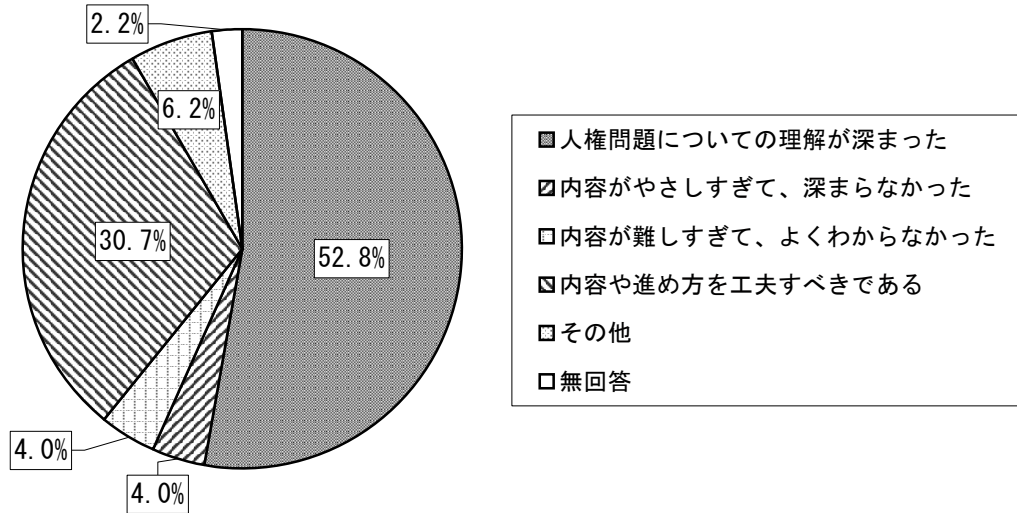
居住年数別にみると、1回以上の参加率は、居住年数が長いほど高い傾向がみられ、20年以上では49.5%と半数近くを占めている。

人権センターが発行する学習資料等の閲読状況からみると、いずれの学習資料についても、閲読頻度が高い人ほど「町内学習懇談会」への参加率が高い傾向があり、特に「学習資料『めざめ』を「いつも読んでいる」人では1回以上の参加率が83.4%と8割を超えている。

質問25－1. 質問25で、選択肢「1」～「3」のいずれかにお答えの方にお聞きします。あなたは、「町内学習懇談会」に参加してどのように思いましたか。あてはまるものを1つだけ選び、○をつけてください。

図表 草津市が開催する「町内学習懇談会」に参加して感じた懇談会の評価

(N=449)



草津市が開催する「町内学習懇談会」に参加したことがある人に対して、参加して感じた懇談会の評価をたずねたところ、「人権問題についての理解が深まった」が52.8%で最も多く、以下、「内容や進め方を工夫すべきである」が30.7%、「内容が難しすぎて、よくわからなかった」、「内容がやさしすぎて、深まらなかった」がともに4.0%などとなっている。

図表 草津市が開催する「町内学習懇談会」に参加して感じた懇談会の評価

		人権問題 についての 理解が深 まった	内容がやさ しすぎて、 深まらな かった	内容が難し すぎて、よ くわからな かった	内容や進 め方を工夫 すべきであ る	その他	無回答	合計
全体		237 52.8%	18 4.0%	18 4.0%	138 30.7%	28 6.2%	10 2.2%	449 100.0%
地域	志津小学校区	17 50.0%	1 2.9%	1 2.9%	12 35.3%	3 8.8%	0 0.0%	34 100.0%
	志津南小学校区	14 63.6%	1 4.5%	0 0.0%	5 22.7%	2 9.1%	0 0.0%	22 100.0%
	草津小学校区	17 50.0%	1 2.9%	2 5.9%	11 32.4%	3 8.8%	0 0.0%	34 100.0%
	草津第二小学校区	9 37.5%	2 8.3%	1 4.2%	8 33.3%	3 12.5%	1 4.2%	24 100.0%
	渋川小学校区	15 50.0%	1 3.3%	1 3.3%	8 26.7%	4 13.3%	1 3.3%	30 100.0%
	矢倉小学校区	19 54.3%	1 2.9%	2 5.7%	11 31.4%	1 2.9%	1 2.9%	35 100.0%
	老上小学校区	13 56.5%	3 13.0%	4 17.4%	1 4.3%	1 4.3%	1 4.3%	23 100.0%
	老上西小学校区	9 42.9%	0 0.0%	1 4.8%	8 38.1%	3 14.3%	0 0.0%	21 100.0%
	玉川小学校区	12 66.7%	0 0.0%	0 0.0%	5 27.8%	1 5.6%	0 0.0%	18 100.0%
	南笠東小学校区	10 47.6%	2 9.5%	3 14.3%	5 23.8%	1 4.8%	0 0.0%	21 100.0%
	山田小学校区	17 47.2%	1 2.8%	1 2.8%	14 38.9%	2 5.6%	1 2.8%	36 100.0%
	笠縫小学校区	24 57.1%	1 2.4%	1 2.4%	12 28.6%	1 2.4%	3 7.1%	42 100.0%
	笠縫東小学校区	19 57.6%	1 3.0%	0 0.0%	12 36.4%	1 3.0%	0 0.0%	33 100.0%
	常盤小学校区	18 60.0%	0 0.0%	1 3.3%	10 33.3%	1 3.3%	0 0.0%	30 100.0%
	無回答・ 小学校区不明	24 52.2%	3 6.5%	0 0.0%	16 34.8%	1 2.2%	2 4.3%	46 100.0%
2013年調査		225 45.3%	20 4.0%	22 4.4%	198 39.8%	13 2.6%	19 3.8%	497 100.0%
2008年調査		314 58.8%	42 7.9%	50 9.4%	---	81 15.2%	47 8.8%	534 100.0%
2003年調査		313 57.9%	43 7.9%	54 10.0%	---	94 17.4%	37 6.8%	541 100.0%

過去3回の調査と比較すると、「人権問題についての理解が深まった」は前回より7.5ポイント増加、一方で「内容や進め方を工夫すべきである」は9.1ポイント減少しており、内容について一定の改善があったという評価を得られたと推測される。

地域別にみると、いずれの地域でも「人権問題についての理解が深まった」が最も多い。また、「内容がやさしすぎて、深まらなかった」は老上小学校区で、「内容が難しすぎて、よくわからなかった」は老上小学校区と南笠東小学校区でそれぞれ1割以上となっている。

性別にみると、男女ともに「人権問題についての理解が深まった」が最多で、男性（55.8%）が女性（51.3%）に比べて4.5ポイント多い。次いで、男女ともに「内容や進め方を工夫すべきである」が多く、女性（31.6%）が男性（27.6%）に比べて4.0ポイント多い。その他の項目は男女同様の回答傾向であり、男女差は小さい。

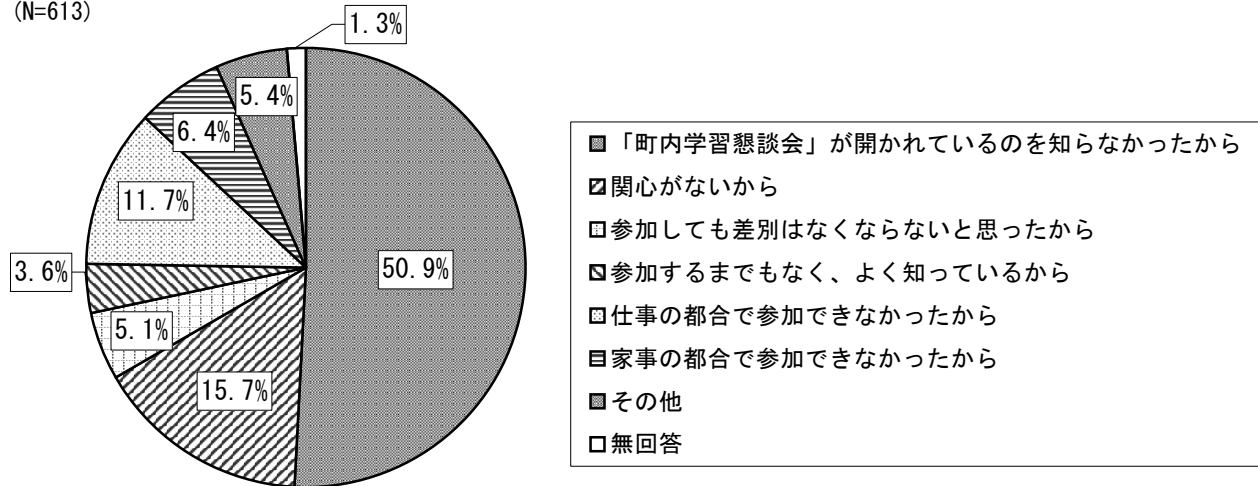
年齢別にみると、20歳代を除くいずれの年代でも「人権問題についての理解が深まった」が最多で半数以上を占めており、30歳代（76.5%）が最も多い。また、50歳以上では「内容や進め方を工夫すべきである」も多い。

居住年数別にみると、集計母数が少ない5年未満を除き、居住年数が短いほど「人権問題についての理解が深まった」が多い。一方で、居住年数が長いほど「内容や進め方を工夫すべきである」が多い。

質問25－2. 質問25で、選択肢「4」にお答えの方にお聞きします。あなたが「町内学習懇談会」に参加したことがない理由は何ですか。主な理由として最も近いものを1つだけ選び、○をつけてください。

図表 草津市が開催する「町内学習懇談会」に参加したことがない理由

(N=613)



草津市が開催する「町内学習懇談会」に参加したことがない人に対して、その理由をたずねたところ、『町内学習懇談会』が開かれているのを知らなかったからが50.9%で最も多く、以下、「関心がないから」が15.7%、「仕事の都合で参加できなかったから」が11.7%、「家事の都合で参加できなかったから」が6.4%などとなっている。

図表 草津市が開催する「町内学習懇談会」に参加したことがない理由

		「町内学習懇談会」が開かれているのを知らなかったから	関心がないから	参加しても差別はないと思ったから	参加するまでもなく、よく知っているから	仕事の都合で参加できなかったから	家事の都合で参加できなかったから	その他	無回答	合計	
全体		312 50.9%	96 15.7%	31 5.1%	22 3.6%	72 11.7%	39 6.4%	33 5.4%	8 1.3%	613 100.0%	
地域	志津小学校区	19 47.5%	6 15.0%	1 2.5%	3 7.5%	5 12.5%	5 12.5%	1 2.5%	0 0.0%	40 100.0%	
		志津南小学校区	11 47.8%	5 21.7%	0 0.0%	3 13.0%	1 4.3%	3 13.0%	0 0.0%	0 0.0%	23 100.0%
	草津小学校区		26 50.0%	9 17.3%	1 1.9%	1 1.9%	7 13.5%	3 5.8%	4 7.7%	1 1.9%	52 100.0%
		草津第二小学校区	24 43.6%	12 21.8%	4 7.3%	2 3.6%	6 10.9%	4 7.3%	3 5.5%	0 0.0%	55 100.0%
	渋川小学校区		27 52.9%	5 9.8%	1 2.0%	3 5.9%	8 15.7%	4 7.8%	3 5.9%	0 0.0%	51 100.0%
		矢倉小学校区	19 51.4%	5 13.5%	3 8.1%	0 0.0%	5 13.5%	3 8.1%	1 2.7%	1 2.7%	37 100.0%
	老上小学校区		22 57.9%	4 10.5%	3 7.9%	1 2.6%	5 13.2%	2 5.3%	1 2.6%	0 0.0%	38 100.0%
		老上西小学校区	11 47.8%	1 4.3%	1 4.3%	2 8.7%	4 17.4%	1 4.3%	3 13.0%	0 0.0%	23 100.0%
	玉川小学校区		27 52.9%	8 15.7%	3 5.9%	1 2.0%	7 13.7%	3 5.9%	2 3.9%	0 0.0%	51 100.0%
		南笠東小学校区	21 63.6%	4 12.1%	1 3.0%	0 0.0%	2 6.1%	1 3.0%	3 9.1%	1 3.0%	33 100.0%
	山田小学校区		10 37.0%	2 7.4%	1 3.7%	0 0.0%	5 18.5%	3 11.1%	4 14.8%	2 7.4%	27 100.0%
		笠縫小学校区	26 51.0%	9 17.6%	3 5.9%	3 5.9%	3 5.9%	2 3.9%	2 3.9%	3 5.9%	51 100.0%
	笠縫東小学校区		16 50.0%	4 12.5%	2 6.3%	1 3.1%	5 15.6%	3 9.4%	1 3.1%	0 0.0%	32 100.0%
		常盤小学校区	8 57.1%	3 21.4%	1 7.1%	0 0.0%	1 7.1%	1 7.1%	0 0.0%	0 0.0%	14 100.0%
	無回答・小学校区不明		45 52.3%	19 22.1%	6 7.0%	2 2.3%	8 9.3%	1 1.2%	5 5.8%	0 0.0%	86 100.0%
		2013年調査		320 45.3%	131 18.6%	44 6.2%	34 4.8%	82 11.6%	35 5.0%	43 6.1%	17 2.4%
	2008年調査		197 46.2%	50 11.7%	28 6.6%	23 5.4%	57 13.4%	21 4.9%	23 5.4%	27 6.3%	426 100.0%
	2003年調査		207 36.2%	70 12.2%	49 8.6%	32 5.6%	71 12.4%	46 8.0%	33 5.8%	64 11.2%	572 100.0%

過去3回の調査と比較すると、『町内学習懇談会』が開かれているのを知らなかったから」が前回に比べて5.6ポイント増加し、今回が最も多い。また、「関心がないから」が前回に比べて2.9ポイント減少している。

地域別にみると、いずれの地域でも『町内学習懇談会』が開かれているのを知らなかったから」が最も多いが、南笠東小学校区、矢倉小学校区、老上小学校区では6割以上を占め、他の地域に比べて多い。「関心がない」は、志津南小学校区、草津第二小学校区、常盤小学校区では2割以上を占め、他の地域に比べて多い。

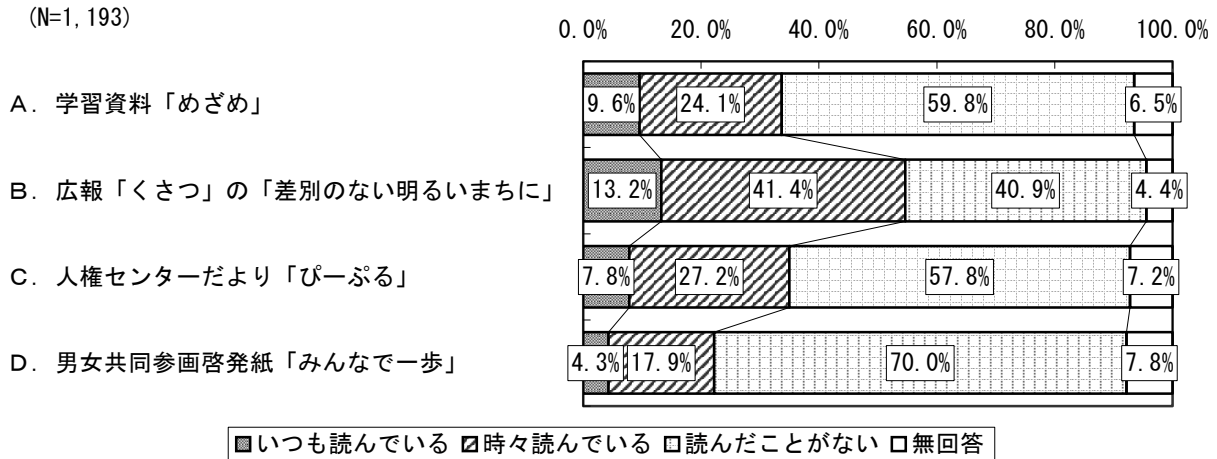
性別にみると、男女ともに『町内学習懇談会』が開かれているのを知らなかったから」が最多で、男性（53.4%）が女性（47.5%）に比べて5.9ポイント多い。次いで、男女ともに「関心がないから」が多く、男性（18.4%）が女性（12.5%）に比べて5.9ポイント多い。また、「仕事の都合で参加できなかったから」は男性（14.1%）が女性（10.6%）に比べて3.5ポイント多く、「家事の都合で参加できなかったら」は女性（11.2%）が男性（1.8%）に比べて9.4ポイント多い。

年齢別にみると、いずれの年代でも『町内学習懇談会』が開かれているのを知らなかったから」が最多で、50歳代以下では半数以上を占めており、20歳代（70.6%）が最も多い。また、「関心がないから」は、70歳以上（21.5%）が最も多い。

居住年数別にみると、『町内学習懇談会』が開かれているのを知らなかったから」は居住年数が短いほど多い傾向がみられる。

質問26. 草津市では、人権問題解決のために次のAからDの学習資料等を発行していますが、あなたはどの程度読んでいますか。AからDそれぞれについて、あてはまるものを1つだけ選び、○をつけてください。

図表 草津市が発行する学習資料等の閲読状況



草津市が発行する学習資料等の閲読状況をたずねたところ、「いつも読んでいる」は「B. 広報『くさつ』の『差別のない明るいまちに』」(13.2%)が最も多く、以下、「A. 学習資料『めざめ』」(9.6%)、「C. 人権センターだより『ぴーぷる』」(7.8%)、「D. 男女共同参画啓発紙『みんなで一歩』」(4.3%)となっている。これに「時々読んでいる」も加えた学習資料等の閲読率は、「B. 広報『くさつ』の『差別のない明るいまちに』」(54.6%)が最も高く、「D. 男女共同参画啓発紙『みんなで一歩』」(22.2%)以外は3割以上を占めている。

一方、「読んだことがない」は「D. 男女共同参画啓発紙『みんなで一歩』」(70.0%)が最も多く、以下、「A. 学習資料『めざめ』」(59.8%)、「C. 人権センターだより『ぴーぷる』」(57.8%)となっており、これらは半数以上を占めている。

A. 学習資料「めざめ」

図表 草津市が発行する学習資料等の閲読状況「学習資料『めざめ』」

		いつも読んでいる	時々読んでいる	読んだことがない	無回答	合計
全体		114 9.6%	288 24.1%	713 59.8%	78 6.5%	1,193 100.0%
地域	志津小学校区	7 8.8%	20 25.0%	50 62.5%	3 3.8%	80 100.0%
	志津南小学校区	4 8.3%	13 27.1%	29 60.4%	2 4.2%	48 100.0%
	草津小学校区	11 11.6%	29 30.5%	50 52.6%	5 5.3%	95 100.0%
	草津第二小学校区	7 7.7%	11 12.1%	68 74.7%	5 5.5%	91 100.0%
	渋川小学校区	9 10.6%	19 22.4%	55 64.7%	2 2.4%	85 100.0%
	矢倉小学校区	8 9.8%	32 39.0%	38 46.3%	4 4.9%	82 100.0%
	老上小学校区	4 5.6%	10 13.9%	52 72.2%	6 8.3%	72 100.0%
	老上西小学校区	7 13.7%	8 15.7%	32 62.7%	4 7.8%	51 100.0%
	玉川小学校区	6 7.3%	16 19.5%	53 64.6%	7 8.5%	82 100.0%
	南笠東小学校区	5 8.3%	12 20.0%	40 66.7%	3 5.0%	60 100.0%
	山田小学校区	6 9.0%	22 32.8%	33 49.3%	6 9.0%	67 100.0%
	笠縫小学校区	8 7.9%	28 27.7%	57 56.4%	8 7.9%	101 100.0%
	笠縫東小学校区	6 8.0%	19 25.3%	44 58.7%	6 8.0%	75 100.0%
	常盤小学校区	11 21.6%	18 35.3%	17 33.3%	5 9.8%	51 100.0%
	無回答・小学校区不明	15 9.8%	31 20.3%	95 62.1%	12 7.8%	153 100.0%
2013年調査		156 11.4%	342 25.0%	758 55.4%	113 8.3%	1,369 100.0%
2008年調査		171 16.4%	338 32.5%	435 41.8%	96 9.2%	1,040 100.0%
2003年調査		198 16.2%	529 43.4%	444 36.4%	49 4.0%	1,220 100.0%

過去3回の調査と比較すると、「いつも読んでいる」は毎回減少して今回が最も少なく、9.6%となっている。また、「時々読んでいる」までを含めた閲読率も今回が最も低く、33.7%となっている。一方、「読んだことがない」は毎回増加している。

地域別にみると、「いつも読んでいる」は、常盤小学校区が21.6%と突出して多い。閲読率も常盤小学校区が最も高く、56.9%となっている。次いで、草津小学校区、矢倉小学校区、山田小学校区で4割を超えている。一方、草津第二小学校区と老上小学校区は閲読率が2割未満となっている。

性別にみると、閲読率は女性（37.2%）が男性（29.2%）に比べて8.0ポイント高い。一方、「読んだことがない」は、男女ともに半数以上を占めており、男性（66.7%）が女性（55.3%）に比べて11.4ポイント多い。

年齢別にみると、閲読率は年代が上がるほど上昇しており、70歳以上（51.4%）が最も高い。一方、「読んだことがない」は50歳代以下では半数以上を占めており、20歳代（91.6%）が最も多い。

居住年数別にみると、閲読率は居住年数が長いほど高い傾向がみられる。一方、「読んだことがない」は、5年未満では8割以上を占めている。

B. 広報「くさつ」の「差別のない明るいまちに」

図表 草津市が発行する学習資料等の閲読状況「広報『くさつ』の『差別のない明るいまちに』」

		いつも読んでいる	時々読んでいる	読んだことがない	無回答	合計
全体		158 13.2%	494 41.4%	488 40.9%	53 4.4%	1,193 100.0%
地域	志津小学校区	10 12.5%	38 47.5%	30 37.5%	2 2.5%	80 100.0%
	志津南小学校区	8 16.7%	19 39.6%	20 41.7%	1 2.1%	48 100.0%
	草津小学校区	14 14.7%	37 38.9%	39 41.1%	5 5.3%	95 100.0%
	草津第二小学校区	11 12.1%	34 37.4%	44 48.4%	2 2.2%	91 100.0%
	渋川小学校区	14 16.5%	41 48.2%	29 34.1%	1 1.2%	85 100.0%
	矢倉小学校区	7 8.5%	40 48.8%	30 36.6%	5 6.1%	82 100.0%
	老上小学校区	8 11.1%	30 41.7%	33 45.8%	1 1.4%	72 100.0%
	老上西小学校区	11 21.6%	18 35.3%	20 39.2%	2 3.9%	51 100.0%
	玉川小学校区	8 9.8%	34 41.5%	36 43.9%	4 4.9%	82 100.0%
	南笠東小学校区	7 11.7%	27 45.0%	23 38.3%	3 5.0%	60 100.0%
	山田小学校区	11 16.4%	28 41.8%	22 32.8%	6 9.0%	67 100.0%
	笠縫小学校区	12 11.9%	43 42.6%	40 39.6%	6 5.9%	101 100.0%
	笠縫東小学校区	8 10.7%	30 40.0%	35 46.7%	2 2.7%	75 100.0%
	常盤小学校区	8 15.7%	25 49.0%	14 27.5%	4 7.8%	51 100.0%
	無回答・小学校区不明	21 13.7%	50 32.7%	73 47.7%	9 5.9%	153 100.0%
2013年調査		203 14.8%	650 47.5%	445 32.5%	71 5.2%	1,369 100.0%
2008年調査		204 19.6%	507 48.8%	272 26.2%	57 5.5%	1,040 100.0%
2003年調査		203 16.6%	635 52.0%	333 27.3%	49 4.0%	1,220 100.0%

過去3回の調査と比較すると、「いつも読んでいる」、「時々読んでいる」とともに減少傾向が続いており、閲読率は今回が最も低く、54.6%となっている。一方、「読んだことがない」は毎回増加している。

地域別にみると、閲読率は、渋川小学校区と常盤小学校区がともに64.7%で最も高い。一方、閲読率が最も低いのは草津第二小学校区（49.5%）で5割を下回っている。

性別にみると、閲読率は女性（59.0%）が男性（50.9%）に比べて8.1ポイント高い。一方、「読んだことがない」は、男性（46.6%）が女性（36.4%）に比べて10.2ポイント多い。

年齢別にみると、閲読率は年代が上がるほど上昇しており、70歳以上（71.5%）が最も高い。一方、「読んだことがない」は40歳代以下では半数以上を占めており、20歳代（73.7%）が最も多い。

居住年数別にみると、閲読率は居住年数が長いほど高い傾向がみられる。一方、「読んだことがない」は、10年未満では半数以上を占めている。

C. 人権センターだより「ぴーぷる」

図表 草津市が発行する学習資料等の閲読状況「人権センターだより『ぴーぷる』」

		いつも読 んでいる	時々読ん でいる	読んだこ とがない	無回答	合計	
全体		93 7.8%	324 27.2%	690 57.8%	86 7.2%	1,193 100.0%	
地域	志津小学校区	5 6.3%	27 33.8%	45 56.3%	3 3.8%	80 100.0%	
		5 10.4%	14 29.2%	28 58.3%	1 2.1%	48 100.0%	
	志津南小学校区	8 8.4%	29 30.5%	51 53.7%	7 7.4%	95 100.0%	
		7 7.7%	24 26.4%	55 60.4%	5 5.5%	91 100.0%	
	草津小学校区	9 10.6%	22 25.9%	53 62.4%	1 1.2%	85 100.0%	
		3 3.7%	29 35.4%	44 53.7%	6 7.3%	82 100.0%	
	草津第二小学校区	3 4.2%	10 13.9%	53 73.6%	6 8.3%	72 100.0%	
		7 13.7%	13 25.5%	27 52.9%	4 7.8%	51 100.0%	
	渋川小学校区	7 8.5%	18 22.0%	49 59.8%	8 9.8%	82 100.0%	
		4 6.7%	13 21.7%	38 63.3%	5 8.3%	60 100.0%	
	矢倉小学校区	9 13.4%	19 28.4%	31 46.3%	8 11.9%	67 100.0%	
		6 5.9%	25 24.8%	61 60.4%	9 8.9%	101 100.0%	
	老上小学校区	5 6.7%	24 32.0%	42 56.0%	4 5.3%	75 100.0%	
		5 9.8%	14 27.5%	25 49.0%	7 13.7%	51 100.0%	
	老上西小学校区	10 6.5%	43 28.1%	88 57.5%	12 7.8%	153 100.0%	
		96 7.0%	432 31.6%	720 52.6%	121 8.8%	1,369 100.0%	
	玉川小学校区	86 8.3%	347 33.4%	476 45.8%	131 12.6%	1,040 100.0%	
	南笠東小学校区						
	山田小学校区						
	笠縫小学校区						
	笠縫東小学校区						
	常盤小学校区						
	無回答・ 小学校区不明						
2013年調査		96 7.0%	432 31.6%	720 52.6%	121 8.8%	1,369 100.0%	
		86 8.3%	347 33.4%	476 45.8%	131 12.6%	1,040 100.0%	
2008年調査							

前回調査と比較すると、「いつも読んでいる」は前回に比べて0.8ポイント増加と微増したが、閲読率は一貫して減少傾向にあり、35.0%となっている。一方、「読んだことがない」は5.2ポイント増加している。

地域別にみると、閲読率は、山田小学校区が41.8%で最も多く、次いで志津小学校区（40.1%）となっており、この2地域では4割以上となっている。一方、閲読率が最も低いのは老上小学校区で、18.1%となっている。

性別にみると、閲読率は女性（41.0%）が男性（28.4%）に比べて12.6ポイント高い。一方、「読んだことがない」は、男女ともに半数以上を占めており、男性（67.5%）が女性（51.0%）に比べて16.5ポイント多い。

年齢別にみると、閲読率は年代が上がるほど上昇しており、60歳代が44.4%、70歳以上が41.6%となっている。一方、「読んだことがない」は50歳代以下では半数以上を占めており、20歳代（85.3%）が最も多い。

居住年数別にみると、閲読率は居住年数が長いほど高くなっているが、いずれの居住年数でも「読んだことがない」が半数以上を占めている。

D. 男女共同参画啓発紙「みんなで一歩」

図表 草津市が発行する学習資料等の閲読状況「男女共同参画啓発紙『みんなで一歩』」

		いつも読んでいる	時々読んでいる	読んだことがない	無回答	合計
全体		51 4.3%	214 17.9%	835 70.0%	93 7.8%	1,193 100.0%
地域	志津小学校区	4 5.0%	12 15.0%	59 73.8%	5 6.3%	80 100.0%
	志津南小学校区	2 4.2%	8 16.7%	36 75.0%	2 4.2%	48 100.0%
	草津小学校区	3 3.2%	25 26.3%	61 64.2%	6 6.3%	95 100.0%
	草津第二小学校区	4 4.4%	10 11.0%	72 79.1%	5 5.5%	91 100.0%
	渋川小学校区	6 7.1%	18 21.2%	60 70.6%	1 1.2%	85 100.0%
	矢倉小学校区	3 3.7%	16 19.5%	57 69.5%	6 7.3%	82 100.0%
	老上小学校区	3 4.2%	6 8.3%	57 79.2%	6 8.3%	72 100.0%
	老上西小学校区	2 3.9%	8 15.7%	37 72.5%	4 7.8%	51 100.0%
	玉川小学校区	1 1.2%	10 12.2%	63 76.8%	8 9.8%	82 100.0%
	南笠東小学校区	3 5.0%	9 15.0%	43 71.7%	5 8.3%	60 100.0%
	山田小学校区	4 6.0%	17 25.4%	37 55.2%	9 13.4%	67 100.0%
	笠縫小学校区	1 1.0%	19 18.8%	69 68.3%	12 11.9%	101 100.0%
	笠縫東小学校区	4 5.3%	19 25.3%	46 61.3%	6 8.0%	75 100.0%
	常盤小学校区	2 3.9%	13 25.5%	29 56.9%	7 13.7%	51 100.0%
	無回答・小学校区不明	9 5.9%	24 15.7%	109 71.2%	11 7.2%	153 100.0%
2013年調査		44 3.2%	272 19.9%	922 67.3%	131 9.6%	1,369 100.0%

前回調査と比較すると、閲読率は前回（23.1％）に比べて0.9ポイント減少し、22.2％となっている。一方、「読んだことがない」は2.7ポイント増加して7割に達している。

地域別にみると、閲読率が最も高いのは山田小学校区（31.4％）、次いで笠縫東小学校区（30.6％）でこの2地域は3割以上となっている。一方、閲読率が最も低いのは老上小学校区で12.5％となっている。

性別にみると、閲読率は女性（26.1％）が男性（17.4％）に比べて8.7ポイント高い。一方、「読んだことがない」は、男女ともに半数以上を占めており、男性（78.1％）が女性（65.1％）に比べて13.0ポイント多い。

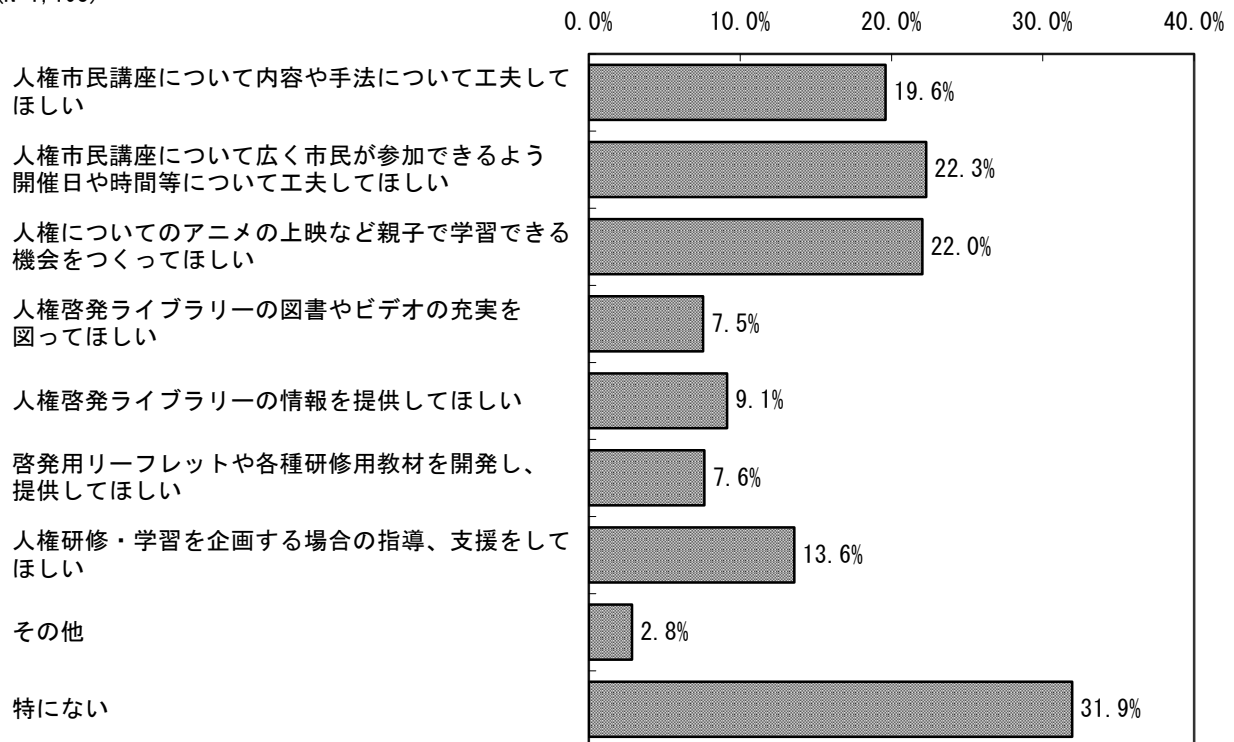
年齢別にみると、閲読率は年代が上がるほど上昇しており、70歳以上（34.5％）が最も高い。一方、「読んだことがない」は60歳代以下では半数以上を占めており、20歳代（93.7％）が最も多い。

居住年数別にみると、閲読率は居住年数が長いほど高い傾向がみられるが、居住年数の長短に関係なく「読んだことがない」が半数以上を占めている。

質問27.「人権センター」は、人権問題の教育・啓発の拠点ですが、あなたは、センターにどのようなことを期待しますか。あてはまるものをすべて選び、○をつけてください。

図表 「人権センター」に期待すること（複数回答）

(N=1,193)



「人権センター」に期待することをたずねたところ、「特にない」が31.9%で最も多いが、これを除くと、「人権市民講座について広く市民が参加できるよう開催日や時間等について工夫してほしい」が22.3%で最も多く、以下、「人権についてのアニメの上映など親子で学習できる機会をつくってほしい」が22.0%、「人権市民講座について内容や手法について工夫してほしい」が19.6%などとなっている。

図表 「人権センター」に期待すること（複数回答）

		人権市民講座について内容や手法について工夫してほしい	人権市民講座について広く市民が参加できるよう開催日や時間等について工夫してほしい	人権についてのアニメの上映など親子で学習できる機会をつくってほしい	人権啓発ライブラリーの図書やビデオの充実を図ってほしい	人権啓発ライブラリーの情報を提供してほしい	啓発用リーフレットや各種研修用教材を開発し、提供してほしい	人権研修・学習を企画する場合の指導、支援をしてほしい	その他	特にない	集計母数	
全体		234 19.6%	266 22.3%	263 22.0%	90 7.5%	109 9.1%	91 7.6%	162 13.6%	34 2.8%	381 31.9%	1,193 100.0%	
地域	志津小学校区	17 21.3%	18 22.5%	21 26.3%	9 11.3%	5 6.3%	1 1.3%	6 7.5%	5 6.3%	25 31.3%	80 100.0%	
		志津南小学校区	7 14.6%	9 18.8%	12 25.0%	1 2.1%	3 6.3%	5 10.4%	7 14.6%	2 4.2%	15 31.3%	48 100.0%
	草津小学校区		19 20.0%	22 23.2%	18 18.9%	5 5.3%	11 11.6%	9 9.5%	9 9.5%	2 2.1%	34 35.8%	95 100.0%
		草津第二小学校区	13 14.3%	18 19.8%	21 23.1%	6 6.6%	9 9.9%	5 5.5%	9 9.9%	2 2.2%	36 39.6%	91 100.0%
	渋川小学校区		13 15.3%	16 18.8%	25 29.4%	9 10.6%	7 8.2%	5 5.9%	11 12.9%	2 2.4%	24 28.2%	85 100.0%
		矢倉小学校区	17 20.7%	25 30.5%	19 23.2%	3 3.7%	9 11.0%	10 12.2%	11 13.4%	4 4.9%	25 30.5%	82 100.0%
	老上小学校区		19 26.4%	15 20.8%	17 23.6%	9 12.5%	9 12.5%	7 9.7%	13 18.1%	3 4.2%	22 30.6%	72 100.0%
		老上西小学校区	10 19.6%	10 19.6%	9 17.6%	3 5.9%	7 13.7%	6 11.8%	7 13.7%	0 0.0%	22 43.1%	51 100.0%
	玉川小学校区		14 17.1%	18 22.0%	14 17.1%	6 7.3%	7 8.5%	5 6.1%	11 13.4%	2 2.4%	26 31.7%	82 100.0%
		南笠東小学校区	10 16.7%	13 21.7%	14 23.3%	6 10.0%	7 11.7%	4 6.7%	12 20.0%	2 3.3%	15 25.0%	60 100.0%
	山田小学校区		18 26.9%	22 32.8%	15 22.4%	2 3.0%	4 6.0%	4 6.0%	13 19.4%	1 1.5%	18 26.9%	67 100.0%
		笠縫小学校区	18 17.8%	17 16.8%	19 18.8%	7 6.9%	6 5.9%	7 6.9%	16 15.8%	1 1.0%	33 32.7%	101 100.0%
	笠縫東小学校区		18 24.0%	17 22.7%	16 21.3%	4 5.3%	6 8.0%	5 6.7%	9 12.0%	3 4.0%	22 29.3%	75 100.0%
		常盤小学校区	12 23.5%	13 25.5%	17 33.3%	7 13.7%	5 9.8%	6 11.8%	9 17.6%	0 0.0%	11 21.6%	51 100.0%
	無回答・小学校区不明		29 19.0%	33 21.6%	26 17.0%	13 8.5%	14 9.2%	12 7.8%	19 12.4%	5 3.3%	53 34.6%	153 100.0%
		2013年調査		257 18.8%	313 22.9%	227 16.6%	98 7.2%	126 9.2%	74 5.4%	125 9.1%	40 2.9%	429 31.3%
	2008年調査		150 14.4%	202 19.4%	192 18.5%	76 7.3%	82 7.9%	65 6.3%	102 9.8%	29 2.8%	322 31.0%	1,040 100.0%
	2003年調査		192 15.7%	283 23.2%	267 21.9%	113 9.3%	119 9.8%	54 4.4%	135 11.1%	28 2.3%	322 26.4%	1,220 100.0%

過去3回の調査と比較すると、前回から増加している項目は「人権についてのアニメの上映など親子で学習できる機会をつくってほしい」（5.4ポイント増加）、「人権研修・学習を企画する場合の指導、支援をしてほしい」（4.5ポイント増加）などとなっている。

地域別にみると、矢倉小学校区、山田小学校区では「人権市民講座について広く市民が参加できるよう開催日や時間等について工夫してほしい」、洪川小学校区、常盤小学校区では「人権についてのアニメの上映など親子で学習できる機会をつくってほしい」、それ以外の地域では「特にない」がそれぞれ最も多い。

性別にみると、男女ともに「特にない」が最多で、男性が32.3%、女性が31.8%となっており、ほぼ同率である。これを除くと、男性は「人権市民講座について内容や手法について工夫してほしい」が最も多く、次いで「人権市民講座について広く市民が参加できるよう開催日や時間等について工夫してほしい」となっているが、前者が22.6%、後者が22.4%であり、ほぼ同率である。女性は「人権についてのアニメの上映など親子で学習できる機会をつくってほしい」が最も多く、次い

で「人権市民講座について内容や手法について工夫してほしい」となっている。また、「人権についてのアニメの上映など親子で学習できる機会をつくってほしい」は、女性(26.0%)が男性(18.0%)に比べて8.0ポイント多く、「人権市民講座について内容や手法について工夫してほしい」は、男性(22.6%)が女性(17.7%)に比べて4.9ポイント多い。その他の項目は男女同様の回答傾向であり、男女差は小さい。

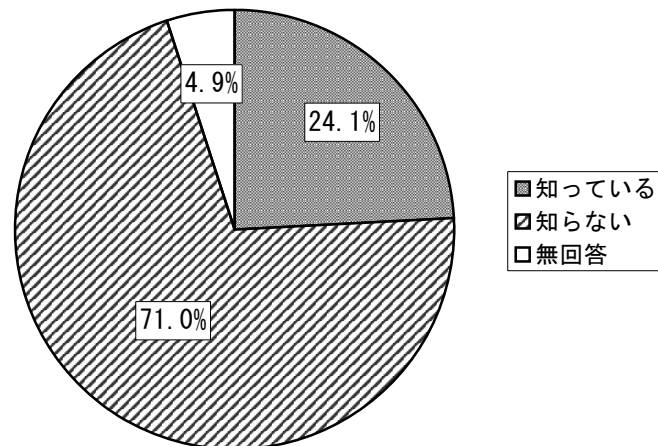
年齢別にみると、30歳代以上では「特にない」が最も多い。これを除くと、20歳代、30歳代、50歳代は「人権についてのアニメの上映など親子で学習できる機会をつくってほしい」が最も多く、20歳代は30.5%となっている。また、40歳代、60歳代、70歳以上は「人権市民講座について広く市民が参加できるよう開催日や時間等について工夫してほしい」が最も多い。

居住年数別にみると、居住年数が2年以上5年未満では、それ以外の居住年数に比べて「特にない」が多い。

質問28. 市内の「地域総合センター（隣保館）」（通称「会館」）は、地域社会全体の中で、福祉や高齢者の生きがい対策、人権啓発や住民交流の拠点となるコミュニティセンターとして事業を実施しています。あなたは、「地域総合センター（隣保館）」を知っていますか。あてはまるものどちらかを選び、○をつけてください。

図表 地域総合センター（隣保館）の認知状況

(N=1,193)



地域総合センター（隣保館）の認知状況をたずねたところ、「知らない」が71.0%、「知っている」が24.1%となっている。

図表 地域総合センター（隣保館）の認知状況

		知っている	知らない	無回答	合計
全体		288	847	58	1,193
		24.1%	71.0%	4.9%	100.0%
地域	志津小学校区	21	56	3	80
		26.3%	70.0%	3.8%	100.0%
	志津南小学校区	10	36	2	48
		20.8%	75.0%	4.2%	100.0%
	草津小学校区	24	68	3	95
		25.3%	71.6%	3.2%	100.0%
	草津第二小学校区	14	72	5	91
		15.4%	79.1%	5.5%	100.0%
	渋川小学校区	21	63	1	85
		24.7%	74.1%	1.2%	100.0%
	矢倉小学校区	13	65	4	82
		15.9%	79.3%	4.9%	100.0%
	老上小学校区	18	50	4	72
		25.0%	69.4%	5.6%	100.0%
	老上西小学校区	15	34	2	51
		29.4%	66.7%	3.9%	100.0%
	玉川小学校区	12	67	3	82
		14.6%	81.7%	3.7%	100.0%
	南笠東小学校区	12	45	3	60
		20.0%	75.0%	5.0%	100.0%
	山田小学校区	26	39	2	67
		38.8%	58.2%	3.0%	100.0%
	笠縫小学校区	29	65	7	101
		28.7%	64.4%	6.9%	100.0%
	笠縫東小学校区	16	56	3	75
		21.3%	74.7%	4.0%	100.0%
	常盤小学校区	26	22	3	51
		51.0%	43.1%	5.9%	100.0%
	無回答・小学校区不明	31	109	13	153
		20.3%	71.2%	8.5%	100.0%
	2013年調査	332	959	78	1,369
		24.3%	70.1%	5.7%	100.0%
	2008年調査	308	684	48	1,040
		29.6%	65.8%	4.6%	100.0%

過去2回の調査と比較すると、「知っている」は前回（24.3％）に比べて0.2ポイント減少し、「知らない」が0.9ポイント増加している。

地域別にみると、「知っている」は常盤小学校区が51.0％で最も多く、次いで山田小学校区が38.8％となっており、他の地域に比べてやや多い。「知らない」は常盤小学校区を除いて5割以上を占めており、玉川小学校区では81.7％と特に多い。

性別にみると、男女ともに「知らない」が半数以上を占めており、男性（74.7％）が女性（69.3％）に比べて5.4ポイント多くなっている。

年齢別にみると、「知っている」は年代が上がるほど増加しており、70歳以上（36.0％）が最も多い。しかし、いずれの年代でも「知らない」が半数以上を占めており、40歳代以下は8割以上となっている。

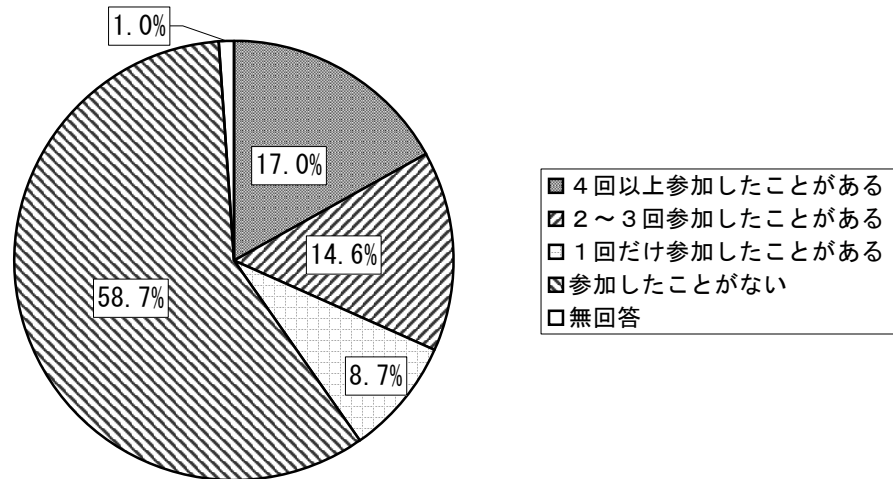
居住年数別にみると、居住年数が長いほど「知っている」が多い傾向がみられるが、20年未満では「知らない」が8割以上を占めている。

人権センターが発行する学習資料等の閲読状況からみると、「知っている」は「男女共同参画啓発紙『みんなで一歩』」をいつも読んでいる人では「知っている」が62.7％と特に多い。学習資料の閲読頻度が高い人ほど地域総合センター（隣保館）を知っている人が多い傾向がみられる。

質問28－1. 質問28で、選択肢「1」にお答えの方にお聞きします。あなたは、「地域総合センター（隣保館）」の行っている諸事業に参加したことがありますか。あてはまるものを1つだけ選び、○をつけてください。

図表 地域総合センター（隣保館）で開催している諸事業への参加状況

(N=288)



地域総合センター（隣保館）を知っている人に対して、地域総合センター（隣保館）で開催している諸事業への参加状況をたずねたところ、「参加したことがない」が58.7%で最も多く、以下、「4回以上参加したことがある」が17.0%、「2～3回参加したことがある」が14.6%、「1回だけ参加したことがある」が8.7%となっており、1回以上の参加率は40.3%となっている。

図表 地域総合センター（隣保館）で開催している諸事業への参加状況

		4回以上参加したことがある	2～3回参加したことがある	1回だけ参加したことがある	参加したことがない	無回答	合計
全体		49 17.0%	42 14.6%	25 8.7%	169 58.7%	3 1.0%	288 100.0%
地域	志津小学校区	2 9.5%	4 19.0%	2 9.5%	13 61.9%	0 0.0%	21 100.0%
	志津南小学校区	3 30.0%	2 20.0%	0 0.0%	5 50.0%	0 0.0%	10 100.0%
	草津小学校区	3 12.5%	2 8.3%	1 4.2%	17 70.8%	1 4.2%	24 100.0%
	草津第二小学校区	1 7.1%	1 7.1%	0 0.0%	12 85.7%	0 0.0%	14 100.0%
	渋川小学校区	3 14.3%	3 14.3%	0 0.0%	14 66.7%	1 4.8%	21 100.0%
	矢倉小学校区	0 0.0%	4 30.8%	2 15.4%	7 53.8%	0 0.0%	13 100.0%
	老上小学校区	1 5.6%	2 11.1%	2 11.1%	13 72.2%	0 0.0%	18 100.0%
	老上西小学校区	5 33.3%	3 20.0%	0 0.0%	7 46.7%	0 0.0%	15 100.0%
	玉川小学校区	2 16.7%	0 0.0%	0 0.0%	9 75.0%	1 8.3%	12 100.0%
	南笠東小学校区	3 25.0%	1 8.3%	0 0.0%	8 66.7%	0 0.0%	12 100.0%
	山田小学校区	5 19.2%	3 11.5%	2 7.7%	16 61.5%	0 0.0%	26 100.0%
	笠縫小学校区	5 17.2%	7 24.1%	4 13.8%	13 44.8%	0 0.0%	29 100.0%
	笠縫東小学校区	4 25.0%	0 0.0%	5 31.3%	7 43.8%	0 0.0%	16 100.0%
	常盤小学校区	6 23.1%	10 38.5%	2 7.7%	8 30.8%	0 0.0%	26 100.0%
	無回答・小学校区不明	6 19.4%	0 0.0%	5 16.1%	20 64.5%	0 0.0%	31 100.0%

前回の調査と比較すると、1回以上の参加率は前回（38.6%）より1.7ポイント増加している。特に「4回以上参加している」が3.4ポイント増加しており、積極的に参加する人は増えている。

地域別にみると、いずれの地域も集計母数が少ないため、一概に比較はできないが、1回以上の参加率は常盤小学校区が69.3%で最も高く、このほか、志津南小学校区、老上西小学校区、笠縫小学校区、笠縫東小学校区も5割以上を占め、他の地域に比べて高い。

性別にみると、1回以上の参加率は、女性（42.7%）が男性（38.8%）に比べて3.9ポイント高い。一方、「参加したことがない」は、男女ともに半数以上を占めており、男性（61.2%）が女性（55.7%）に比べて5.5ポイント多い。

年齢別にみると、1回以上の参加率は20歳代（50.0%）が最も多く、40歳代、60歳代、70歳以上も4割以上を占めている。また、20歳代は「参加したことがない」も50.0%となっている。

人権センターが発行する学習資料等の閲読状況からみると、閲読の頻度に関わらず、資料を読んでいる人は1回以上の参加率が高い傾向がみられる。特に「学習資料『めざめ』を「いつも読んでいる」人は51.4%で最も高い。

※隣保館を知っている人のみに問う形式になったのが前回からなので、それ以前の調査との比較はしていない。

【啓発活動に対する接触度スコア】

図表 啓発活動に対する接触度スコア

		7点	6点	5点	4点	3点	2点	1点	0点	合計
全体		49	106	84	136	117	162	184	355	1,193
		4.1%	8.9%	7.0%	11.4%	9.8%	13.6%	15.4%	29.8%	100.0%
地域	志津小学校区	4	9	3	9	9	15	9	22	80
		5.0%	11.3%	3.8%	11.3%	11.3%	18.8%	11.3%	27.5%	100.0%
	志津南小学校区	3	2	5	5	8	6	11	8	48
		6.3%	4.2%	10.4%	10.4%	16.7%	12.5%	22.9%	16.7%	100.0%
	草津小学校区	5	11	11	8	4	11	14	31	95
		5.3%	11.6%	11.6%	8.4%	4.2%	11.6%	14.7%	32.6%	100.0%
	草津第二小学校区	0	6	4	5	8	26	13	29	91
		0.0%	6.6%	4.4%	5.5%	8.8%	28.6%	14.3%	31.9%	100.0%
	渋川小学校区	0	11	4	12	13	12	16	17	85
		0.0%	12.9%	4.7%	14.1%	15.3%	14.1%	18.8%	20.0%	100.0%
	矢倉小学校区	4	8	6	15	9	10	11	19	82
		4.9%	9.8%	7.3%	18.3%	11.0%	12.2%	13.4%	23.2%	100.0%
	老上小学校区	0	0	3	13	13	5	12	26	72
		0.0%	0.0%	4.2%	18.1%	18.1%	6.9%	16.7%	36.1%	100.0%
	老上西小学校区	1	3	7	6	5	9	8	12	51
		2.0%	5.9%	13.7%	11.8%	9.8%	17.6%	15.7%	23.5%	100.0%
	玉川小学校区	1	7	3	9	3	8	18	33	82
		1.2%	8.5%	3.7%	11.0%	3.7%	9.8%	22.0%	40.2%	100.0%
	南笠東小学校区	1	4	6	5	8	4	13	19	60
		1.7%	6.7%	10.0%	8.3%	13.3%	6.7%	21.7%	31.7%	100.0%
	山田小学校区	6	9	4	7	6	12	8	15	67
		9.0%	13.4%	6.0%	10.4%	9.0%	17.9%	11.9%	22.4%	100.0%
	笠縫小学校区	6	9	6	7	12	19	18	24	101
		5.9%	8.9%	5.9%	6.9%	11.9%	18.8%	17.8%	23.8%	100.0%
	笠縫東小学校区	5	10	3	9	7	9	11	21	75
		6.7%	13.3%	4.0%	12.0%	9.3%	12.0%	14.7%	28.0%	100.0%
	常盤小学校区	7	7	6	7	4	3	6	11	51
		13.7%	13.7%	11.8%	13.7%	7.8%	5.9%	11.8%	21.6%	100.0%
	無回答・小学校区不明	6	10	13	19	8	13	16	68	153
		3.9%	6.5%	8.5%	12.4%	5.2%	8.5%	10.5%	44.4%	100.0%

啓発活動に対する接触度を総合的に把握するため、「研修会・講演会」の参加者（質問24）、「町内学習懇談会」の参加者（質問25）、「地域総合センター」の諸行事参加者（質問28-1）のほか、質問26で人権センターが発行する学習資料等4種類それぞれを読んだことがある者それぞれに1点ずつを配点し、その合計を算出した。このスコアは、最高7点から最低0点までの間のいずれかとなり、スコアが高いほど接触機会が多く、スコアが低いほど接触機会が少ないため、「啓発活動に対する接触度スコア」と規定する。

結果をみると、全体では、「0点」が29.8%で最も多く、いずれの啓発活動との接触もない人が約3割を占めている。以下、「1点」が15.4%、「2点」が13.6%と続いており、接触度スコアの平均は2.35点で、接触の啓発活動の個数は2つ程度となる。

地域別にみると、接触度スコアの平均は常盤小学校区が3.39点で最も高く、一方、玉川小学校区が1.74点で最も低い。

性別にみると、接触度スコアの平均は、女性（2.65点）が男性（2.02点）に比べて高く、女性の接触個数が多い。

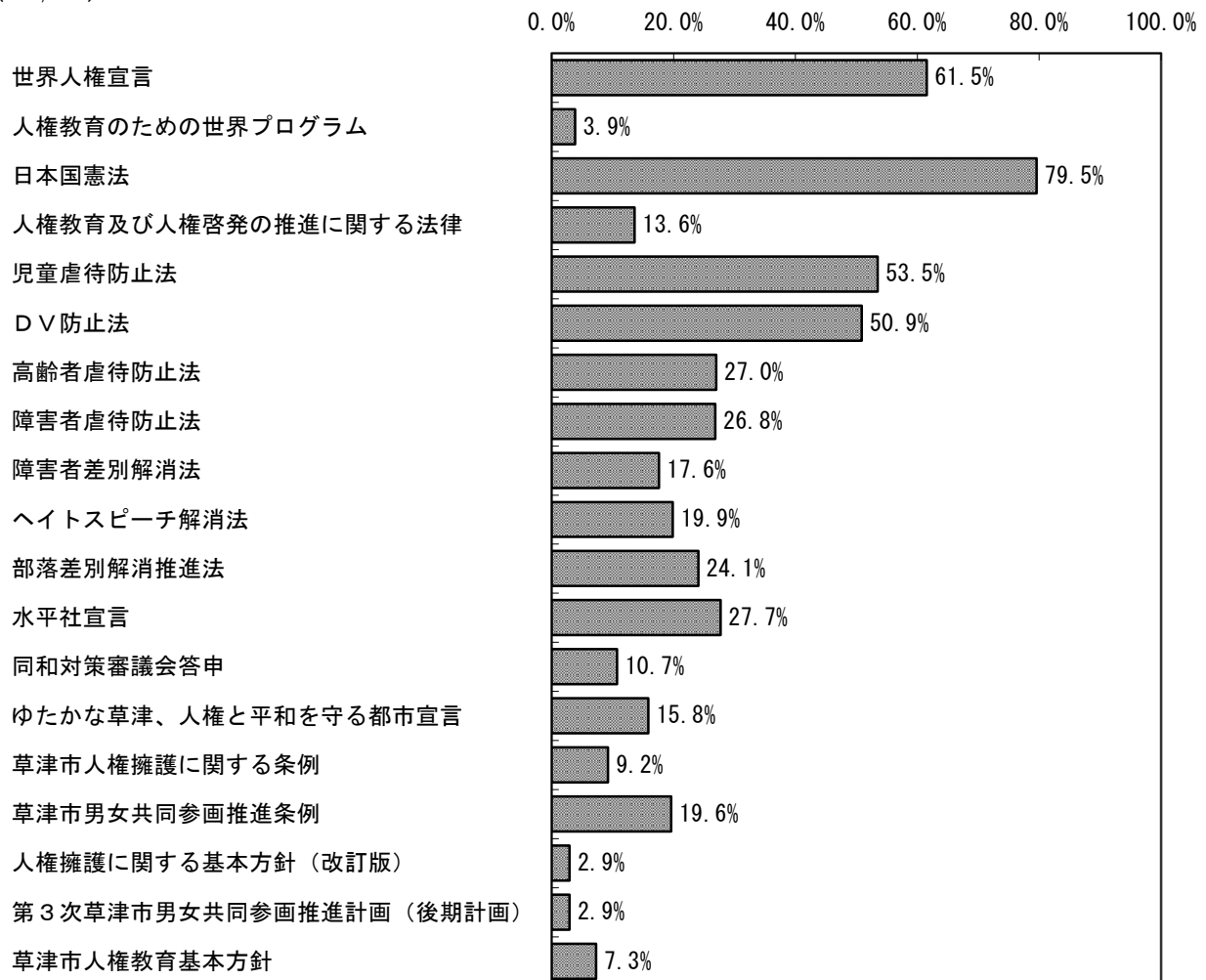
年齢別にみると、接触度スコアの平均は、年代が低いほど低い傾向がみられ、20歳代では1.00点（1回）に満たず、極端に接触回数が少ない。

居住年数別にみると、接触度スコアの平均は、居住年数が短いほど低い傾向がみられ、5年未満では1.00点（1回）に満たず、極端に接触回数が少ない。

質問29. あなたは、次の人権に関する宣言や法律、条例等を知っていますか。知っているものすべてに○をつけてください。

図表 人権に関する宣言や法律、条例等の認知状況（複数回答）

(N=1,193)



※本設問の選択肢は表記が長いので、図表中では表記を簡略にし、それに対応する分析も図表中の表記を用いている。

人権に関する宣言や法律、条例等の認知状況をたずねたところ、「日本国憲法」が79.5%で最も多く、以下、「世界人権宣言」が61.5%、「児童虐待防止法」が53.5%、「DV防止法」が50.9%、「水平社宣言」が27.7%、「高齢者虐待防止法」が27.0%などとなっている。

「ゆたかな草津、人権と平和を守る都市宣言」や「草津市人権擁護に関する条例」、「草津市男女共同参画推進条例」、「人権擁護に関する基本方針（改訂版）」といった本市の条例等の認知率は、いずれも法律等の認知率に比べて低い傾向にある。

図表 人権に関する宣言や法律、条例等の認知状況（複数回答）

		世界人権宣言	人権教育のための世界プログラム	日本国憲法	人権教育及び人権啓発の推進に関する法律	児童虐待防止法	DV防止法	高齢者虐待防止法	障害者虐待防止法	障害者差別解消法	ヘイトスピーチ解消法	
全体		734 61.5%	46 3.9%	949 79.5%	162 13.6%	638 53.5%	607 50.9%	322 27.0%	320 26.8%	210 17.6%	237 19.9%	
地域	志津小学校区	48 60.0%	2 2.5%	65 81.3%	7 8.8%	48 60.0%	46 57.5%	22 27.5%	24 30.0%	16 20.0%	17 21.3%	
		志津南小学校区	28 58.3%	1 2.1%	37 77.1%	6 12.5%	25 52.1%	27 56.3%	11 22.9%	16 33.3%	8 16.7%	9 18.8%
	草津小学校区		60 63.2%	3 3.2%	76 80.0%	7 7.4%	53 55.8%	49 51.6%	25 26.3%	24 25.3%	13 13.7%	14 14.7%
		草津第二小学校区	63 69.2%	6 6.6%	77 84.6%	17 18.7%	46 50.5%	48 52.7%	21 23.1%	20 22.0%	17 18.7%	22 24.2%
	渋川小学校区		62 72.9%	4 4.7%	79 92.9%	15 17.6%	52 61.2%	50 58.8%	26 30.6%	22 25.9%	15 17.6%	21 24.7%
		矢倉小学校区	53 64.6%	4 4.9%	60 73.2%	12 14.6%	46 56.1%	41 50.0%	24 29.3%	21 25.6%	11 13.4%	20 24.4%
	老上小学校区		45 62.5%	1 1.4%	58 80.6%	7 9.7%	36 50.0%	41 56.9%	23 31.9%	21 29.2%	11 15.3%	13 18.1%
		老上西小学校区	25 49.0%	1 2.0%	38 74.5%	6 11.8%	28 54.9%	29 56.9%	12 23.5%	11 21.6%	7 13.7%	9 17.6%
	玉川小学校区		55 67.1%	2 2.4%	66 80.5%	15 18.3%	47 57.3%	42 51.2%	25 30.5%	29 35.4%	23 28.0%	19 23.2%
		南笠東小学校区	37 61.7%	3 5.0%	45 75.0%	9 15.0%	32 53.3%	27 45.0%	14 23.3%	14 23.3%	12 20.0%	7 11.7%
	山田小学校区		34 50.7%	2 3.0%	53 79.1%	9 13.4%	34 50.7%	31 46.3%	16 23.9%	16 23.9%	13 19.4%	13 19.4%
		笠縫小学校区	55 54.5%	5 5.0%	78 77.2%	13 12.9%	56 55.4%	48 47.5%	21 20.8%	27 26.7%	16 15.8%	18 17.8%
	笠縫東小学校区		49 65.3%	3 4.0%	61 81.3%	13 17.3%	46 61.3%	43 57.3%	25 33.3%	24 32.0%	16 21.3%	22 29.3%
		常盤小学校区	24 47.1%	2 3.9%	38 74.5%	3 5.9%	23 45.1%	19 37.3%	13 25.5%	13 25.5%	4 7.8%	6 11.8%
	無回答・小学校区不明		96 62.7%	7 4.6%	118 77.1%	23 15.0%	66 43.1%	66 43.1%	44 28.8%	38 24.8%	28 18.3%	27 17.6%
				部落差別解消推進法	水平社宣言	同和対策審議会答申	ゆたかな草津、人権と平和を守る都市宣言	草津市人権擁護に関する条例	草津市男女共同参画推進条例	人権擁護に関する基本方針(改訂版)	第3次草津市男女共同参画推進計画(後期計画)	草津市人権教育基本方針
	全体		287 24.1%	331 27.7%	128 10.7%	189 15.8%	110 9.2%	234 19.6%	35 2.9%	35 2.9%	87 7.3%	1,193 100.0%
	地域	志津小学校区	18 22.5%	27 33.8%	9 11.3%	13 16.3%	7 8.8%	16 20.0%	1 1.3%	1 1.3%	2 2.5%	80 100.0%
			志津南小学校区	11 22.9%	11 22.9%	3 6.3%	5 10.4%	3 6.3%	10 20.8%	0 0.0%	0 0.0%	1 2.1%
		草津小学校区		16 16.8%	30 31.6%	10 10.5%	11 11.6%	9 9.5%	21 22.1%	3 3.2%	2 2.1%	6 6.3%
			草津第二小学校区	23 25.3%	28 30.8%	11 12.1%	15 16.5%	5 5.5%	16 17.6%	2 2.2%	4 4.4%	8 8.8%
		渋川小学校区		29 34.1%	25 29.4%	9 10.6%	9 10.6%	5 5.9%	14 16.5%	0 0.0%	2 2.4%	5 5.9%
			矢倉小学校区	21 25.6%	24 29.3%	9 11.0%	13 15.9%	8 9.8%	14 17.1%	1 1.2%	3 3.7%	4 4.9%
		老上小学校区		12 16.7%	15 20.8%	7 9.7%	8 11.1%	8 11.1%	14 19.4%	0 0.0%	0 0.0%	8 11.1%
老上西小学校区			13 25.5%	13 25.5%	3 5.9%	8 15.7%	6 11.8%	10 19.6%	2 3.9%	1 2.0%	2 3.9%	51 100.0%
		玉川小学校区	23 28.0%	19 23.2%	7 8.5%	15 18.3%	10 12.2%	12 14.6%	2 2.4%	1 1.2%	6 7.3%	82 100.0%
南笠東小学校区			8 13.3%	14 23.3%	5 8.3%	7 11.7%	5 8.3%	12 20.0%	2 3.3%	5 8.3%	5 8.3%	60 100.0%
		山田小学校区	12 17.9%	19 28.4%	7 10.4%	18 26.9%	7 10.4%	16 23.9%	3 4.5%	4 6.0%	7 10.4%	67 100.0%
笠縫小学校区			27 26.7%	25 24.8%	13 12.9%	17 16.8%	9 8.9%	21 20.8%	5 5.0%	1 1.0%	6 5.9%	101 100.0%
		笠縫東小学校区	23 30.7%	24 32.0%	12 16.0%	19 25.3%	8 10.7%	18 24.0%	4 5.3%	0 0.0%	7 9.3%	75 100.0%
常盤小学校区			13 25.5%	20 39.2%	5 9.8%	11 21.6%	5 9.8%	14 27.5%	0 0.0%	2 3.9%	6 11.8%	51 100.0%
		無回答・小学校区不明	38 24.8%	37 24.2%	18 11.8%	20 13.1%	15 9.8%	26 17.0%	10 6.5%	9 5.9%	14 9.2%	153 100.0%

地域別にみると、「日本国憲法」や「世界人権宣言」、「児童虐待防止法」、「DV防止法」などの法律等はいずれの地域においても認知度が高く、地域による差もあまり大きくない。一方、「ゆたかな草津、人権と平和を守る都市宣言」や「草津市人権擁護に関する条例」、「草津市男女共同参画推進条例」、「人権擁護に関する基本方針（改訂版）」といった、本市の条例等の認知率は、いずれも法律等の認知率に比べて低い傾向にあるが、山田小学校区、笠縫東小学校区、常盤小学校区などでは本市の条例等の認知度も比較的高い。

性別にみると、男女差が5.0ポイント以上ある項目のうち男性の認知率が高いものは、「世界人権宣言」、「日本国憲法」となっている。同様に、女性の認知率が高いものは「児童虐待防止法」、「DV防止法」、「障害者虐待防止法」、「草津市男女共同参画推進条例」となっている。

年齢別にみると、上位4項目のうち、「世界人権宣言」と「児童虐待防止法」の70歳以上の認知率、「DV防止法」の20歳代と70歳以上の認知率は5割未満となっており、その他の年代に比べて低い。

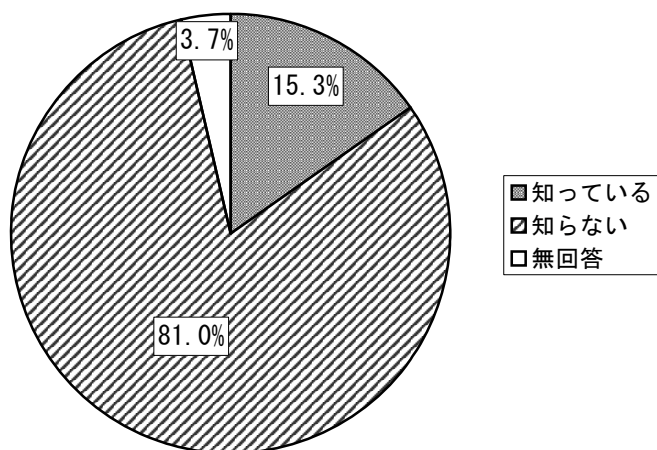
人権センターが発行する学習資料等の閲読状況からみると、いずれの学習資料についても、閲読頻度が高い人ほどそれぞれの法律等、特に本市独自の条例等の認知率が高い傾向がみられる。

12 「登録型本人通知制度」の認知・利用

質問30. 草津市では、「登録型本人通知制度」を平成25年1月から開始していますが、あなたは知っていますか。あてはまるものどちらかを選び、○をつけてください。

図表 草津市の「登録型本人通知制度」の認知状況

(N=1,193)



草津市の「登録型本人通知制度」の認知状況をたずねたところ、「知らない」が81.0%、「知っている」が15.3%となっている

図表 草津市の「登録型本人通知制度」の認知状況

		知っている	知らない	無回答	合計
全体		183	966	44	1,193
		15.3%	81.0%	3.7%	100.0%
地域	志津小学校区	21	59	0	80
		26.3%	73.8%	0.0%	100.0%
	志津南小学校区	7	40	1	48
		14.6%	83.3%	2.1%	100.0%
	草津小学校区	16	75	4	95
		16.8%	78.9%	4.2%	100.0%
	草津第二小学校区	10	79	2	91
		11.0%	86.8%	2.2%	100.0%
	渋川小学校区	8	75	2	85
		9.4%	88.2%	2.4%	100.0%
	矢倉小学校区	15	63	4	82
		18.3%	76.8%	4.9%	100.0%
	老上小学校区	14	56	2	72
		19.4%	77.8%	2.8%	100.0%
	老上西小学校区	10	39	2	51
		19.6%	76.5%	3.9%	100.0%
	玉川小学校区	12	68	2	82
		14.6%	82.9%	2.4%	100.0%
	南笠東小学校区	7	51	2	60
		11.7%	85.0%	3.3%	100.0%
	山田小学校区	17	49	1	67
		25.4%	73.1%	1.5%	100.0%
	笠縫小学校区	9	86	6	101
		8.9%	85.1%	5.9%	100.0%
	笠縫東小学校区	8	66	1	75
		10.7%	88.0%	1.3%	100.0%
	常盤小学校区	9	40	2	51
		17.6%	78.4%	3.9%	100.0%
	無回答・小学校区不明	20	120	13	153
		13.1%	78.4%	8.5%	100.0%
2013年調査		191	1,096	82	1,369
		14.0%	80.1%	6.0%	100.0%

前回調査と比較すると、「知っている」は1.3ポイントの増加となっており、わずかながら認知度は上昇している。

地域別にみると、「知っている」が最も多いのは志津小学校区の26.3%で、次いで山田小学校区（25.4%）となっている。一方、「知っている」が最も少ないのは笠縫小学校区（8.9%）となっている。

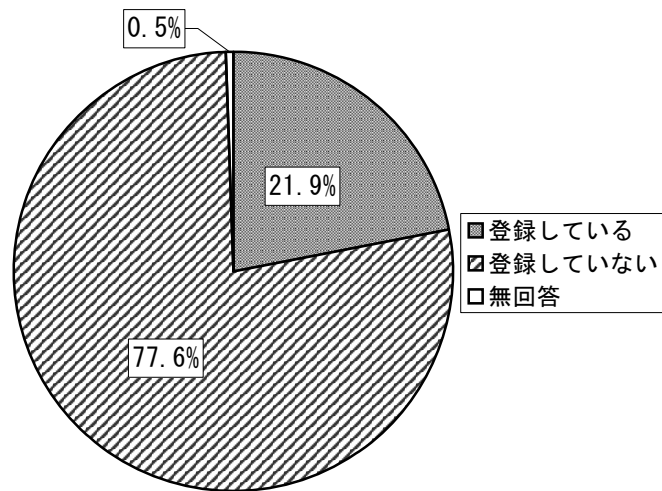
性別にみると、男女ともに「知らない」が半数以上を占めており、男性（84.9%）が女性（79.6%）に比べて5.3ポイント多い。

年齢別にみると、いずれの年代でも「知らない」が7割以上となっており、20歳代（93.7%）が最も多い。

質問30－1. 質問30で、選択肢「1」にお答えの方にお聞きします。あなたは、「登録型本人通知制度」に登録していますか。あてはまるものどちらかを選び、○をつけてください。

図表 「登録型本人通知制度」の登録状況

(N=183)



「登録型本人通知制度」を知っている人に対して、登録状況をたずねたところ、「登録していない」が77.6%、「登録している」が21.9%となっている。

図表 「登録型本人通知制度」の登録状況

		登録して いる	登録して いない	無回答	合計
全体		40	142	1	183
		21.9%	77.6%	0.5%	100.0%
地域	志津小学校区	0	21	0	21
		0.0%	100.0%	0.0%	100.0%
	志津南小学校区	2	5	0	7
		28.6%	71.4%	0.0%	100.0%
	草津小学校区	2	14	0	16
		12.5%	87.5%	0.0%	100.0%
	草津第二小学校区	3	7	0	10
		30.0%	70.0%	0.0%	100.0%
	渋川小学校区	1	7	0	8
		12.5%	87.5%	0.0%	100.0%
	矢倉小学校区	3	12	0	15
		20.0%	80.0%	0.0%	100.0%
	老上小学校区	6	8	0	14
		42.9%	57.1%	0.0%	100.0%
	老上西小学校区	0	10	0	10
		0.0%	100.0%	0.0%	100.0%
	玉川小学校区	3	8	1	12
		25.0%	66.7%	8.3%	100.0%
	南笠東小学校区	2	5	0	7
		28.6%	71.4%	0.0%	100.0%
	山田小学校区	3	14	0	17
		17.6%	82.4%	0.0%	100.0%
	笠縫小学校区	5	4	0	9
		55.6%	44.4%	0.0%	100.0%
	笠縫東小学校区	2	6	0	8
		25.0%	75.0%	0.0%	100.0%
	常盤小学校区	2	7	0	9
		22.2%	77.8%	0.0%	100.0%
無回答・ 小学校区不明	6	14	0	20	
	30.0%	70.0%	0.0%	100.0%	
2013年調査		28	160	3	191
		14.7%	83.8%	1.6%	100.0%

前回調査と比較すると、「登録している」は7.2ポイントの増加となっており、登録者は増加している。

地域別にみると、いずれの地域も集計母数が少ないため、一概に比較はできないが、笠縫小学校区（55.6%）や老上小学校区（42.9%）では4割以上が登録している一方、志津小学校区、老上西小学校区では登録者はいない。

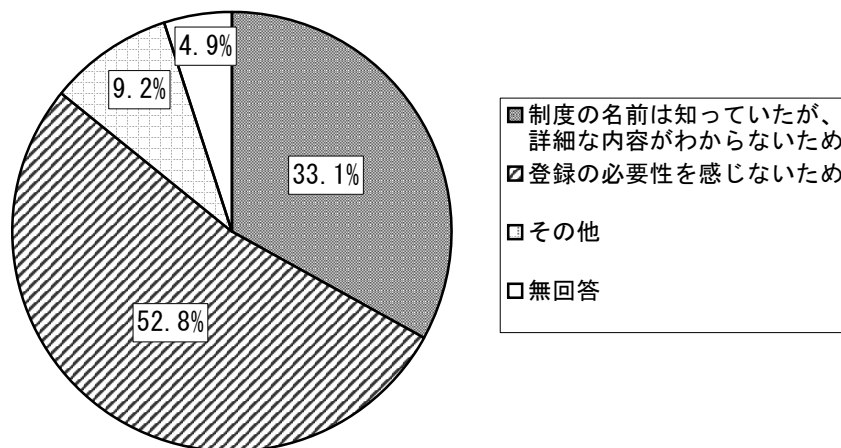
性別にみると、男女ともに「登録していない」が半数以上を占め、女性が77.4%、男性が75.8%となっており、男女差は小さい。

年齢別にみると、「登録している」は20歳代と60歳代を除いていずれの年代でも2割以上を占めており、70歳以上（26.8%）が最も多い。

質問30－2. 質問30－1で、選択肢「2」にお答えの方にお聞きします。あなたが「登録型本人通知制度」に登録していない主な理由は何ですか。最もあてはまるものを1つだけ選び、○をつけてください。

図表 「登録型本人通知制度」に登録していない理由

(N=142)



「登録型本人通知制度」を知っているが登録していない人に対して、その理由をたずねたところ、「登録の必要性を感じないため」が52.8%で最も多く、次いで「制度の名前は知っていたが、詳細な内容がわからないため」が33.1%となっている。

図表 「登録型本人通知制度」に登録していない理由

		制度の名前は知っていたが、詳細な内容がわからないため	登録の必要性を感じないため	その他	無回答	合計
全体		47 33.1%	75 52.8%	13 9.2%	7 4.9%	142 100.0%
地域	志津小学校区	10 47.6%	10 47.6%	1 4.8%	0 0.0%	21 100.0%
	志津南小学校区	3 60.0%	2 40.0%	0 0.0%	0 0.0%	5 100.0%
	草津小学校区	3 21.4%	9 64.3%	1 7.1%	1 7.1%	14 100.0%
	草津第二小学校区	4 57.1%	3 42.9%	0 0.0%	0 0.0%	7 100.0%
	洪川小学校区	1 14.3%	5 71.4%	1 14.3%	0 0.0%	7 100.0%
	矢倉小学校区	2 16.7%	8 66.7%	1 8.3%	1 8.3%	12 100.0%
	老上小学校区	3 37.5%	3 37.5%	1 12.5%	1 12.5%	8 100.0%
	老上西小学校区	4 40.0%	5 50.0%	1 10.0%	0 0.0%	10 100.0%
	玉川小学校区	0 0.0%	6 75.0%	2 25.0%	0 0.0%	8 100.0%
	南笠東小学校区	2 40.0%	1 20.0%	1 20.0%	1 20.0%	5 100.0%
	山田小学校区	5 35.7%	5 35.7%	2 14.3%	2 14.3%	14 100.0%
	笠縫小学校区	2 50.0%	2 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 100.0%
	笠縫東小学校区	1 16.7%	4 66.7%	1 16.7%	0 0.0%	6 100.0%
	常盤小学校区	0 0.0%	7 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	7 100.0%
	無回答・小学校区不明	7 50.0%	5 35.7%	1 7.1%	1 7.1%	14 100.0%
2013年調査		55 34.4%	78 48.8%	22 13.8%	5 3.1%	160 100.0%

前回調査と比較すると、「登録の必要性を感じないため」は前回より4.0ポイント増加している。

地域別にみると、いずれの地域も集計母数が少ないため、一概に比較はできないが、洪川小学校区、玉川小学校区、常盤小学校区では「登録の必要性を感じないため」が多く、志津南小学校区では「制度の名前は知っていたが、詳細な内容がわからないため」が多い。

性別にみると、男女ともに「登録の必要性を感じないため」が最多で、男性が53.2%、女性が53.9%となっており、ほぼ同率である。また、「制度の名前は知っていたが、詳細な内容がわからないため」は、男性（36.2%）が女性（30.3%）に比べて5.9ポイント多い。

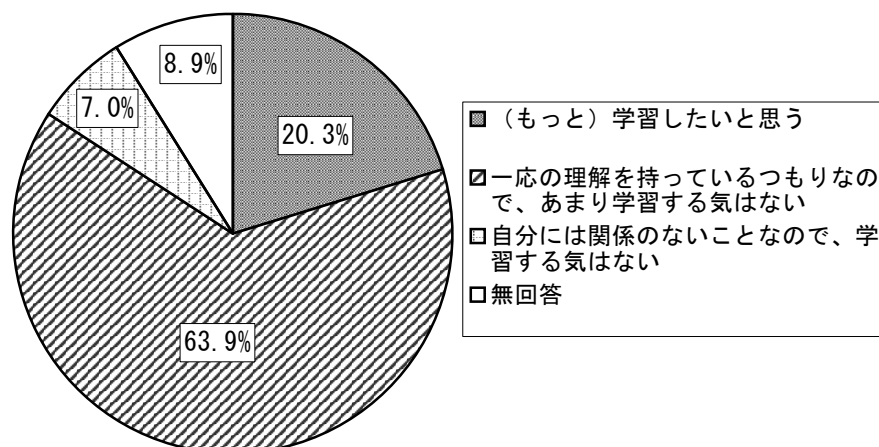
年齢別にみると、20歳代、40歳代、50歳代、70歳以上では「登録の必要性を感じないため」、30歳代は「制度の名前は知っていたが、詳細な内容がわからないため」がそれぞれ半数以上を占めている。また、60歳代は「登録の必要性を感じないため」が48.4%となっている。

13 人権問題に対する関心や人権学習の態度

質問31. あなたは、ご自身の人権問題に関する学習のあり方について、どのように考えていますか。お考えに最も近い番号を1つだけ選び、○をつけてください。

図表 自身の人権問題に関する学習のあり方・姿勢

(N=1,193)



自身の人権問題に関する学習のあり方・姿勢をたずねたところ、「一応の理解を持っているつもりなので、あまり学習する気はない」が63.9%で最も多く、以下、「（もっと）学習したいと思う」が20.3%、「自分には関係のないことなので、学習する気はない」が7.0%となっている。

図表 自身の人権問題に関する学習のあり方・姿勢

		(もっと)学習 したいと 思う	一応の理解 を持っている つもりなので、あまり 学習する気 はない	自分には関 係のないこ となので、 学習する気 はない	無回答	合計
全体		242 20.3%	762 63.9%	83 7.0%	106 8.9%	1,193 100.0%
地域	志津小学校区	21 26.3%	46 57.5%	6 7.5%	7 8.8%	80 100.0%
	志津南小学校区	8 16.7%	31 64.6%	4 8.3%	5 10.4%	48 100.0%
	草津小学校区	15 15.8%	60 63.2%	9 9.5%	11 11.6%	95 100.0%
	草津第二小学校区	14 15.4%	69 75.8%	4 4.4%	4 4.4%	91 100.0%
	洪川小学校区	16 18.8%	64 75.3%	2 2.4%	3 3.5%	85 100.0%
	矢倉小学校区	19 23.2%	50 61.0%	5 6.1%	8 9.8%	82 100.0%
	老上小学校区	9 12.5%	50 69.4%	9 12.5%	4 5.6%	72 100.0%
	老上西小学校区	10 19.6%	35 68.6%	2 3.9%	4 7.8%	51 100.0%
	玉川小学校区	20 24.4%	50 61.0%	3 3.7%	9 11.0%	82 100.0%
	南笠東小学校区	12 20.0%	40 66.7%	3 5.0%	5 8.3%	60 100.0%
	山田小学校区	19 28.4%	36 53.7%	3 4.5%	9 13.4%	67 100.0%
	笠縫小学校区	20 19.8%	70 69.3%	2 2.0%	9 8.9%	101 100.0%
	笠縫東小学校区	17 22.7%	47 62.7%	7 9.3%	4 5.3%	75 100.0%
	常盤小学校区	9 17.6%	33 64.7%	5 9.8%	4 7.8%	51 100.0%
	無回答・ 小学校区不明	33 21.6%	81 52.9%	19 12.4%	20 13.1%	153 100.0%
2013年調査		284 20.7%	852 62.2%	115 8.4%	118 8.6%	1,369 100.0%
2008年調査		306 29.4%	523 50.3%	62 6.0%	149 14.3%	1,040 100.0%
2003年調査		285 23.4%	697 57.1%	66 5.4%	172 14.1%	1,220 100.0%

過去3回の調査と比較すると、「(もっと) 学習したいと思う」は前回から0.4ポイント減少し、今回は最も少なくなっている。「一応の理解を持っているつもりなので、あまり学習する気はない」は前回より1.7ポイント増加、「自分には関係のないことなので、学習する気はない」は前回より1.4ポイント減少となっている。

地域別にみると、「(もっと) 学習したいと思う」が最も多いのは山田小学校区(28.4%)で、以下、志津小学校区(26.3%)、玉川小学校区(24.4%)、矢倉小学校区(23.2%)などとなっている。「自分には関係のないことなので、学習する気はない」は、老上小学校区では12.5%となっている。「一応の理解を持っているつもりなので、あまり学習する気はない」は、いずれの地域でも半数以上を占めている。

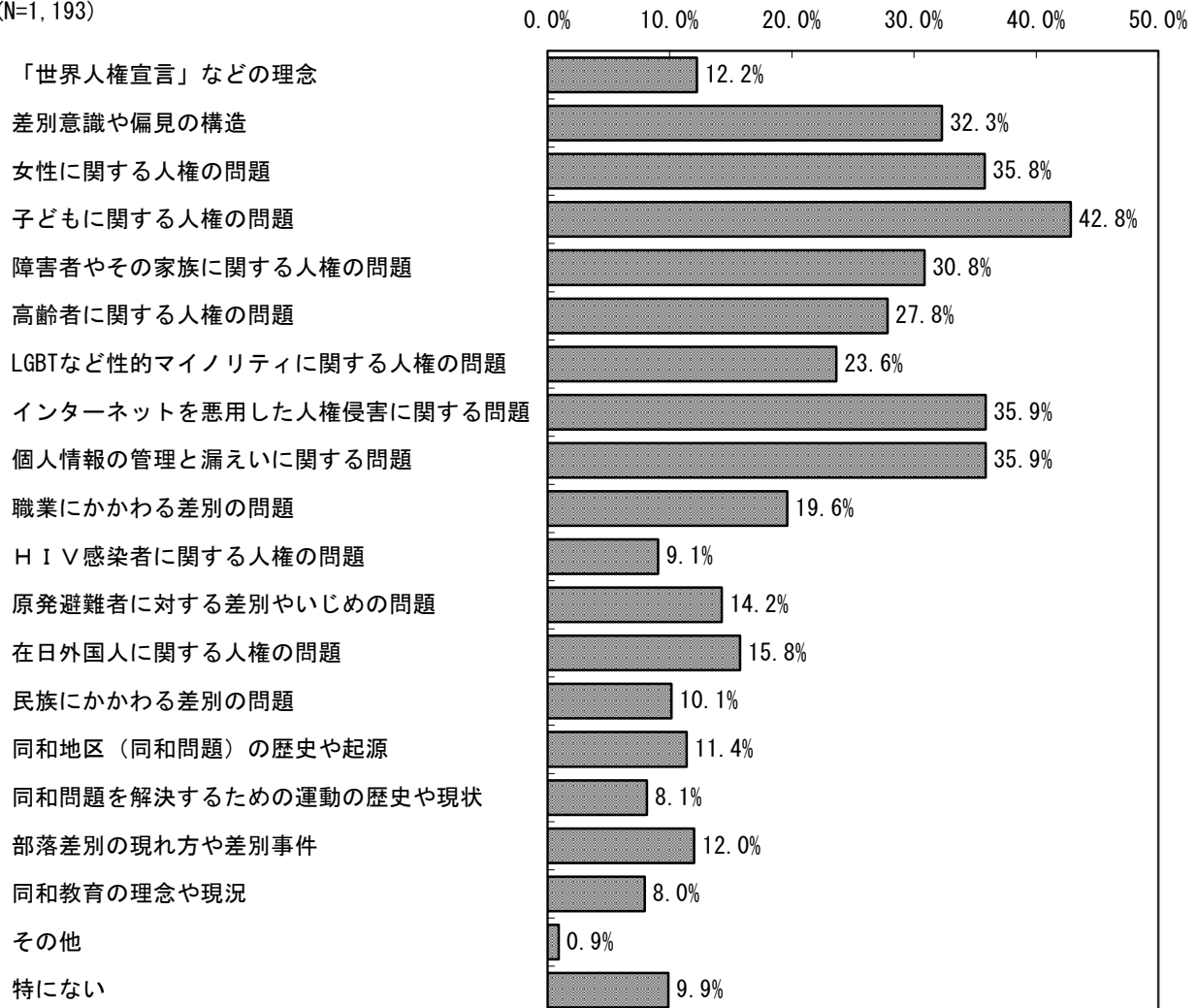
性別にみると、男女ともに「一応の理解を持っているつもりなので、あまり学習する気はない」が最多で、男性(71.0%)が女性(61.0%)に比べて10.0ポイント多い。次いで、「(もっと) 学習したいと思う」は女性(22.2%)が男性(18.4%)に比べて3.8ポイント多い。一方、「自分には関係のないことなので、学習する気はない」は、男女ともに1割未満であり、男女差は小さい。

年齢別にみると、「(もっと) 学習したい」は年齢が上がるにつれて減少し、20歳代(37.9%)が最も多く、70歳以上(10.3%)が最も少ない。また、30歳代を除くいずれの年代でも「一応の理解を持っているつもりなので、あまり学習する気はない」が半数以上を占めており、60歳代(72.6%)が最も多い。一方、「自分には関係のないことなので、学習する気はない」は、30歳代では11.1%となっている。

質問32. あなたが関心のある人権問題はどれですか。あてはまるものをすべて選び、○をつけてください。

図表 関心のある人権問題（複数回答）

(N=1,193)



※本設問の選択肢は表記が長いので、図表中では表記を簡略にし、それに対応する分析も図表中の表記を用いている。

関心のある人権問題をたずねたところ、「子どもに関する人権の問題」が42.8%で最も多く、以下、「インターネットを悪用した人権侵害に関する問題」、「個人情報の管理と漏えいに関する問題」がともに35.9%、「女性に関する人権の問題」が35.8%、「差別意識や偏見の構造」が32.3%などとなっている。

図表 関心のある人権問題（複数回答）

		「世界人権宣言」などの理念	差別意識や偏見の構造	女性に関する人権の問題	子どもに関する人権の問題	障害者やその家族に関する人権の問題	高齢者に関する人権の問題	LGBTなど性的マイノリティに関する人権の問題	インターネットを悪用した人権侵害に関する問題	個人情報の管理と漏えいに関する問題	職業にかかわる差別の問題	HIV感染者に関する人権の問題
全体		146 12.2%	385 32.3%	427 35.8%	511 42.8%	368 30.8%	332 27.8%	282 23.6%	428 35.9%	428 35.9%	234 19.6%	108 9.1%
地域	志津小学校区	6 7.5%	28 35.0%	36 45.0%	42 52.5%	25 31.3%	25 31.3%	21 26.3%	27 33.8%	21 26.3%	13 16.3%	4 5.0%
	志津南小学校区	9 18.8%	11 22.9%	15 31.3%	19 39.6%	14 29.2%	8 16.7%	8 16.7%	11 22.9%	16 33.3%	6 12.5%	2 4.2%
	草津小学校区	15 15.8%	33 34.7%	32 33.7%	38 40.0%	30 31.6%	24 25.3%	23 24.2%	35 36.8%	32 33.7%	18 18.9%	12 12.6%
	草津第二小学校区	14 15.4%	36 39.6%	32 35.2%	29 31.9%	26 28.6%	29 31.9%	23 25.3%	40 44.0%	37 40.7%	21 23.1%	7 7.7%
	洪川小学校区	12 14.1%	25 29.4%	32 37.6%	39 45.9%	24 28.2%	20 23.5%	23 27.1%	32 37.6%	35 41.2%	21 24.7%	8 9.4%
	矢倉小学校区	7 8.5%	28 34.1%	28 34.1%	40 48.8%	35 42.7%	30 36.6%	21 25.6%	25 30.5%	36 43.9%	12 14.6%	12 14.6%
	老上小学校区	9 12.5%	17 23.6%	28 38.9%	28 38.9%	17 23.6%	22 30.6%	22 30.6%	30 41.7%	33 45.8%	15 20.8%	8 11.1%
	老上西小学校区	4 7.8%	17 33.3%	12 23.5%	18 35.3%	14 27.5%	9 17.6%	11 21.6%	22 43.1%	20 39.2%	9 17.6%	3 5.9%
	玉川小学校区	10 12.2%	36 43.9%	24 29.3%	35 42.7%	26 31.7%	22 26.8%	16 19.5%	29 35.4%	31 37.8%	19 23.2%	6 7.3%
	南笠東小学校区	5 8.3%	20 33.3%	22 36.7%	29 48.3%	17 28.3%	16 26.7%	17 28.3%	18 30.0%	16 26.7%	13 21.7%	5 8.3%
	山田小学校区	9 13.4%	22 32.8%	27 40.3%	25 37.3%	19 28.4%	18 26.9%	14 20.9%	20 29.9%	19 28.4%	14 20.9%	7 10.4%
	笠縫小学校区	13 12.9%	28 27.7%	32 31.7%	40 39.6%	27 26.7%	24 23.8%	19 18.8%	33 32.7%	30 29.7%	12 11.9%	12 11.9%
	笠縫東小学校区	6 8.0%	30 40.0%	28 37.3%	40 53.3%	27 36.0%	20 26.7%	16 21.3%	31 41.3%	26 34.7%	19 25.3%	5 6.7%
	常盤小学校区	5 9.8%	20 39.2%	18 35.3%	26 51.0%	21 41.2%	23 45.1%	11 21.6%	18 35.3%	15 29.4%	10 19.6%	3 5.9%
	無回答・小学校区不明	22 14.4%	34 22.2%	61 39.9%	63 41.2%	46 30.1%	42 27.5%	37 24.2%	57 37.3%	61 39.9%	32 20.9%	14 9.2%
		原発避難者に対する差別やいじめの問題	在日外国人に関する人権の問題	民族にかかわる差別の問題	同和地区（同和問題）の歴史や起源	同和問題を解決するための運動の歴史や現状	部落差別の現れ方や差別事件	同和教育の理念や現況	その他	特になし	集計母数	
全体		170 14.2%	188 15.8%	121 10.1%	136 11.4%	97 8.1%	143 12.0%	95 8.0%	11 0.9%	118 9.9%	1,193 100.0%	
地域	志津小学校区	10 12.5%	15 18.8%	7 8.8%	7 8.8%	7 8.8%	9 11.3%	5 6.3%	0 0.0%	6 7.5%	80 100.0%	
	志津南小学校区	4 8.3%	5 10.4%	2 4.2%	4 8.3%	4 8.3%	3 6.3%	2 4.2%	0 0.0%	8 16.7%	48 100.0%	
	草津小学校区	14 14.7%	13 13.7%	6 6.3%	17 17.9%	11 11.6%	14 14.7%	6 6.3%	0 0.0%	11 11.6%	95 100.0%	
	草津第二小学校区	18 19.8%	18 19.8%	13 14.3%	12 13.2%	5 5.5%	12 13.2%	5 5.5%	2 2.2%	10 11.0%	91 100.0%	
	洪川小学校区	13 15.3%	18 21.2%	13 15.3%	8 9.4%	3 3.5%	7 8.2%	4 4.7%	3 3.5%	10 11.8%	85 100.0%	
	矢倉小学校区	19 23.2%	17 20.7%	8 9.8%	13 15.9%	9 11.0%	13 15.9%	7 8.5%	1 1.2%	8 9.8%	82 100.0%	
	老上小学校区	9 12.5%	15 20.8%	8 11.1%	4 5.6%	2 2.8%	7 9.7%	5 6.9%	1 1.4%	5 6.9%	72 100.0%	
	老上西小学校区	4 7.8%	7 13.7%	4 7.8%	7 13.7%	5 9.8%	9 17.6%	5 9.8%	0 0.0%	5 9.8%	51 100.0%	
	玉川小学校区	14 17.1%	10 12.2%	10 12.2%	8 9.8%	7 8.5%	6 7.3%	9 11.0%	0 0.0%	7 8.5%	82 100.0%	
	南笠東小学校区	6 10.0%	7 11.7%	4 6.7%	6 10.0%	7 11.7%	6 10.0%	7 11.7%	0 0.0%	5 8.3%	60 100.0%	
	山田小学校区	10 14.9%	13 19.4%	6 9.0%	8 11.9%	6 9.0%	10 14.9%	8 11.9%	1 1.5%	8 11.9%	67 100.0%	
	笠縫小学校区	11 10.9%	15 14.9%	11 10.9%	11 10.9%	8 7.9%	12 11.9%	6 5.9%	1 1.0%	9 8.9%	101 100.0%	
	笠縫東小学校区	15 20.0%	14 18.7%	12 16.0%	6 8.0%	6 8.0%	8 10.7%	9 12.0%	2 2.7%	6 8.0%	75 100.0%	
	常盤小学校区	6 11.8%	4 7.8%	5 9.8%	8 15.7%	5 9.8%	10 19.6%	7 13.7%	0 0.0%	2 3.9%	51 100.0%	
	無回答・小学校区不明	17 11.1%	17 11.1%	12 7.8%	17 11.1%	12 7.8%	17 11.1%	10 6.5%	0 0.0%	18 11.8%	153 100.0%	

地域別にみると、玉川小学校区では、「差別意識や偏見の構造」、山田小学校区では「女性に関する人権の問題」、草津第二小学校区と老上西小学校区では「インターネットを悪用した人権侵害に関する問題」、老上小学校区では「個人情報の管理と漏えいに関する問題」、それ以外の地域では「子どもに関する人権の問題」がそれぞれ最も多い。

性別にみると、男性は「インターネットを悪用した人権侵害に関する問題」が最も多く、女性は「子どもに関する人権の問題」が最も多い。また、男女間で5ポイント以上の差がある項目のうち、男性のほうが多いものは「同和地区（同和問題）の歴史や起源」となっている。同様に、女性のほうが多いものは「女性に関する人権の問題」、「子どもに関する人権の問題」となっている。特に「女性に関する人権の問題」は、女性（45.5%）が男性（23.6%）に比べて21.9ポイント多くなっており、男女差が最も大きい項目である。

年齢別にみると、いずれの年代でも「子どもに関する人権の問題」が多く、30歳代（51.9%）が最も多い。また、60歳代以下では「個人情報の管理と漏えいに関する問題」や「インターネットを悪用した人権侵害に関する問題」、「女性に関する人権の問題」も多く、20歳代では「LGBTなど性的マイノリティに関する人権の問題」も他の年齢に比べて多くなっている。60歳代と70歳以上では「高齢者に関する人権の問題」が多い。

14 人権尊重や人権問題の解決などに対する意見や要望

質問33. 人権尊重や人権問題の解決などについて、ご意見、ご要望があればご自由にお書きください。

人権尊重や人権問題の解決などについて、記述式で意見や要望等を求めたところ、299件の意見が寄せられた。なお、1人の回答者が複数の内容の意見等を記述している場合は、それぞれを1件と数えている。

意見の内容を集約・分類した結果は、下表のとおりである。

図表 人権尊重や人権問題の解決などに対する意見や要望（記述回答）

分野	意見の内容	意見数
人権施策・教育・啓発のあり方	子ども・学生・若年層への人権教育・啓発の実施	10
	幼保、学校教育における人権教育・啓発の実施	9
	広報、教育・啓発の方法の工夫・改善	6
	道德、マナー、モラルの教育が必要	6
	大人への人権教育・啓発の実施	5
	特定分野に偏ることなく様々な人権問題について啓発が必要	5
	人権センターによる充実した人権教育・啓発の実施	3
	教育従事者への人権教育・啓発の実施	2
	市職員への人権教育・啓発の充実	2
	人権センターの活動の見直し	2
	相談窓口の充実	2
	人権についてみんなで考えられる場が必要	2
	人として生きるために人権教育・啓発は必要	2
	草津市は人権問題を取り上げすぎではないか	1
	どこに相談すればいいかわからない、気軽に相談できない	1
	スマートフォンを活用した人権学習の実施	1
	子どもから大人まで成長段階（ライフステージ）に応じた人権教育・啓発の実施	1
	行政によるリーダーシップの発揮	1
	催し等市民が集う機会をとらえた人権教育・啓発の実施	1
	人権教育・啓発の慎重な推進	1
	各家庭への人権啓発資料等の配布	1
	人権施策の取組内容・状況の周知	1
	その他	1
	小計	66
人権問題に対する個人の意識・考え・意見	一人ひとりが人権意識を持つこと（学び、考えること）が大切	11
	差別や偏見はなくならないと思う（なくすことは困難である）	8
	多様性の尊重が大切、多様性を認める制度の創設が必要	8
	助け合い、支え合い、思いやりがある社会の実現	8
	人権問題は難しい、よくわからない、他人事	5
	すべての人の基本的な人権の尊重が大切	5
	個人の意思・考えの尊重が大切	3
	草津市は昔からの価値観が根強い（差別的、閉鎖的である）	2
	自身が経験した差別や偏見についての意見	2
	もしも自身が差別や偏見の当事者となった場合についての考え	2
	人権侵害に対し法制度による規制・罰則が必要	2
	生活の満足が他者の寛容につながると思う	2
	草津市は人権教育・啓発、人権施策によく取り組んでいる	1
	行政は差別を受けた人に寄り添う存在であることが大切	1
	草津市は同和問題を重視しているが他に重視すべき人権問題があるのではない	1
	人権問題は過去から進歩していない	1
	人権問題はそっとしておけばよい	1
	人権問題は少しずつ改善している	1
	人権や差別について意識し過ぎるのもよくない（知らずにいたかったこともある）	1
	差別をなくすための努力が必要	1
	人権問題の根本にある貧困、格差の解消が必要	1
	差別の背景や実態の正しい理解が大切	1
	様々な人権問題に関心をもつことが大切	1
	インターネット等を用いた匿名による人権侵害に怒りを感じる	1
	家庭教育が重要	1
	その他	8
	小計	79

分野	意見の内容	意見数
人権教育・啓発の講座・研修会のあり方	参加意欲が向上するような工夫が必要	5
	様々なテーマや講師による研修、講演の実施	2
	知らずにいたかったこともあるので、研修内容に気がつかって欲しい	1
	研修や講演よりも、日常生活の中で人権意識を高める工夫が必要	1
	企業への出前講座の実施	1
	若者を対象にした学習機会の設定	1
	双方向的な研修の実施	1
	研修や講演会等への参加強制に反対	1
	特定分野に偏ることなく様々な人権問題についての講演、研修が必要	1
	町内学習懇談会に参加する市職員の事前準備が不十分	1
	各家庭で人権について考えられるような工夫が必要	1
	人権学習会の開催頻度が多い	1
	継続的な研修の実施が必要	1
	小計	18
同和問題について	同和教育が差別につながっているのではないかと（寝た子を起こす必要はない）	9
	同和地区を優遇しすぎているのではないかと	7
	同和問題以外に学ぶべき人権問題や注力すべきことがあるのではないかと	6
	同和地区住民たちの意識や態度も見直す必要があるのではないかと	6
	人権学習等をきっかけに同和問題を知った	6
	わざわざ同和問題を啓発する必要はない（同和教育は不要）	5
	同和地区に対する差別や偏見は薄れてきていると思う	4
	草津市は同和問題に注力しすぎではないかと	3
	同和教育は必要	3
	同和問題がなくなると困る人がいるのではないかと	3
	同和地区の環境を変えていく必要がある	3
	同和問題を扱う限り同和問題はなくならないと思う	2
	同和問題を意識せずに生活できればよいと思う	2
	同和問題は面倒（かかわりたくない）	2
	同和地区の実態を知るべきである	2
	同和地区に住むという人から怖い思いを受けたことがある（見聞も含む）	2
	「人権＝同和」ではないと思う	2
	同和問題を扱う必要はないと思う	1
	そもそも同和問題を解決する気があるのか疑問である	1
	同和問題を知らないことが差別につながっていると思う	1
	同和問題もその他の人権と同等に扱うべきである	1
	えせ同和が問題である	1
	全ての人が努力しないと同和問題は解決しないと思う	1
	その他	1
	小計	74
女性の人権・男女共同参画について	性別に対する高齢者の差別意識が強い	2
	地域の人から女性差別的な扱いを受けた	1
	小計	3
職場での人権侵害、職業差別について	職場で差別を受けている	1
	雇用形態（正規社員・非正規社員）によって扱いが異なる	1
	小計	2
障害者の人権について	障害のある人への歩み寄りが大切である	1
	障害のある人が外出しやすいまちづくりが必要	1
	障害のある人たちと共に働く人に向けた研修機会の充実	1
	小計	2
外国人の人権について	外国人の受入、外国人労働者について（教育の充実、異文化・習慣の理解促進）	2
	外国人に対する差別について学ぶ必要がある	1
	日本に住む外国人と関わりたくない	1
	日本に住む外国人が日本になじむ努力も必要	1
	小計	5
学校でのいじめ、人権侵害について	いじめが発生する原因を知りたい	1
	学校、教師のいじめ問題への取組が不十分	1
	市の相談員のいじめ問題への取組が不十分	1
	いじめも人権問題である	1
	いじめ防止のために高齢者に協力してもらってはどうか	1
	小計	5
子どもの人権について	児童虐待は許せない	1
	子どもの安全を守るためのボランティアの募集	1
	親の教育が必要	1
	小計	3

分野	意見の内容	意見数
本調査に対する意見	設問や構成に疑問がある	8
	設問が差別的である	5
	アンケートが差別につながるのではないかと（寝た子を起こす必要はない）	4
	人権問題に関心をもつきっかけとなった	4
	回答しづらい設問があった	3
	アンケートの改善点の提案	3
	同和問題に関する設問が多いのではないかと	2
	調査目的が不明瞭である	1
	調査結果を開示して欲しい	1
	小計	31
人権施策以外の行政への意見や要望	その他	5
	小計	5
その他	その他	6
	小計	6
合計		299

第3章 分析を終えて

第3章 分析を終えて

1 調査の特徴

本調査は、昭和58年（1983年）以降、5年に1回実施しており、今回が8回目の実施である。

今回調査は、前回と質問項目に変更はないが、人権に関する宣言や法律、条例等の認知状況の質問では、新たに施行された法律等（「障害者差別解消法」、「ヘイトスピーチ解消法」、「部落差別解消推進法」、「第3次草津市男女共同参画推進計画（後期計画）」、「草津市人権教育基本方針」）の選択肢を追加した。また、関心のある人権問題での質問では、新たな人権問題である「LGBTなど性的マイノリティに関する人権の問題」、「インターネットを悪用した人権侵害に関する問題」、「個人情報の管理と漏えいに関する問題」、「原発避難者に対する差別やいじめの問題」の選択肢を追加した。

2 回答者の特徴

調査票の有効回答率は回を重ねるごとに低下していたが、前回調査では43.7%へ上昇していた。今回調査も40.0%と4割台で推移している。

回答者の男女比は、全体では女性（55.1%）が男性（40.5%）に比べて14.6ポイント多い。特に、30歳代で女性（16.6%）の比率が多く、男性（9.9%）を6.7ポイント上回っている。

回答者の年齢構成は、40歳代以上で各年代2割近くを占めているが、30歳代は13.6%、20歳代は8.0%と少ない。高齢層（60歳代以上）が38.1%、中年層（40歳代と50歳代）が37.5%、若年層（20歳代、30歳代）が21.6%となっている。

回答者の市内居住年数は「20年以上」が55.2%となっているが、「5年以上10年未満」（8.5%）や「2年以上5年未満」（7.1%）の比較的居住年数が短い回答者も、それぞれ1割近くを占めている。

回答者の職業は、「民間企業・団体（従業員20人以上）勤務」（32.3%）が最も多く、次いで「無職」（19.4%）となっている。「無職」は高齢層が9割以上を占めている。

3 調査結果の特徴

（1）差別についての考え方【質問1】

6つの差別に関する事項に対する「差別についての態度スコア」は、スコアの平均が大きく低下した前回からやや回復した。大半の人が6つの事項について「差別だと思う」態度を示しているものの、その度合いは前回同様に弱まっていると言える。年齢別にみると、「差別だと思う」態度は中年層と高齢層で高いものの、そのうち70歳以上はスコアが低い傾向にあり、「差別だとは言えないと思う」態度の人もやや多くなっている。

（2）風習・慣習に対する意識【質問2】

6つの風習・習慣に対する「風習・慣習についての態度スコア」は、過去3回の調査ではスコアの平均が毎回低下していたが、今回は前回調査よりやや回復した。しかし、意識変容と言えるまでのスコアの上昇はみられず、「なくしていかなければならないが、自分だけ反対しても仕方がない」という意識のもと、前回調査までと同様に、風習・習慣を肯定的にとらえる傾向が強まりつつあると言える。また、「なくしていかなければならない」という意識は高齢層で比較的高く、若年層は肯定的にとらえる人が多い傾向がみられる。

（３）５年以内に人権侵害を受けた経験の有無【質問４～質問４－３】

５年以内に人権侵害を受けたことがある人は12.6%となっており、性別では女性が多く、年齢別では60歳代以下の各世代で１割以上を占め、20歳代と50歳代で多くなっている。

人権侵害を受けた場面は「職場」が多いが、20歳代では「学校」も多くなっている。また、その内容としては「パワー・ハラスメントを受けた」や「あらぬうわさ、悪口で傷つけられた」、「差別的な扱いを受けた」、「仲間はずし、いじめ、嫌がらせを受けた」がそれぞれ２割以上を占めている。

人権侵害を受けたときにとった対応は「黙ってがまんした」が半数を占めており、次いで「身近な人に相談した」となっている。しかし、性別にみると、「身近な人に相談した」は男性が女性より10ポイント以上少なくなっている。同様に、50歳代以上の各世代でも比較的少ない傾向がみられる。

人権侵害を受けたことがある人の比率は前回調査と概ね同程度で減少がみられなかった。また、人権侵害を受けたときに、相手に抗議ができる人は19.3%となっている。

（４）女性の人権について【質問５～質問７】

「男は仕事、女は家庭」という考えに対する意識をみると、「反対の立場」の人が「賛成の立場」の人を上回っている。また、男女平等に対する評価をみると、学校教育と地域活動では「平等になっている」と思う人が「平等になっていない」と思う人を上回っているが、家庭生活や職場、しきたりや慣習、法律や制度では「平等になっていない」と思う人のほうが多い。「男は仕事、女は家庭」は、固定的な性別役割分担意識を表す表現として用いられることが多く、その考えには反対の人が多いものの、依然として多くの場面で男女平等が達成されていると感じる人は少ないことがわかる。

女性の人権に関する相談窓口の認知率をみると、「家庭児童相談室（草津市子ども家庭課）」や「人権相談（草津市立人権センター）」、「草津警察署生活安全課」はそれぞれ５割以上を占めているが、それ以外の相談窓口は５割未満と少なく、各種相談窓口の認知率に差がみられる。

（５）子どもの人権について【質問９～質問10】

子どもの人権に関して問題があると思うことをみると、「子どもに『生まれてこなければよかったのに』と言う」と「子どもに十分な食事を与えない」がそれぞれ約８割を占めている。

子どもに対するいじめをなくすために重要なことをみると、「幼児期から他人への思いやりを身につける」が最も多く、次いで「子どもが安心して暮らせる家庭づくり」に努めるとなっており、どちらも半数以上を占めている。一方、30歳代～50歳代では各世代で「何をしてもいじめはなくなる」が１割以上を占めている。

（６）高齢者の人権について【質問11～質問12】

高齢者の人権に関して問題があることをみると、「家族に介護を放棄されたり、虐待されたりする」、「病院や福祉施設において不当な扱いや虐待を受ける」など、虐待に関する項目が多い。

高齢者の人権を守るために必要なことをみると、「高齢者に対する虐待などの防止、早期発見・早期対応に努める」、「高齢者が能力を発揮できるよう、就労や社会活動の機会を増やす」が多く、次いで、「高齢者を狙った犯罪などの取り締まりを強化する」となっている。

（７）障害のある人の人権について【質問13～質問14】

障害のある人の人権に関して問題があると思うことをみると、「就職が難しい、労働条件が不利なと働くための環境が良くない」が最も多く、50%以上を占めている。その他の項目はいずれも３割以下だが、「病院や福祉施設において不当な扱いや虐待を受ける」、「障害があることを理由に結婚に周囲が反対する」、「店や施設の利用、タクシーの乗車などサービスの提供を拒否される」、「賃貸住宅への入居が難しい・断られる」は、前回調査からわずかに増加がみられた。

障害のある人の人権を守るために必要なことをみると、「企業などに障害のある人の就労を受け入

れるよう啓発を推進する」、「障害のある人に対する理解と関心を深める教育・啓発・広報活動を推進する」、「障害のある人本人の意思に基づいて生活できるよう支援する」が、それぞれ4割以上を占めている。また、「障害のある人に対する虐待などの防止、早期発見・早期対応に努める」は、前回調査から増加がみられ、約3割となっている。

前回調査から大きく変化した項目はなかったが、障害のある人に対する理解の普及や、社会参加・経済的自立のための就労の機会確保に向けた取組の必要性を感じる人が依然として多い。

（８）外国人の人権について【質問15～質問16】

外国人の人権に関して問題があると思うことをみると、「就職や仕事の内容、労働条件などで不利な扱いを受ける」、「言葉や習慣、文化などが違うために、地域社会に受け入れられにくい」がそれぞれ半数近くを占めている。また、「病院や駅、公共施設などで外国語の案内表示や情報提供が十分でない」も前回調査からやや増加している。

外国人の人権を守るために必要なことをみると、「外国人に対する理解と関心を深める教育・啓発・広報活動を推進する」、「外国人も地域社会を支える一員として、行政や地域活動へ参画できる体制をつくる」、「外国人と日本人の相互理解を促進するための交流機会を増やす」がそれぞれ3割以上を占めている。

前回調査より「外国人の就職の機会均等を確保したり、不当な労働条件を改善したりする」が増加しており、就労・労働環境の改善が必要と感じる人が多くなっている。

（９）同和問題について【質問17、質問19、質問20、質問22】

同和問題の起源の認知は、過去3回の調査と同様に「封建時代の権力者・支配者によって、民衆を支配する手段としてつくられたから」が最も多い。しかし、その割合は毎回減少傾向にあり、今回調査では前回調査より3.6ポイント少なくなっている。また、20歳代では「職業・仕事が違うから」や「生活が貧しかったから」もそれぞれ1割以上を占めている。

同和問題に関する事項に対する態度スコアをみると、態度スコアの平均は2008年の調査以降概ね同水準で推移しており、全体としては「どちらとも言えない」という意識に近い傾向が続いている。年齢別にみると、同和問題の解決にとってプラスになる意見に賛同する度合いは高齢層がより強く、若年層がより弱くなっている。

同和地区の人との結婚に対する意識は、自分の子どもが結婚する場合には「結婚を認める」、自身が結婚する場合には「結婚する」という人が、どちらも前回調査より多くなっている。“自身が同和地区の人と結婚しようとしたときに親や親せきから強い反対を受けた場合にとる態度”と、“自分の子どもが同和地区の人と結婚しようとする場合にとる態度”に差があるかどうかをみると、自分の結婚の意志が強い人ほど子どもの意志を尊重する人も多い傾向がみられる。一方、自分の結婚の意志が弱い人ほど子どもの結婚も反対する傾向がみられる。

同和問題解決のために必要な対策をみると、「人権尊重についての学校教育を徹底する」、「差別意識をなくすための同和教育を徹底する」が多くなっているが、その一方で「同和地区の人々びとが、一定の地域にかたまって住まないで、分散して住むようにする」も多い。これらの意識は、前回調査と比べていずれもやや増加している。また、「同和地区のことは、口に出さず、そっとしておけば、差別は自然になくなる」は前回調査よりやや少なくなっているが、20歳代と70歳以上では他の年代と比べて多い。

人権尊重についての学校教育の徹底や、差別意識をなくすための同和教育の徹底は、回を重ねるごとに多くなっている。しかしながら、若年層では同和問題の起源について誤った認識を持っている人が比較的多いことや、部落分散論や自然解消論を重視する人が依然として一定数いることなどを踏まえると、引き続き教育・啓発による正しい知識・理解の普及が必要である。

(10) 啓発活動への参加、学習資料等の閲読状況について【質問24～質問28－1】

人権問題に関する研修会・講演会、「町内学習懇談会」、地域総合センター（隣保館）開催の諸事業（地域総合センター（隣保館）を知っている者のみが回答）へのそれぞれの参加状況は、いずれも半数以上が参加したことがないと回答している。その理由として、人権問題に関する研修会・講演会と「町内学習懇談会」では、「研修会などが開かれているのを知らなかったから」や「仕事の都合で参加できなかったから」が多くなっていることから、研修会等の周知や開催方法に課題があると言える。一方、参加していない理由として「関心がないから」も2割程度いるが、参加したことがある人の感想をみると「人権問題についての理解が深まった」という人が半数以上いることから、研修会等の意義を周知するとともに研修内容の工夫を図るなどして参加を促すことにより、市民の人権問題への関心を一層高めていくことが期待できる。

草津市発行の学習資料等の閲読状況は、「広報『くさつ』の『差別のない明るいまちに』」は時々読んでいる人も含めて54.6%の閲読率だが、減少傾向が続いており今回が最も低くなっている。それ以外の学習資料等は「読んだことがない」がいずれも半数以上を占めており、「男女共同参画啓発紙『みんなで一歩』」は7割に達している。また、いずれの学習資料等も、回を重ねるごとに「読んだことがない」が増加しており、閲読率の向上に向けた学習資料の周知方法等に課題があると言える。

(11) 今後の人権学習のあり方【質問29、質問32】

人権に関する宣言や法律、条例等の認知状況をみると、「日本国憲法」が最も多く、次いで「世界人権宣言」、「児童虐待防止法」、「DV防止法」となっており、これらはいずれも半数以上を占めている。一方、それ以外の法律、条例等の認知率はいずれも3割未満と低く、特に「ゆたかな草津、人権と平和を守る都市宣言」、「草津市人権擁護に関する条例」、「草津市男女共同参画推進条例」等の本市の条例等の認知率はいずれも2割未満と低く、前回調査よりも低下している。しかし、草津市が発行する学習資料等の閲読頻度が高い人ほど人権に関する法律等の認知率が高い傾向にあり、学習資料・啓発媒体の閲読が認知率の向上に繋がっている。

自身の人権問題に関する学習のあり方・姿勢をみると、「(もっと) 学習したいと思う」は20.3%となっており、前回調査とほぼ同率である。一方、「一応の理解を持っているつもりなので、あまり学習する気はない」、「自分には関係のないことなので、学習する気はない」も前回調査とほぼ同率であり、約7割は人権問題に関する学習に消極的な姿勢を示している。なお、学習意欲は年齢が上がるにつれて減少し、20歳代が最も積極的な姿勢を示している。また、半数以上が「一応の理解を持っているつもりなので、あまり学習する気はない」と回答しており、自己認識としては人権問題への理解があることを示している。

関心がある人権問題については、「子どもに関する人権」が最も高く、次いで今回調査で新たに追加した「インターネットを悪用した人権侵害に関する問題」、「個人情報の管理と漏えいに関する問題」への関心が高い。

4 まとめ

全ての市民が住み慣れた地域で安全に、安心して生活していくために、一人ひとりの基本的人権が守られ、差別や偏見を受けることのない社会を築いていく必要がある。そのためには、人権問題は市民一人ひとりに関わるものであるという認識を高めていかねばならない。調査では、差別的または偏見のある事象について、差別だと思えるという態度やなくしていかなければならないという意識を示す人が多数を占めており、身近に起こりうる人権問題に対して一定の理解がある人が多いと言える。しかし、調査結果をみると、人権侵害を受けたことがある人は減少しておらず、実際にはさらに多くの人が何らかの人権侵害を経験したことがあると推測できることから、人権問題の解決

は本市が重点的に取り組むべき課題の一つであると言える。

差別や偏見の不安に怯えることなく、互いを尊重し合い、より良い人間関係・地域社会を形成し、より良く生きていくためには、人権問題に関する正しい知識と理解をさらに深めることが何よりも重要である。また、従来から解決を目指してきた様々な人権問題・同和問題に加え、L G B Tに対する差別や偏見など新たに解決に向けた取組が必要な人権問題も生じている。このような状況に対し、一人ひとりが、どのような行為が他者の人権を傷つけるかということについて考えを巡らせ、日常の言動をふり返ることが大切だが、調査では人権問題は自分には関係がないという意識がある人が一定数いることも明らかとなっている。私たちが人と人とのつながりの中で生活し、他者と共に生きて行く上では、人権問題は誰もが当事者であり、人権侵害の被害者・加害者になりうるものである。市民の人権意識の向上を図り当事者意識を高めていくためには引き続き人権教育・啓発に注力していく必要があるが、今後は、調査で明らかとなった性別や年齢等の属性ごとの特徴を踏まえて対象に沿ったアプローチを工夫し、より多くの市民の関心を喚起していくことが大切である。

調査をみると、子どもや高齢者、障害のある人の人権問題について、虐待に関する関心が高い傾向がみられた。近年、虐待やいじめ等に関する報道が相次いでおり、社会情勢を反映した結果であると考えられる。また、新たな人権問題として、インターネットを悪用した人権侵害や、個人情報の管理と漏えいに関する問題への関心も高い。現代では多くの人がスマートフォンやパソコンを通じてインターネットを利用しており、その中で生じる被害は大人だけでなく子どもにも及んでいるが、インターネットの性質上、一度拡散した情報を完全に消し去ることは困難であり、被害からの回復を難しくさせている。このような新たな人権問題に対しても、その特性を十分に把握した上で対応策を検討し、被害の深刻化を防ぎ早期の解決を図る必要がある。

現代社会には様々な人権問題が生じており、人権侵害の背景や内容も多種多様である。被害者の一刻も早い救済を図るためには、できるだけ早期に相談支援に結びつける必要があるが、調査結果をみると、人権侵害を受けたことがある人のうちの半数以上が「黙ってがまんした」と回答しており、解決が図られないまま当事者が泣き寝入りするケースも多いと推測できる。本市には様々な相談窓口があるが、認知度が低く、人権侵害が生じた場合の相談機関として十分に役割を果たしているとは言い難い現状である。今後は、誰もが身近で安心して相談できる相談支援機関・窓口の周知を徹底していく必要がある。また、多様化する人権問題に対して迅速かつ的確に対応するために、相談支援に応じる職員の研修をするなど対応力の向上を図ったり、今後も継続して関係機関・窓口と円滑に連携していくことが重要である。

第4章 使用した調査票

人権・同和問題に関する市民意識調査についてのお願い

日頃は、人権・同和教育推進のため、御理解と御協力をいただきまして誠にありがとうございます。

さて、本市では、平成８（１９９６）年７月に「草津市人権擁護に関する条例」を制定し、部落差別をはじめとして障害者、女性、在日外国人等に対するあらゆる差別をなくし、明るく住みよいまちづくりをめざして、人権・同和問題に関する教育、啓発活動を実施してまいりました。しかし、子どもや女性などへの虐待、インターネットへの差別的な書き込み、あるいは戸籍等の不正取得など、さまざまな人権侵害が依然として起こっており、多くの課題があります。

そこで、これまで取り組んできた人権・同和教育の成果と課題を踏まえ、今後の人権教育、啓発活動に活かしていくため、昭和５８（１９８３）年以来、５年毎に実施している市民意識調査を行うものです。

つきましては、御多用の折とは存じますが、趣旨を御理解いただき御協力くださいますようお願い申しあげます。

平成３１年２月

草津市長 橋 川 渉

【調査票への御記入にあたって】

- この調査は、平成３１年１月１５日現在で草津市にお住まいの２０歳以上の市民のなかから３，０００人を無作為に選んで御協力をお願いしております。
- 封筒のあて名の御本人が御回答ください。
※何らかの理由で御本人による回答が難しい場合は、御本人のお考えを尊重し、代理の方が御回答いただきますようお願いいたします。
- すべての回答内容は統計的に処理して、調査結果は所期の目的にのみ用い、プライバシーの保護に万全を期します。
- 調査票や返信用封筒に住所・氏名・連絡先などを記入していただく必要はありません。
- 御記入後は、調査票を同封の返信用封筒に入れて封をし、最寄りの郵便ポストに投函してください。切手は不要です。

【回答期限】２月２１日（木）まで

（お問い合わせ先）

草津市立人権センター 電 話（０７７）５６３－１７６５（直通）

FAX（０７７）５６３－７０７０

メール jinkence@city.kusatsu.lg.jp

（月曜日～土曜日、８：３０～１７：１５）

調査票

人権・同和問題に関する市民意識調査

(平成30年度)

草 津 市

お 願 い

この調査は、基本的人権に関する問題、特に国民的課題である同和問題をはじめ、さまざまな人権問題を解決するための教育、啓発活動の基礎資料になるものです。調査の趣旨(別紙「人権・同和問題に関する市民意識調査についてのお願い」)をご理解いただき、日ごろの率直なお考えをお聞かせください。

ご回答は、ご本人(封筒のあて名の方)にお願いします。

この調査票に直接ご記入いただき、そのまま返信用封筒に入れて送ってください。

住所や氏名など、個人が特定できるような情報をご記入いただく必要はありません。

なお、質問の中で、あなたのお考えに近い答えがないとき、あるいは、答えられないときは、空白のままで結構です。

差別についての考えをお聞きます。

質問 1. 日本国憲法の第14条には、「すべての国民は、法の下に平等であつて、人種、信条、性別、社会的身分又は門地により、政治的、経済的又は社会的関係において差別されない」と規定されています。しかし、“差別”とはどういうことか、いろいろと考える方のあるようです。そこで、次の①から⑥のそれぞれについて、お考えに最も近いものを1つだけ選び、○をつけてください。

① Aさん(男性)とBさん(男性)が、ある会社の入社試験を受けました。100点満点で、Aさんは80点を取り、Bさんは75点でした。ところが、Aさんは父親がなく、Bさんは両親が健在なことがわかりました。そこで、会社は、両親が健在であるBさんを採用しました。このことについて、あなたはどのように思いますか。

1. 成績のよかつたAさんを、家庭事情で不採用にしたのは差別だと思ふ
2. 両親が健在であるBさんを採用したのだから、差別だとは言えないと思ふ
3. いちがいに差別とは言えない

② ある会社で、管理職職員の選考をして任用することになりました。Cさん(男性)とDさん(女性)が最終選考対象に残っています。Dさんは経歴年数、勤務成績、知識、管理能力などの点ではむしろCさんに優っていると思われます。しかし、会社では男性であるCさんを管理職に登用しました。このことについて、あなたはどのように思いますか。

1. Dさんを女性を理由に登用しなかつたことは差別だと思ふ
2. 管理職には男性を登用してきたので、差別だとは言えないと思ふ
3. いちがいに差別とは言えない

③ 子どもが勉強しないので、親が叱っていました。そのとき、急に雨が降り出し、道路の工事をしていた人が向かいの家の軒下に雨やどりに行きました。それを見て、親は子どもに「しっかり勉強しないと、あの人たちのような仕事をやるようになるよ」と言いました。このことについて、あなたはどのように思いますか。

1. たとえ子どもを励ますためであっても、親の言葉は差別だと思ふ
2. 親の言葉は差別だとは言えないと思ふ
3. いちがいに差別とは言えない

④ Eさんは、ある町で条件にあった家を見つけたので買おうとしました。ところが、その新しい家は同和地区にあることがわかりました。そこで、子どものいるEさんは、その家を買うことを見合わせました。このことについて、あなたはどのように思いますか。

1. 同和地区に住ませたくないとするEさんの態度は差別だと思ふ
2. 子どものことを考えてやめたのだから差別だとは言えないと思ふ
3. いちがいに差別とは言えない

⑤ ある市で障害児(者)の施設が、住宅街に建設されることになりましたが、地元の住民がその施設の建設に反対しました。このことについて、あなたはどのように思いますか。

1. 障害児(者)が、地域住民とともに生きるのは当然のことであり、反対するのは差別だと思ふ
2. 障害児(者)の施設ができること、地域のイメージが悪くなったり、地価が下がったりするおそれなどがあるから、差別だとは言えないと思ふ
3. いちがいに差別とは言えない

⑥ Fさんが好きになり、結婚したいと思う人を家族に紹介したところ、「よさそうな人じゃないか」と親は言い、その後交際を続けていました。数カ月たつて、親が「結婚すれば、あとあと親せきづきあひもしていかなければならないから、相手の身元もよく調べておかねば」と言いしました。このことについて、あなたはどのように思いますか。

1. 相手の性格や将来性などが大切で、身元を調べることは差別だと思ふ
2. 結婚は、本人だけのことでなく家族全体のことだから、相手の身元を調べることは差別だとは言えないと思ふ
3. いちがいに差別とは言えない

性別に関する考えについてお聞きます。

質問 5. 「男は仕事、女は家庭」という考えがありますが、あなたはどのように思いますか。お考えに最も近いものを 1 つだけ選び、○をつけてください。

1. 賛成

3. どちらかと言えば反対

5. わからない

2. どちらかと言えば賛成

4. 反対

質問 6. 次の A から F にあげる分野において、あなたは、男女の立場がどの程度平等になっていると思いますか。A から F それぞれについて、あてはまるものを 1 つだけ選び、○をつけてください。

	1 十分平等に なっている	2 ある程度 平等に なっている	3 あまり平等 になって いない	4 全く平等に なってい ない	5 わからない
A. 家庭生活（家事分担、介護や子育てなど）	1	2	3	4	5
B. 職場（採用、昇給、昇進、配属、職種など）	1	2	3	4	5
C. 学校教育（名簿、履修科目、進路指導など）	1	2	3	4	5
D. 地域活動（町内会の役員、会への出席、役割分担など）	1	2	3	4	5
E. しきたりや慣習（女人禁制、神事への参加の制約など）	1	2	3	4	5
F. 法律や制度（夫婦同姓、再婚禁止期間など）	1	2	3	4	5

質問 7. あなたは、女性の人権に関する次の A から H の相談窓口を知っていますか。A から H それぞれについて、あてはまるものを 1 つだけ選び、○をつけてください。

	1 知っている	2 知らない
A. 女性総合相談（草津市男女共同参画課）	1	2
B. 市民相談室（草津市生活安心課）	1	2
C. 家庭児童相談室（草津市子ども家庭課）	1	2
D. 人権相談（草津市立人権センター）	1	2
E. 心配ごと相談（草津市社会福祉協議会）	1	2
F. 配偶者暴力相談支援センター（滋賀県中央子ども家庭相談センター）	1	2
G. 草津警察署生活安全課	1	2
H. 女性の人権ホットライン（大津地方方法務局）	1	2

質問 8. あなたは、次の A から E の事柄が DV（ドメスティックバイオレンス）に当たると思いますか、思いませんか。A から E それぞれについて、あてはまるものを 1 つだけ選び、○をつけてください。

	1 DV だと思 う	2 DV だとは思 わない	3 い ち が い は 言 え な い
A. 大声で怒鳴って威嚇する	1	2	3
B. 何を言っても長時間無視し続ける	1	2	3
C. 交友関係や電話を細かく監視する	1	2	3
D. 相手が嫌がっているのに性的な行為を強要する	1	2	3
E. 十分な生活費を渡さない	1	2	3

※DV（ドメスティックバイオレンス）とは、配偶者や恋人、その他親密な関係の人に対して繰り返される、身体的・精神的・性的・経済的・社会的な暴力のことです。

子どもに関する考えについてお聞きします。

質問9. あなたは、子どもに関する事柄で、人権尊重の観点から見て問題があると思うのはどのようなことですか。特に問題だと思うものを3つまで選び、○をつけてください。

1. 習い事や塾を決めるとき、子どもの意見を聞かずに決める
2. 言うことを聞かないからしつけのためにたたく
3. 子どもに「生まれてこなければよかったのに」と言う
4. 子どもに十分な食事を与えない
5. 子どもの前で配偶者（妻・夫）に暴力をふるう
6. わいせつな写真の載った雑誌を子どもに見せる
7. 深夜に子どもを連れて外出する
8. その他（具体的に： _____）
9. 特にない
10. わからない

質問10. あなたは、子どもに対するいじめをなくすために、どのようなことが重要だと思いますか。お考えに近いものを3つまで選び、○をつけてください。

1. 幼児期から他人への思いやりを身につける
2. 子どもが安心して暮らせる家庭づくりに努める
3. 地域全体で子どもを守り育てる
4. 子どもの個性、特性を尊重する教育を推進する
5. 「いじめは絶対許さない」という意識の徹底を図る
6. 異質なものを排除する社会の考えを改める
7. その他（具体的に： _____）
8. 何をしてもいいいじめはなくならない
9. 特にない
10. わからない

高齢者に関する考えについてお聞きします。

質問11. あなたは、高齢者に関する事柄で、人権尊重の観点から見て問題があると思うのはどのようなことですか。特に問題だと思うものを3つまで選び、○をつけてください。

1. 経済的な保障が十分でない
2. 就職が難しい、労働条件が不利なため環境が良くない
3. ボランティア活動などを通じて能力を発揮する機会が少なくない
4. 賃貸住宅への入居が難しい・断られる
5. 高齢者が暮らしやすいバリアフリーのまちづくり・住宅づくりが進んでいない
6. 邪魔者扱いをされ、意見や行動が尊重されない
7. 詐欺や悪徳商法の対象として狙われる
8. 家族に介護を放棄されたり、虐待されたりする
9. 病院や福祉施設において不当な扱いや虐待を受ける
10. その他（具体的に： _____）
11. 特にない
12. わからない

質問12. あなたは、高齢者の人権を守るために、どのようなことが必要だと思いますか。特に必要だと思うものを3つまで選び、○をつけてください。

1. 高齢者が能力を発揮できるよう、就労や社会活動の機会を増やす
2. 道路や建物の段差を解消するなど、バリアフリーのまちづくりなどを推進する
3. 高齢者和其他の世代との世代間交流を促進する
4. 高齢者に対する理解と関心を深める教育・啓発・広報活動を推進する
5. 成年後見制度など高齢者の権利と財産を守る制度を充実する
6. 高齢者を狙った犯罪などの取り締まりを強化する
7. 高齢者のための人権相談や電話相談、カウセンシングを充実する
8. 高齢者に対する虐待などの防止、早期発見・早期対応に努める
9. その他（具体的に： _____）
10. 特にない
11. わからない

障害のある人に関する考えについてお聞きします。

質問13. あなたは、障害のある人に関する事柄で、人権尊重の観点から見て問題があると思うのはどのようなことですか。特に問題だと思うものを3つまで選び、○をつけてください。

1. 経済的な保障が十分でない
2. 就職が難しい、労働条件が不利など働くための環境が良くない
3. スポーツや文化活動、地域活動に気軽に参加できない
4. 賃貸住宅への入居が難しい・断られる
5. 障害のある人が暮らしやすいバリアフリーのまちづくり・住宅づくりが進んでいない
6. 詐欺や悪徳商法の対象として狙われる
7. 家族に介護を放棄されたり、虐待されたりする
8. 病院や福祉施設において不当な扱いや虐待を受ける
9. 障害があることを理由に、結婚に周囲が反対する
10. 店や施設の利用、タクシーの乗車などサービスの提供を拒否される
11. じろじろ見られたり、避けられたりする
12. その他（具体的に：)
13. 特にない
14. わからない

質問14. あなたは、障害のある人の人権を守るために、どのようなことが必要だと思いますか。特に必要だと思うものを3つまで選び、○をつけてください。

1. 企業などに障害のある人の就労を受け入れるよう啓発を推進する
2. 道路や建物の段差を解消するなど、バリアフリーのまちづくりなどを推進する
3. 障害のある人となじみ人との交流を促進する
4. 障害のある人に対する理解と関心を深める教育・啓発・広報活動を推進する
5. 成年後見制度など障害のある人の権利と財産を守る制度を充実する
6. 障害のある人を狙った犯罪などの取り締まりを強化する
7. 障害のある人のための人権相談や電話相談、カウセンシングを充実する
8. 障害のある人に対する虐待などの防止、早期発見・早期対応に努める
9. 障害のある人本人の意思に基づいて生活できるよう支援する
10. その他（具体的に：)
11. 特にない
12. わからない

外国人に関する考えについてお聞きします。

質問15. あなたは、外国人に関する事柄で、人権尊重の観点から見て問題があると思うのはどのようなことですか。特に問題だと思うものを3つまで選び、○をつけてください。

1. 言葉や習慣、文化などが違うために、地域社会に受け入れられにくい
2. 就職や仕事の内容、労働条件などで不利な扱いを受ける
3. 店や施設の利用、タクシーの乗車などサービスの提供を拒否される
4. 賃貸住宅への入居が難しい・断られる
5. じろじろ見られたり、避けられたりする
6. 国籍を理由に、結婚に周囲が反対する
7. 福祉など制度面での制限がある
8. 病院や駅、公共施設などで外国語の案内表示や情報提供が十分でない
9. 本名では差別や不利益を受けることがあるため、やむなく通称名を使う人が多い
10. その他（具体的に：)
11. 特にない
12. わからない

※通称名とは、一般に通用している名前。とお名前。また、正式な名称ではないが、世間で普通に呼んでいる名。

質問16. あなたは、外国人の人権を守るために、どのようなことが必要だと思いますか。特に必要だと思うものを3つまで選び、○をつけてください。

1. 外国人や国際理解に関する教育を充実する
2. 外国人と日本人の相互理解を促進するための交流機会を増やす
3. 外国人も地域社会を支える一員として、行政や地域活動へ参画できる体制をつくる
4. 外国人の就職の機会均等を確保したり、不利な労働条件を改善したりする
5. 外国人に対する理解と関心を深める教育・啓発・広報活動を推進する
6. 外国人のニーズに対応した行政サービスを充実させる（福祉、教育など）
7. 多言語による人権相談や電話相談、カウセンシングを充実する
8. 日常生活に必要な情報や案内を多言語で提供する
9. その他（具体的に：)
10. 特にない
11. わからない

同和問題に関する考えについてお聞きします。

質問17. あなたは、同和地区はどういう理由でできたと考えていますか。お考えに最も近いものを1つだけ選び、○をつけてください。

1. 人種（民族）が違うから

2. 宗教が違うとか、神道や仏教で禁じられていることをしていたから

3. 職業・仕事が違うから

4. 生活が貧しかったから

5. 封建時代の権力者・支配者によって、民衆を支配する手段としてつくられたから

6. その他（具体的に： ）

質問18. あなたは、同和地区に関する次のAからFのようなことを聞いたとき、どのように思いましたか。AからFそれぞれについて、お考えに最も近いものを1つだけ選び、○をつけてください。

	1 その通り だと思った	2 疑問に 思った	3 反響を 感じた	4 聞いた ことがない
A. 同和地区の人びとは、常識にはずれたことをしているということ	1	2	3	4
B. 同和地区の人びとは、差別に負けずたくましく生きてきたということ	1	2	3	4
C. 行政が同和地区の人びとを優遇しすぎているということ	1	2	3	4
D. 同和地区について、うかつなことを言えば、大変な問題になるということ	1	2	3	4
E. 同和地区の人びとが差別をなくすために一生懸命に取り組んでいるということ	1	2	3	4
F. 同和地区の生活環境は、最近良くなったということ	1	2	3	4

質問19. あなたは、同和問題に関する次のAからEのような意見について、どのように思いますか。AからEそれぞれについて、お考えに最も近いものを1つだけ選び、○をつけてください。

	1 そう思う	2 どちらとも 言えない	3 そう思わない
A. 差別を許さない態度を身につけることは、他の「人権問題の解決」にもプラスになる	1	2	3
B. 差別、差別と騒ぎすぎるので、かえって差別がなくならない	1	2	3
C. 差別をされた人のくやしさは、とても人ごととは思えない	1	2	3
D. 差別をされた人の話を聞くと、憤りをおぼえ何とかしなければと思う	1	2	3
E. 同和地区の人と、深くかわかることにはたまら無いを感じる	1	2	3

質問20. 同和地区の人との結婚についてお聞きします。次のAからBのことについて、お考えに最も近いものを1つだけ選び、○をつけてください。

A. あなたのお子さんの結婚しようとする相手が同和地区の人とわかった場合、あなたはどうしますか。

1. 親が口出しすべきではなく、子どもの意志を尊重する

2. 親としては反対だが、子どもの意志が強ければ仕方がない

3. 家族や親せきの反対があれば、結婚は認めない

4. 絶対に結婚は認めない

B. あなたが同和地区の人と結婚しようとしたときに親や親せきから強い反対を受けた場合、あなたはどうしますか。

1. 自分の意志を貫いて結婚する

2. 親の説得に全力を傾けたのちに、自分の意志を貫いて結婚する

3. 家族や親せきの反対があれば、結婚はしない

4. 絶対に結婚しない

質問21. あなたやあなたのお子さんが同和地区の人と結婚しようとした場合、あなたの親せきほどのような態度をとると思いますか。お考えに最も近いものを1つだけ選び、○をつけてください。

1. 反対する親せきがいると思う
2. 口に出して反対しないが、喜ばない親せきがいると思う
3. 特に反対する親せきはいないと思う
4. わからない

質問22. あなたは、同和問題を解決するためにどのようなことが必要だと思いますか。特に必要だと思うものを3つまで選び、○をつけてください。

1. 同和地区の人びとの収入の安定・向上を図り、生活力を高める
2. 同和地区の住宅環境や生活環境を良くする
3. 差別意識をなくすための同和教育を徹底する
4. 人権尊重についての学校教育を徹底する
5. 基本的人権を守り、民主主義の徹底をめざす国民的な運動をもっと拡大強化する
6. 同和地区の人びとが、一定の地域にたまたま住まないと、分散して住むようにする
7. 同和地区のことは、口に出さず、そっとしておけば、差別は自然になくなる
8. その他（具体的に： ）

質問23. さまざまな人権問題がありますが、とりわけ、今後の同和問題の啓発・教育のあり方について、あなたはどのように考えていますか。お考えに最も近いものを1つだけ選び、○をつけてください。

1. 同和問題は、他の人権問題と同列に扱うのは適当でないで、他の人権問題よりも、同和問題については特に重点的に啓発・教育を行うべきである
2. 同和問題について積極的な啓発・教育を行うとともに、他の人権問題についても積極的な啓発・教育を行うべきである
3. 人権意識そのものを高めることが重要なので、同和問題だけをとりあげて啓発・教育を行うのではなく、人権問題全体の啓発、教育の一環として行うべきである
4. 同和問題についての啓発・教育はむしろ必要でなく、他の人権問題についての啓発・教育の方が重要である
5. 同和問題、他の人権問題のいずれについても、啓発・教育は必要ない
6. その他（具体的に： ）
7. わからない

草津市の人権啓発・差別解消の取組についてお聞きします。

質問24. 草津市では、市民の皆さんが人権問題についての理解を深められるよう研修会・講演会を開催しますが、あなたは参加したことがありますか。あてはまるものを1つだけ選び、○をつけてください。

1. 4回以上参加したことがある → 質問25へお進みください
2. 2～3回参加したことがある
3. 1回だけ参加したことがある
4. 参加したことがない → 質問24-1にお答えください

質問24-1. 質問24で、選択肢「4」にお答えの方にお聞きします。あなたが研修会・講演会に参加したことがない理由は何ですか。主な理由として最も近いものを1つだけ選び、○をつけてください。

1. 研修会などが開かれていないのを知らなかったから
2. 関心がないから
3. 参加しても差別はなくならないと思ったから
4. 参加するまでもなく、よく知っているから
5. 仕事の都合で参加できなかったから
6. 家事の都合で参加できなかったから
7. その他（具体的に： ）

質問25. 草津市では、市民の皆さんが人権問題について理解を深められるよう「町内学習懇談会」を開催していますが、あなたは参加したことがありますか。あてはまるものを1つだけ選び、○をつけてください。

1. 4回以上参加したことがある → 質問25-1にお答えください
2. 2～3回参加したことがある
3. 1回だけ参加したことがある
4. 参加したことがない → 質問25-2にお答えください

質問25-1. 質問25で、選択肢「1」～「3」のいずれかにお答えの方にお聞きします。あなたは、「町内学習懇談会」に参加してどのように思いましたか。あてはまるものを1つだけ選び、○をつけてください。

1. 人権問題についての理解が深まった
2. 内容がやさしすぎて、深まらなかった
3. 内容が難しすぎて、よくわからなかった
4. 内容や進め方を工夫すべきである
5. その他（具体的に： ）

質問25-2. 質問25で、選択肢「4」にお答えの方にお聞きます。あなたが「町内学習懇談会」に参加したことがない理由は何ですか。主な理由として最も近いものを1つだけ選び、○をつけてください。

1. 「町内学習懇談会」が開かれているのを知らなかったから
2. 関心がないから
3. 参加しても差別はなくなりたくないと思ったから
4. 参加するまでもなく、よく知っているから
5. 仕事の都合で参加できなかったから
6. 家事の都合で参加できなかったから
7. その他（具体的に：

質問26. 草津市では、人権問題解決のために次のＡからＤの学習資料等を発行していますが、あなたはどの程度読んでいますか。ＡからＤそれぞれについて、あてはまるものを１つだけ選び、○をつけてください。

	1 いつも 読んでい	2 時々 読んでい	3 読んだこと がない
A. 学習資料「めざめ」	1	2	3
B. 広報「くさつ」の「差別のない明るいまちに」	1	2	3
C. 人権センターだより「びーぶる」	1	2	3
D. 男女共同参画啓発紙「みんなで一歩」	1	2	3

質問27.「人権センター」は、人権問題の教育・啓発の拠点ですが、あなたは、センターにどのようなことを期待しますか。あてはまるものをすべて選び、○をつけてください。

1. 人権市民講座について内容や手法について工夫してほしい
2. 人権市民講座について広く市民が参加できるよう開催日や時間等について工夫してほしい
3. 人権についてのアニメの上映など親子で学習できる機会をつくほしい
4. 人権啓発ライブラリーの図書やビデオの充実を図ってほしい
5. 人権啓発ライブラリーの情報を提供してほしい
6. 啓発用リーフレットや各種研修用教材を開発し、提供してほしい
7. 人権研修・学習を企画する場合の指導、支援をしてほしい
8. その他（具体的に：)
9. 特にない

質問28. 市内の「地域総合センター（隣保館）」（通称「会館」）は、地域社会全体の中で、福祉や高齢者の生きがい対策、人権啓蒙や住民交流の拠点となるコミュニティセンターとして事業を実施しています。あなたは、「地域総合センター（隣保館）」を知っていますか。あてはまるものどちらかを選び、○をつけてください。

1. 知っている――→質問28-1にお答えください
2. 知らない――→質問29へお進みください

質問28-1. 質問28で、選択肢「1」にお答えの方にお聞きします。あなたは、「地域総合センタ―（隣保館）」の行っている諸事業に参加したことがありますか。あてはまるものを1つだけ選び、○をつけてください。

1. 4回以上参加したことがある
2. 2～3回参加したことがある
3. 1回だけ参加したことがある
4. 参加していない

質問29. あなたは、次の人権に関する宣言や法律、条例等を知っていますか。知っているものすべてに○をつけてください。

1. 世界人権宣言
2. 人権教育のための世界プログラム
3. 日本国憲法
4. 人権教育及び人権啓蒙の推進に関する法律
5. 児童虐待の防止等に関する法律（児童虐待防止法）
6. 配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律（DV防止法）
7. 高齢者虐待の防止、高齢者の養護者に対する支援等に関する法律（高齢者虐待防止法）
8. 障害者虐待の防止、障害者の養護者に対する支援等に関する法律（障害者虐待防止法）
9. 障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律（障害者差別解消法）
10. 本邦外出身者に対する不当な差別的言動の解消に向けた取組の推進に関する法律（ヘイトスピーチ解消法）
11. 部落差別の解消の推進に関する法律（部落差別解消推進法）
12. 水戸宣言
13. 同和対策審議会答申
14. ゆたかな草津 人権と平和を守る都市宣言
15. 草津市人権擁護に関する条例
16. 草津市男女共同参画推進条例
17. 人権擁護に関する基本方針（改訂版）
18. 第3次草津市男女共同参画推進計画（後期計画）
19. 草津市人権教育基本方針

質問30. 草津市では、「登録型本人通知制度」を平成25年1月から開始していますが、あなたは知っていますか。あてはまるものどちらかを選び、○をつけてください。

1. 知っている → 質問30-1 にお答えください
2. 知らない → 質問31 へお進みください

※登録型本人通知制度とは、事前に登録した人に対して、住民票の写しなどの証明書を本人以外の第三者等に交付したときに、その事実を本人に通知する制度のことです。

質問30-1. 質問30で、選択肢「1」にお答えの方にお聞きます。あなたは、「登録型本人通知制度」に登録していますか。あてはまるものどちらかを選び、○をつけてください。

1. 登録している → 質問31へお進みください
2. 登録していない → 質問30-2 にお答えください

質問30-2. 質問30-1で、選択肢「2」にお答えの方にお聞きます。あなたが「登録型本人通知制度」に登録していない主な理由は何ですか。最もあてはまるものを1つだけ選び、○をつけてください。

1. 制度の名前は知っていたが、詳細な内容がわからないため
2. 登録の必要性を感じないため
3. その他（具体的に： ）

人権学習に関する考えについてお聞きます。

質問31. あなたは、ご自身の人権問題に関する学習のあり方について、どのように考えていますか。お考えに最も近い番号を1つだけ選び、○をつけてください。

1. (もっと) 学習したいと思う
2. 一応の理解を持っているつもりなので、あまり学習する気はない
3. 自分には関係のないことなので、学習する気はない

質問32. あなたが関心のある人権問題はどれですか。あてはまるものをすべて選び、○をつけてください。

1. 「世界人権宣言」「国際人権規約」「児童の権利に関する条約」「人権教育のための世界プログラム」などの理念
2. 差別意識や偏見の構造
3. 女性に関する人権の問題
4. 子どもに関する人権の問題
5. 障害やその家族に関する人権の問題
6. 高齢者に関する人権の問題
7. LGBTなど性的マイノリティに関する人権の問題
8. インターネットを悪用した人権侵害に関する問題
9. 個人情報管理と漏えいに関する問題
10. 職業にかかわる差別の問題
11. HIV感染者に関する人権の問題
12. 原発避難者に対する差別やいじめの問題
13. 在日外国人に関する人権の問題
14. 民族にかかわる差別の問題
15. 同和地区（同和問題）の歴史や起源
16. 同和問題を解決するための運動（解放運動）の歴史や現状
17. 部落差別（結婚差別や就職差別など）の現れ方や差別事件
18. 同和教育の理念や現況
19. その他（具体的に： ）
20. 特になし

※LGBTとは、L=Lesbian（レズビアン、女性同性愛）、G=Gay（ゲイ、男性同性愛）、B=Bisexual（バイセクシュアル、両性愛）T=Transgender（トランスジェンダー、性同一性障害などの性的違和）の頭文字をとって作られた言葉。

※性的マイノリティとは、セクシュアリティ（性的な指向や嗜好、行動や性自認など）における少数者のこと。

質問33. 人権尊重や人権問題の解決などについて、ご意見、ご要望があればご自由にお書きください。

[illegible]

お答えいただいた回答を統計的に分析するため、ご自身のことについてお聞きます。

質問34. たくさんさんの質問へのご回答、ありがとうございます。最後に、以下のAからEのあな
たご自身に関することについて、それぞれあてはまるものを1つだけ選び、○をつけてく
ださい。

A. あなたの性別はどちらですか。

1. 男性 2. 女性 3. 回答したくない

B. あなたは何歳ですか。

1. 20歳代
2. 30歳代
3. 40歳代
4. 50歳代
5. 60歳代
6. 70歳以上

C. あなたのお住まいの小学校区はどこですか。小学校区がわからない場合は、お住まいの町名をお書きください。

1. 志津小
2. 志津南小
3. 草津小
4. 草津第二小
5. 渋川小
6. 矢倉小
7. 老上小
8. 老上西小
9. 玉川小
10. 南笠東小
11. 山田小
12. 笠縫小
13. 笠縫東小
14. 常盤小
15. 小学校区がわからない 一町名 ()

D. あなたは、草津市に住んでから何年になりますか。

1. 2年未満
2. 2年以上5年未満
3. 5年以上10年未満
4. 10年以上20年未満
5. 20年以上

E. あなたの現在のお仕事（ご職業）はどれですか。

1. 自営業主（農林漁業、商工サービス業、自営業などの業主）
2. 家族従事者（農林漁業、商工サービス業、自営業などの家族従事者）
3. 民間企業・団体（従業員20人未満）に勤めておられる方
4. 民間企業・団体（従業員20人以上）に勤めておられる方
5. 公務員、教員、団体職員
6. 学生
7. 家事専業
8. 無職
9. その他（具体的に：

ご協力ありがとうございました。
この調査票を同封の返信用封筒に入れて、2月21日(木)までにご返送ください
ますようお願いいたします。

平成30年度
「人権・同和問題」に関する市民意識調査報告書

平成31年3月

発行 草津市
編集 草津市立人権センター
〒525-0032 滋賀県草津市大路二丁目11番51号
電話 077-563-1765

